

福祉・介護に関する市民意向調査 結果報告書

平成26年3月

市川市

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査の設計	3
3.	回収結果	3
4.	日常生活圏域	4
5.	設問項目一覧	5
6.	利用に当たって	9
II	調査結果	11
1.	調査対象者の属性	13
2.	家族や生活状況について	15
3.	介護保険制度・高齢者施策について	40
4.	運動・閉じこもりについて	96
5.	転倒予防について	102
6.	口腔・栄養について	105
7.	物忘れについて	114
8.	日常生活について	119
9.	社会参加について	131
10.	健康について	154
11.	介護をしている家族の方について	168
12.	e-モニターの健康や食生活等について	183
13.	高齢者福祉・介護事業に関する意見・要望（自由意見）	188

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、3年ごとに見直す「市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、今後の高齢者福祉サービスの推進及び介護サービスの充実と質の向上の取組における基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査の設計

調査対象	居宅サービス利用者	居宅サービス未利用者	二次予防事業対象者	高齢者一般	e-モニター
調査対象者の条件等	介護認定を受けた居宅サービス利用者	介護認定を受けた居宅サービス未利用者	介護認定を受けていないが、生活機能が低下している65歳以上の市民	65歳以上の市民	40～64歳のe-モニター
抽出方法	無作為抽出				
調査方法	郵送調査法				
調査時期	平成25年12月				

3. 回収結果

調査対象	居宅サービス利用者	居宅サービス未利用者	二次予防事業対象者	高齢者一般	合計	e-モニター
配布数	1,800	700	700	1,000	4,200	※1
回収数	1,145	462	563	668	2,838	
有効回収数	1,109	443	561	664	2,777	
白票・無効票	36	19	2	4	61	
有効回収率	61.6%	63.3%	80.1%	66.4%	66.1%	

※1 e-モニター

e-モニター制度（愛称：eモニ）は、市川市が運営する登録制のアンケート制度であり、モニターとして登録していただいた方に、インターネットを活用し、パソコンや携帯電話へ電子メールで市からアンケートを依頼し、回答していただくものです。

今回は、40～64歳の市内在住でパソコン登録のモニターの方を対象に回答してもらいました。なお、質問量が多いため、調査を4分割して実施しました。

集計にあたっては、各回の質問に回答があった方をベースに%を算出しています。

4分割した調査票への回答者数は以下のとおりです。

調査①	調査②	調査③	調査④
495	487	521	522

4. 日常生活圏域

報告書中の4つの日常生活圏域の地区の詳細は以下のとおりです。

日常生活圏域	地区
北部	稲越町、大野町、大町、柏井町、北国分、国分、下貝塚、曾谷、中国分、東国分、奉免町、堀之内、南大野、宮久保
西部	市川、市川南、大洲、大和田、国府台、新田、菅野、須和田、稲荷木、東大和田、東菅野、平田、真間
東部	鬼越、鬼高、上妙典、北方、高谷、高谷新町、高石神、田尻、中山、原木、東浜、二俣、二俣新町、北方町、南八幡、本北方、八幡、若宮
南部	相之川、新井、伊勢宿、入船、押切、欠真間、加藤新田、河原、香取、行徳駅前、幸、塩浜、塩焼、島尻、下新宿、下妙典、末広、関ヶ島、高浜町、宝、千鳥町、富浜、新浜、日之出、広尾、福栄、本行徳、本塩、湊、湊新田、南行徳、妙典

※ 平成 26 年度までの計画では市域を 11 に区分した日常生活圏域を設定していますが、平成 27 年度からの計画では上記 4 圏域に再編する予定です。

5. 設問項目一覧

		居宅サービス利用者	居宅サービス未利用者	二次予防事業対象者	高齢者一般	e-モニター	頁
1. 調査対象者の属性							13
1	性別	○	○	○	○	○	13
2	年齢	○	○	○	○	○	13
3	調査票記入者	○	○	○	○		14
4	居住地区	○	○	○	○	○	14
2. 家族や生活状況について							15
5	家族構成	○	○	○	○	○	15
5-1	同居人数と同居者	○	○	○	○	○	17
5-2	日中、一人になること	○	○	○	○		18
6	介護・介助の必要性	○	○	○	○		21
6-1	介護・介助が必要になった原因	○	○	○	○		24
6-2	介護・介助者	○	○	○	○		27
6-3	介護・介助者の年齢	○	○	○	○		28
6-4	介護・介助を受けていない理由			○	○		29
7	家族の介護の経験					○	29
8	年金の種類	○	○	○	○		30
9	現在の暮らしの経済的状況	○	○	○	○	○	30
10	住まいの形態(一戸建て、集合住宅)	○	○	○	○		33
11	住まいの種類(持家、賃貸等)	○	○	○	○		35
12	住まいの階数	○	○	○	○		36
12-1	エレベーターの有無	○	○	○	○		36
13	要介護度	○	○				37
14	1年前の要介護度	○	○				39
3. 介護保険制度・高齢者施策について							40
15	介護保険制度について	○	○	○	○	○	40
16	介護や福祉に関する情報入手先	○	○	○	○	○	46
17	介護保険料の負担感	○	○	○	○		47
18	介護保険サービスと介護保険料のあり方についての考え	○	○	○	○		49
19	介護保険サービスの費用負担についての考え					○	50
20	サービスの利用状況、満足度、不満の理由	○					51
21	自費負担の有無	○					54
21-1	自費負担額	○					55
21-2	主に利用しているサービス	○					55
22	介護保険の認定申請をした理由		○				56
23	介護保険サービスの利用状況		○				56
23-1	介護保険サービスを利用していない理由		○				57
24	今後利用したいサービス		○				58
25	生活支援サービスの利用状況と利用意向	○	○	○	○		59
26	ケアマネジャーの対応について	○					60
27	地域包括支援センターの認知度	○	○	○	○	○	62
27-1	地域包括支援センターの利用状況	○	○	○	○	○	63
28	在宅介護支援センターの認知度	○	○	○	○	○	64
28-1	在宅介護支援センターの利用状況	○	○	○	○	○	65
29	高齢者虐待防止法の認知度	○	○	○	○	○	66
30	虐待行為を受けたり見たりした経験	○	○	○	○	○	67
30-1	虐待行為を受けたり見たりしたときの相談の有無	○	○	○	○	○	67
31	日常生活自立支援事業の認知度	○	○	○	○	○	68
32	日常生活自立支援事業の利用意向	○	○	○	○	○	69

		居宅サービス利用者	居宅サービス未利用者	二次予防事業対象者	高齢者一般	e-モニター	頁
33	成年後見制度の認知度	○	○	○	○	○	70
34	成年後見制度の利用意向	○	○	○	○	○	71
35	今後の生活についての考え	○					72
36	介護が必要になった場合の暮らし方の希望		○	○	○	○	73
35・36-1	自宅で暮らしたい理由	○	○	○	○	○	75
35・36-2	自宅で暮らし続けるために必要なこと	○	○	○	○		76
35・36-3	自宅以外で暮らしたい理由	○	○	○	○	○	77
35・36-4	施設を選ぶ際に重視すること	○	○	○	○		78
37	入所申し込み(予定を含む)をしている施設	○	○				79
38	自己負担が1割から2割になった場合のサービス利用	○					80
39	近所付き合いの状況			○	○	○	81
40	困った時に相談できる家族・友人・知人の有無					○	82
41	地域での人とのつきあいや関わりについての考え			○	○	○	83
42	日常生活で困ったこと			○	○		86
43	基本チェックリストの認知度			○	○		87
44	基本チェックリストに回答した経験			○	○		88
44-1	基本チェックリストに回答しなかった理由			○	○		89
45	基本チェックリスト未返送の方への家庭訪問の認知度			○	○		89
46	介護予防事業の認知度			○	○		90
46-1	介護予防事業の利用状況			○	○		90
46-2	介護予防事業を利用しなかった理由			○	○		91
47	介護施策で特に力を入れてほしいこと	○	○	○	○	○	92
4.	運動・閉じこもりについて						96
48	階段の昇降	○	○	○	○		96
49	椅子からの立ち上がり	○	○	○	○		96
50	15分の歩行	○	○	○	○		97
51	5m以上の歩行	○	○	○	○		97
52	週1回以上の外出	○	○	○	○		98
53	外出回数の減少	○	○	○	○		98
54	外出を控えること	○	○	○	○		99
54-1	外出を控えている理由	○	○	○	○		99
55	買物、散歩で外出する頻度	○	○	○	○		100
56	外出する際の移動手段	○	○	○	○		101
5.	転倒予防について						102
57	転倒の有無	○	○	○	○		102
58	転倒に対する不安	○	○	○	○		102
59	背中の丸み	○	○	○	○		103
60	歩行速度の低下	○	○	○	○		103
61	杖の使用の有無	○	○	○	○		104
6.	口腔・栄養について						105
62	体重減少の有無	○	○	○	○		105
63	身長、体重	○	○	○	○		106
64	固いものの摂取	○	○	○	○		107
65	お茶や汁物等でむせること	○	○	○	○		108
66	口の渇き	○	○	○	○		109
67	毎日の歯磨き	○	○	○	○		109
68	定期的な歯科受診	○	○	○	○		110
69	入れ歯の使用	○	○	○	○		110

		居宅サービス利用者	居宅サービス未利用者	二次予防事業対象者	高齢者一般	e-モニター	頁
69-1	噛み合わせの状態	○	○	○	○		111
69-2	入れ歯の手入れ	○	○	○	○		111
70	1日の食事の回数	○	○	○	○		112
71	食事を抜くこと	○	○	○	○		112
72	誰かと食事をとむる機会	○	○	○	○		113
72-1	食事をとむる人	○	○	○	○		113
7. 物忘れについて							114
73	周囲から物忘れがあるとと言われること	○	○	○	○		114
74	電話番号を調べて、電話をかけること	○	○	○	○		115
75	今日の日付の認識	○	○	○	○		116
76	5分前の記憶	○	○	○	○		117
77	その日の活動の判断	○	○	○	○		118
78	意思の伝達	○	○	○	○		118
8. 日常生活について							119
79	一人での外出	○	○	○	○		119
80	日用品の買物	○	○	○	○		120
80-1	日用品の買物をする人	○	○	○	○		121
81	食事の用意	○	○	○	○		121
81-1	食事の用意をする人	○	○	○	○		122
82	請求書の支払い	○	○	○	○		123
83	預貯金の出し入れ	○	○	○	○		123
84	食事の介助	○	○	○	○		124
85	就寝時の介助	○	○	○	○		124
86	座位の維持	○	○	○	○		125
87	洗面や歯磨きの介助	○	○	○	○		125
88	トイレの介助	○	○	○	○		126
89	入浴の介助	○	○	○	○		126
90	歩行の介助	○	○	○	○		127
91	階段の昇降の介助	○	○	○	○		128
92	着替えの介助	○	○	○	○		129
93	大便の失敗	○	○	○	○		129
94	尿もれや尿失禁	○	○	○	○		130
95	家事全般	○	○	○	○		130
9. 社会参加について							131
96	書類の記入	○	○	○	○		131
97	新聞を読むこと	○	○	○	○		132
98	本や雑誌を読むこと	○	○	○	○		133
99	健康についての関心	○	○	○	○		134
100	友人宅への訪問	○	○	○	○		135
101	家族や友人の相談にのること	○	○	○	○		135
102	病人を見舞うこと	○	○	○	○		136
103	若い人に話しかけること	○	○	○	○		136
104	趣味の有無	○	○	○	○		137
105	生きがいの有無	○	○	○	○		137
106	会・グループ等への参加頻度	○	○	○	○		138
107	社会参加活動や仕事の頻度	○	○	○	○		141
108	本人とまわりの人の「たすけあい」について	○	○	○	○		143
109	家族や友人・知人以外の相談先	○	○	○	○		146
110	友人関係について	○	○	○	○		147
111	不安・悩み・ストレス・孤独感などの有無			○	○	○	149

		居宅 サービス 利用者	居宅 サービス 未利用者	二次予防 事業 対象者	高齢者 一般	e-モニター	頁
112	不安・悩み・ストレス・孤独感への対処方法			○	○	○	149
113	就労継続の意向			○	○		150
114	就労状況					○	150
113・ 114-1	希望する退職年齢			○	○	○	151
113-2	就労継続理由			○	○		151
115	生きがいを感じていること					○	152
116	ボランティア活動への参加意向					○	152
117	高齢者の生きがいづくりで特に力を入れてほしいこと					○	153
10.	健康について						154
118	健康状態	○	○	○	○	○	154
119	治療中または後遺症のある病気	○	○	○	○		155
120	治療中の病気の有無					○	156
121	かかりつけ医師の有無	○	○	○	○	○	156
122	在宅療養の認知度	○	○	○	○	○	157
122-1	在宅療養の利用状況	○	○	○	○	○	157
123	在宅療養に対する不安感	○	○	○	○	○	158
123-1	在宅療養に対する不安の内容	○	○	○	○	○	159
124	飲んでいる菜の種類	○	○	○	○		160
125	通院の有無	○	○	○	○		160
125-1	通院の頻度	○	○	○	○		161
125-2	通院時の介助の必要性	○	○	○	○		161
126	飲酒の有無	○	○	○	○		162
127	喫煙の有無	○	○	○	○		162
128	健康について知りたいこと			○	○	○	163
129	介護や福祉のことで困ったときの相談先					○	164
130	生活の充実感の欠如	○	○	○	○		165
131	興味・関心の低下	○	○	○	○		165
132	活動意欲の低下	○	○	○	○		166
133	自己有用感の低下	○	○	○	○		166
134	疲労感	○	○	○	○		167
11.	介護をしている家族の方について						168
135	介護の期間	○	○				168
136	一日の介護時間	○	○				168
137	介護者の就労状況	○	○				170
138	介護者の健康状態	○	○				170
139	被介護者の状態	○	○				171
140	被介護者が認知症と診断されたこと	○	○				172
141	被介護者が介護サービスを利用しているときに感じること	○					173
142	介護で負担に感じること	○	○				174
143	介護でつらい時の相談先	○	○				176
144	介護方法の講習や講演会への参加の有無	○	○				177
144-1	講習や講演会の内容	○	○				177
145	今後の介護についての考え	○	○				178
146	周囲に認知症の疑いのある人の有無	○	○	○	○	○	179
147	認知症に関する相談先の認知度	○	○	○	○	○	180
147-1	認知症の相談先	○	○	○	○		180
148	地域ケアシステムの認知度	○	○	○	○	○	181
148-1	地域ケアシステム拠点の場所の認知度	○	○	○	○	○	181
149	災害時の自治会等の安否確認について	○	○	○	○	○	182
149-1	災害時援助のために個人情報知られることについて	○	○	○	○	○	182

		居宅 サービス 利用者	居宅 サービス 未利用者	二次予防 事業 対象者	高齢者 一般	e-モニター	頁
12.	e-モニターの健康や食生活等について						183
150	この1年間の健康診査の受診状況					○	183
150-1	健診結果の活用状況					○	183
151	生活習慣病の予防状況					○	183
152	運動習慣の有無					○	184
153	食事の摂取状況					○	184
154	朝・夕の食事の摂り方					○	184
155	健康相談会場までの移動手段と移動時間					○	185
156	事業への参加意向					○	186
157	今後の居住意向					○	186
158	身近に必要な施設					○	187
13.	高齢者福祉・介護事業に関する意見・要望(自由意見)	○	○	○	○	○	188

6. 利用に当たって

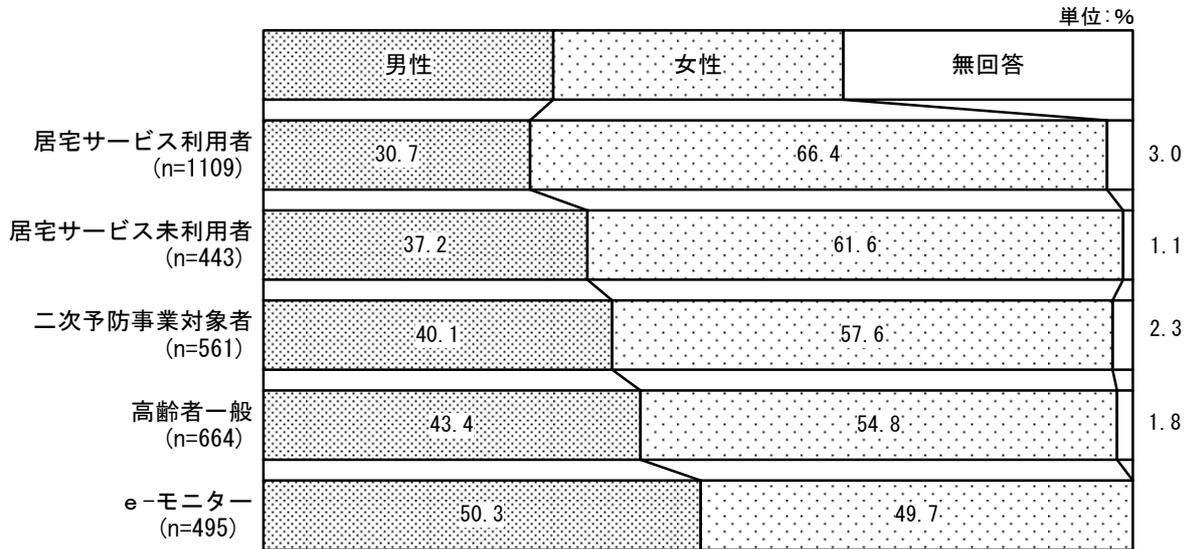
- ① 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ② 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えます。
- ③ 図表の中で、nは質問ごとの回答者数を示しています。
- ④ 図表の中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、要約または省略して表現している場合があります。
- ⑤ 帯グラフの場合、0%の数値は表示していません。

※ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

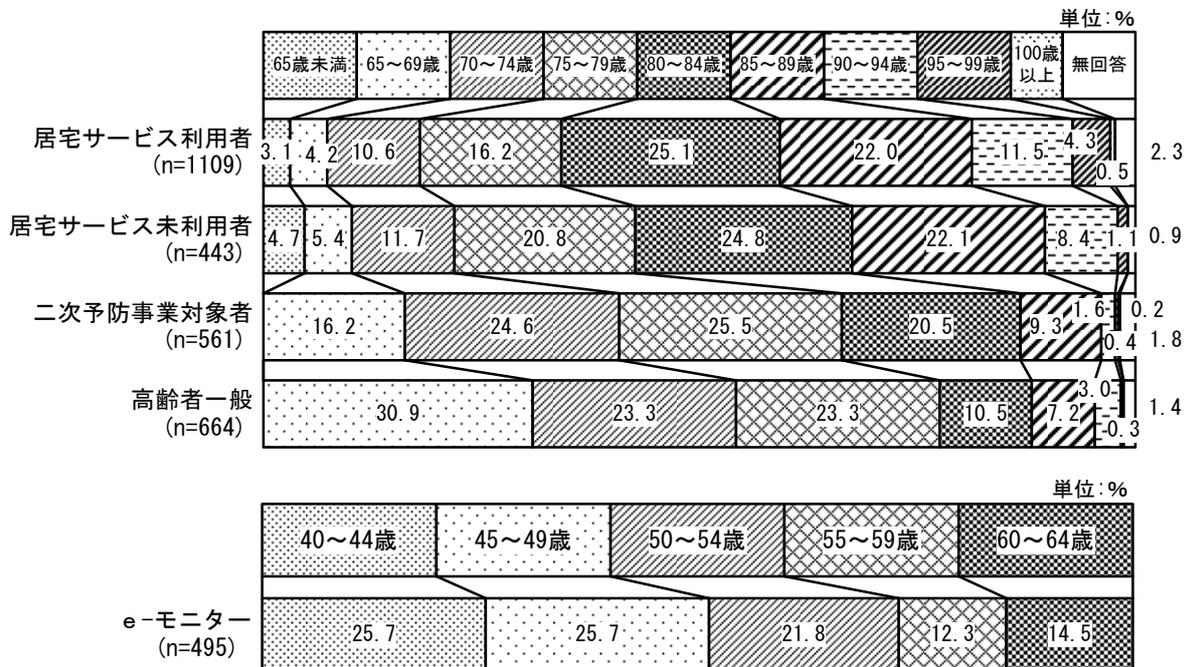
II 調査結果

1. 調査対象者の属性

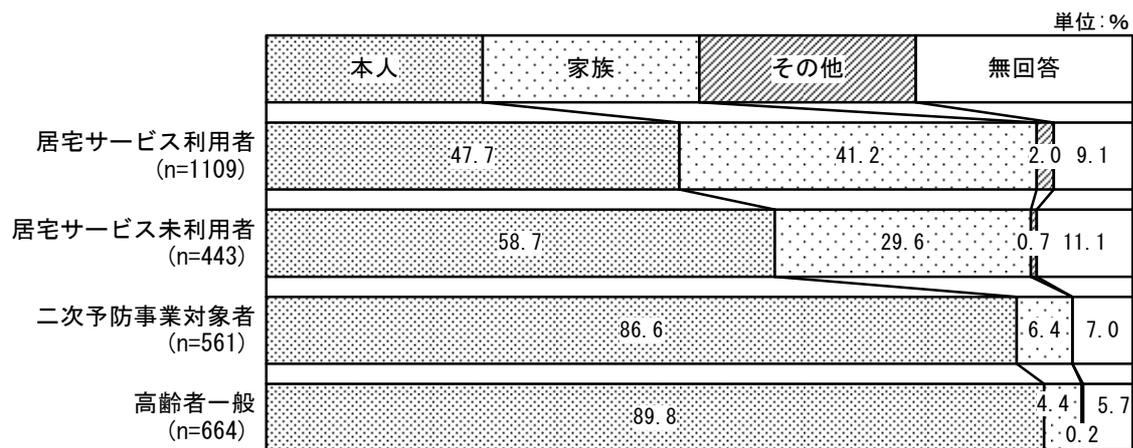
1 性別



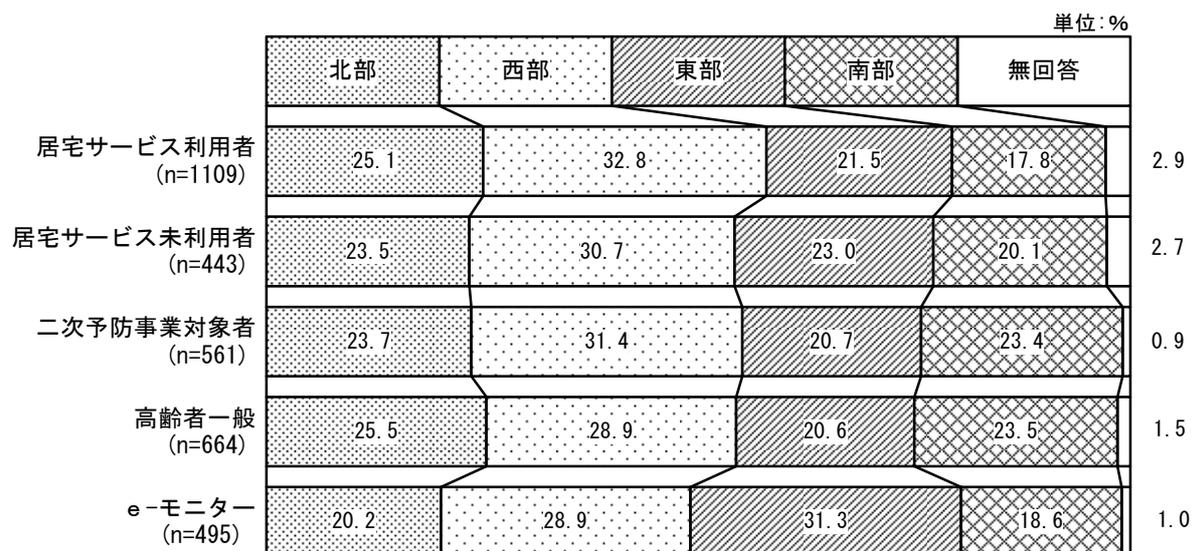
2 年齢



3 調査票記入者



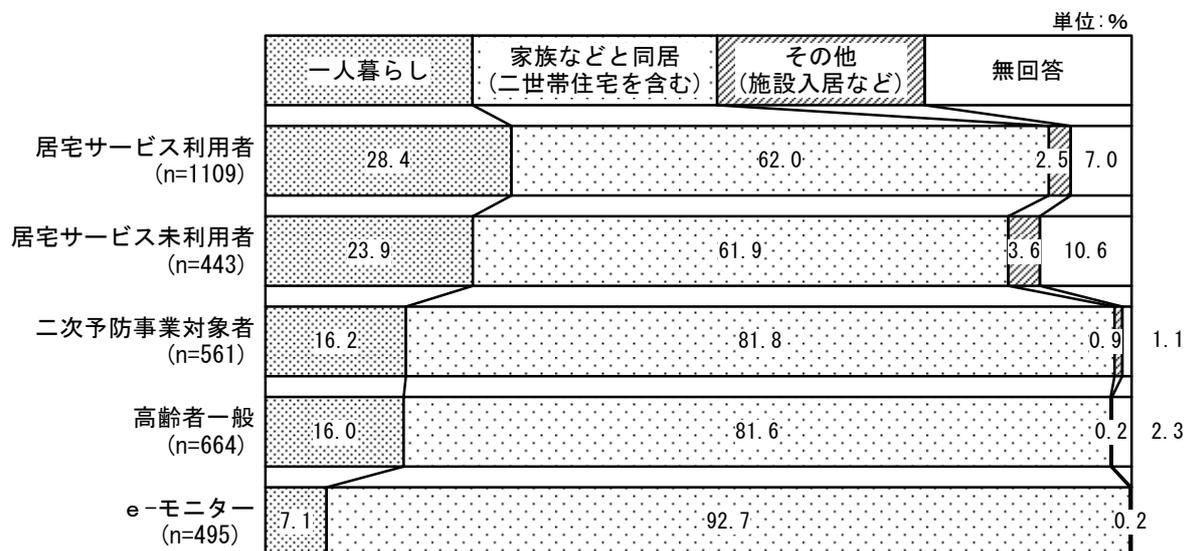
4 居住地区



2. 家族や生活状況について

5 家族構成

家族構成をお教えてください



「一人暮らし」は、居宅サービス利用者が28.4%と最も多く、次いで居宅サービス未利用者が23.9%となっています。

【居宅サービス利用者：性別、圏域別 家族構成】

		n	一人暮らし	家族など同居 (二世帯住宅を含む)	その他 (施設入居など)	無回答
全体		1,109	28.4	62.0	2.5	7.0
性別	男性	340	21.2	70.3	2.6	5.9
	女性	736	32.3	60.2	2.6	4.9
	無回答	33	15.2	18.2	0.0	66.7
圏域	北部	278	21.2	68.3	4.3	6.1
	西部	364	33.8	60.7	0.8	4.7
	東部	238	33.2	58.8	3.4	4.6
	南部	197	27.4	66.0	1.5	5.1
	無回答	32	0.0	21.9	6.3	71.9

性別に見ると、「一人暮らし」は女性が男性よりも多くなっています。

圏域別に見ると、「一人暮らし」は北部で少なくなっています。

【居宅サービス未利用者：性別、圏域別 家族構成】

		n	一人暮らし	家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	その他 (施設入居など)	無回答
全体		443	23.9	61.9	3.6	10.6
性別	男性	165	17.6	68.5	1.8	12.1
	女性	273	27.8	58.6	4.8	8.8
	無回答	5	20.0	20.0	0.0	60.0
	無回答	5	20.0	20.0	0.0	60.0
圏域	北部	104	19.2	58.7	9.6	12.5
	西部	136	22.1	61.0	2.9	14.0
	東部	102	29.4	64.7	0.0	5.9
	南部	89	27.0	67.4	0.0	5.6
	無回答	12	16.7	33.3	16.7	33.3

性別に見ると、女性の「一人暮らし」が男性よりも多くなっています。
圏域別に見ると、「一人暮らし」は東部、南部では3割弱となっています。

【高齢者一般：性別、圏域別 家族構成】

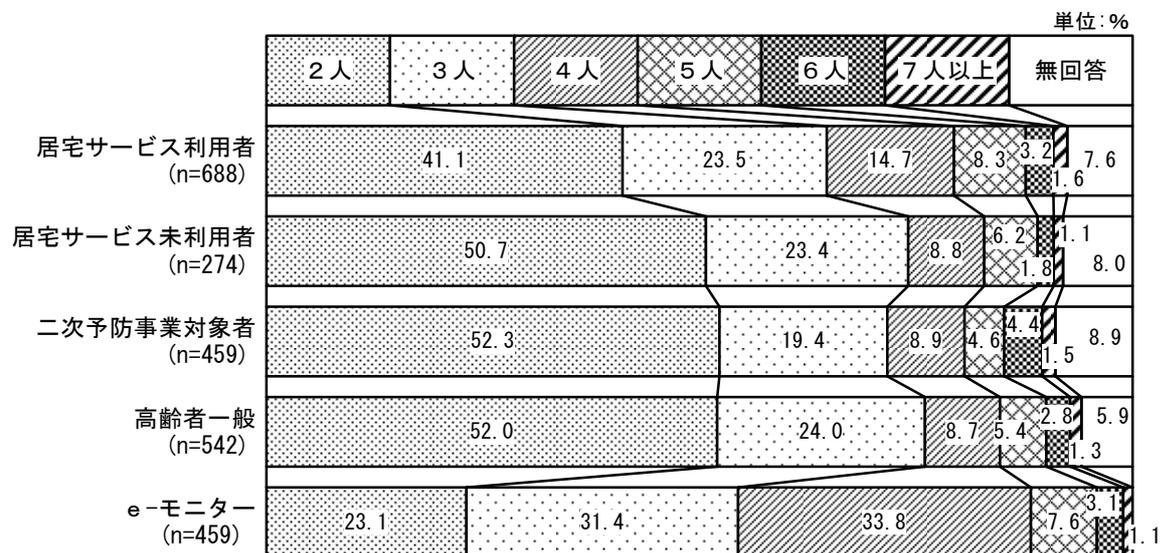
		n	一人暮らし	家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	その他 (施設入居など)	無回答
全体		664	16.0	81.6	0.2	2.3
性別	男性	288	10.1	88.5	0.0	1.4
	女性	364	20.6	77.5	0.3	1.6
	無回答	12	16.7	41.7	0.0	41.7
	無回答	12	16.7	41.7	0.0	41.7
圏域	北部	169	13.6	84.6	0.0	1.8
	西部	192	14.1	83.3	0.0	2.6
	東部	137	13.9	86.1	0.0	0.0
	南部	156	23.7	73.7	0.6	1.9
	無回答	10	0.0	60.0	0.0	40.0

性別に見ると、女性の「一人暮らし」が男性よりも多くなっています。
圏域別に見ると、「一人暮らし」は南部で多くなっています。

5-1 同居人数と同居者

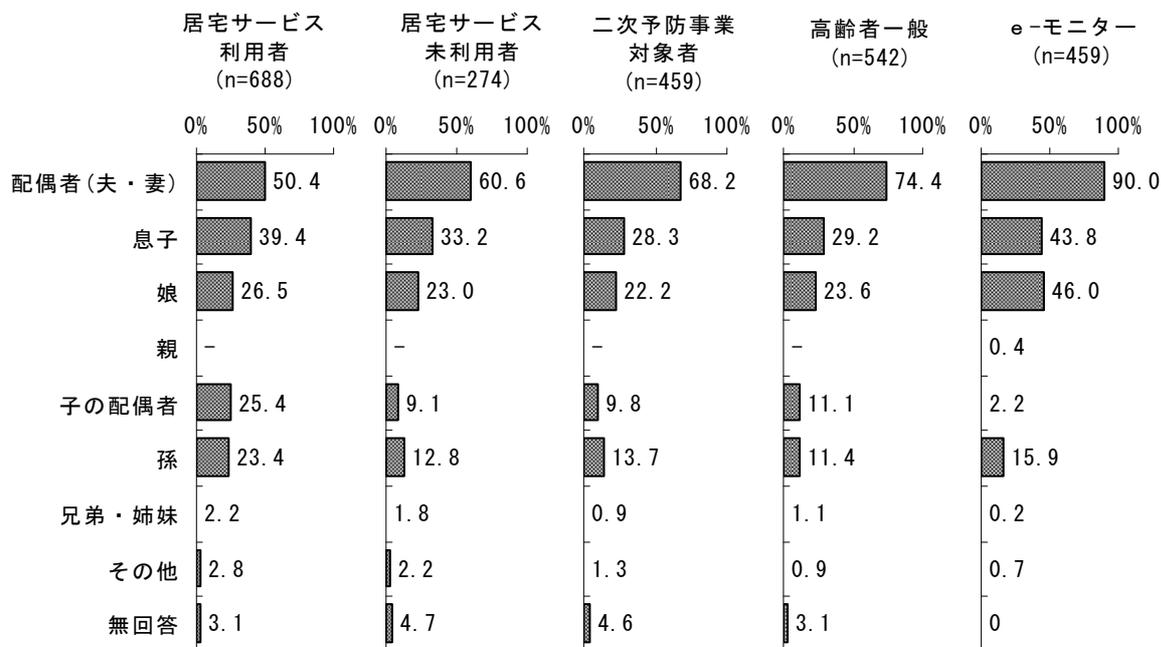
(家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか (いくつでも)

①同居人数



e-モニター以外の対象層は「2人」が最も多く、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者、高齢者一般では5割を超えています。

②同居者



※ 選択肢の「親」はe-モニターのみ。

各対象層とも「配偶者」が最も多くなっています。

5-2 日中、一人になること

(家族など同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか

単位：%

	よくある	たまにある	ない	無回答	
居宅サービス利用者 (n=688)	29.8	45.1	20.9		4.2
居宅サービス未利用者 (n=274)	40.1	44.2	11.7		4.0
二次予防事業対象者 (n=459)	40.3	39.7	13.3	6.8	
高齢者一般 (n=542)	37.6	40.2	17.3	4.8	

「よくある」は、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者では4割となっています。

【居宅サービス利用者：圏域別、要介護度別 日中、一人になること】

		n	よくある	たまにある	ない	無回答
全体		688	29.8	45.1	20.9	4.2
圏域	北部	190	33.7	45.8	15.8	4.7
	西部	221	27.6	44.3	24.9	3.2
	東部	140	32.9	44.3	18.6	4.3
	南部	130	24.6	45.4	24.6	5.4
	無回答	7	28.6	57.1	14.3	0.0
	要介護度					
	要支援1	76	39.5	46.1	11.8	2.6
	要支援2	120	47.5	31.7	18.3	2.5
	要介護1	104	34.6	43.3	13.5	8.7
	要介護2	149	23.5	55.7	16.8	4.0
	要介護3	96	15.6	53.1	26.0	5.2
	要介護4	59	22.0	44.1	30.5	3.4
	要介護5	63	17.5	39.7	41.3	1.6
	無回答	21	38.1	33.3	23.8	4.8

圏域別に見ると、「よくある」は北部と東部で3割を超えています。

要介護度別に見ると、「よくある」は要支援2で最も多くなっています。

【居宅サービス未利用者：圏域別、要介護度別 日中、一人になること】

		n	よくある	たまにある	ない	無回答
全体		274	40.1	44.2	11.7	4.0
圏域	北部	61	44.3	42.6	6.6	6.6
	西部	83	38.6	45.8	14.5	1.2
	東部	66	43.9	42.4	10.6	3.0
	南部	60	31.7	46.7	15.0	6.7
	無回答	4	75.0	25.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	83	45.8	42.2	9.6	2.4
	要支援2	49	46.9	32.7	14.3	6.1
	要介護1	44	29.5	59.1	6.8	4.5
	要介護2	32	25.0	62.5	9.4	3.1
	要介護3	14	57.1	42.9	0.0	0.0
	要介護4	11	36.4	27.3	27.3	9.1
	要介護5	6	33.3	33.3	33.3	0.0
	無回答	35	40.0	37.1	17.1	5.7

圏域別に見ると、「よくある」は北部、東部で4割を超えています。
要介護度別に見ると、「よくある」は要介護3で最も多くなっています。

【二次予防事業対象者：性別、圏域別 日中、一人になること】

		n	よくある	たまにある	ない	無回答
全体		459	40.3	39.7	13.3	6.8
性別	男性	194	36.1	43.3	13.4	7.2
	女性	257	44.0	36.2	13.6	6.2
	無回答	8	25.0	62.5	0.0	12.5
圏域	北部	109	38.5	35.8	16.5	9.2
	西部	148	37.8	39.2	15.5	7.4
	東部	89	47.2	36.0	10.1	6.7
	南部	110	40.0	46.4	10.0	3.6
	無回答	3	33.3	66.7	0.0	0.0

性別に見ると、女性が男性より「よくある」と答えた人が多くなっています。
圏域別に見ると、「よくある」は東部で最も多くなっています。

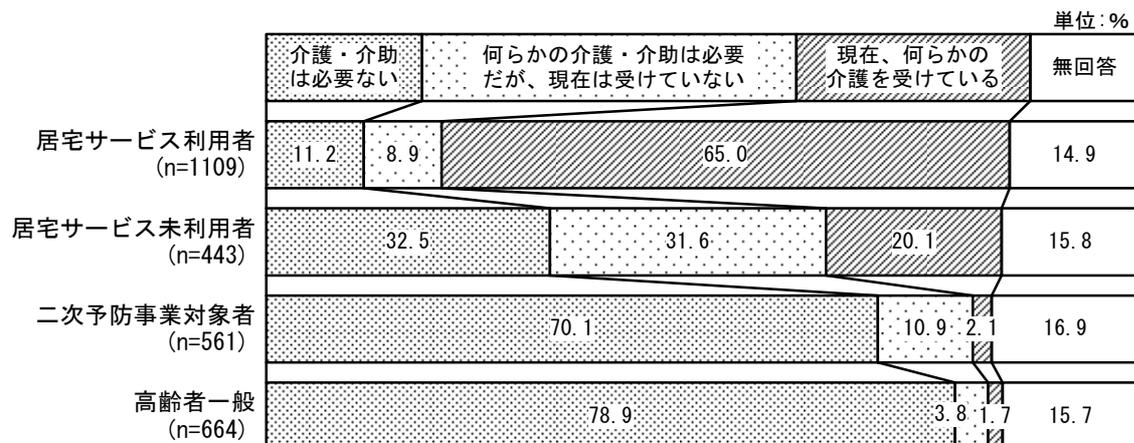
【高齢者一般：性別、圏域別 日中、一人になること】

		n	よくある	たまにある	ない	無回答
全体		542	37.6	40.2	17.3	4.8
性別	男性	255	34.5	43.9	17.3	4.3
	女性	282	40.8	36.5	17.7	5.0
	無回答	5	20.0	60.0	0.0	20.0
圏域	北部	143	30.1	49.0	12.6	8.4
	西部	160	37.5	36.9	20.6	5.0
	東部	118	47.5	32.2	16.9	3.4
	南部	115	39.1	41.7	17.4	1.7
	無回答	6	0.0	50.0	50.0	0.0

性別に見ると、女性が男性より「よくある」と答えた人が多くなっています。
 圏域別に見ると、「よくある」は東部で最も多くなっています。

6 介護・介助の必要性

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



「現在、何らかの介護を受けている」は、居宅サービス利用者では 65.0% であるのに対し、居宅サービス未利用者では 20.1% となっています。

【居宅サービス利用者：圏域別、要介護度別 介護・介助の必要性】

		n	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		1,109	11.2	8.9	65.0	14.9
圏域	北部	278	12.9	14.0	61.9	11.2
	西部	364	11.3	7.1	66.2	15.4
	東部	238	9.2	5.9	70.6	14.3
	南部	197	11.7	10.2	65.5	12.7
	無回答	32	6.3	0.0	34.4	59.4
	要介護度					
	要支援1	176	26.1	14.2	41.5	18.2
	要支援2	230	16.1	10.4	52.2	21.3
	要介護1	162	11.7	11.1	67.3	9.9
	要介護2	204	5.4	8.3	78.4	7.8
	要介護3	126	4.0	4.8	81.7	9.5
	要介護4	72	1.4	2.8	93.1	2.8
	要介護5	71	0.0	1.4	90.1	8.5
	無回答	68	7.4	8.8	36.8	47.1

圏域別に見ると、「現在、何らかの介護を受けている」は東部で最も多くなっています。

要介護度別に見ると、「現在、何らかの介護を受けている」は要介護度が上がるにつれて多くなる傾向が見られます。

【居宅サービス未利用者：年齢別、圏域別 介護・介助の必要性】

		n	介護・介助は必要ない	だが、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		443	32.5	31.6	20.1	15.8
年齢	65歳未満	21	19.0	38.1	28.6	14.3
	65～69歳	24	29.2	33.3	33.3	4.2
	70～74歳	52	36.5	34.6	11.5	17.3
	75～79歳	92	38.0	31.5	16.3	14.1
	80～84歳	110	30.9	37.3	19.1	12.7
	85歳以上	140	31.4	25.0	22.9	20.7
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0
圏域	北部	104	38.5	25.0	16.3	20.2
	西部	136	33.8	24.3	24.3	17.6
	東部	102	27.5	40.2	20.6	11.8
	南部	89	31.5	38.2	18.0	12.4
	無回答	12	16.7	50.0	16.7	16.7

年齢別に見ると、「現在、何らかの介護を受けている」は65～69歳で3割を超えています。

圏域別に見ると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は東部、南部で4割前後と多くなっています。

【二次予防事業対象者：年齢別、圏域別 介護・介助の必要性】

		n	介護・介助は必要ない	だが、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		561	70.1	10.9	2.1	16.9
年齢	65～69歳	91	84.6	5.5	0.0	9.9
	70～74歳	138	73.9	9.4	0.0	16.7
	75～79歳	143	69.9	12.6	1.4	16.1
	80～84歳	115	55.7	15.7	4.3	24.3
	85歳以上	64	70.3	10.9	4.7	14.1
	無回答	10	50.0	0.0	20.0	30.0
圏域	北部	133	72.9	10.5	0.8	15.8
	西部	176	73.9	10.2	2.8	13.1
	東部	116	63.8	11.2	3.4	21.6
	南部	131	68.7	12.2	0.8	18.3
	無回答	5	40.0	0.0	20.0	40.0

年齢別に見ると、「介護・介助は必要ない」は65～69歳では8割以上となっています。

圏域別に見ると、「介護・介助は必要ない」は北部と西部で多くなっています。

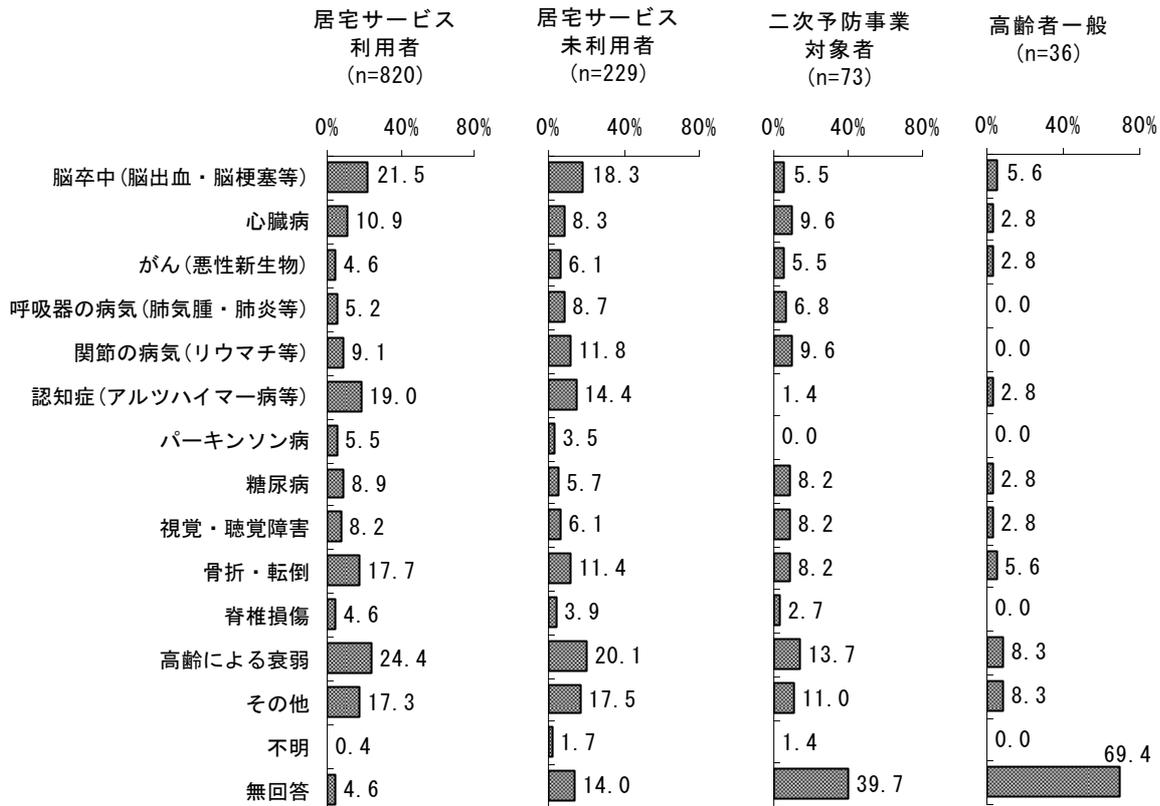
【高齢者一般：年齢別、圏域別 介護・介助の必要性】

		n	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
	全体	664	78.9	3.8	1.7	15.7
年齢	65～69歳	205	81.5	2.0	0.5	16.1
	70～74歳	155	83.2	3.2	1.9	11.6
	75～79歳	155	75.5	3.2	0.6	20.6
	80～84歳	70	81.4	4.3	4.3	10.0
	85歳以上	70	71.4	10.0	4.3	14.3
	無回答	9	44.4	11.1	0.0	44.4
圏域	北部	169	79.3	3.0	1.2	16.6
	西部	192	79.7	5.7	2.1	12.5
	東部	137	75.2	2.9	1.5	20.4
	南部	156	82.7	2.6	1.9	12.8
	無回答	10	50.0	10.0	0.0	40.0

年齢別に見ると、「介護・介助は必要ない」は70～74歳で最も多くなっています。
 圏域別に見ると、「介護・介助は必要ない」は南部で最も多くなっています。

6-1 介護・介助が必要になった原因

(介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (いくつでも)



居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では、「高齢による衰弱」が最も多く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「認知症(アルツハイマー病等)」となっています。

【居宅サービス利用者：性別、要介護度別 介護・介助が必要になった原因】

		n	(脳出血・脳梗塞等) 脳卒中	心臓病	(悪性新生物) がん	(肺気腫・肺炎等) 呼吸器の病気	(関節の病気 リウマチ等)	(アルツハイマー病等) 認知症	パーキンソン病
全体		820	21.5	10.9	4.6	5.2	9.1	19.0	5.5
性別	男性	266	36.5	12.4	6.4	6.8	6.0	14.3	8.3
	女性	544	14.2	10.1	3.9	4.6	10.3	21.5	4.0
	無回答	10	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0
	要支援1	98	18.4	16.3	3.1	5.1	17.3	3.1	1.0
要介護度	要支援2	144	13.2	13.9	5.6	8.3	16.0	2.1	2.8
	要介護1	127	22.0	11.8	5.5	3.9	7.9	26.0	2.4
	要介護2	177	23.7	10.2	6.2	2.8	6.8	14.1	9.6
	要介護3	109	26.6	5.5	2.8	4.6	2.8	40.4	4.6
	要介護4	69	23.2	7.2	4.3	10.1	7.2	33.3	5.8
	要介護5	65	27.7	7.7	4.6	4.6	4.6	35.4	16.9
	無回答	31	19.4	12.9	0.0	3.2	6.5	6.5	0.0
				視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明
全体		8.9	8.2	17.7	4.6	24.4	17.3	0.4	4.6
性別	男性	13.2	9.4	7.5	4.5	20.7	14.3	0.0	1.9
	女性	6.6	7.5	22.6	4.8	26.1	19.1	0.6	6.1
	無回答	20.0	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1	6.1	8.2	16.3	7.1	16.3	26.5	0.0	12.2
要介護度	要支援2	8.3	4.2	17.4	10.4	23.6	29.2	0.7	4.2
	要介護1	8.7	4.7	18.1	0.8	18.9	16.5	0.0	3.9
	要介護2	8.5	13.0	18.6	5.1	25.4	10.2	0.0	2.3
	要介護3	10.1	6.4	17.4	2.8	29.4	9.2	1.8	4.6
	要介護4	10.1	8.7	21.7	2.9	27.5	17.4	0.0	0.0
	要介護5	12.3	10.8	13.8	1.5	24.6	15.4	0.0	1.5
	無回答	9.7	12.9	16.1	0.0	45.2	9.7	0.0	16.1

性別に見ると、男性は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が36.5%と最も多く、女性は「高齢による衰弱」が26.1%と最も多くなっています。

要介護度別に見ると、「認知症（アルツハイマー病等）」は要介護3～5では3～4割と多くなっています。

【居宅サービス未利用者：性別、要介護度別 介護・介助が必要になった原因】

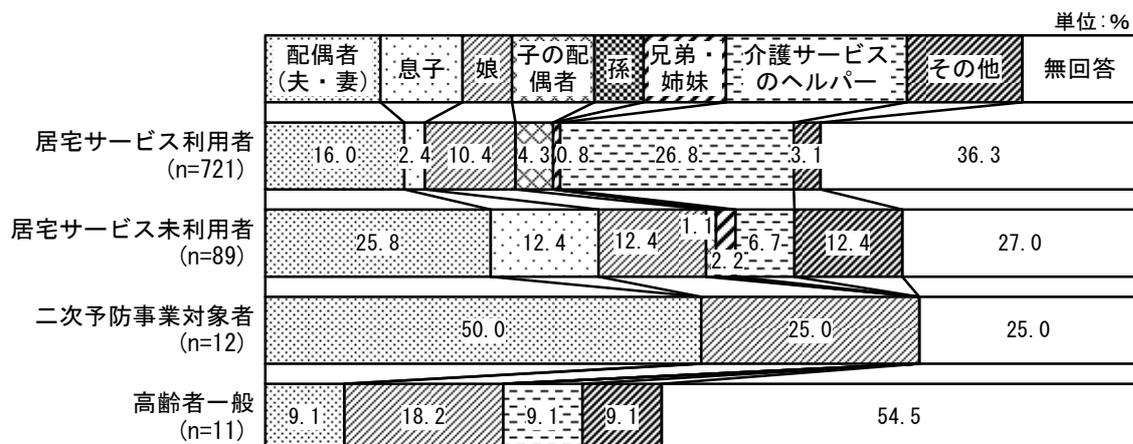
		n	(脳出血・脳梗塞等) 脳卒中	心臓病	(悪性新生物) がん	(肺気腫・肺炎等) 呼吸器の病気	(リウマチ等) 関節の病気	(アルツハイマー病等) 認知症	パーキンソン病	
全体		229	18.3	8.3	6.1	8.7	11.8	14.4	3.5	
性別	男性	83	30.1	9.6	6.0	9.6	3.6	13.3	4.8	
	女性	143	11.9	7.0	6.3	8.4	16.8	15.4	2.8	
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
要介護度	要支援1	66	15.2	7.6	3.0	7.6	10.6	7.6	4.5	
	要支援2	46	8.7	10.9	6.5	6.5	15.2	2.2	2.2	
	要介護1	38	18.4	7.9	2.6	10.5	15.8	36.8	0.0	
	要介護2	29	17.2	3.4	3.4	13.8	10.3	27.6	6.9	
	要介護3	13	23.1	23.1	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	
	要介護4	11	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	
	要介護5	10	60.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	
	無回答	16	18.8	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	
			糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		5.7	6.1	11.4	3.9	20.1	17.5	1.7	14.0	
性別	男性	7.2	7.2	6.0	1.2	16.9	10.8	1.2	18.1	
	女性	4.9	5.6	14.7	4.9	22.4	21.7	2.1	11.2	
	無回答	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	
要介護度	要支援1	6.1	0.0	9.1	4.5	13.6	19.7	1.5	24.2	
	要支援2	2.2	8.7	13.0	10.9	19.6	17.4	2.2	15.2	
	要介護1	7.9	5.3	7.9	0.0	31.6	26.3	0.0	5.3	
	要介護2	3.4	20.7	20.7	3.4	31.0	27.6	0.0	3.4	
	要介護3	15.4	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7	
	要介護4	9.1	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	
	要介護5	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	無回答	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	31.3	

性別に見ると、男性は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が30.1%と最も多く、女性は「高齢による衰弱」が22.4%と最も多くなっています。

要介護度別に見ると、要介護1では「認知症（アルツハイマー病等）」と「高齢による衰弱」が3割を超えています。

6-2 介護・介助者

(介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか



居宅サービス利用者では「介護サービスのヘルパー」が26.8%となっています。

【居宅サービス利用者：性別、圏域別、要介護度別 介護・介助者】

		n	(配偶者 夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答
全体		721	16.0	2.4	10.4	4.3	0.8	26.8	3.1	36.3	
性別	男性	235	34.0	0.9	2.1	0.9	0.0	2.1	27.2	1.3	31.5
	女性	476	6.7	2.9	14.7	6.1	0.0	0.2	26.5	3.8	39.1
	無回答	10	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	20.0
圏域	北部	172	23.3	2.9	9.9	5.8	0.0	0.6	25.0	2.3	30.2
	西部	241	12.9	1.7	12.0	3.7	0.0	0.4	26.1	2.5	40.7
	東部	168	11.3	1.2	11.3	3.0	0.0	1.2	34.5	3.0	34.5
	南部	129	17.8	3.9	7.0	4.7	0.0	1.6	22.5	3.9	38.8
	無回答	11	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	36.4
要介護度	要支援1	73	9.6	4.1	4.1	1.4	0.0	0.0	53.4	5.5	21.9
	要支援2	120	5.8	1.7	10.0	1.7	0.0	0.8	51.7	3.3	25.0
	要介護1	109	19.3	2.8	14.7	4.6	0.0	0.0	21.1	3.7	33.9
	要介護2	160	23.8	1.9	8.8	5.6	0.0	0.0	19.4	1.3	39.4
	要介護3	103	19.4	3.9	16.5	3.9	0.0	1.9	11.7	1.9	40.8
	要介護4	67	13.4	1.5	7.5	6.0	0.0	3.0	16.4	1.5	50.7
	要介護5	64	17.2	1.6	12.5	6.3	0.0	1.6	10.9	3.1	46.9
	無回答	25	8.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	32.0	12.0	40.0

性別に見ると、男性は「配偶者」が34.0%と最も多く、女性は「介護サービスのヘルパー」が26.5%と最も多くなっています。

圏域別に見ると、北部は他の圏域に比べて「配偶者」の割合が多くなっています。

要介護度別に見ると、要支援1・2では「介護サービスのヘルパー」が半数以上を占めています。

6-3 介護・介助者の年齢

(介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

単位：%

	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
居宅サービス利用者 (n=721)	43.6	20.8	17.6	6.2	11.8
居宅サービス未利用者 (n=89)	42.7	15.7	21.3	5.6	14.6
二次予防事業対象者 (n=12)	33.3	33.3	8.3		25.0
高齢者一般 (n=11)	36.4	63.6			

居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では「65歳未満」が4割強であるものの、75歳以上が2割以上と多くなっています。

【居宅サービス利用者：性別、年齢別、圏域別 介護・介助者の年齢】

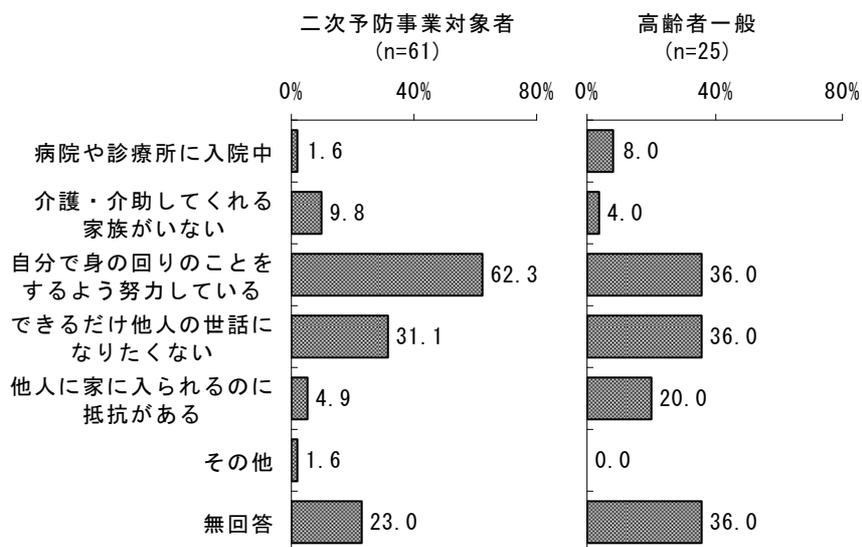
介護・介助者の年齢		n	調査対象者				無回答
			65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	
全体		721	43.6	20.8	17.6	6.2	11.8
性別	男性	235	29.8	24.7	25.1	7.2	13.2
	女性	476	51.1	18.7	13.4	5.5	11.3
	無回答	10	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0
年齢	65歳未満	24	83.3	12.5	0.0	0.0	4.2
	65～69歳	30	60.0	30.0	0.0	0.0	10.0
	70～74歳	84	29.8	48.8	7.1	0.0	14.3
	75～79歳	113	30.1	18.6	34.5	1.8	15.0
	80～84歳	170	42.9	5.9	35.9	2.4	12.9
	85歳以上	295	47.8	22.0	7.1	12.9	10.2
	無回答	5	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
圏域	北部	172	39.5	22.1	18.0	7.0	13.4
	西部	241	46.1	20.3	14.1	7.1	12.4
	東部	168	41.1	18.5	21.4	4.8	14.3
	南部	129	48.8	23.3	18.6	3.9	5.4
	無回答	11	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1

性別に見ると、女性は「65歳未満」が半数を占めています。

年齢別に見ると、介護・介助者の年齢が「85歳以上」という回答は85歳以上で1割を超えています。

6-4 介護・介助を受けていない理由

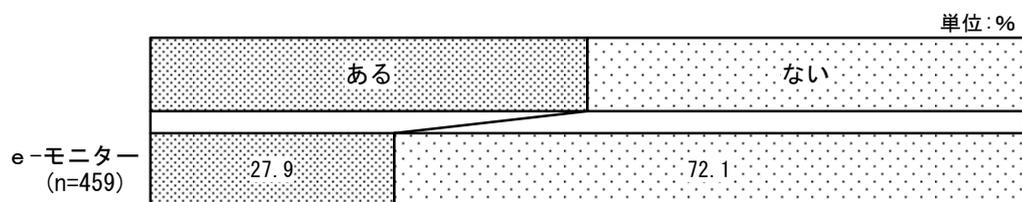
(介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助を受けていない理由は何ですか (いくつでも)



二次予防事業対象者では「自分で身の回りのことをするよう努力している」が62.3%を占めています。

7 家族の介護の経験

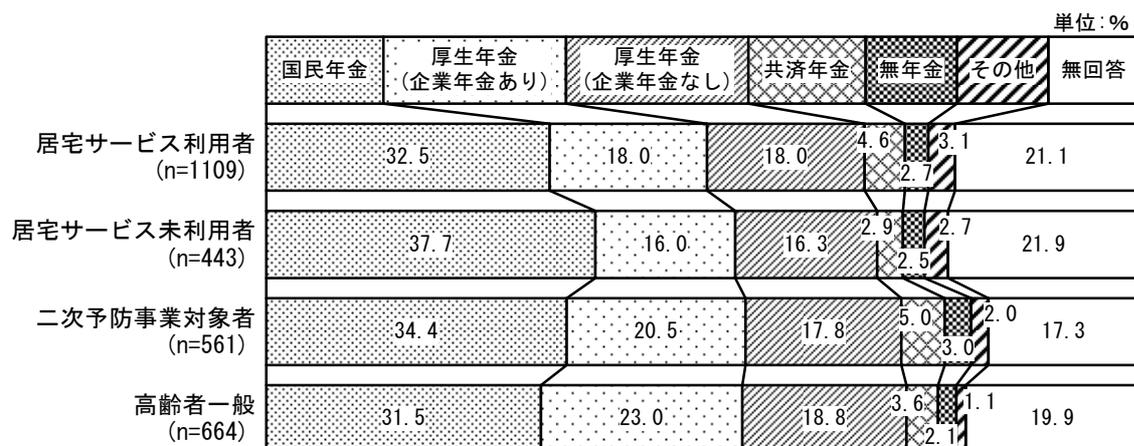
家族の介護をされた経験がありますか



家族の介護をされた経験は「ある」が27.9%、「ない」が72.1%となっています。

8 年金の種類

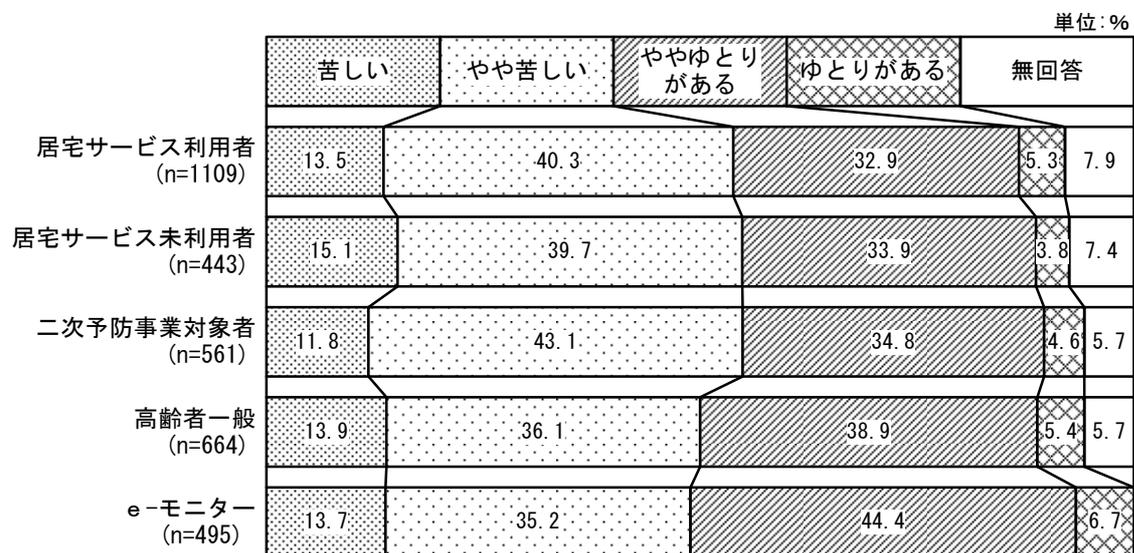
年金の種類は次のどれですか



各対象層とも「国民年金」が3割台で最も多く、次いで「厚生年金（企業年金あり）」と「厚生年金（企業年金なし）」が多くなっています。

9 現在の暮らしの経済的状況

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



『苦しい』（「苦しい」＋「やや苦しい」）という回答は、e-モニター以外の対象層で半数以上となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、圏域別 現在の暮らしの経済的状況】

		n	苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
全体		1,109	13.5	40.3	32.9	5.3	7.9
年齢	65歳未満	34	23.5	52.9	17.6	0.0	5.9
	65～69歳	47	23.4	44.7	19.1	2.1	10.6
	70～74歳	118	29.7	36.4	22.0	0.8	11.0
	75～79歳	180	18.3	43.9	29.4	2.2	6.1
	80～84歳	278	11.5	42.1	36.7	5.4	4.3
	85歳以上	426	7.0	38.5	38.7	8.7	7.0
	無回答	26	3.8	19.2	15.4	3.8	57.7
圏域	北部	278	17.3	36.0	34.2	5.0	7.6
	西部	364	9.6	43.1	36.5	5.2	5.5
	東部	238	14.7	37.8	33.6	6.7	7.1
	南部	197	15.7	47.7	26.4	4.1	6.1
	無回答	32	3.1	18.8	15.6	6.3	56.3

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて「ややゆとりがある」の割合が増加しています。

【居宅サービス未利用者：年齢別、圏域別 現在の暮らしの経済的状況】

		n	苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
全体		443	15.1	39.7	33.9	3.8	7.4
年齢	65歳未満	21	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	65～69歳	24	29.2	58.3	8.3	0.0	4.2
	70～74歳	52	21.2	40.4	26.9	3.8	7.7
	75～79歳	92	15.2	41.3	34.8	3.3	5.4
	80～84歳	110	12.7	41.8	33.6	3.6	8.2
	85歳以上	140	10.0	35.0	40.0	5.7	9.3
	無回答	4	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0
圏域	北部	104	19.2	38.5	31.7	1.9	8.7
	西部	136	10.3	37.5	40.4	5.9	5.9
	東部	102	13.7	43.1	32.4	5.9	4.9
	南部	89	20.2	42.7	29.2	0.0	7.9
	無回答	12	8.3	25.0	25.0	8.3	33.3

年齢別に見ると、65～84歳では「やや苦しい」が最も多くなっているのに対し、85歳以上では「ややゆとりがある」が最も多くなっています。

圏域別に見ると、西部は他の圏域と比べて「ややゆとりがある」の割合が多くなっています。

【二次予防事業対象者：年齢別、圏域別 現在の暮らしの経済的状況】

		n	苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
全体		561	11.8	43.1	34.8	4.6	5.7
年齢	65～69歳	91	13.2	50.5	29.7	4.4	2.2
	70～74歳	138	10.9	44.9	36.2	5.1	2.9
	75～79歳	143	14.0	44.8	32.2	3.5	5.6
	80～84歳	115	13.9	40.0	34.8	2.6	8.7
	85歳以上	64	1.6	31.3	48.4	9.4	9.4
	無回答	10	20.0	40.0	10.0	10.0	20.0
圏域	北部	133	13.5	45.1	34.6	1.5	5.3
	西部	176	10.2	39.8	34.1	9.1	6.8
	東部	116	11.2	43.1	37.9	1.7	6.0
	南部	131	12.2	46.6	34.4	3.8	3.1
	無回答	5	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0

年齢別に見ると、「ややゆとりがある」は85歳以上では半数近くとなっています。

【高齢者一般：年齢別、圏域別 現在の暮らしの経済的状況】

		n	苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
全体		664	13.9	36.1	38.9	5.4	5.7
年齢	65～69歳	205	13.2	35.1	41.0	7.3	3.4
	70～74歳	155	20.0	39.4	35.5	1.3	3.9
	75～79歳	155	13.5	38.1	35.5	8.4	4.5
	80～84歳	70	10.0	37.1	47.1	0.0	5.7
	85歳以上	70	8.6	28.6	38.6	8.6	15.7
	無回答	9	0.0	22.2	44.4	0.0	33.3
圏域	北部	169	17.2	38.5	38.5	1.8	4.1
	西部	192	12.0	34.4	39.6	6.8	7.3
	東部	137	10.2	32.1	43.8	8.0	5.8
	南部	156	16.0	40.4	34.0	5.8	3.8
	無回答	10	10.0	20.0	40.0	0.0	30.0

年齢別に見ると、80～84歳は他の年齢と比べて「ややゆとりがある」の割合が多くなっています。

10 住まいの形態（一戸建て、集合住宅）

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

単位：%

	一戸建て	集合住宅	無回答
居宅サービス利用者 (n=1109)	68.7	25.9	5.4
居宅サービス未利用者 (n=443)	70.0	24.4	5.6
二次予防事業対象者 (n=561)	72.7	23.7	3.6
高齢者一般 (n=664)	68.5	28.5	3.0

各対象層とも「一戸建て」が7割前後を占めています。

【居宅サービス利用者：圏域別 住まいの形態（一戸建て、集合住宅）】

		n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体		1,109	68.7	25.9	5.4
圏域	北部	278	77.3	17.6	5.0
	西部	364	75.0	21.2	3.8
	東部	238	70.2	26.9	2.9
	南部	197	48.2	47.7	4.1
	無回答	32	37.5	9.4	53.1

圏域別に見ると、南部では「集合住宅」が47.7%と多くなっています。

【居宅サービス未利用者：圏域別 住まいの形態（一戸建て、集合住宅）】

		n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体		443	70.0	24.4	5.6
圏域	北部	104	77.9	15.4	6.7
	西部	136	74.3	19.1	6.6
	東部	102	79.4	18.6	2.0
	南部	89	43.8	50.6	5.6
	無回答	12	66.7	16.7	16.7

圏域別に見ると、南部では「集合住宅」が50.6%と多くなっています。

【二次予防事業対象者：圏域別 住まいの形態（一戸建て、集合住宅）】

		n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体		561	72.7	23.7	3.6
圏域	北部	133	85.7	12.0	2.3
	西部	176	79.5	15.9	4.5
	東部	116	67.2	29.3	3.4
	南部	131	55.7	42.0	2.3
	無回答	5	60.0	0.0	40.0

圏域別に見ると、南部では「集合住宅」が42.0%と多くなっています。

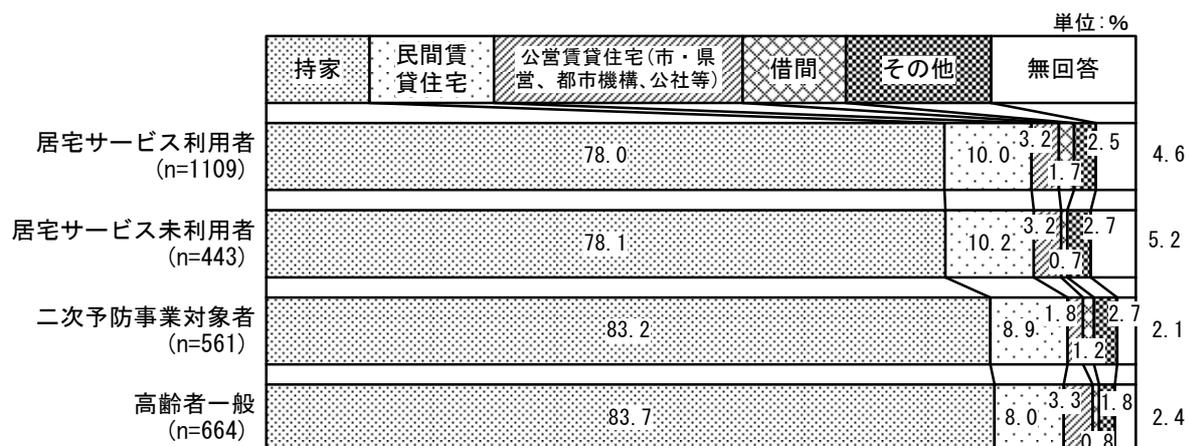
【高齢者一般：圏域別 住まいの形態（一戸建て、集合住宅）】

		n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体		664	68.5	28.5	3.0
圏域	北部	169	84.6	13.6	1.8
	西部	192	72.9	20.8	6.3
	東部	137	67.2	32.8	0.0
	南部	156	48.1	51.3	0.6
	無回答	10	50.0	10.0	40.0

圏域別に見ると、南部では「集合住宅」が51.3%と多くなっています。

11 住まいの種類（持家、賃貸等）

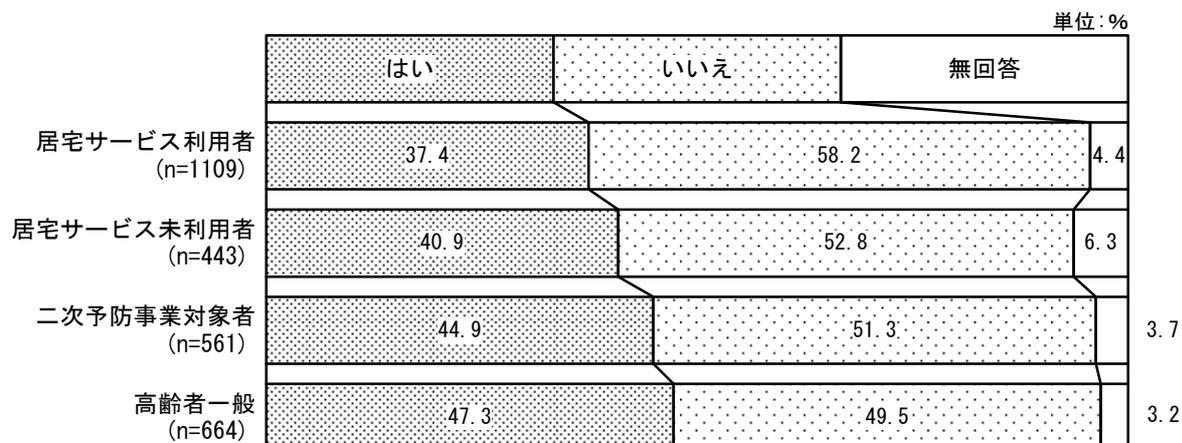
お住まいは、次のどれにあたりますか



各対象層とも「持家」が8割前後を占めています。

12 住まいの階数

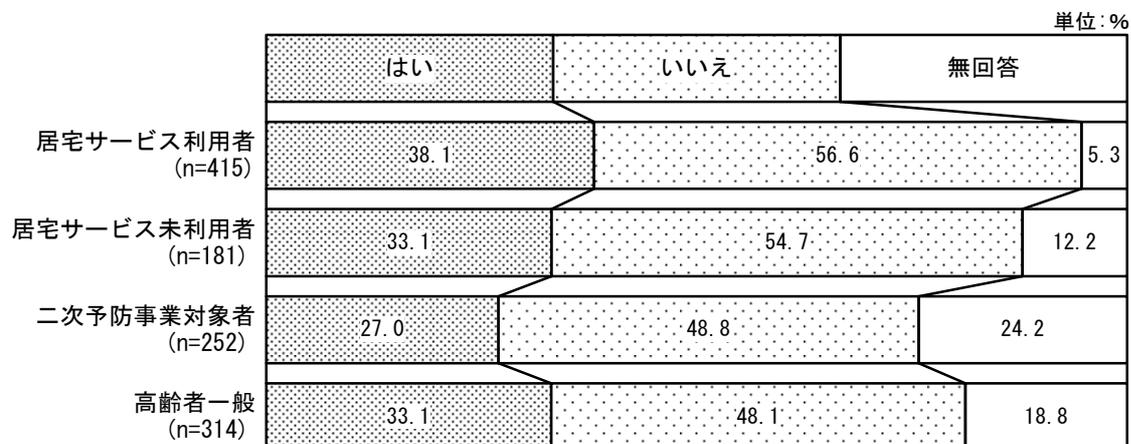
お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか



居宅サービス利用者では「いいえ」が58.2%となっています。

12-1 エレベーターの有無

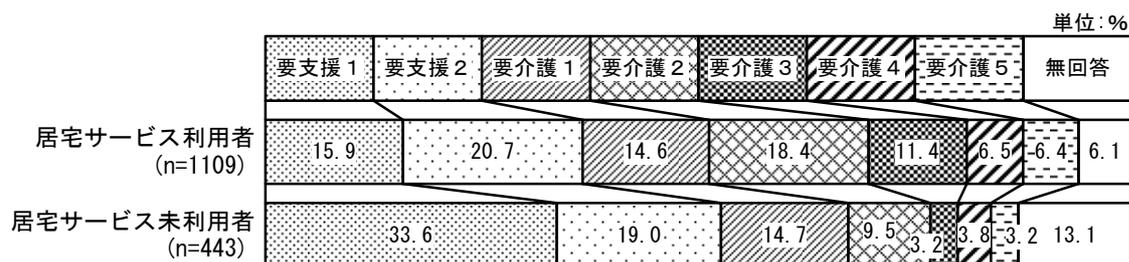
(2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか



居宅サービス利用者では「はい」が38.1%となっています。

13 要介護度

あなたの要介護度は次のどれに該当しますか



回答者の中では、居宅サービス利用者では「要支援2」が20.7%と最も多く、次いで「要介護2」が18.4%、「要支援1」が15.9%となっています。居宅サービス未利用者では「要支援1」が33.6%と最も多く、次いで「要支援2」が19.0%、「要介護1」が14.7%となっています。

《参考》

市川市の要介護（要支援）認定者数（平成25年11月末現在）

市川市の要介護（要支援）認定者の実人数は下表のとおりです。

（単位：人）

		要介護度							合計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
被 保 険 者	総数	1,801	1,561	2,696	2,876	2,080	1,758	1,602	14,374
	第1号被保険者	1,760	1,535	2,624	2,778	2,001	1,697	1,528	13,923
	65～74歳	292	240	394	430	292	223	246	2,117
	75歳以上	1,468	1,295	2,230	2,348	1,709	1,474	1,282	11,806
	第2号被保険者	41	26	72	98	79	61	74	451

【居宅サービス利用者：年齢別、圏域別 要介護度】

		n	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
全体		1,109	15.9	20.7	14.6	18.4	11.4	6.5	6.4	6.1
年齢	65歳未満	34	2.9	32.4	5.9	26.5	8.8	14.7	8.8	0.0
	65～69歳	47	12.8	6.4	14.9	19.1	17.0	4.3	17.0	8.5
	70～74歳	118	10.2	22.0	16.1	14.4	13.6	11.9	5.9	5.9
	75～79歳	180	23.9	18.3	10.6	15.6	10.6	7.8	6.1	7.2
	80～84歳	278	18.7	23.4	19.1	16.5	9.7	4.0	3.6	5.0
	85歳以上	426	14.1	20.9	14.3	21.8	12.0	6.1	7.3	3.5
無回答		26	7.7	11.5	3.8	7.7	7.7	0.0	3.8	57.7
圏域	北部	278	17.6	19.4	17.3	15.5	13.7	5.4	7.6	3.6
	西部	364	15.9	20.9	13.7	19.2	12.4	8.0	4.1	5.8
	東部	238	13.4	23.1	13.0	21.4	9.7	7.1	8.0	4.2
	南部	197	18.3	21.8	15.2	18.8	8.6	5.1	7.1	5.1
	無回答	32	3.1	6.3	9.4	9.4	9.4	3.1	6.3	53.1

年齢別に見ると、「要介護5」は65～69歳では17.0%と多くなっています。

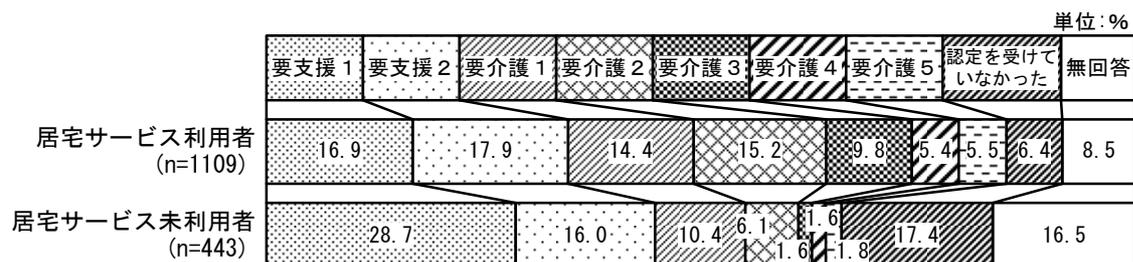
【居宅サービス未利用者：年齢別、圏域別 要介護度】

		n	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
全体		443	33.6	19.0	14.7	9.5	3.2	3.8	3.2	13.1
年齢	65歳未満	21	33.3	4.8	19.0	9.5	4.8	19.0	9.5	0.0
	65～69歳	24	16.7	29.2	12.5	16.7	8.3	8.3	4.2	4.2
	70～74歳	52	32.7	11.5	15.4	11.5	5.8	3.8	1.9	17.3
	75～79歳	92	38.0	17.4	10.9	7.6	3.3	4.3	1.1	17.4
	80～84歳	110	39.1	22.7	15.5	6.4	2.7	0.0	2.7	10.9
	85歳以上	140	30.7	19.3	15.7	11.4	1.4	3.6	4.3	13.6
無回答		4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
圏域	北部	104	35.6	20.2	12.5	10.6	0.0	5.8	1.9	13.5
	西部	136	31.6	17.6	17.6	5.9	6.6	2.2	5.9	12.5
	東部	102	33.3	23.5	17.6	12.7	2.9	1.0	1.0	7.8
	南部	89	34.8	15.7	10.1	11.2	2.2	7.9	1.1	16.9
	無回答	12	33.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3

年齢別に見ると、「要支援1」は75～84歳では4割弱となっています。

14 1年前の要介護度

あなたの1年前の要介護度は、次のどれに該当しますか



居宅サービス利用者では「要支援2」が17.9%と最も多く、次いで「要支援1」が16.9%、「要介護2」が15.2%となっています。居宅サービス未利用者では「要支援1」が28.7%と最も多く、次いで「認定を受けていなかった」が17.4%、「要支援2」が16.0%となっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 1年前の要介護度】

1年前の要介護度		n	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定を受けていなかった	無回答
現在の要介護度											
全体		1,109	16.9	17.9	14.4	15.2	9.8	5.4	5.5	6.4	8.5
要介護度	要支援1	176	63.6	9.1	5.1	1.1	0.0	0.0	0.0	13.1	8.0
	要支援2	230	17.8	60.4	5.2	4.3	0.9	0.4	0.0	3.5	7.4
	要介護1	162	12.3	9.9	53.1	7.4	3.7	0.6	0.0	6.8	6.2
	要介護2	204	2.9	5.4	15.7	55.4	9.3	2.0	0.5	4.4	4.4
	要介護3	126	1.6	3.2	11.9	16.7	49.2	6.3	1.6	5.6	4.0
	要介護4	72	2.8	2.8	2.8	8.3	15.3	54.2	4.2	8.3	1.4
	要介護5	71	0.0	1.4	0.0	2.8	9.9	7.0	73.2	4.2	1.4
無回答		68	5.9	13.2	5.9	4.4	2.9	2.9	4.4	5.9	54.4

要介護度別に見ると、前年と要介護度が変わらない人が、どの要介護度でも概ね半数以上となっています。

【居宅サービス未利用者：要介護度別 1年前の要介護度】

1年前の要介護度		n	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定を受けていなかった	無回答
現在の要介護度											
全体		443	28.7	16.0	10.4	6.1	1.6	1.6	1.8	17.4	16.5
要介護度	要支援1	149	65.1	8.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.4	10.1
	要支援2	84	15.5	51.2	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	17.9	8.3
	要介護1	65	10.8	13.8	43.1	4.6	1.5	0.0	0.0	16.9	9.2
	要介護2	42	0.0	9.5	16.7	45.2	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	要介護3	14	7.1	14.3	14.3	0.0	35.7	7.1	0.0	21.4	0.0
	要介護4	17	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	29.4	11.8	29.4	11.8
	要介護5	14	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	42.9	35.7	0.0
無回答		58	10.3	0.0	3.4	0.0	1.7	0.0	0.0	20.7	63.8

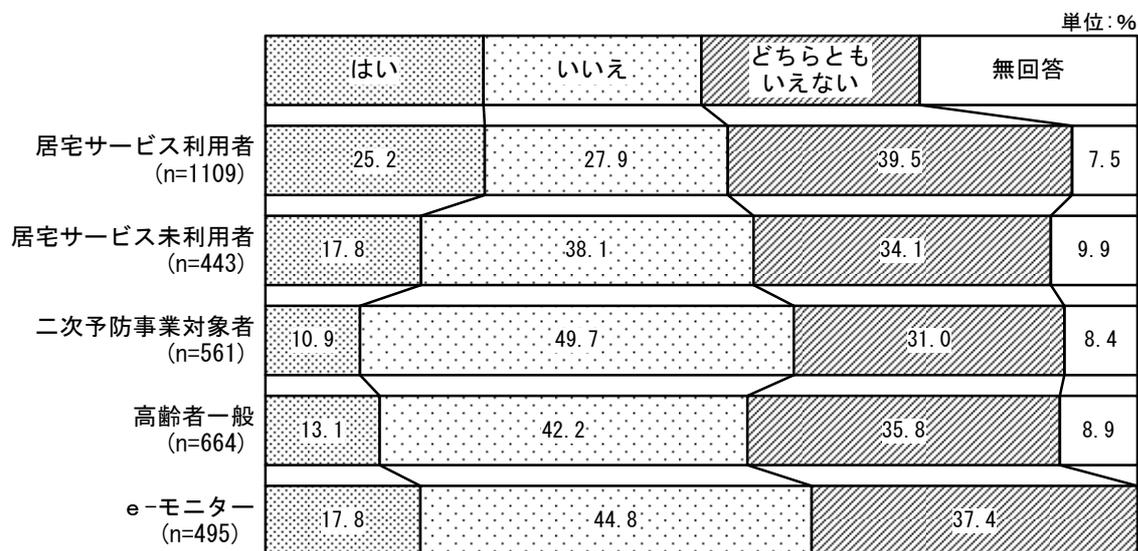
要介護度別に見ると、前年と要介護度が変わらない人が、要支援1・2、要介護1・2では4割以上となっています。

3. 介護保険制度・高齢者施策について

15 介護保険制度について

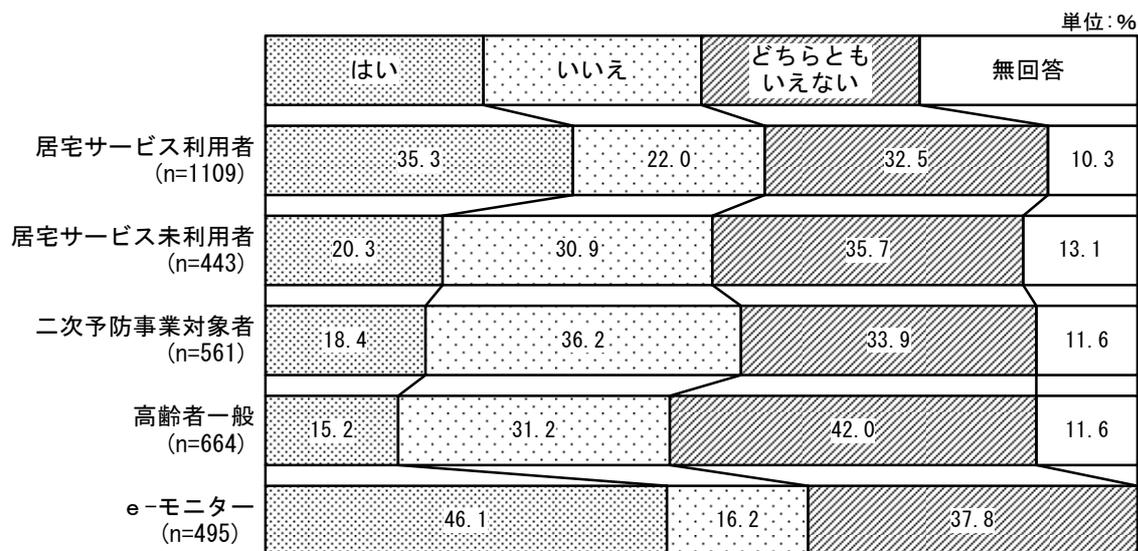
介護保険制度についておたずねします

①介護保険のしくみがよくわかりますか



二次予防事業対象者、高齢者一般、e-モニターでは「いいえ」が4割台となっています。

②さまざまなサービスが利用できると思いますか



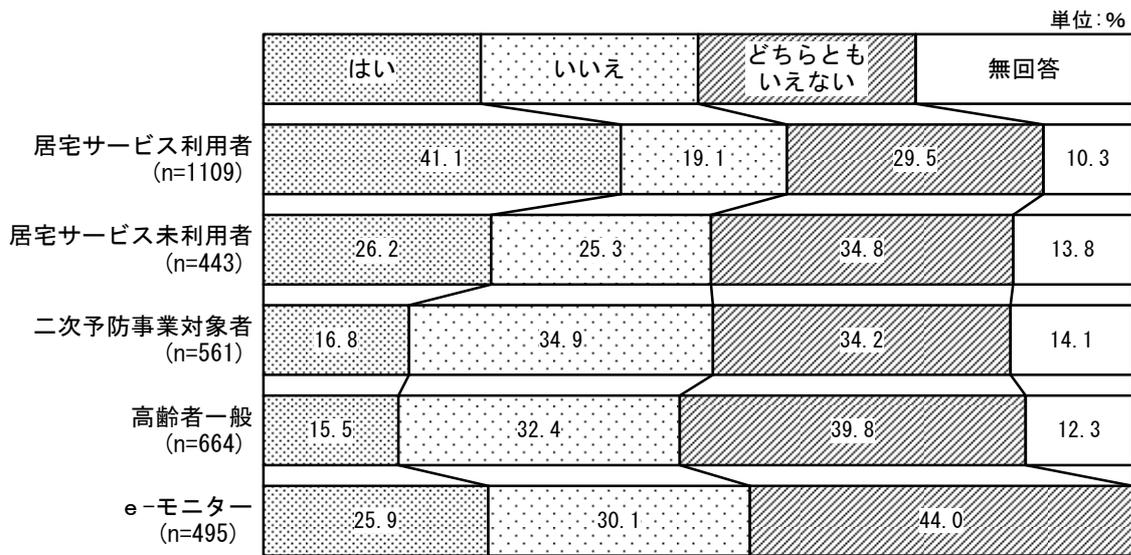
居宅サービス利用者では「はい」が35.3%となっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 ②さまざまなサービスが利用できると思いますか】

	n	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	
全体	1,109	35.3	22.0	32.5	10.3	
要 介 護 度	要支援1	176	24.4	30.1	30.1	15.3
	要支援2	230	31.3	25.7	32.2	10.9
	要介護1	162	37.0	22.2	31.5	9.3
	要介護2	204	32.8	16.7	43.1	7.4
	要介護3	126	47.6	18.3	30.2	4.0
	要介護4	72	50.0	15.3	30.6	4.2
	要介護5	71	50.7	19.7	23.9	5.6
	無回答	68	25.0	20.6	25.0	29.4

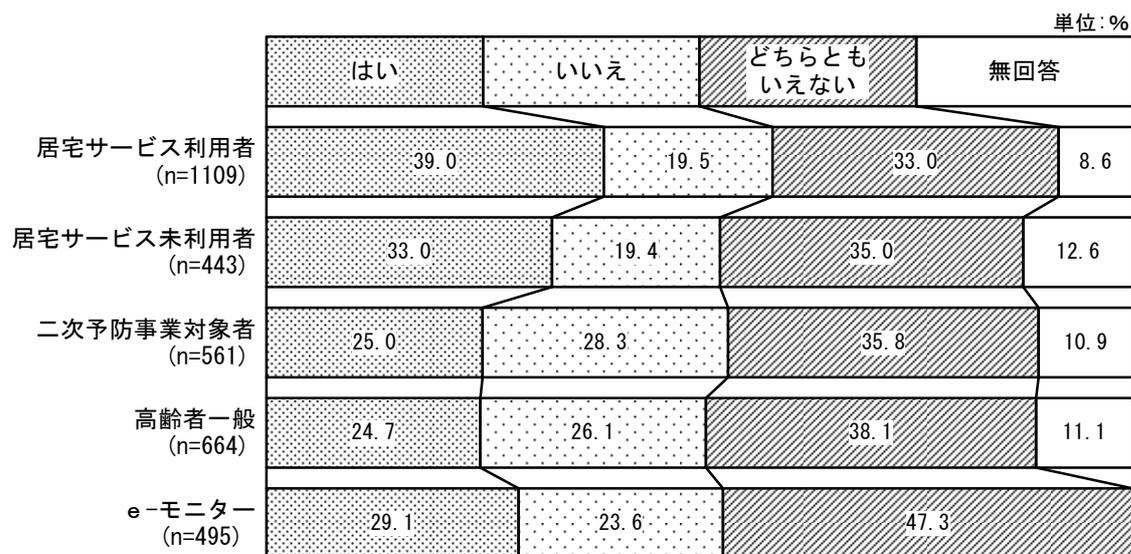
要介護度別に見ると、要介護4・5では「はい」が半数を占めています。

③サービス事業者や施設を自由に選べると思いますか



居宅サービス利用者では「はい」が41.1%となっています。

④介護保険制度を利用することで将来に対する不安が減ると思いますか



居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では「はい」が3割を超えています。

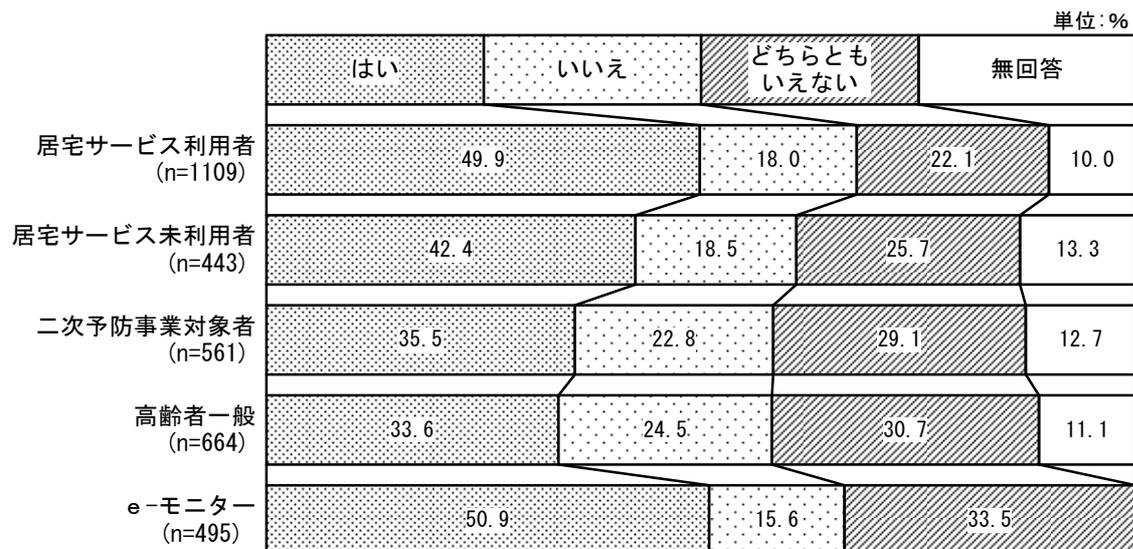
【居宅サービス利用者：要介護度別

④介護保険制度を利用することで将来に対する不安が減ると思いますか】

	n	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	
全体	1,109	39.0	19.5	33.0	8.6	
要介護度	要支援1	176	35.2	25.6	26.1	13.1
	要支援2	230	41.7	19.6	31.3	7.4
	要介護1	162	35.8	18.5	39.5	6.2
	要介護2	204	44.6	17.2	32.8	5.4
	要介護3	126	33.3	23.0	39.7	4.0
	要介護4	72	45.8	13.9	36.1	4.2
	要介護5	71	45.1	16.9	33.8	4.2
	無回答	68	26.5	14.7	25.0	33.8

要介護度別に見ると、要支援2、要介護2・4・5では「はい」が4割以上となっています。

⑤家族や介護者の精神的負担が減ると思いますか



居宅サービス利用者、e-モニターでは「はい」が約5割となっています。

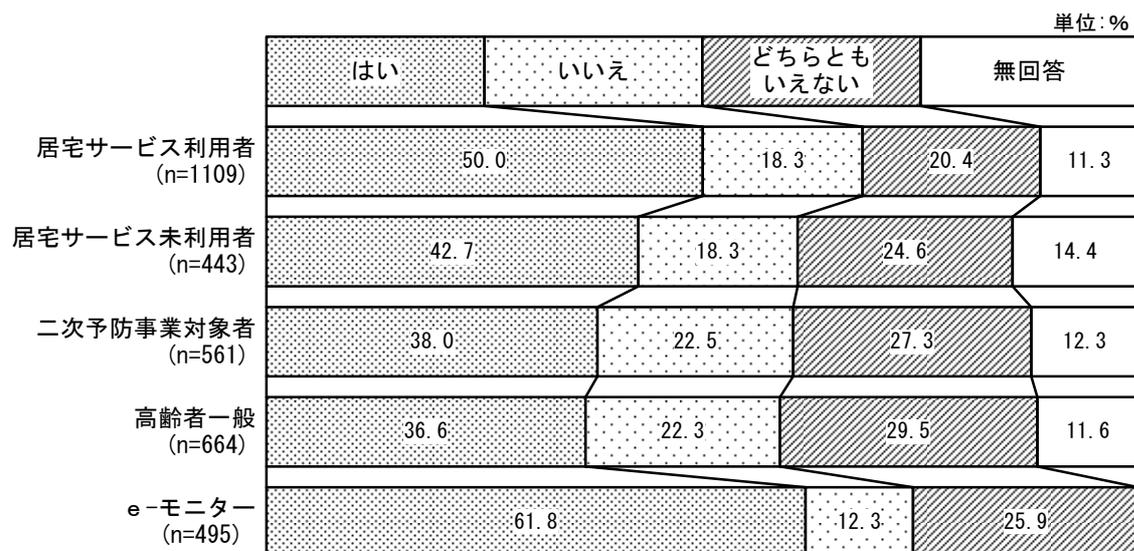
【居宅サービス利用者：性別、要介護度別 ⑤家族や介護者の精神的負担が減ると思いますか】

		n	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
全体		1,109	49.9	18.0	22.1	10.0
性別	男性	340	45.6	22.6	22.1	9.7
	女性	736	52.0	16.0	22.7	9.2
	無回答	33	45.5	15.2	9.1	30.3
要介護度	要支援1	176	46.6	14.8	24.4	14.2
	要支援2	230	49.1	15.7	22.6	12.6
	要介護1	162	50.0	21.0	21.0	8.0
	要介護2	204	56.4	16.7	21.6	5.4
	要介護3	126	53.2	25.4	19.0	2.4
	要介護4	72	51.4	16.7	26.4	5.6
	要介護5	71	47.9	22.5	25.4	4.2
	無回答	68	35.3	14.7	16.2	33.8

性別に見ると、女性は「はい」が半数を占めています。

要介護度別に見ると、要支援1・2、要介護5では「はい」が半数を下回っています。

⑥家族や介護者の身体的負担が減ると思いますか



居宅サービス利用者、e-モニターでは「はい」が5～6割と多くなっています。

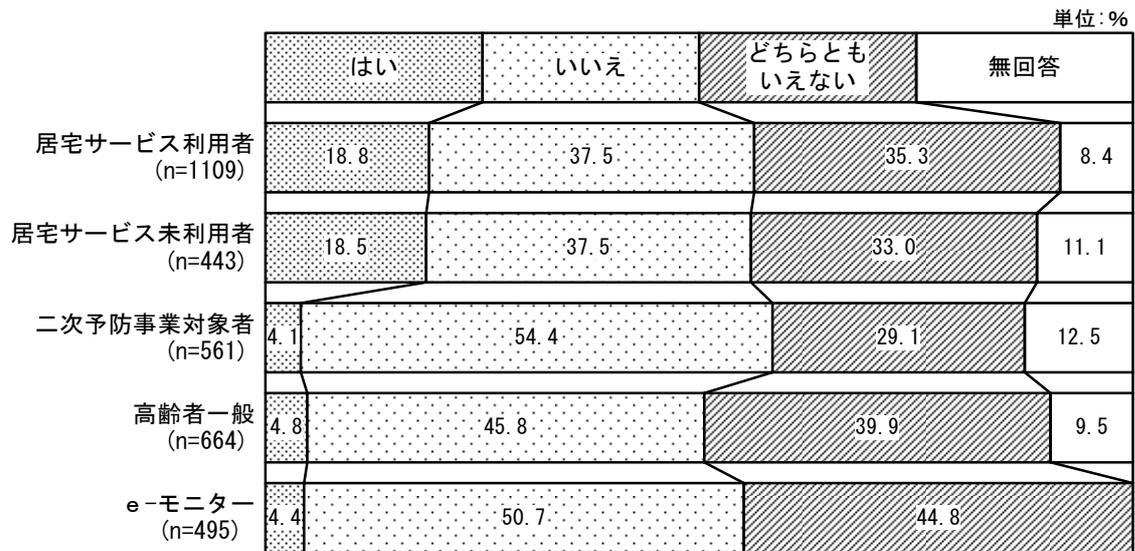
【居宅サービス利用者：性別、要介護度別 ⑥家族や介護者の身体的負担が減ると思いますか】

		n	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
全体		1,109	50.0	18.3	20.4	11.3
性別	男性	340	45.9	23.8	19.4	10.9
	女性	736	52.3	15.9	21.3	10.5
	無回答	33	42.4	15.2	9.1	33.3
要介護度	要支援1	176	48.3	14.8	21.0	15.9
	要支援2	230	48.7	16.1	22.2	13.0
	要介護1	162	50.0	21.0	19.1	9.9
	要介護2	204	55.4	17.2	21.6	5.9
	要介護3	126	53.2	25.4	18.3	3.2
	要介護4	72	51.4	18.1	23.6	6.9
	要介護5	71	56.3	23.9	16.9	2.8
	無回答	68	29.4	13.2	16.2	41.2

性別に見ると、女性は「はい」が半数を占めています。

要介護度別に見ると、要支援1・2では「はい」が半数を下回っています。

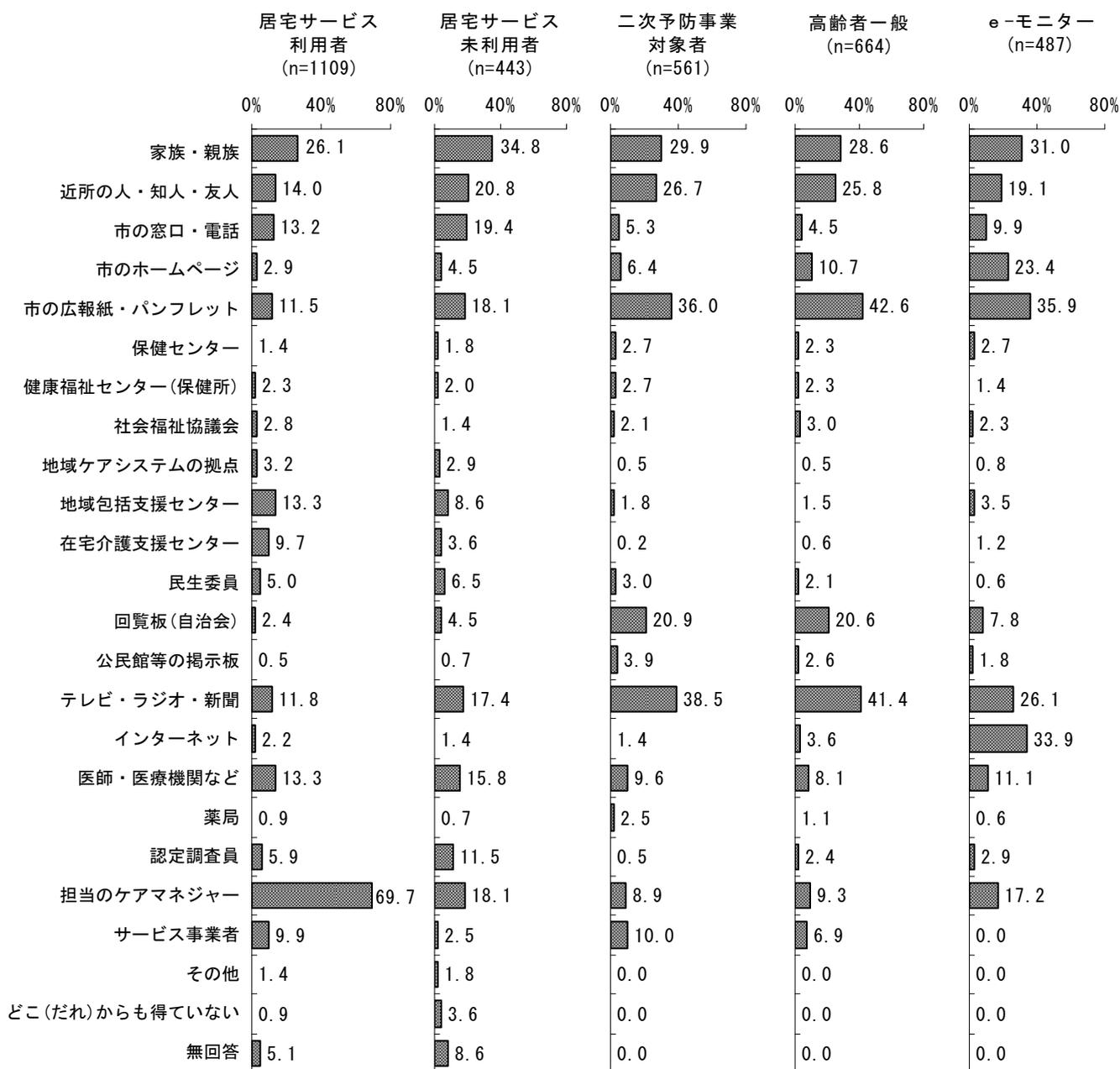
⑦介護認定などの申請や手続きはわかりやすいと思いますか



二次予防事業対象者、高齢者一般、e-モニターでは「いいえ」が4～5割台となっています。

16 介護や福祉に関する情報入手先

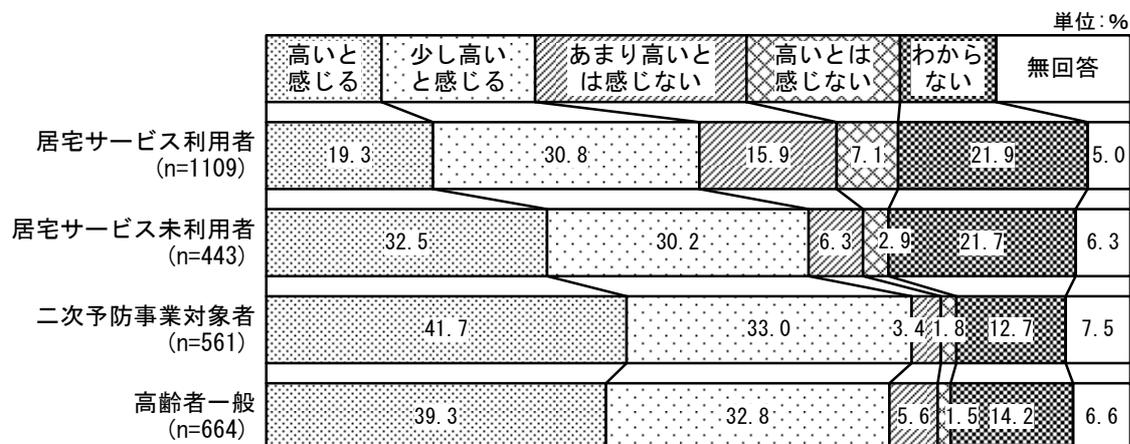
介護や福祉に関する情報は、どこ（だれ）から得ていますか（〇は5つまで）



居宅サービス利用者では「担当のケアマネジャー」が69.7%と最も多くなっています。居宅サービス未利用者では「家族・親族」、二次予防事業対象者、高齢者一般では「市の広報紙・パンフレット」「テレビ・ラジオ・新聞」がともに多くなっています。

17 介護保険料の負担感

あなたが負担している介護保険料について、どのように感じますか



二次予防事業対象者、高齢者一般では『高いと感じる』（「高いと感じる」＋「少し高いと感じる」）が7割を超えています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 介護保険料の負担感】

	n	高いと感じる	少し高いと感じる	あまり高いとは感じない	高いとは感じない	わからない	無回答	
全体	1,109	19.3	30.8	15.9	7.1	21.9	5.0	
要介護度	要支援1	176	18.2	29.5	17.6	9.7	19.9	5.1
	要支援2	230	19.6	31.7	17.4	8.7	18.7	3.9
	要介護1	162	19.8	32.1	14.8	7.4	22.2	3.7
	要介護2	204	16.2	30.4	19.1	7.8	22.5	3.9
	要介護3	126	22.2	35.7	11.9	4.0	20.6	5.6
	要介護4	72	23.6	34.7	11.1	1.4	25.0	4.2
	要介護5	71	28.2	28.2	14.1	5.6	22.5	1.4
無回答	68	10.3	19.1	13.2	5.9	33.8	17.6	

要介護度別に見ると、要支援1と要介護2以外は『高いと感じる』が5割台となっています。

【前回調査との比較 介護保険料の負担感】

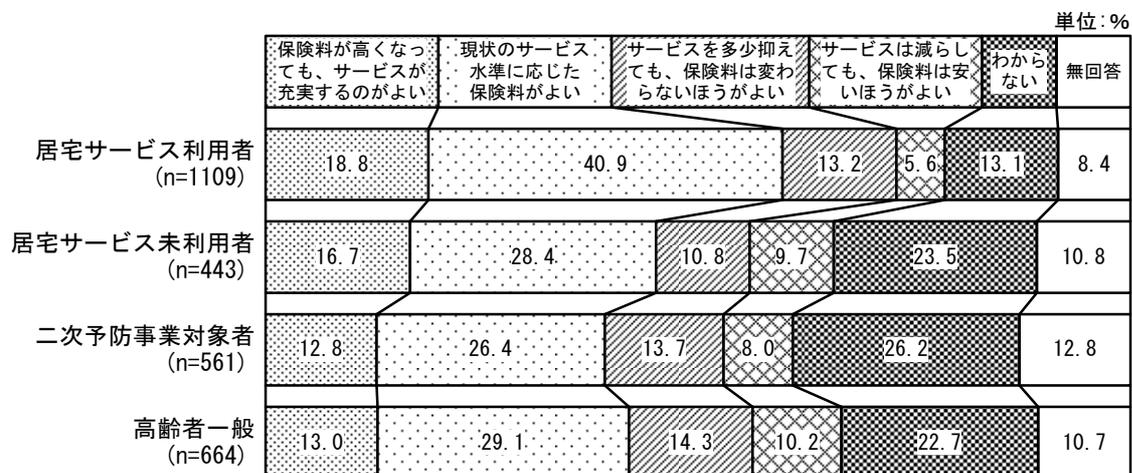
		高いと感じる	少し高いと感じる	あまり高いとは感じない	高いとは感じない	わからない	無回答	『高いと感じる』	『高いとは感じない』
居宅サービス利用者	今回 (n=1109)	19.3	30.8	15.9	7.1	21.9	5.0	50.1	23.0
	前回 (n= 857)	24.0	24.0	12.6	4.9	19.0	15.4	48.0	17.5
	差	-4.7	6.8	3.3	2.2	2.9	-10.4	2.1	5.5
居宅サービス未利用者	今回 (n= 443)	32.5	30.2	6.3	2.9	21.7	6.3	62.7	9.2
	前回 (n= 285)	32.6	27.4	5.3	2.5	18.9	13.3	60.0	7.8
	差	-0.1	2.8	1.0	0.4	2.8	-7.0	2.7	1.4
二次予防事業対象者	今回 (n= 561)	41.7	33.0	3.4	1.8	12.7	7.5	74.7	5.2
	前回 (n= 178)	37.1	29.2	6.2	1.7	17.4	8.4	66.3	7.9
	差	4.6	3.8	-2.8	0.1	-4.7	-0.9	8.4	-2.7
高齢者一般	今回 (n= 664)	39.3	32.8	5.6	1.5	14.2	6.6	72.1	7.1
	前回 (n= 660)	42.6	28.2	6.1	1.7	10.5	11.1	70.8	7.8
	差	-3.3	4.6	-0.5	-0.2	3.7	-4.5	1.3	-0.7

※『高いと感じる』 = 「高いと感じる」 + 「少し高いと感じる」
『高いとは感じない』 = 「あまり高いとは感じない」 + 「高いとは感じない」

前回調査と比較すると、二次予防事業対象者では『高いと感じる』がやや増加しています。

18 介護保険サービスと介護保険料のあり方についての考え

今後、厚生労働省の試算では、高齢社会の進行により「現行の介護サービスを維持する場合でも保険料は高くなる」と言われていますが、今後の介護保険サービスと介護保険料のあり方について、どのように考えますか



居宅サービス利用者では「現状のサービス水準に応じた保険料がよい」が40.9%と最も多くなっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 介護保険サービスと介護保険料のあり方についての考え】

	n	保険料が高くなっても、サービスが充実するのがよい	現状のサービス水準に応じた保険料がよい	サービスを多少抑えても、保険料は変わらないほうがよい	サービスは減らしても、保険料は安いほうがよい	わからない	無回答	
全体	1,109	18.8	40.9	13.2	5.6	13.1	8.4	
要介護度	要支援1	176	18.8	41.5	13.1	5.7	8.5	12.5
	要支援2	230	19.6	40.4	14.3	7.4	13.9	4.3
	要介護1	162	19.8	40.7	11.7	6.8	14.8	6.2
	要介護2	204	18.6	44.6	13.2	5.9	11.3	6.4
	要介護3	126	19.0	41.3	12.7	2.4	16.7	7.9
	要介護4	72	16.7	48.6	9.7	4.2	13.9	6.9
	要介護5	71	26.8	40.8	15.5	1.4	11.3	4.2
	無回答	68	8.8	22.1	14.7	7.4	17.6	29.4

要介護度別に見ると、要介護5は他の介護度に比べて「介護保険料が高くなってもサービスが充実するのがよい」の割合が多くなっています。

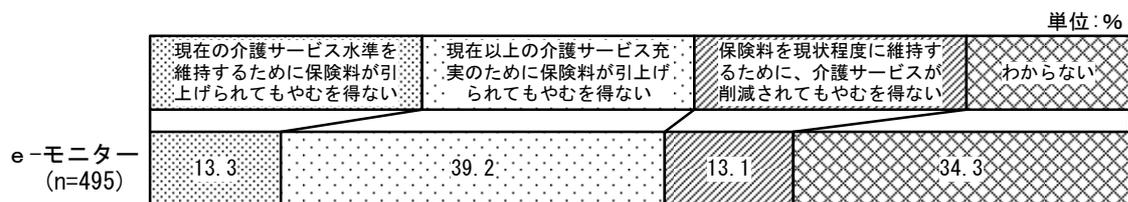
【居宅サービス未利用者：要介護度別 介護保険サービスと介護保険料のあり方についての考え】

	n	保険料が高くなっても、サービスが充実するのがよい	現状のサービス水準に応じた保険料がよい	保険料は変わらないほうがよい	サービスを多少抑えても、保険料は安いほうがよい	サービスは減らしても、保険料は安いほうがよい	わからない	無回答
全体	443	16.7	28.4	10.8	9.7	23.5	10.8	
要介護度	要支援1	149	14.8	28.9	14.8	10.7	22.1	8.7
	要支援2	84	17.9	32.1	13.1	7.1	22.6	7.1
	要介護1	65	16.9	23.1	6.2	7.7	35.4	10.8
	要介護2	42	21.4	26.2	4.8	14.3	28.6	4.8
	要介護3	14	21.4	42.9	0.0	14.3	7.1	14.3
	要介護4	17	5.9	58.8	11.8	11.8	5.9	5.9
	要介護5	14	14.3	21.4	7.1	14.3	28.6	14.3
	無回答	58	19.0	19.0	10.3	6.9	19.0	25.9

要介護度別に見ると、「介護保険料が高くなっても、サービスが充実するのがよい」は、要介護4では他の要介護度に比べての割合が少なくなっています。「現状のサービス水準に応じた保険料がよい」は、要介護3・4では他の要介護度に比べて割合が多くなっています。

19 介護保険サービスの費用負担についての考え

介護保険サービスの費用にあてる保険料負担について、あなたの考えに最も近いものを下記の中から1つ選んでください

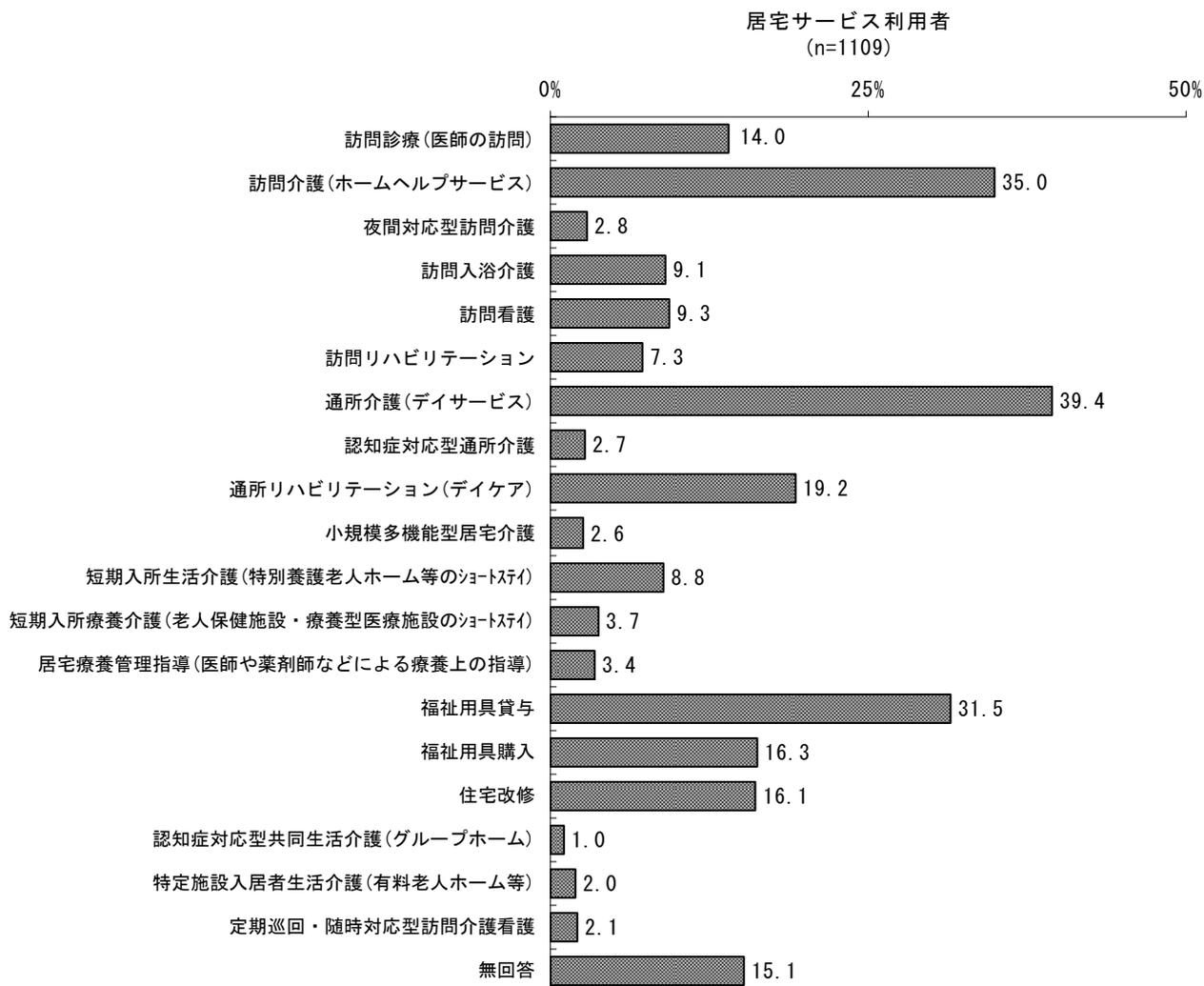


「現在以上の介護サービス充実のためであれば、さらに保険料が引上げられてもやむを得ない」が39.2%と最も多くなっています。

20 サービスの利用状況、満足度、不満の理由

現在利用している介護保険サービスに○をつけ、満足度をお答えください。また「やや不満」か「不満」を選んだ方は、その理由に○をつけてください。

①利用状況



「通所介護 (デイサービス)」が 39.4%と最も多く、次いで「訪問介護 (ホームヘルプサービス)」が 35.0%、「福祉用具貸与」が 31.5%となっています。

②満足度

居宅サービス利用者

	単位：%					満足 + やや満足
	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
訪問診療(医師の訪問) (n=155)	52.9		30.3	10.3	6.5	83.2
訪問介護(ホームヘルプサービス) (n=388)	47.4		36.6	11.3	3.1	1.5 84.0
夜間対応型訪問介護 (n=31)	41.9	22.6	16.1	19.4		64.5
訪問入浴介護 (n=101)	63.4		26.7	5.9	3.0	1.0 90.1
訪問看護 (n=103)	53.4		30.1	9.7	5.8	1.0 83.5
訪問リハビリテーション (n=81)	49.4	27.2	9.9	12.3		1.2 76.6
通所介護(デイサービス) (n=437)	51.9	37.1	8.2	1.4		1.4 89.0
認知症対応型通所介護 (n=30)	20.0	43.3	6.7	30.0		63.3
通所リハビリテーション(デイケア) (n=213)	46.5	39.9	9.4	2.8		1.4 86.4
小規模多機能型居宅介護 (n=29)	37.9	24.1	27.6	10.3		62.0
短期入所生活介護(特別養護老人 ホーム等のショートステイ)(n=98)	35.7	37.8	20.4	3.1		3.1 73.5
短期入所療養介護(老人保健施設・ 療養型医療施設のショートステイ)(n=41)	29.3	26.8	26.8	14.6		2.4 56.1
居宅療養管理指導(医師や薬剤師 などによる療養上の指導)(n=38)	50.0	26.3	10.5	13.2		76.3
福祉用具貸与 (n=349)	65.9		26.9	3.4	2.6	1.1 92.8
福祉用具購入 (n=181)	53.6	35.4	6.6	3.9		0.6 89.0
住宅改修 (n=178)	50.6	33.1	9.6	6.7		83.7
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)(n=11)	18.2	36.4	9.1	36.4		54.6
特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)(n=22)	9.1	27.3	27.3	36.4		36.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (n=23)	56.5	4.3	13.0	26.1		60.8

『満足』(「満足」+「やや満足」)が19項目中9項目で8割以上となっています。

③不満の理由

居宅サービス利用者

(複数回答)

単位：%

	n	利用 できる回数や 時間が少ない	利用 料の負担が 大きい	利用 したい時に 利用できない	事業 者・職員 の 対応が悪い	サー ビスの 内容が 希望に 合わない	その他	無 回答
訪問診療（医師の訪問）	26	23.1	30.8	15.4	7.7	26.9	19.2	7.7
訪問介護（ホームヘルプサービス）	56	41.1	12.5	21.4	7.1	21.4	16.1	10.7
夜間対応型訪問介護	11	18.2	-	9.1	-	18.2	54.5	-
訪問入浴介護	9	11.1	11.1	-	11.1	22.2	33.3	11.1
訪問看護	16	31.3	12.5	6.3	6.3	6.3	25.0	12.5
訪問リハビリテーション	18	33.3	11.1	5.6	-	22.2	16.7	16.7
通所介護（デイサービス）	42	23.8	11.9	16.7	14.3	31.0	21.4	7.1
認知症対応型通所介護	11	9.1	27.3	9.1	-	9.1	45.5	-
通所リハビリテーション（デイケア）	26	26.9	15.4	19.2	15.4	26.9	15.4	7.7
小規模多機能型居宅介護	11	-	27.3	27.3	27.3	9.1	36.4	-
短期入所生活介護 （特別養護老人ホーム等のショートステイ）	23	13.0	21.7	47.8	4.3	26.1	13.0	4.3
短期入所療養介護 （老人保健施設・療養型医療施設のショートステイ）	17	23.5	23.5	23.5	-	11.8	35.3	5.9
居宅療養管理指導 （医師や薬剤師などによる療養上の指導）	9	-	11.1	11.1	-	11.1	66.7	-
福祉用具貸与	21	-	33.3	4.8	4.8	19.0	19.0	19.0
福祉用具購入	19	5.3	36.8	15.8	-	15.8	21.1	10.5
住宅改修	29	10.3	27.6	3.4	10.3	10.3	37.9	10.3
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	5	-	-	-	-	-	100.0	-
特定施設入居者生活介護 （有料老人ホーム等）	14	-	14.3	28.6	-	7.1	42.9	14.3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	11.1	-	11.1	-	22.2	55.6	-

訪問介護（ホームヘルプサービス）では「利用できる回数や時間が少ない」、通所介護（デイサービス）では「サービスの内容が希望に合わない」が多くなっています。

21 自費負担の有無

介護保険サービスの限度額を超えて自費負担をしていますか

単位：%

	している	していない	無回答
居宅サービス利用者 (n=1109)	20.3	62.9	16.8

「している」が20.3%、「していない」が62.9%となっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 自費負担の有無】

		n	している	していない	無回答
全体		1,109	20.3	62.9	16.8
要 介 護 度	要支援1	176	14.2	63.6	22.2
	要支援2	230	19.1	63.9	17.0
	要介護1	162	16.7	72.2	11.1
	要介護2	204	20.6	65.2	14.2
	要介護3	126	24.6	62.7	12.7
	要介護4	72	29.2	55.6	15.3
	要介護5	71	36.6	57.7	5.6
	無回答	68	13.2	42.6	44.1

要介護度別に見ると、「している」は概ね要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要介護5では36.6%となっています。

21-1 自費負担額

(限度額を超えて負担している方のみ) その場合の負担額は1か月あたりおいくらですか

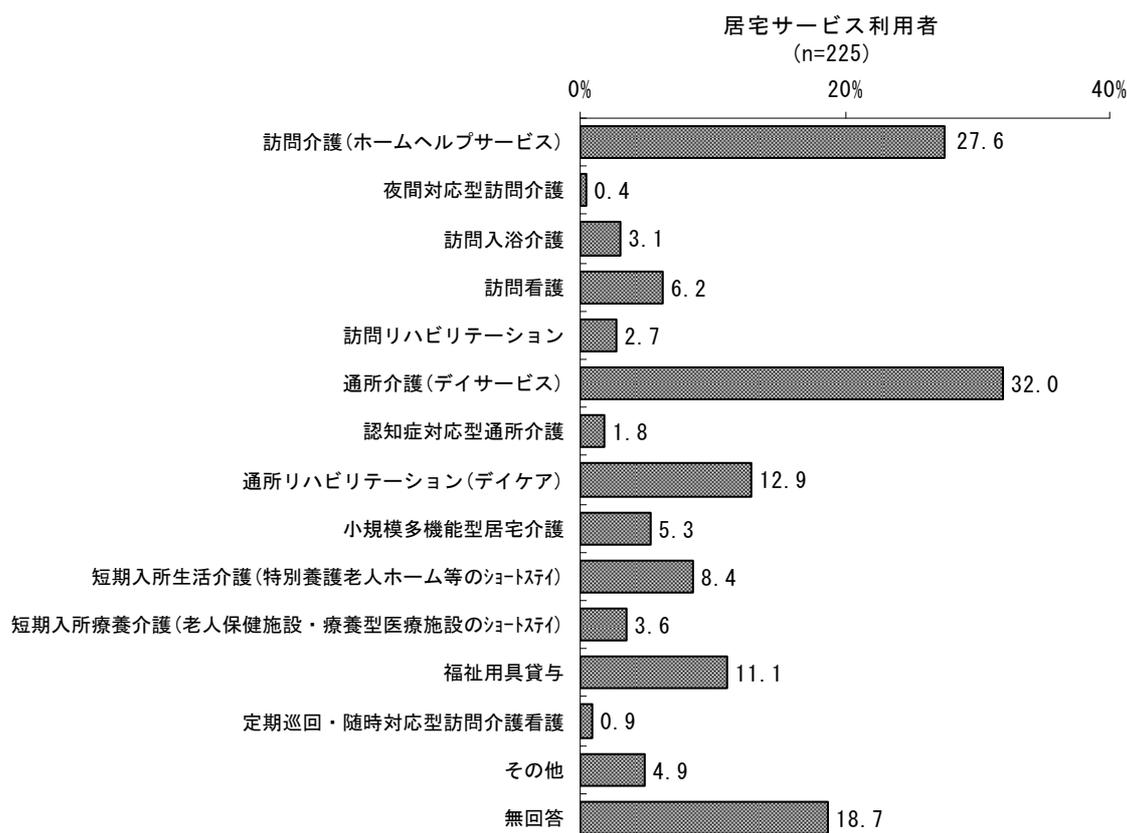
単位: %

	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円以上	無回答
居宅サービス利用者 (n=225)	24.9	16.4	29.8	7.1	4.9	7.6	9.3

「1万円～3万円未満」が29.8%と最も多く、次いで「5千円未満」が24.9%、「5千円～1万円未満」が16.4%となっています。

21-2 主に利用しているサービス

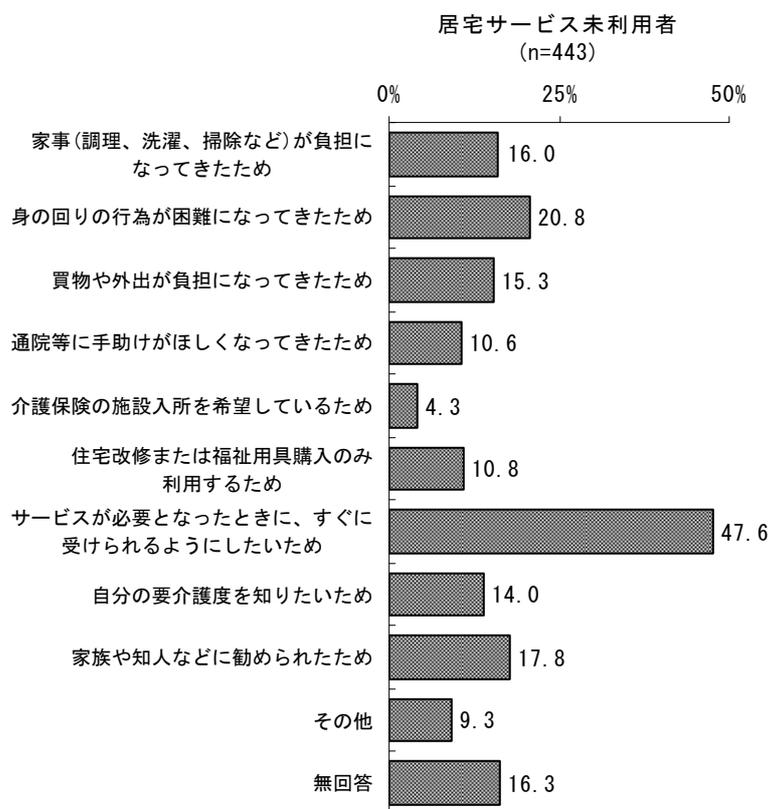
(限度額を超えて負担している方のみ) 主に利用している介護保険サービスは何ですか (費用負担の大きいサービスを3つまで)



「通所介護 (デイサービス)」が32.0%と最も多く、次いで「訪問介護 (ホームヘルプサービス)」が27.6%、「通所リハビリテーション (デイケア)」が12.9%となっています。

22 介護保険の認定申請をした理由

介護保険の認定申請をされた理由は何ですか（〇は3つまで）



「サービスが必要となったときに、すぐに受けられるようにしたいため」が47.6%と最も多くなっています。

23 介護保険サービスの利用状況

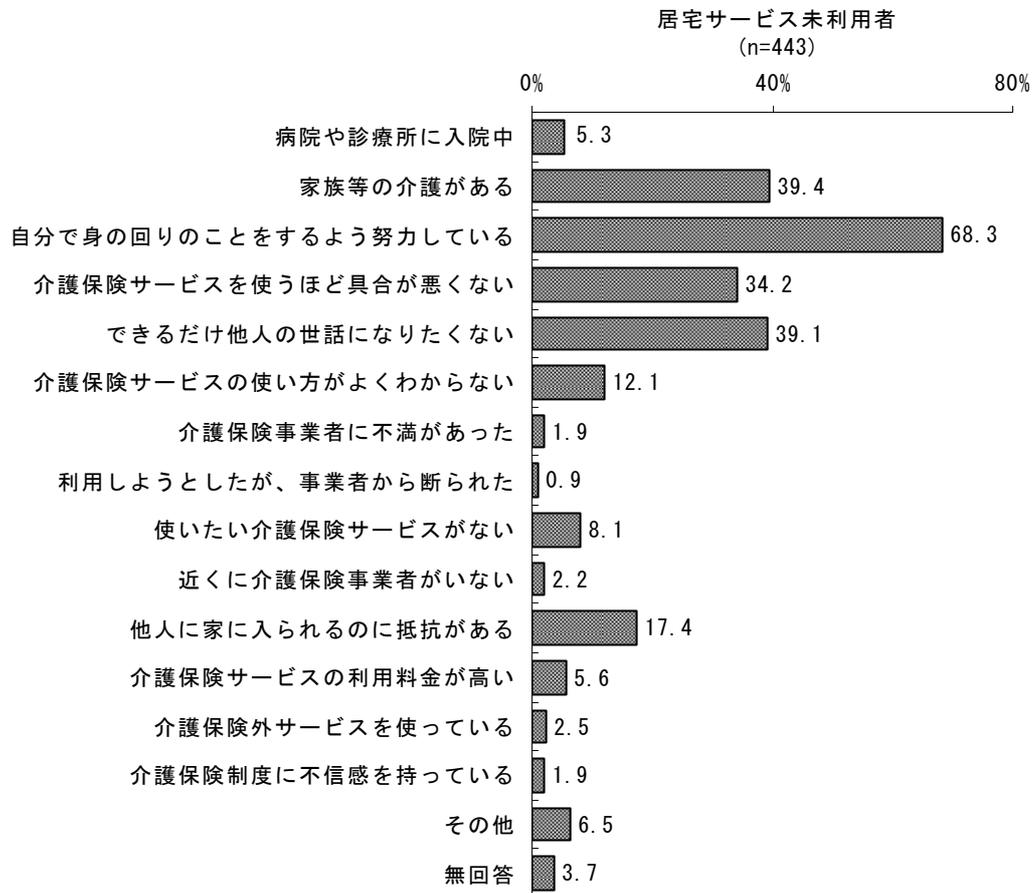
現在、介護保険サービスは利用していますか



「利用していない」が63.0%と最も多く、次いで「利用している」が15.1%、「過去に利用したことがある」が9.7%となっています。

23-1 介護保険サービスを利用していない理由

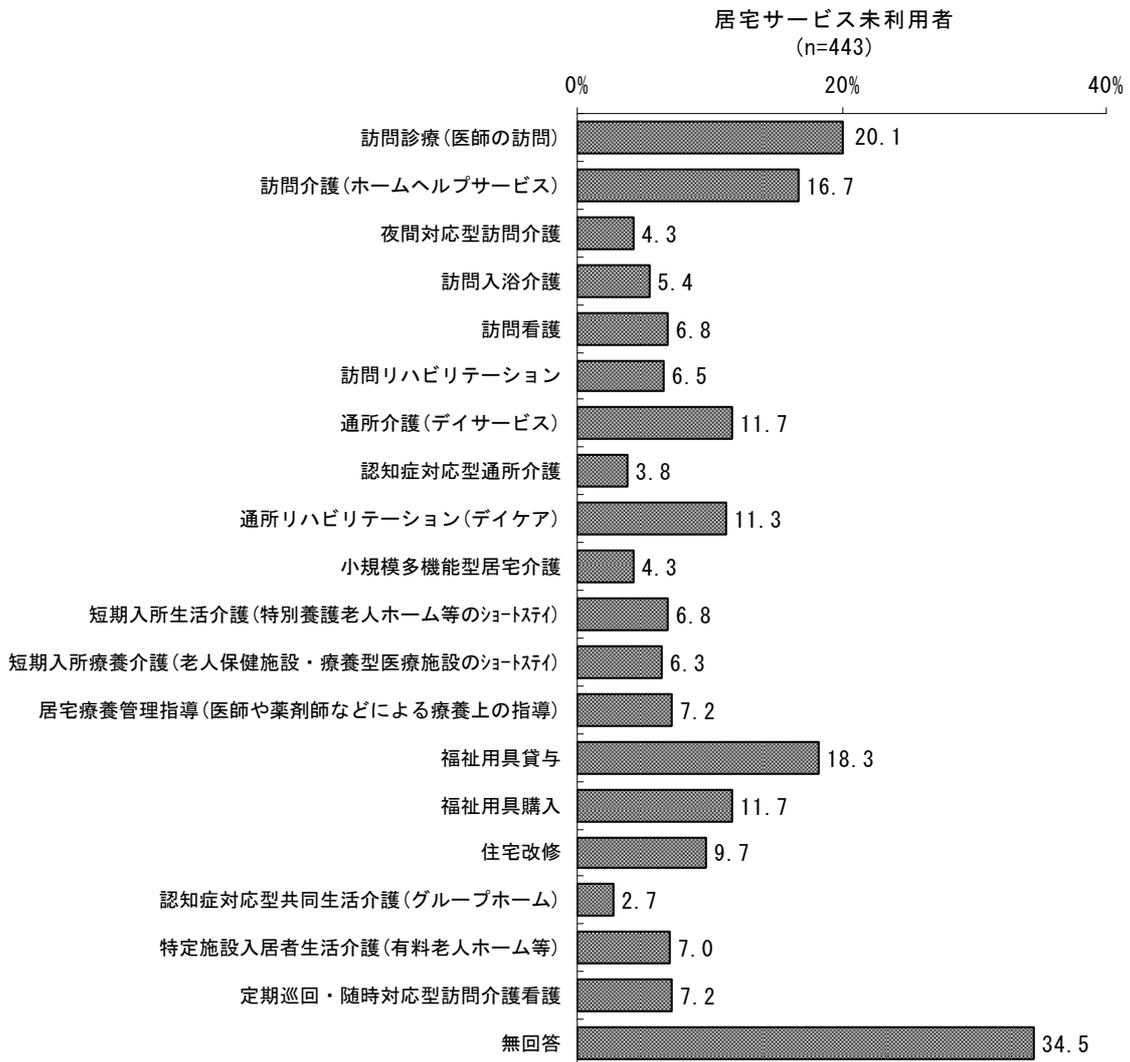
(現在、介護保険サービスを利用していない方のみ) 現在、介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか (〇は5つまで)



「自分で身の回りのことをするよう努力している」が68.3%と最も多く、次いで「家族等の介護がある」が39.4%、「できるだけ他人の世話になりたくない」が39.1%となっています。

24 今後利用したいサービス

今後、利用したいサービスは何ですか（いくつでも）

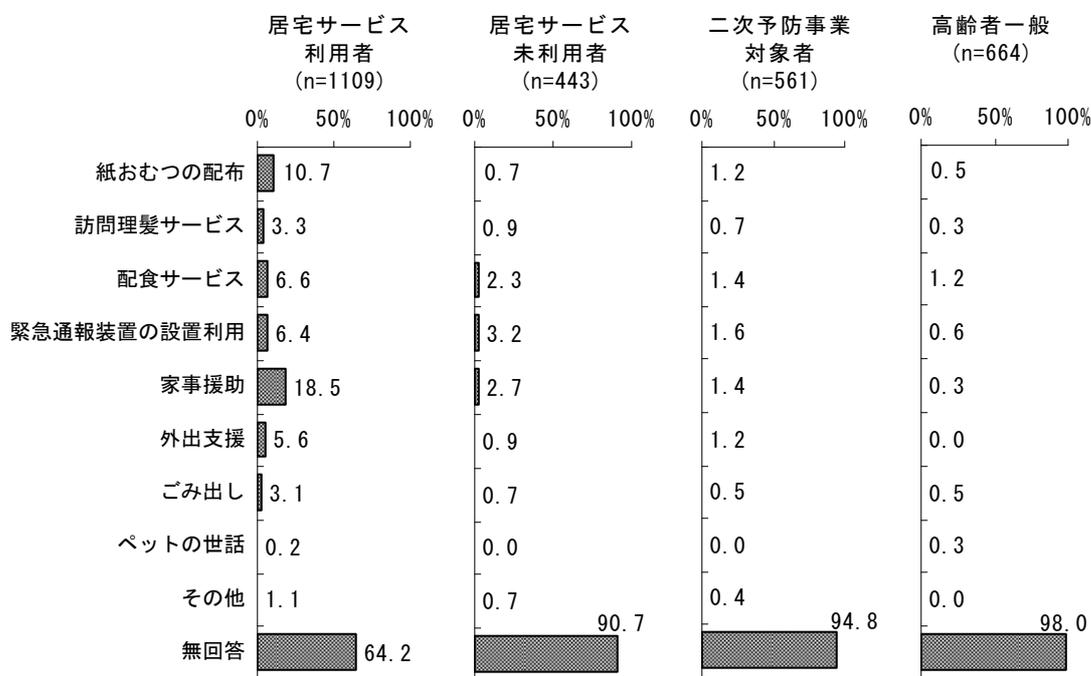


「訪問診療 (医師の訪問)」が 20.1%と最も多く、次いで「福祉用具貸与」が 18.3%、「訪問介護 (ホームヘルプサービス)」が 16.7%となっています。

25 生活支援サービスの利用状況と利用意向

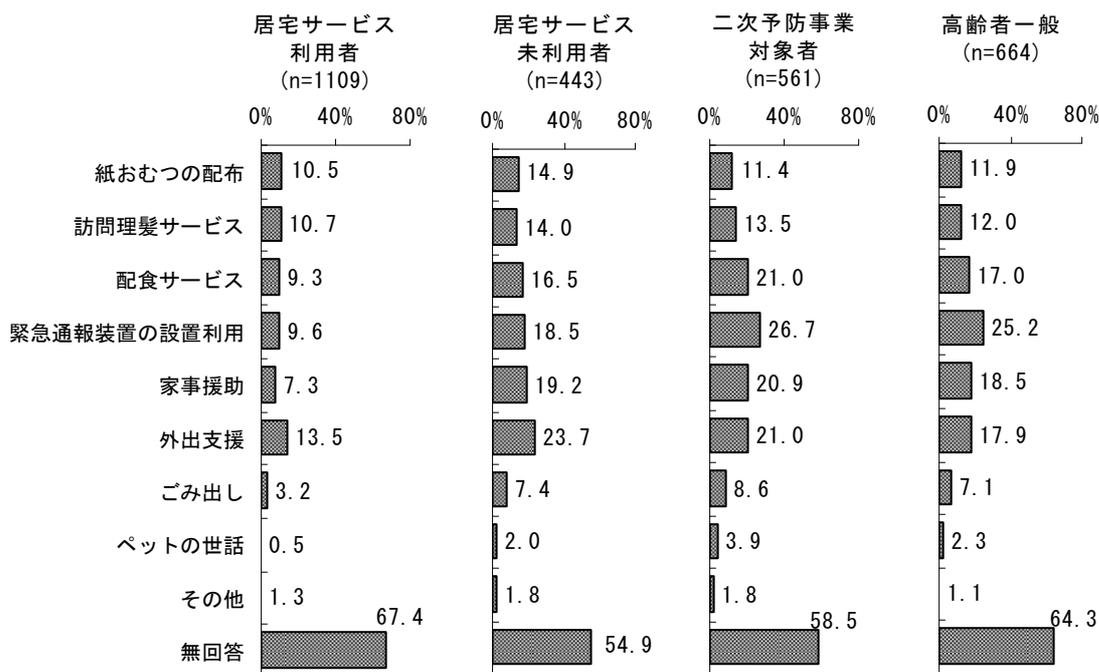
以下の介護保険サービス以外のサービス（生活支援サービス）で現在利用されているもの、また、今後新たに利用したいサービスは何ですか（いくつでも）

①現在利用しているサービス



居宅サービス利用者では「家事援助（掃除、洗濯、買物など）」が18.5%となっています。

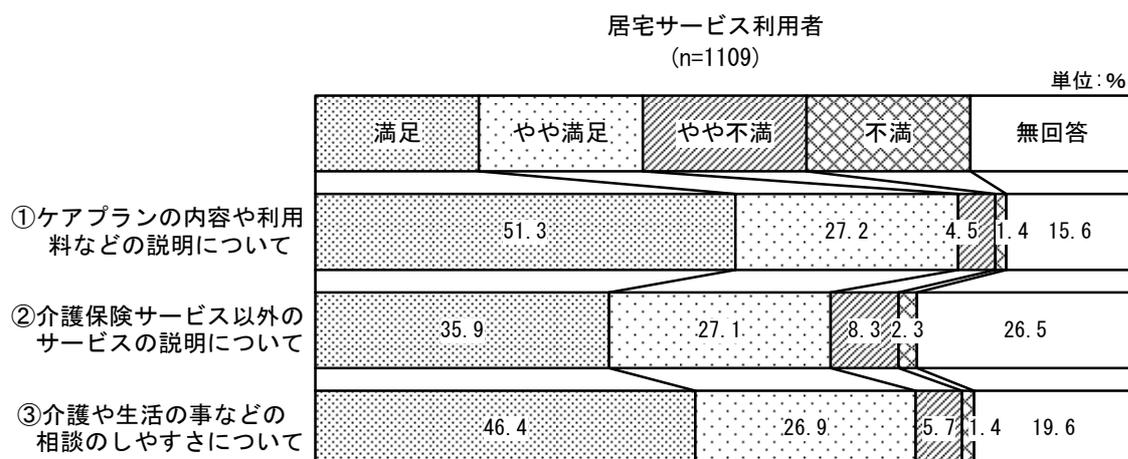
②今後新たに利用したいサービス



二次予防事業対象者、高齢者一般では「緊急通報装置の設置利用」が最も多くなっています。

26 ケアマネジャーの対応について

ケアマネジャーの対応について、どのように感じていますか



『満足』（「満足」＋「やや満足」）は、「①ケアプランの内容や利用料などの説明について」と「③介護や生活の事などの相談のしやすさについて」が7割台、「②介護保険サービス以外のサービスの説明について」が6割強となっています。

【居宅サービス利用者：性別、年齢別、要介護度別
①ケアプランの内容や利用料などの説明について】

		n	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体		1,109	51.3	27.2	4.5	1.4	15.6
性別	男性	340	49.4	28.8	4.1	2.1	15.6
	女性	736	53.3	26.6	4.8	1.1	14.3
	無回答	33	27.3	24.2	3.0	0.0	45.5
年齢	65歳未満	34	58.8	32.4	2.9	0.0	5.9
	65～69歳	47	55.3	25.5	8.5	0.0	10.6
	70～74歳	118	44.1	28.8	5.1	2.5	19.5
	75～79歳	180	43.3	30.0	3.9	1.1	21.7
	80～84歳	278	53.6	25.2	4.3	1.1	15.8
	85歳以上	426	55.4	27.2	4.5	1.6	11.3
	無回答	26	30.8	19.2	3.8	0.0	46.2
要介護度	要支援1	176	48.3	22.2	5.7	0.6	23.3
	要支援2	230	49.6	25.2	6.5	0.9	17.8
	要介護1	162	53.7	27.8	4.3	3.1	11.1
	要介護2	204	57.4	29.4	2.5	1.5	9.3
	要介護3	126	50.0	35.7	2.4	0.8	11.1
	要介護4	72	45.8	37.5	6.9	0.0	9.7
	要介護5	71	64.8	23.9	4.2	4.2	2.8
	無回答	68	35.3	16.2	2.9	0.0	45.6

性別、年齢別、要介護度別とも、いずれの階層でも『満足』が7割以上となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別】
②介護保険サービス以外のサービスの説明について】

		n	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体		1,109	35.9	27.1	8.3	2.3	26.5
年齢	65歳未満	34	50.0	35.3	5.9	0.0	8.8
	65～69歳	47	40.4	25.5	10.6	6.4	17.0
	70～74歳	118	28.8	28.8	7.6	5.1	29.7
	75～79歳	180	29.4	30.0	10.0	2.8	27.8
	80～84歳	278	34.9	25.5	7.2	1.4	30.9
	85歳以上	426	40.1	26.8	8.7	1.6	22.8
	無回答	26	26.9	11.5	3.8	0.0	57.7
要介護度	要支援1	176	28.4	22.7	5.1	1.7	42.0
	要支援2	230	34.3	23.9	8.3	2.2	31.3
	要介護1	162	36.4	34.6	8.6	3.1	17.3
	要介護2	204	41.2	27.0	10.8	1.5	19.6
	要介護3	126	39.7	32.5	8.7	1.6	17.5
	要介護4	72	33.3	38.9	8.3	1.4	18.1
	要介護5	71	53.5	25.4	8.5	7.0	5.6
	無回答	68	20.6	10.3	7.4	1.5	60.3

年齢別に見ると、65歳未満で『満足』が8割以上となっています。
要介護度別に見ると、要介護1～5では『満足』が概ね7割以上となっています。

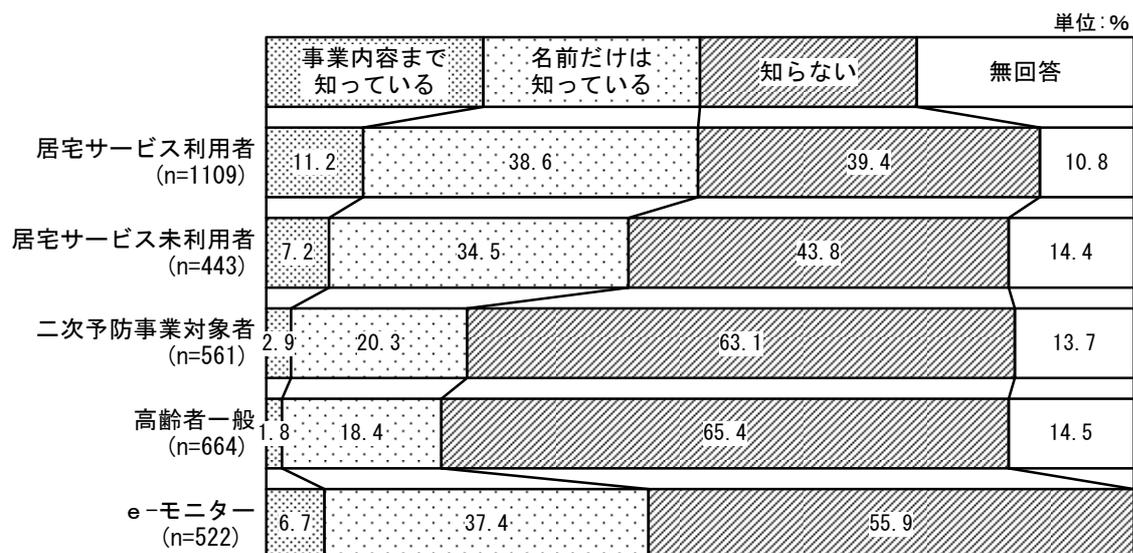
【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別】
③介護や生活の事などの相談のしやすさについて】

		n	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体		1,109	46.4	26.9	5.7	1.4	19.6
年齢	65歳未満	34	58.8	32.4	2.9	0.0	5.9
	65～69歳	47	55.3	23.4	8.5	2.1	10.6
	70～74歳	118	36.4	32.2	6.8	4.2	20.3
	75～79歳	180	40.0	27.2	7.2	1.1	24.4
	80～84歳	278	47.5	24.8	6.1	1.4	20.1
	85歳以上	426	50.0	27.0	4.7	0.9	17.4
	無回答	26	34.6	19.2	0.0	0.0	46.2
要介護度	要支援1	176	36.4	26.1	5.7	1.1	30.7
	要支援2	230	43.5	25.2	5.7	1.3	24.3
	要介護1	162	48.1	30.2	7.4	1.9	12.3
	要介護2	204	53.4	29.9	3.4	1.0	12.3
	要介護3	126	53.2	29.4	3.2	1.6	12.7
	要介護4	72	44.4	33.3	9.7	0.0	12.5
	要介護5	71	63.4	18.3	8.5	5.6	4.2
	無回答	68	29.4	14.7	5.9	0.0	50.0

年齢別に見ると、65歳未満では『満足』が9割以上となっています。
要介護度別に見ると、要介護1～5では『満足』が7割以上となっています。

27 地域包括支援センターの認知度

地域包括支援センターについて、知っていますか



二次予防事業対象者、高齢者一般では「知らない」が6割以上となっています。

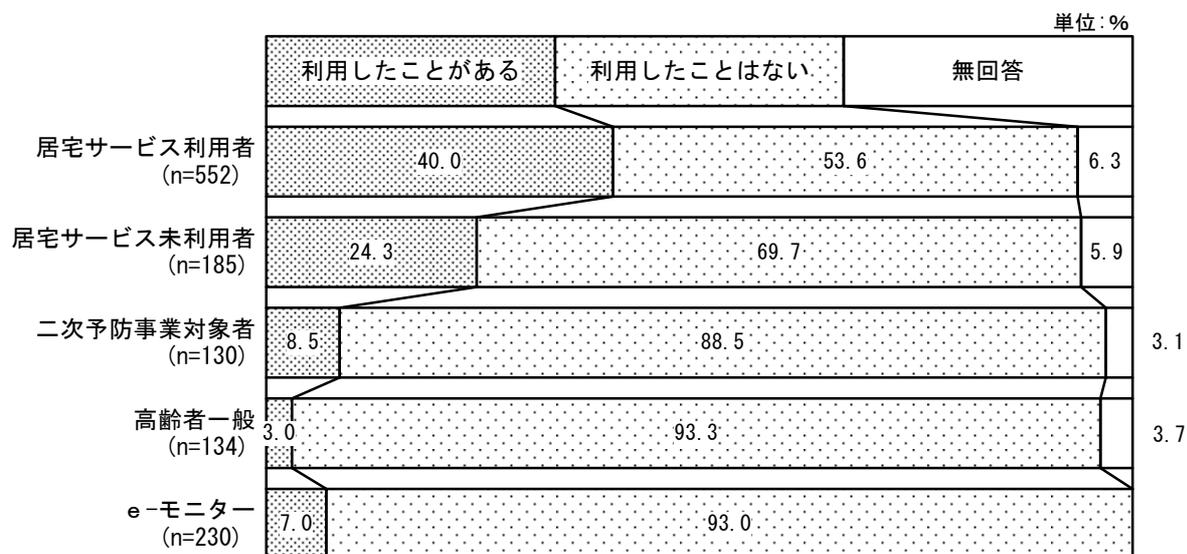
【前回調査との比較 地域包括支援センターの認知度】

		事業内容まで 知っている	名前だけは 知っている	知らない	無回答
居宅サービス利用者	今回 (n=1109)	11.2	38.6	39.4	10.8
	前回 (n= 857)	6.7	40.3	45.6	7.5
	差	4.5	-1.7	-6.2	3.3
居宅サービス未利用者	今回 (n= 443)	7.2	34.5	43.8	14.4
	前回 (n= 285)	6.3	38.2	44.9	10.5
	差	0.9	-3.7	-1.1	3.9
二次予防事業対象者	今回 (n= 561)	2.9	20.3	63.1	13.7
	前回 (n= 178)	6.2	32.6	53.4	7.9
	差	-3.3	-12.3	9.7	5.8
高齢者一般	今回 (n= 664)	1.8	18.4	65.4	14.5
	前回 (n= 660)	1.5	28.3	64.5	5.6
	差	0.3	-9.9	0.9	8.9
e-モニター	今回 (n= 522)	6.7	37.4	55.9	0.0
	前回 (n= 715)	6.0	31.5	62.5	0.0
	差	0.7	5.9	-6.6	0.0

前回調査と比較すると、二次予防事業対象者では「名前だけは知っている」が減少し、「知らない」が増加しています。高齢者一般では「名前だけは知っている」が減少しています。

27-1 地域包括支援センターの利用状況

地域包括支援センターを利用したことがありますか



「利用したことがある」は、居宅サービス利用者では 40.0%、居宅サービス未利用者では 24.3% となっています。

【居宅サービス利用者：圏域別、要介護度別 地域包括支援センターの利用状況】

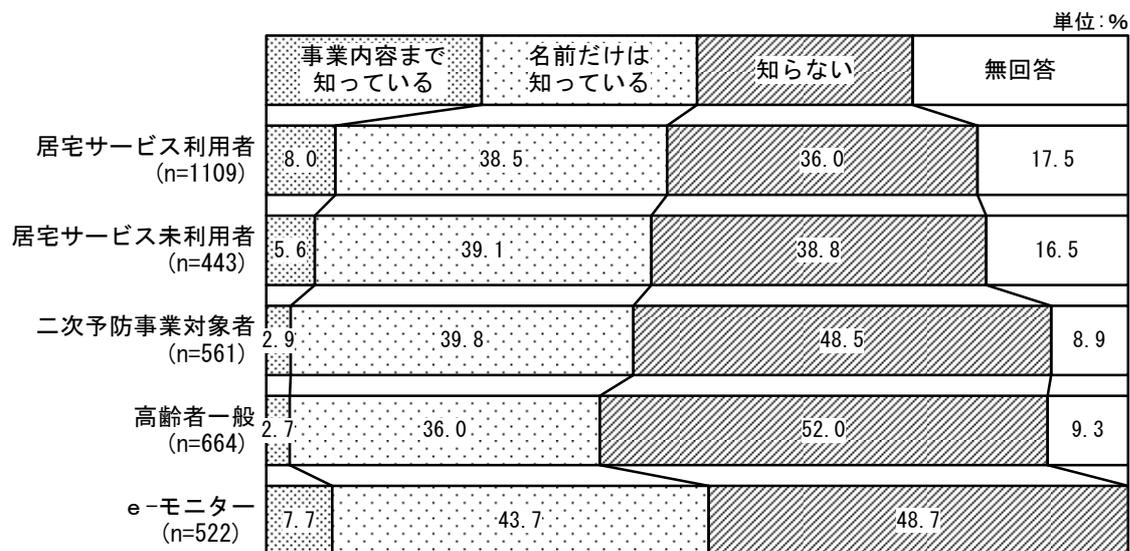
		n	利用したことがある	利用したことはない	無回答
全体		552	40.0	53.6	6.3
圏域	北部	150	45.3	47.3	7.3
	西部	180	37.2	57.8	5.0
	東部	120	32.5	59.2	8.3
	南部	98	48.0	46.9	5.1
	無回答	4	0.0	100.0	0.0
要介護度	要支援1	98	55.1	36.7	8.2
	要支援2	133	52.6	43.6	3.8
	要介護1	83	45.8	48.2	6.0
	要介護2	93	20.4	73.1	6.5
	要介護3	56	28.6	62.5	8.9
	要介護4	30	20.0	73.3	6.7
	要介護5	39	30.8	66.7	2.6
	無回答	20	30.0	55.0	15.0

圏域別に見ると、「利用したことがある」は北部、南部で4割台と多くなっています。

要介護度別に見ると、「利用したことがある」は要支援1・2、要介護1で4割以上と多くなっています。

28 在宅介護支援センターの認知度

在宅介護支援センターについて、知っていますか



二次予防事業対象者、高齢者一般、e-モニターでは「知らない」が5割前後となっています。

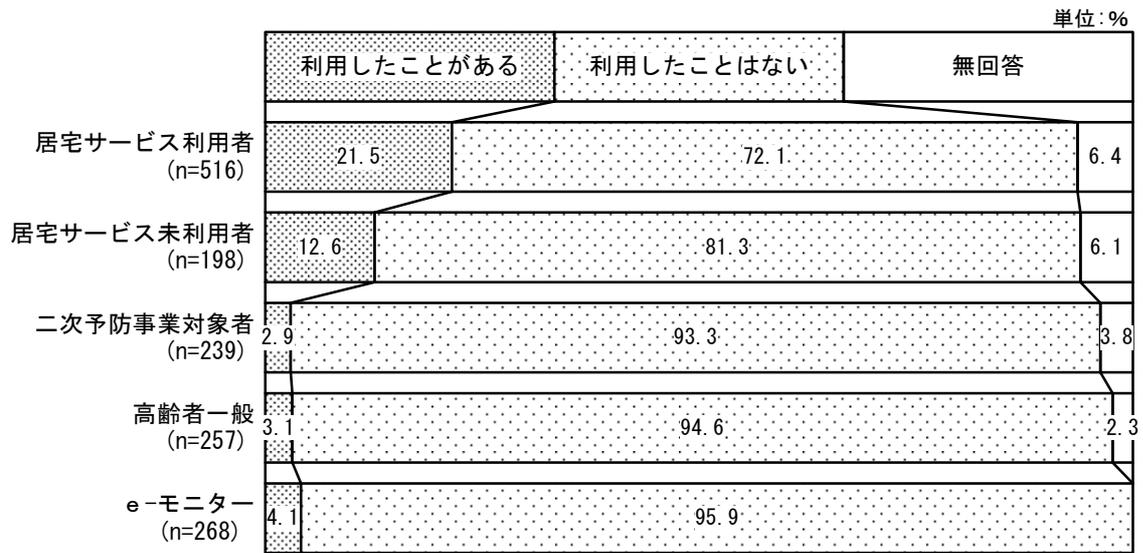
【前回調査との比較 在宅介護支援センターの認知度】

		事業内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
居宅サービス利用者	今回 (n=1109)	8.0	38.5	36.0	17.5
	前回 (n= 857)	6.3	40.5	44.2	9.0
	差	1.7	-2.0	-8.2	8.5
居宅サービス未利用者	今回 (n= 443)	5.6	39.1	38.8	16.5
	前回 (n= 285)	3.9	42.1	41.4	12.6
	差	1.7	-3.0	-2.6	3.9
二次予防事業対象者	今回 (n= 561)	2.9	39.8	48.5	8.9
	前回 (n= 178)	3.9	44.4	45.5	6.2
	差	-1.0	-4.6	3.0	2.7
高齢者一般	今回 (n= 664)	2.7	36.0	52.0	9.3
	前回 (n= 660)	2.7	40.5	51.1	5.8
	差	0.0	-4.5	0.9	3.5
e-モニター	今回 (n= 522)	7.7	43.7	48.7	0.0
	前回 (n= 715)	7.3	39.3	53.4	0.0
	差	0.4	4.4	-4.7	0.0

前回調査と比較すると、居宅サービス利用者では「知らない」がやや減少しています。

28-1 在宅介護支援センターの利用状況

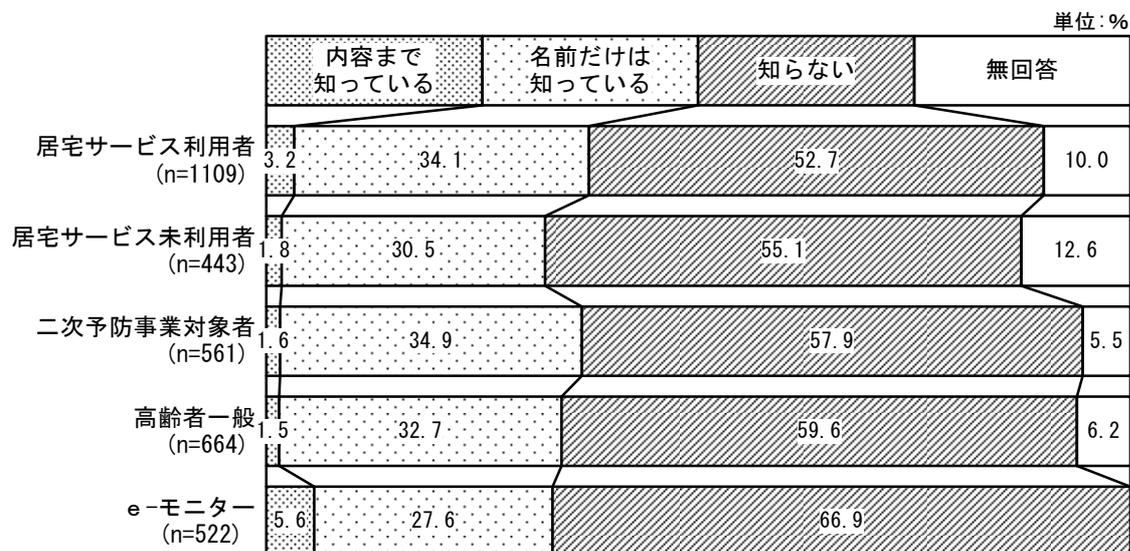
(知っている方のみ) 在宅介護支援センターを利用したことがありますか



「利用したことがある」は、居宅サービス利用者では 21.5%、居宅サービス未利用者では 12.6% となっています。

29 高齢者虐待防止法の認知度

平成 18 年度より「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行されました。そのことを知っていますか



各対象層とも「知らない」が半数以上を占めています。

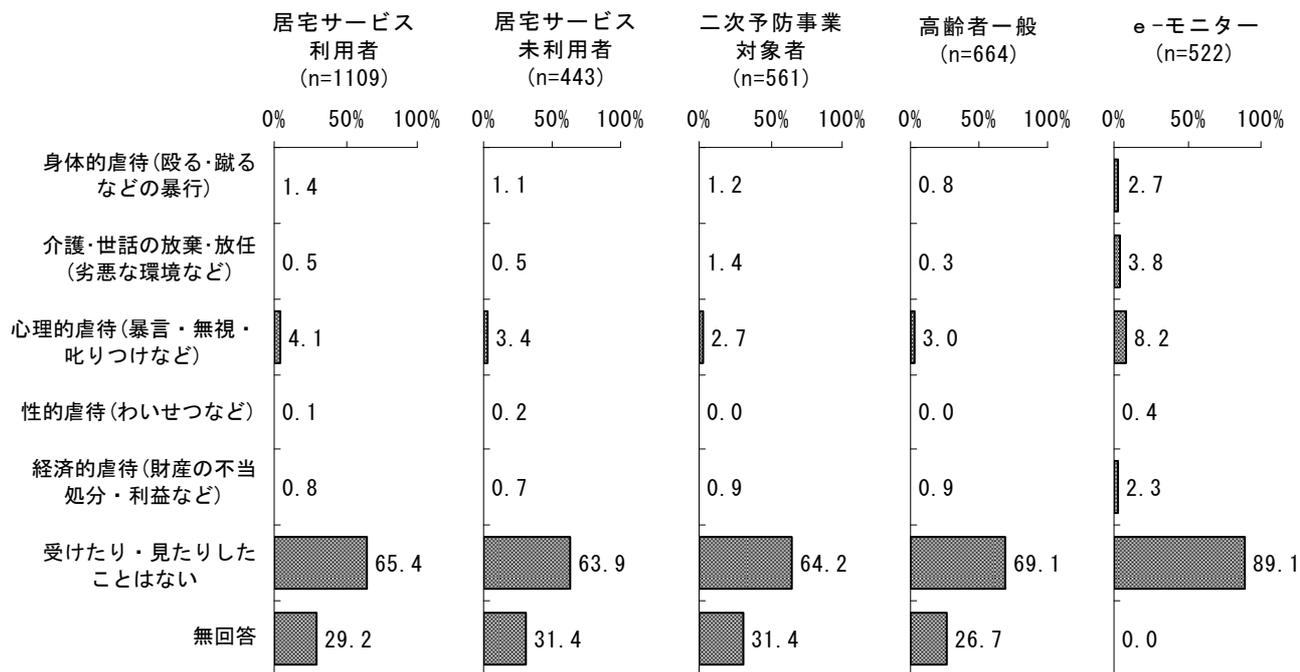
【前回調査との比較 高齢者虐待防止法の認知度】

		内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
居宅サービス利用者	今回 (n=1109)	3.2	34.1	52.7	10.0
	前回 (n= 857)	3.4	32.7	56.7	7.2
	差	-0.2	1.4	-4.0	2.8
居宅サービス未利用者	今回 (n= 443)	1.8	30.5	55.1	12.6
	前回 (n= 285)	2.1	31.6	58.2	8.1
	差	-0.3	-1.1	-3.1	4.5
二次予防事業対象者	今回 (n= 561)	1.6	34.9	57.9	5.5
	前回 (n= 178)	2.2	40.4	52.8	4.5
	差	-0.6	-5.5	5.1	1.0
高齢者一般	今回 (n= 664)	1.5	32.7	59.6	6.2
	前回 (n= 660)	1.8	41.1	51.5	5.6
	差	-0.3	-8.4	8.1	0.6
e-モニター	今回 (n= 522)	5.6	27.6	66.9	0.0
	前回 (n= 715)	6.7	35.2	58.0	0.0
	差	-1.1	-7.6	8.9	0.0

前回調査と比較すると、二次予防事業対象者、高齢者一般、e-モニターでは「名前だけは知っている」がやや減少し、「知らない」がやや増加しています。

30 虐待行為を受けたり見たりした経験

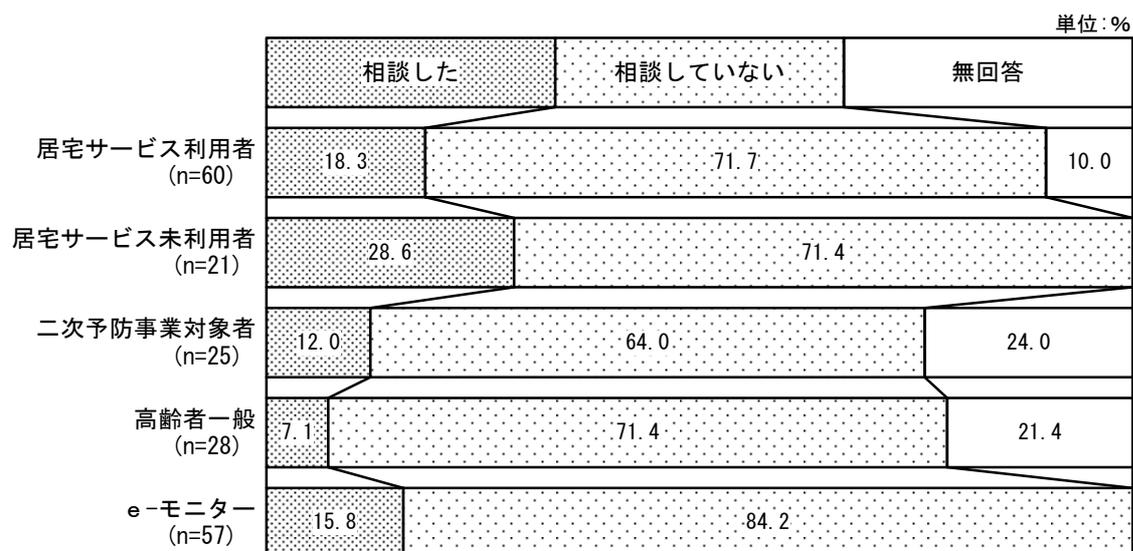
自分が受けたり、周りで見たことのある行為はありますか（いくつでも）



各対象層とも「受けたり・見たりしたことはない」が最も多くなっています。

30-1 虐待行為を受けたり見たりしたときの相談の有無

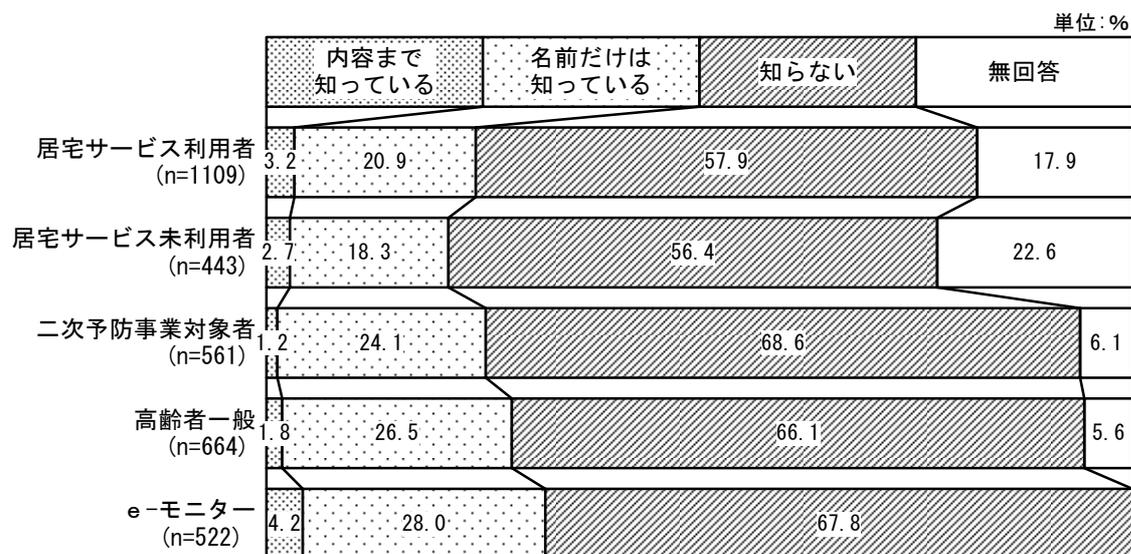
(受けたり見たことがある方のみ) それをだれかに相談しましたか



各対象層とも「相談していない」が多数を占めています。

31 日常生活自立支援事業の認知度

日常生活自立支援事業について、知っていますか



各対象層とも「知らない」が半数以上を占めています。

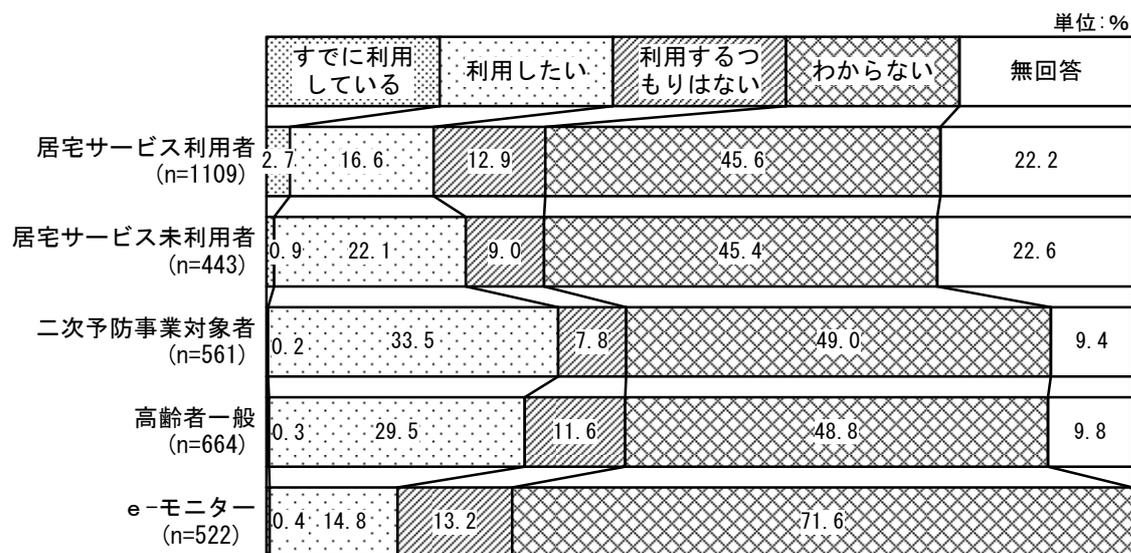
【前回調査との比較 日常生活自立支援事業の認知度】

		知っている内容まで	名前だけ知っている	知らない	無回答
居宅サービス利用者	今回 (n=1109)	3.2	20.9	57.9	17.9
	前回 (n= 857)	1.8	18.9	63.5	15.9
	差	1.4	2.0	-5.6	2.0
居宅サービス未利用者	今回 (n= 443)	2.7	18.3	56.4	22.6
	前回 (n= 285)	0.7	16.8	61.4	21.1
	差	2.0	1.5	-5.0	1.5
二次予防事業対象者	今回 (n= 561)	1.2	24.1	68.6	6.1
	前回 (n= 178)	1.1	12.9	74.7	11.2
	差	0.1	11.2	-6.1	-5.1
高齢者一般	今回 (n= 664)	1.8	26.5	66.1	5.6
	前回 (n= 660)	0.5	19.8	70.0	9.7
	差	1.3	6.7	-3.9	-4.1
e-モニター	今回 (n= 522)	4.2	28.0	67.8	0.0
	前回 (n= 715)	3.9	34.0	62.1	0.0
	差	0.3	-6.0	5.7	0.0

前回調査と比較すると、二次予防事業対象者では「名前だけは知っている」が増加しています。

32 日常生活自立支援事業の利用意向

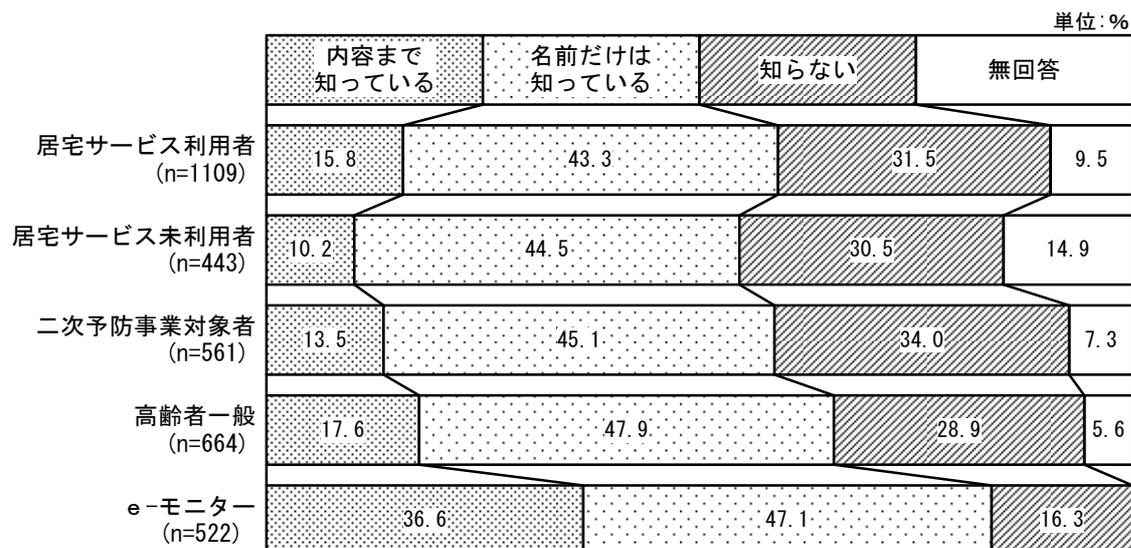
日常生活自立支援事業を利用している、または必要になったら利用したいと思いますか



二次予防事業対象者、高齢者一般では「利用したい」は3割前後となっています。

33 成年後見制度の認知度

成年後見制度について、知っていますか



各対象層とも「名前だけは知っている」が4割台となっています。

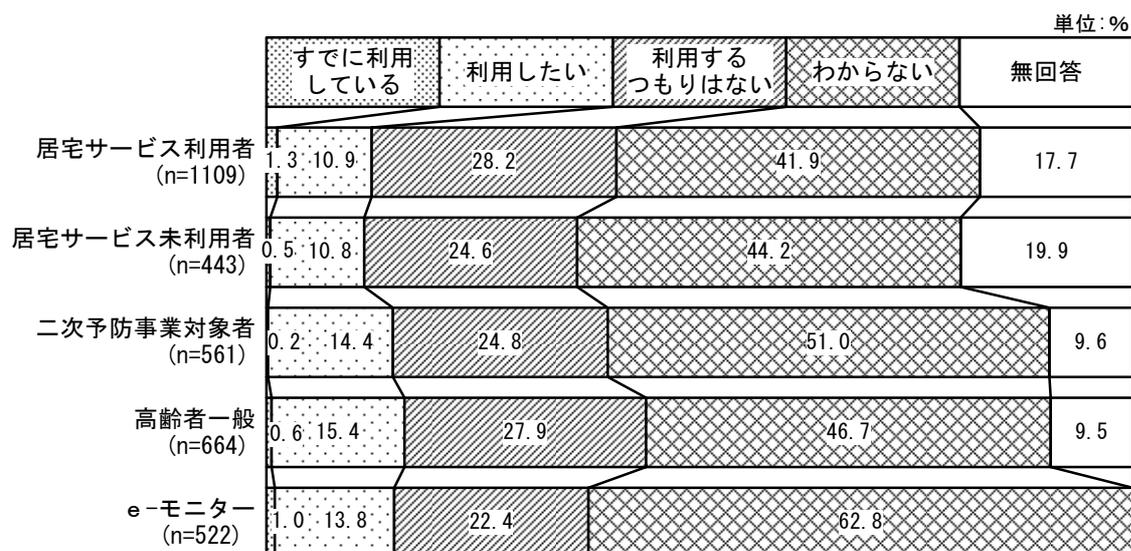
【前回調査との比較 成年後見制度の認知度】

		知っている内容まで	名前だけは知っている	知らない	無回答
居宅サービス利用者	今回 (n=1109)	15.8	43.3	31.5	9.5
	前回 (n= 857)	13.0	28.8	41.8	16.5
	差	2.8	14.5	-10.3	-7.0
居宅サービス未利用者	今回 (n= 443)	10.2	44.5	30.5	14.9
	前回 (n= 285)	4.6	27.0	44.9	23.5
	差	5.6	17.5	-14.4	-8.6
二次予防事業対象者	今回 (n= 561)	13.5	45.1	34.0	7.3
	前回 (n= 178)	9.0	36.0	46.6	8.4
	差	4.5	9.1	-12.6	-1.1
高齢者一般	今回 (n= 664)	17.6	47.9	28.9	5.6
	前回 (n= 660)	9.8	33.2	42.0	15.0
	差	7.8	14.7	-13.1	-9.4
e-モニター	今回 (n= 522)	36.6	47.1	16.3	0.0
	前回 (n= 715)	29.4	39.0	31.6	0.0
	差	7.2	8.1	-15.3	0.0

前回調査と比較すると、各対象層とも「内容まで知っている」「名前だけは知っている」が増加し、「知らない」が減少しています。

34 成年後見制度の利用意向

成年後見制度を利用している、または必要になったら利用したいと思いますか



各対象層とも「利用したい」は1割台となっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 成年後見制度の利用意向】

	n	すでに利用している	利用したい	利用するつもりはない	わからない	無回答	
全体	1,109	1.3	10.9	28.2	41.9	17.7	
要介護度	要支援1	176	1.7	13.1	29.5	34.1	21.6
	要支援2	230	0.4	13.5	24.3	43.0	18.7
	要介護1	162	0.6	11.1	29.6	43.8	14.8
	要介護2	204	2.0	10.8	28.4	43.6	15.2
	要介護3	126	0.8	11.1	33.3	42.9	11.9
	要介護4	72	1.4	2.8	31.9	54.2	9.7
	要介護5	71	2.8	2.8	31.0	53.5	9.9
	無回答	68	1.5	13.2	17.6	22.1	45.6

要介護度別に見ると、要介護4・5では「利用したい」が2%台にとどまっています。

35 今後の生活についての考え

今後の生活について、どのようにお考えですか

単位：%

	寝たきりになったり物忘れの症状が重くなっても、最後まで自宅で暮らしたい	寝たきりや物忘れの症状が重くなったら、老人ホーム等の施設に入りたい	今すぐにも、老人ホーム等の施設に入所したい	わからない	無回答
居宅サービス利用者 (n=1109)	28.4	42.2	2.8	14.2	12.4

「できるだけ自宅で暮らしたいが、寝たきりや物忘れの症状が重くなったら、老人ホーム等の施設に入りたい」が42.2%と最も多く、次いで「寝たきりになったり物忘れの症状が重くなっても、最後まで自宅で暮らしたい」が28.4%となっています。

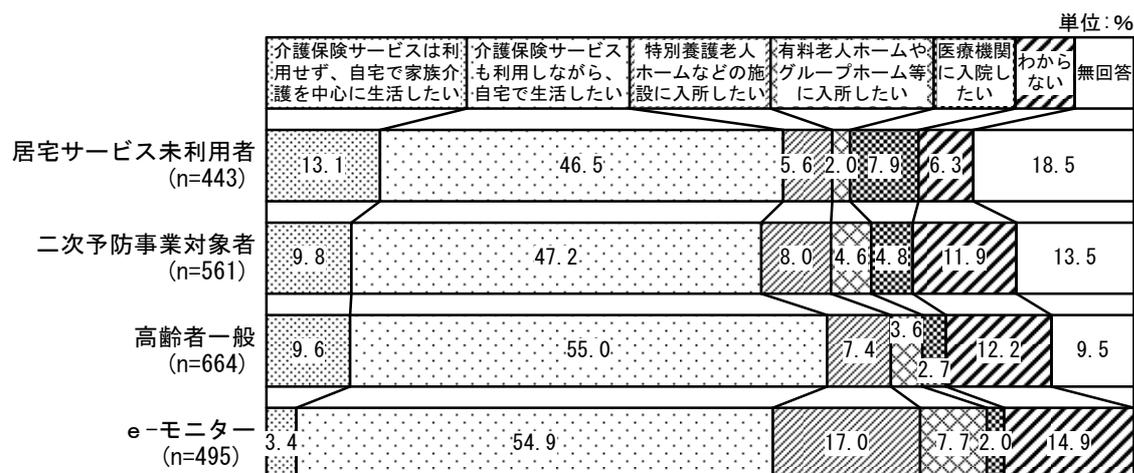
【居宅サービス利用者：要介護度別 今後の生活についての考え】

	n	寝たきりになったり物忘れの症状が重くなっても、最後まで自宅で暮らしたい	寝たきりや物忘れの症状が重くなったら、老人ホーム等の施設に入りたい	今すぐにも、老人ホーム等の施設に入所したい	わからない	無回答	
全体	1,109	28.4	42.2	2.8	14.2	12.4	
要介護度	要支援1	176	19.9	48.9	1.7	12.5	17.0
	要支援2	230	23.9	47.8	1.7	11.7	14.8
	要介護1	162	24.7	43.8	2.5	21.6	7.4
	要介護2	204	31.9	45.1	2.9	13.2	6.9
	要介護3	126	30.2	38.1	4.0	19.8	7.9
	要介護4	72	44.4	36.1	4.2	9.7	5.6
	要介護5	71	43.7	23.9	7.0	14.1	11.3
	無回答	68	27.9	26.5	1.5	7.4	36.8

要介護度別に見ると、要支援1・2、要介護1～3までは「できるだけ自宅で暮らしたいが、寝たきりや物忘れの症状が重くなったら、老人ホーム等の施設に入りたい」が最も多く、要介護4・5では「寝たきりになったり物忘れの症状が重くなっても、最後まで自宅で暮らしたい」が最も多くなっています。

36 介護が必要になった場合の暮らし方の希望

今後、介護が必要な状態になった場合、どのように暮らしたいですか



各対象層とも「介護保険などのサービスも利用しながら、自宅で生活したい」が4～5割台と最も多くなっています。

【居宅サービス未利用者：性別、圏域別 介護が必要になった場合の暮らし方の希望】

	n	介護保険サービスは利用せず、自宅で家族介護を中心に生活したい	介護サービスも利用しながら、自宅で生活したい	特別養護老人ホームなどの施設に入所したい	有料老人ホームやグループホーム等に入所したい	病院などの医療機関に入院したい	わからない	無回答	
全体	443	13.1	46.5	5.6	2.0	7.9	6.3	18.5	
性別	男性	165	15.2	49.7	6.1	1.2	6.7	4.2	17.0
	女性	273	11.7	45.1	5.5	2.6	8.4	7.7	19.0
	無回答	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0
圏域	北部	104	15.4	44.2	4.8	1.0	5.8	8.7	20.2
	西部	136	10.3	47.8	5.1	4.4	7.4	6.6	18.4
	東部	102	14.7	52.0	3.9	2.0	7.8	5.9	13.7
	南部	89	14.6	44.9	9.0	0.0	10.1	4.5	16.9
	無回答	12	0.0	16.7	8.3	0.0	16.7	0.0	58.3

性別に見ると、『自宅で暮らしたい』（「できるだけ介護保険などのサービスは利用しないで、自宅で家族介護を中心に生活したい」＋「介護保険などのサービスも利用しながら、自宅で生活したい」）は男性が女性に比べて割合が多くなっています。

圏域別に見ると、『自宅で暮らしたい』は東部が他の圏域に比べて割合が多くなっています。

【二次予防事業対象者：性別、圏域別 介護が必要になった場合の暮らし方の希望】

		n	介護サービスは利用せず、自宅で家族介護を中心に生活したい	介護サービスも利用しながら、自宅で生活したい	特別養護老人ホームなどの施設に入所したい	有料老人ホームやグループホーム等に入所したい	病院などの医療機関に入院したい	わからない	無回答
全体		561	9.8	47.2	8.0	4.6	4.8	11.9	13.5
性別	男性	225	10.7	48.0	8.9	3.6	5.3	9.3	14.2
	女性	323	9.0	46.4	7.7	5.6	4.6	13.6	13.0
	無回答	13	15.4	53.8	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4
圏域	北部	133	9.8	52.6	7.5	4.5	2.3	9.8	13.5
	西部	176	13.6	42.6	6.8	6.8	5.1	13.6	11.4
	東部	116	4.3	47.4	10.3	3.4	6.0	10.3	18.1
	南部	131	9.2	47.3	8.4	3.1	6.1	13.0	13.0
	無回答	5	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

性別に見ると、男女とも『自宅で暮らしたい』が多数を占めています。

圏域別に見ると、『自宅で暮らしたい』は北部で6割以上と多くなっています。

【高齢者一般：性別、圏域別 介護が必要になった場合の暮らし方の希望】

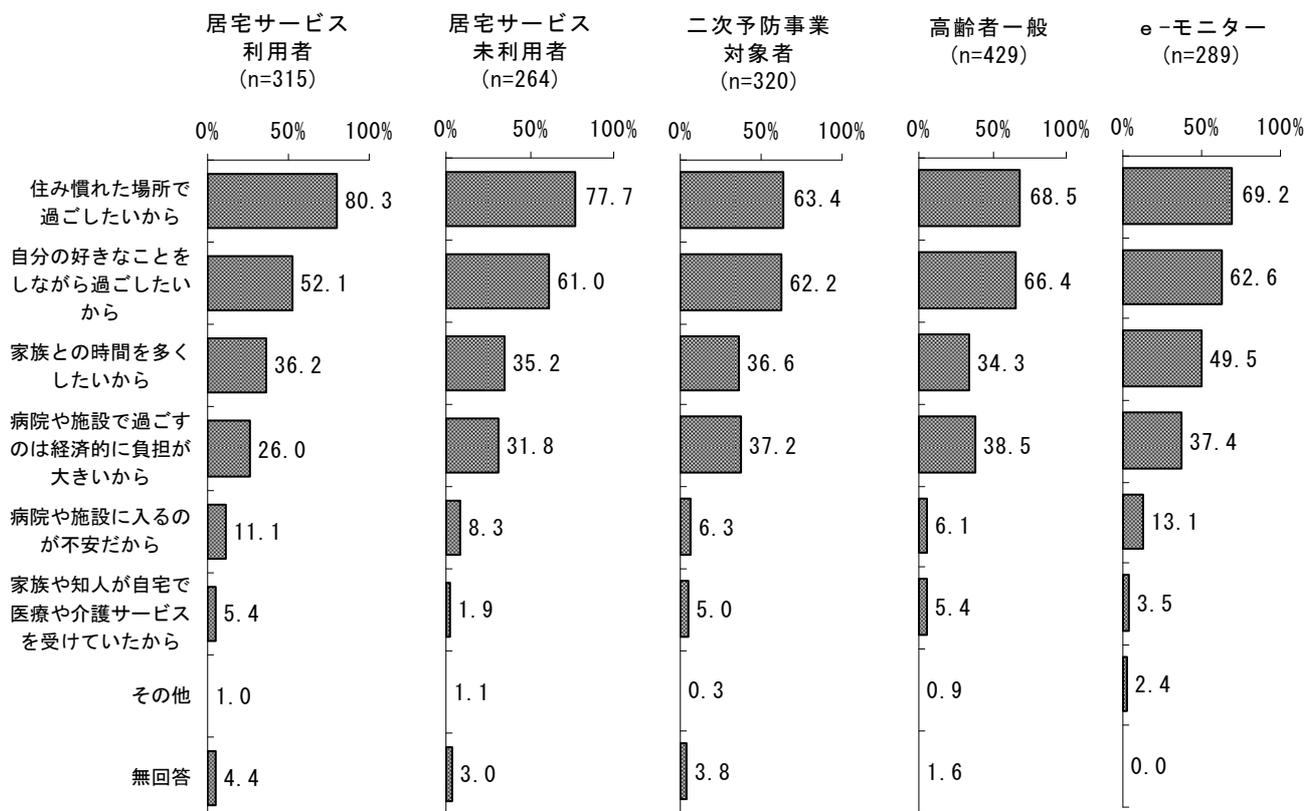
		n	介護サービスは利用せず、自宅で家族介護を中心に生活したい	介護サービスも利用しながら、自宅で生活したい	特別養護老人ホームなどの施設に入所したい	有料老人ホームやグループホーム等に入所したい	病院などの医療機関に入院したい	わからない	無回答
全体		664	9.6	55.0	7.4	3.6	2.7	12.2	9.5
性別	男性	288	12.5	58.3	6.9	2.1	2.1	9.7	8.3
	女性	364	7.4	52.5	8.0	4.9	3.3	14.0	9.9
	無回答	12	8.3	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0
圏域	北部	169	9.5	58.6	5.3	1.8	4.7	9.5	10.7
	西部	192	9.4	56.8	5.2	5.2	2.6	10.9	9.9
	東部	137	9.5	56.2	8.8	4.4	1.5	12.4	7.3
	南部	156	9.6	48.7	11.5	3.2	1.9	15.4	9.6
	無回答	10	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0

性別に見ると、男女とも『自宅で暮らしたい』が多数を占めています。

圏域別に見ると、南部では他の圏域に比べて『自宅で暮らしたい』の割合がやや少なくなっています。

35・36-1 自宅で暮らしたい理由

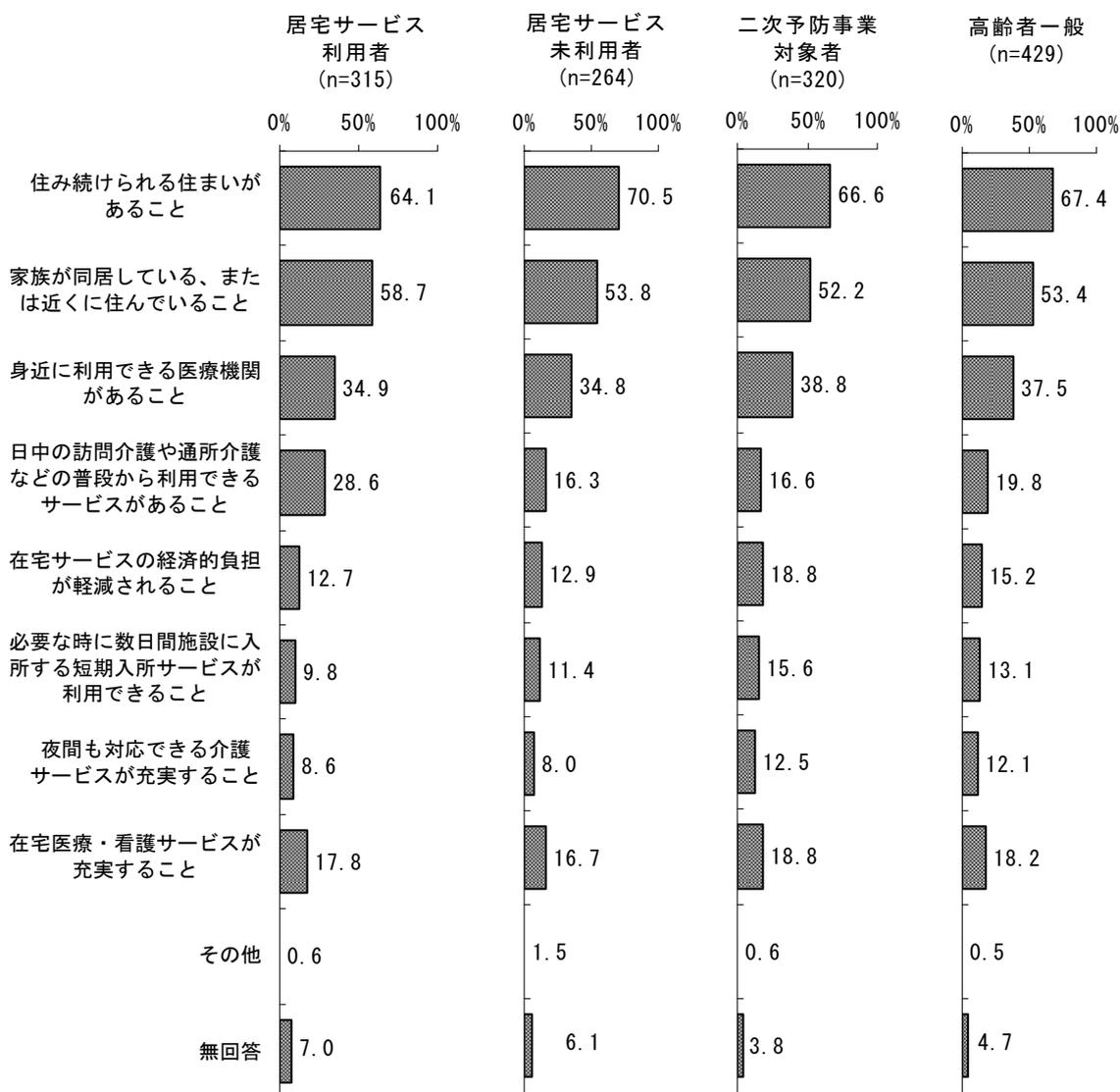
(自宅で生活したいと答えた方のみ) 自宅で暮らしたい主な理由は何ですか (〇は3つまで)



各対象層とも「住み慣れた場所で過ごしたいから」が最も多く、次いで「自分の好きなことをしながら過ごしたいから」となっています。

35・36-2 自宅で暮らし続けるために必要なこと

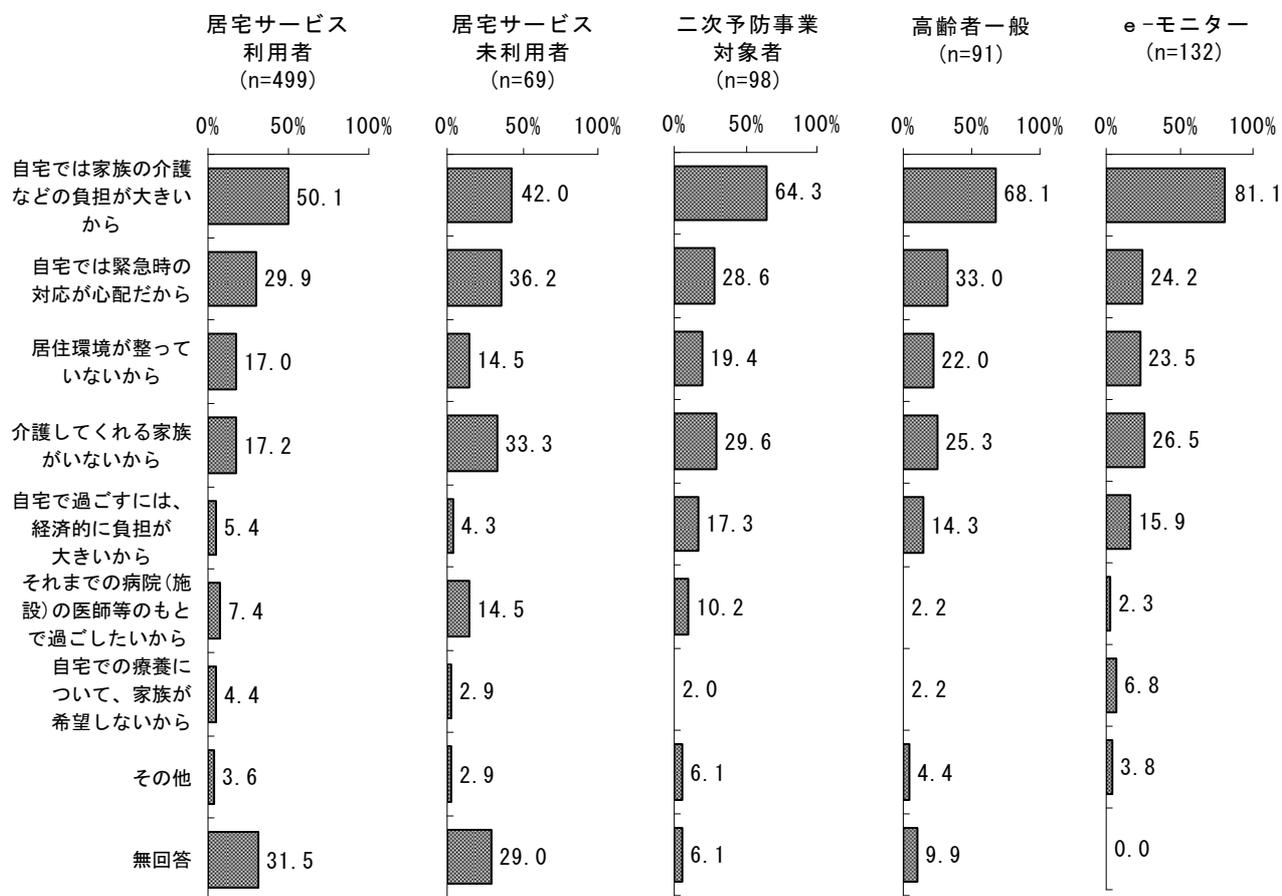
(自宅で生活したいと答えた方のみ) 自宅で暮らし続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか (〇は3つまで)



各対象層とも「住み続けられる住まいがあること」が最も多く、次いで「家族が同居している、または近くに住んでいること」、「身近に利用できる医療機関があること」となっています。

35・36-3 自宅以外で暮らしたい理由

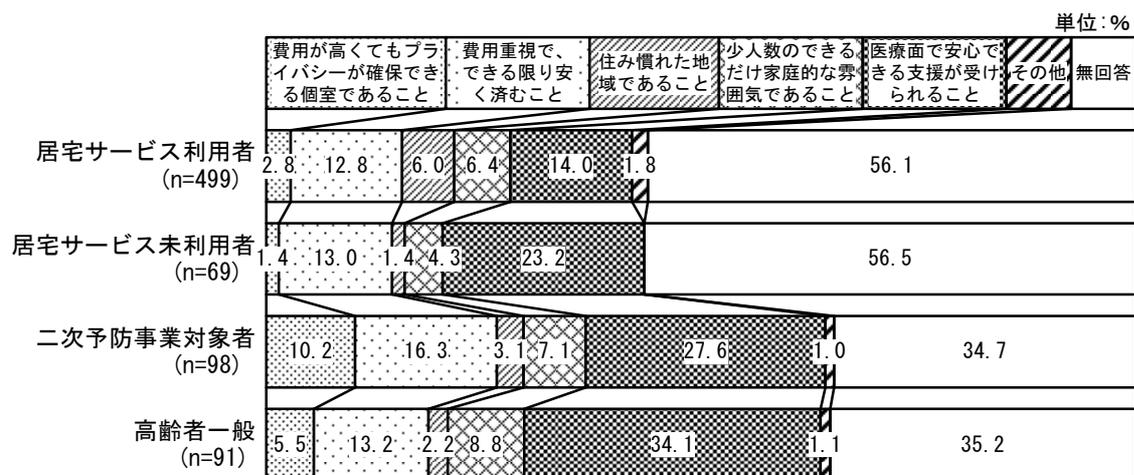
(自宅以外で生活したいと答えた方のみ) 自宅以外の場所で暮らしたい主な理由は何ですか (〇は3つまで)



各対象層とも「自宅では家族の介護などの負担が大きいため」が最も多く、「自宅では緊急時の対応が心配だから」と「介護してくれる家族がいないから」が上位となっています。

35・36-4 施設を選ぶ際に重視すること

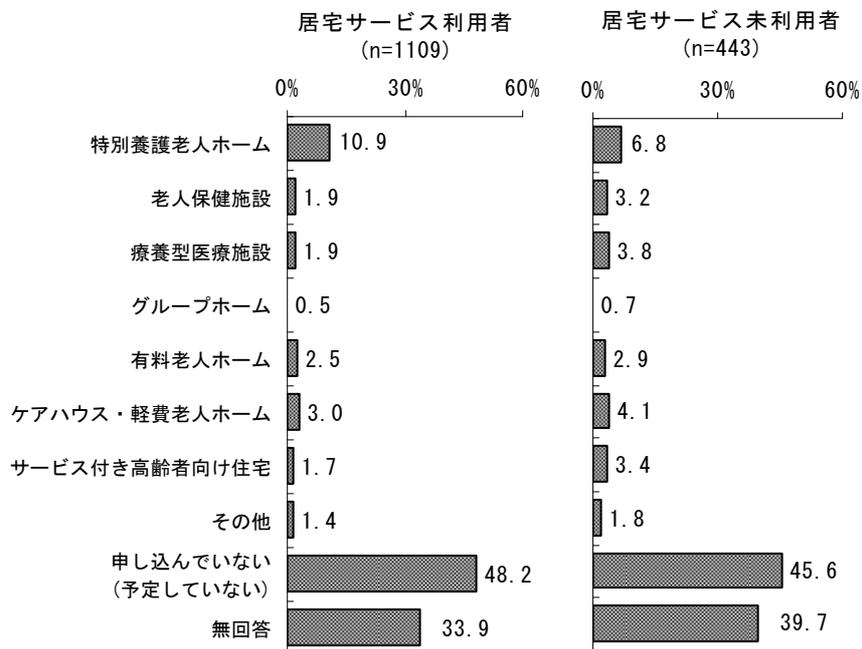
(自宅以外で生活したいと答えた方のみ) 施設を選ぶ際に重視することは何ですか



各対象層とも「医療面で安心できる支援が受けられること」が最も多く、高齢者一般では3割を超えています。

37 入所申し込み（予定を含む）をしている施設

現在入所の申し込みをしている、または今後入所の申し込みを予定している施設はありますか（いくつでも）



入所申し込み（予定を含む）をしている施設としては、「特別養護老人ホーム」が居宅サービス利用者では10.9%、居宅サービス未利用者では6.8%と最も多くなっています。

38 自己負担が1割から2割になった場合のサービス利用

国において介護保険法の改正にむけて検討が重ねられていますが、介護サービス利用時の自己負担が現在の1割から2割に変更となった場合、これまでと同じようにサービスを利用しますか。

単位：%

	必要であれば増やすと思う	現在と同じくらいだと思う	減らすと思う、又は減らさざるを得ないと思う	わからない	無回答
居宅サービス利用者 (n=1109)	18.9	30.7	18.3	15.8	16.2

「現在と同じくらいだと思う」が30.7%と最も多く、次いで「必要であれば増やすと思う」が18.9%、「減らすと思う、又は減らさざるを得ないと思う」が18.3%となっています。

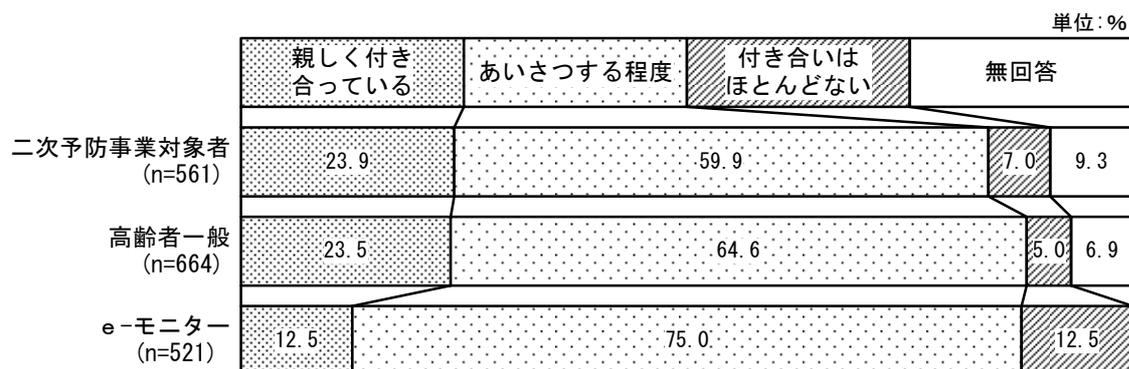
【居宅サービス利用者：要介護度別 自己負担が1割から2割になった場合のサービス利用】

	n	必要であれば増やすと思う	現在と同じくらいだと思う	減らすと思う、又は減らさざるを得ないと思う	わからない	無回答	
全体	1,109	18.9	30.7	18.3	15.8	16.2	
要介護度	要支援1	176	23.9	25.6	15.3	14.2	21.0
	要支援2	230	18.3	33.5	14.8	17.8	15.7
	要介護1	162	22.2	27.8	16.7	18.5	14.8
	要介護2	204	20.1	29.4	22.1	14.2	14.2
	要介護3	126	16.7	34.1	27.0	15.9	6.3
	要介護4	72	13.9	33.3	19.4	18.1	15.3
	要介護5	71	14.1	47.9	21.1	8.5	8.5
	無回答	68	11.8	19.1	10.3	16.2	42.6

要介護度別に見ると、「現在と同じくらいだと思う」は要介護5では47.9%と多くなっています。

39 近所付き合いの状況

ふだん、ご近所の方とはどのように接していますか



各対象層とも「あいさつする程度」が多数を占めています。

【二次予防事業対象者：性別、圏域別 近所付き合いの状況】

		n	付き合親しく 合っている	あいさつする 程度	ほ と ん ど な い 付 き 合 い は	無 回 答
全体		561	23.9	59.9	7.0	9.3
性別	男性	225	16.0	68.0	7.6	8.4
	女性	323	29.1	54.8	6.8	9.3
	無回答	13	30.8	46.2	0.0	23.1
圏域	北部	133	26.3	61.7	3.8	8.3
	西部	176	24.4	56.8	6.8	11.9
	東部	116	21.6	62.9	6.9	8.6
	南部	131	22.9	60.3	10.7	6.1
	無回答	5	20.0	40.0	0.0	40.0

性別に見ると、女性は男性に比べて「親しく付き合っている」の割合が多く、男性は女性に比べて「あいさつする程度」の割合が多くなっています。

【高齢者一般：性別、圏域別 近所付き合いの状況】

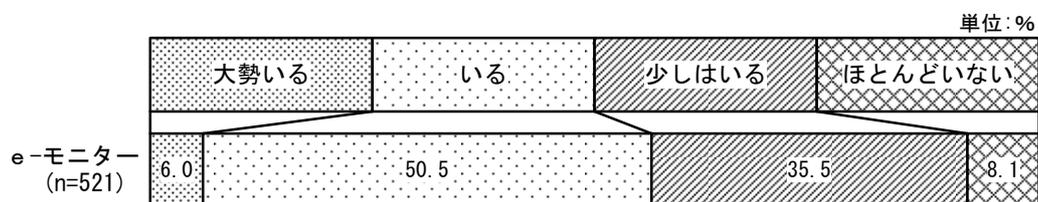
		n	付き合っ 親しく ている	あいさつ する程 度	ほとん どない は	無回 答
全体		664	23.5	64.6	5.0	6.9
性別	男性	288	17.0	71.2	6.3	5.6
	女性	364	28.6	60.2	3.8	7.4
	無回答	12	25.0	41.7	8.3	25.0
圏域	北部	169	33.7	58.0	2.4	5.9
	西部	192	18.2	70.3	4.2	7.3
	東部	137	21.9	67.9	3.6	6.6
	南部	156	21.2	61.5	10.3	7.1
	無回答	10	10.0	70.0	0.0	20.0

性別に見ると、女性は男性に比べて「親しく付き合っている」の割合が多く、男性は女性に比べて「あいさつする程度」の割合が多くなっています。

圏域別に見ると、「親しく付き合っている」は北部では3割を超えています。

40 困った時に相談できる家族・友人・知人の有無

困ったときに相談できる家族や友人・知人がいますか

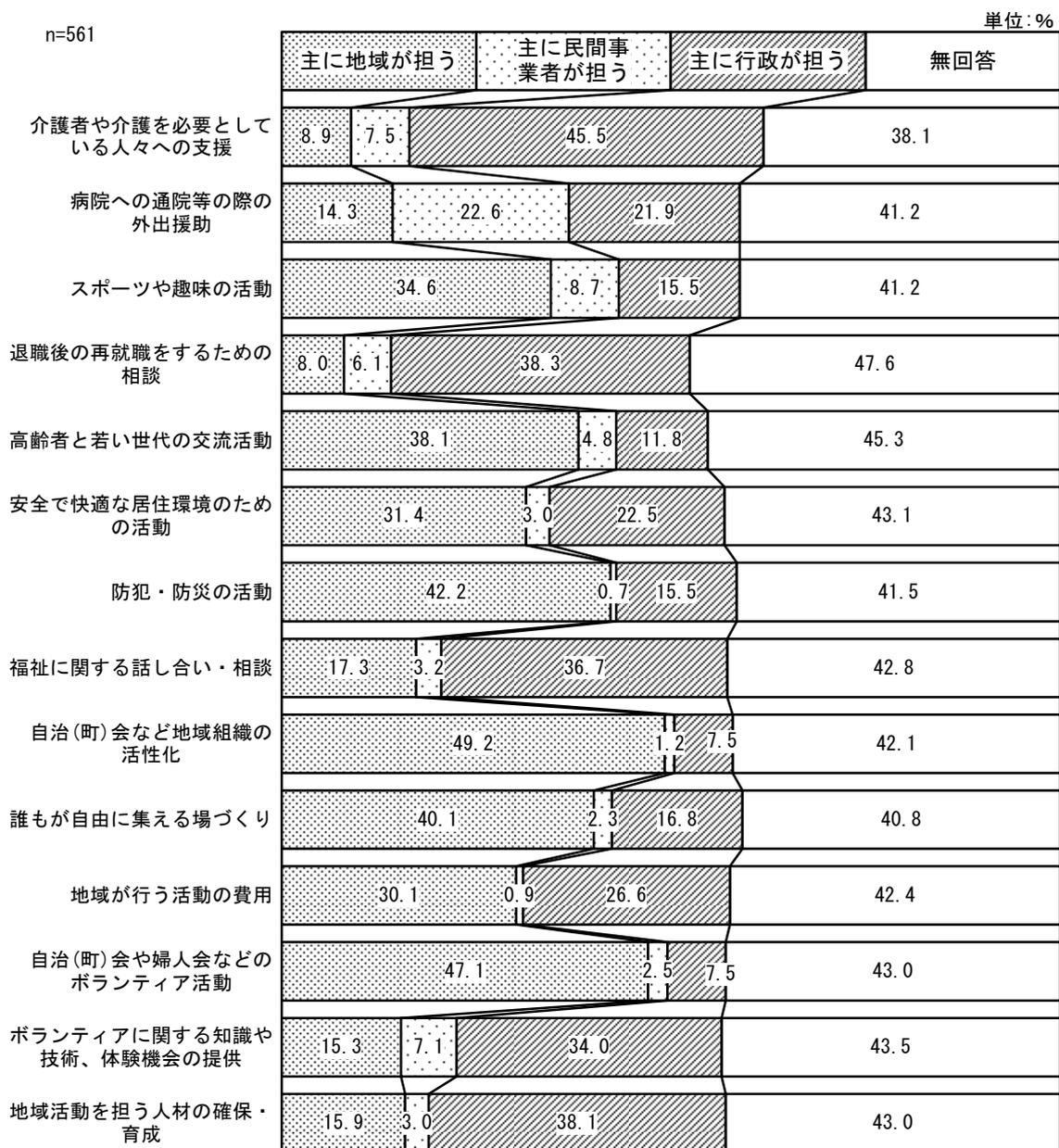


「いる」が50.5%、「少しはいる」が35.5%となっています。

41 地域での人とのつきあいや関わりについての考え

地域での人とのつきあいや関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか(○は各1つ)

【二次予防事業対象者】

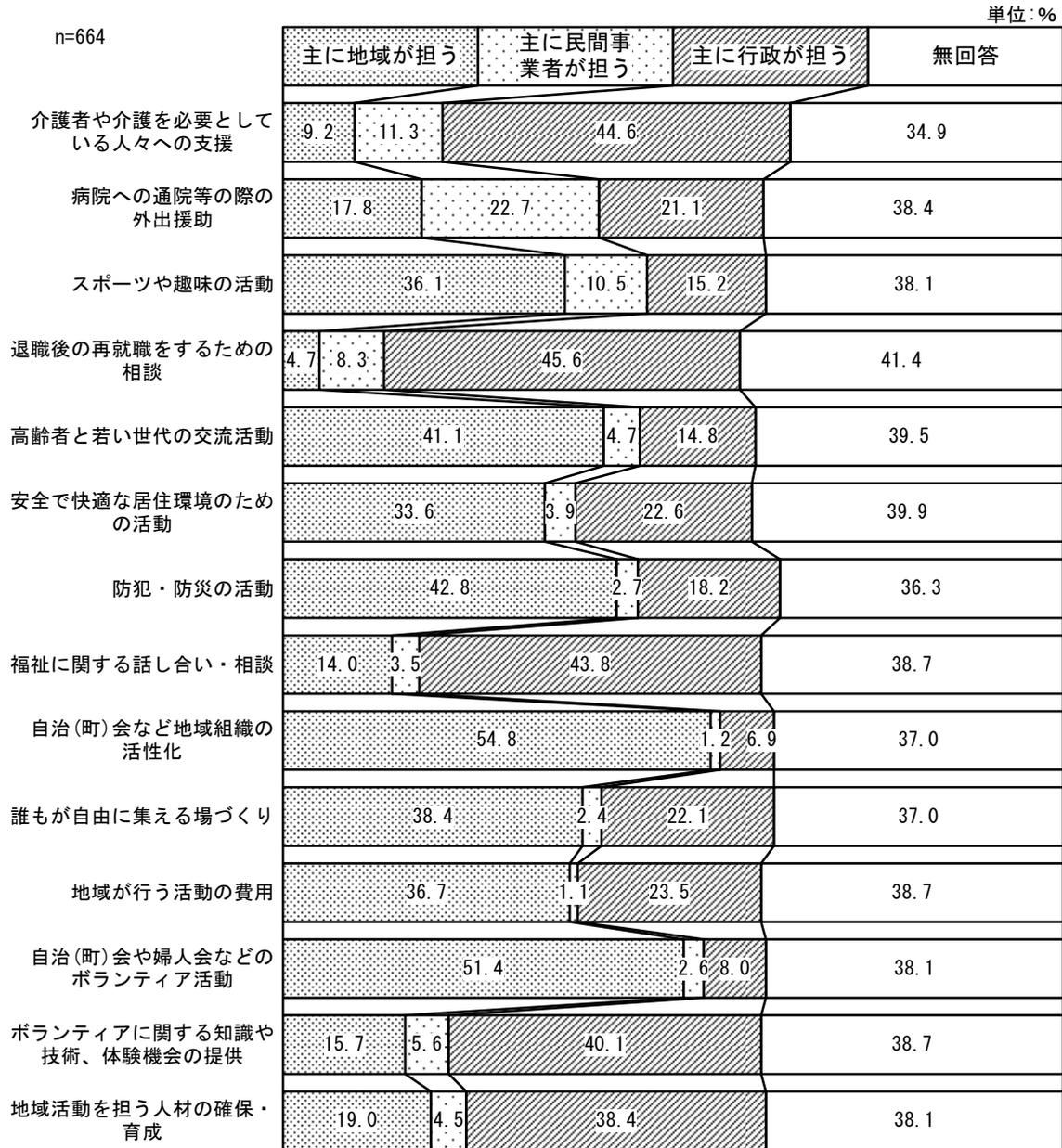


「主に地域が担う」は、「自治(町)会など地域組織の活性化」が49.2%と最も多く、次いで「自治(町)会や婦人会などのボランティア活動」が47.1%となっています。

「主に民間事業者が担う」は、「病院への通院等の際の外出援助」が22.6%と最も多くなっています。

「主に行政が担う」は、「介護者や介護を必要としている人々への支援」が45.5%と最も多く、次いで「退職後の再就職をするための相談」が38.3%、「地域活動を担う人材の確保・育成」が38.1%となっています。

【高齢者一般】

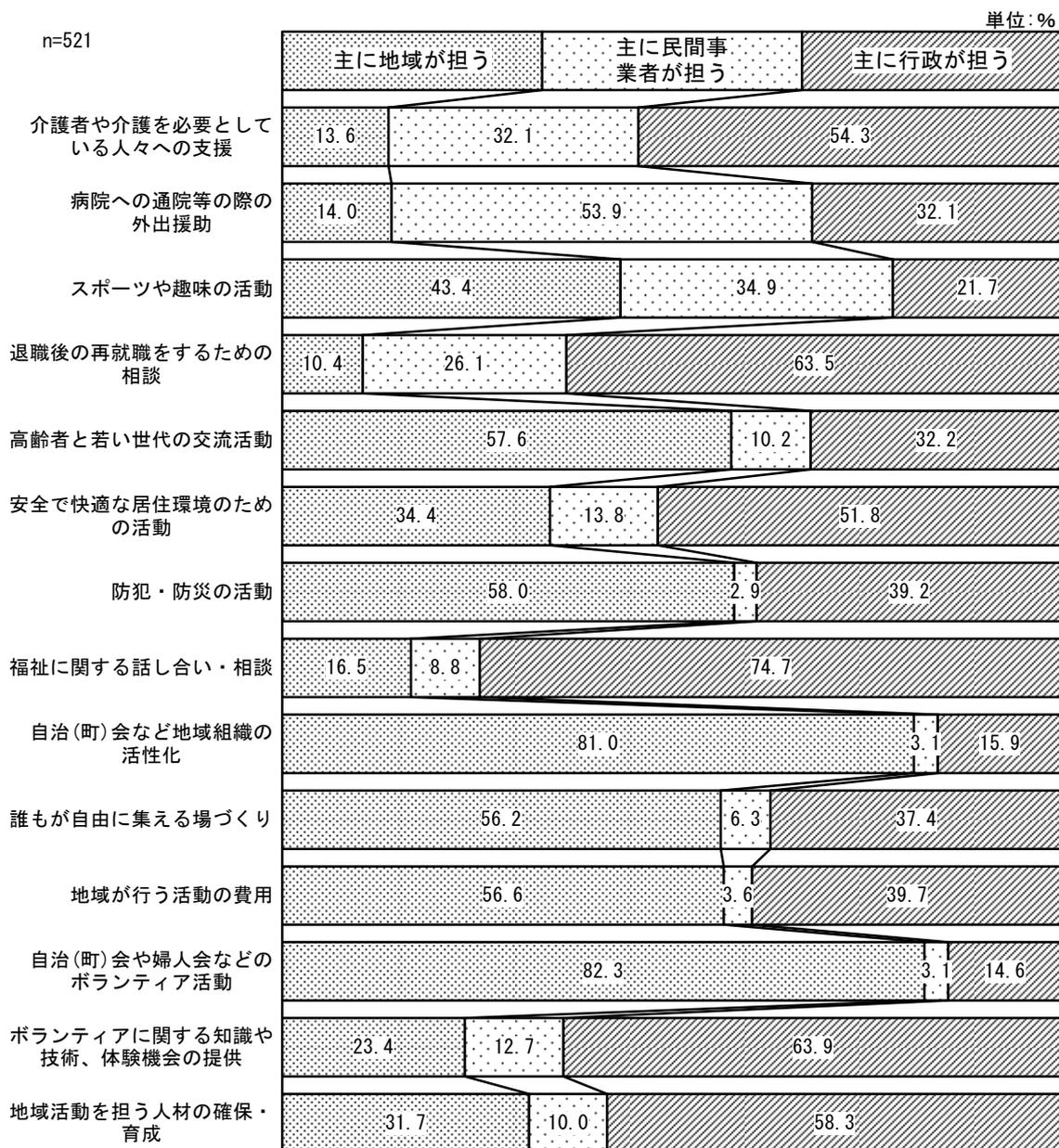


「主に地域が担う」は、「自治(町)会など地域組織の活性化」が 54.8%と最も多く、次いで「自治(町)会や婦人会などのボランティア活動」が 51.4%となっています。

「主に民間事業者が担う」は、「病院への通院等の際の外出援助」が 22.7%と最も多くなっています。

「主に行政が担う」は、「退職後の再就職をするための相談」が 45.6%と最も多く、次いで「介護者や介護を必要としている人々への支援」が 44.6%、「福祉に関する話し合い・相談」が 43.8%となっています。

【e-モニター】



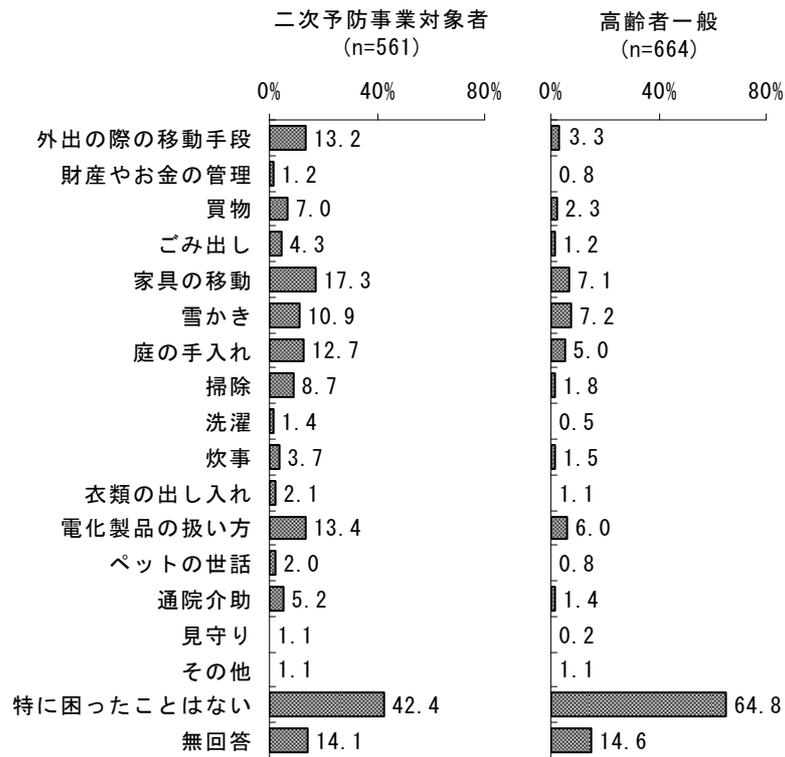
「主に地域が担う」は、「自治(町)会や婦人会などのボランティア活動」が82.3%と最も多く、次いで「自治(町)会など地域組織の活性化」が81.0%となっています。

「主に民間事業者が担う」は、「病院への通院等の際の外出援助」が53.9%と最も多く、次いで「スポーツや趣味の活動」が34.9%、「介護者や介護を必要としている人々への支援」が32.1%となっています。

「主に行政が担う」は、「福祉に関する話し合い・相談」が74.7%と最も多く、次いで「ボランティアに関する知識や技術、体験機会の提供」が63.9%、「退職後の再就職をするための相談」が63.5%となっています。

42 日常生活で困ったこと

日常生活について、次に掲げのようなことで困ったことはありますか（○は5つまで）



高齢者一般では「特に困ったことはない」が 64.8%を占めていますが、二次予防事業対象者では 42.4%にとどまり、「家具の移動」は2割弱が困ったことがあるとなっています。

43 基本チェックリストの認知度

本市では、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の市民の方を対象に、毎年「介護予防のための基本チェックリスト」というアンケートを実施しています。基本チェックリストについて知っていますか

単位：%

	名前・目的を知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
二次予防事業対象者 (n=561)	35.5	21.7	34.4	8.4
高齢者一般 (n=664)	39.2	20.0	33.7	7.1

「知らない」が、二次予防事業対象者では 34.4%、高齢者一般では 33.7%となっています。

【二次予防事業対象者：性別、圏域別 基本チェックリストの認知度】

		n	名前・目的を知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		561	35.5	21.7	34.4	8.4
性別	男性	225	34.7	20.0	39.1	6.2
	女性	323	36.8	22.6	31.3	9.3
	無回答	13	15.4	30.8	30.8	23.1
圏域	北部	133	40.6	21.1	32.3	6.0
	西部	176	34.1	18.8	37.5	9.7
	東部	116	32.8	28.4	31.9	6.9
	南部	131	35.1	20.6	35.1	9.2
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	40.0

性別に見ると、男性の方が「知らない」がやや多くなっています。

圏域別に見ると、北部と東部で「名前だけ知っている」「名前・目的を知っている」を合わせた割合が 6 割以上となっています。

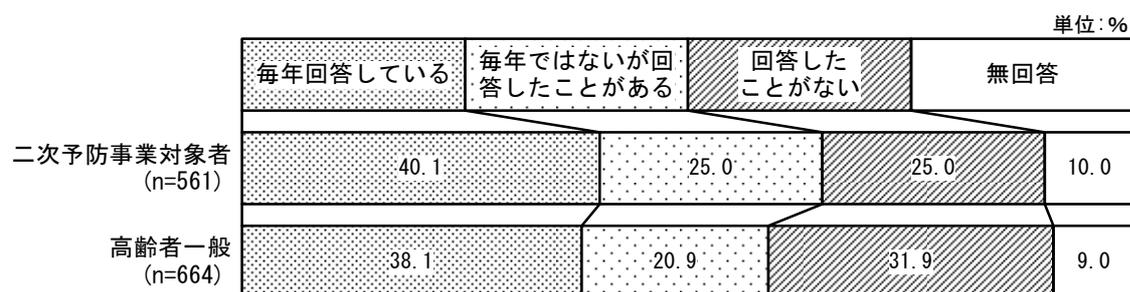
【高齢者一般：性別、圏域別 基本チェックリストの認知度】

		n	名前・目的を知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		664	39.2	20.0	33.7	7.1
性別	男性	288	34.7	17.4	43.1	4.9
	女性	364	43.1	22.3	26.4	8.2
	無回答	12	25.0	16.7	33.3	25.0
圏域	北部	169	39.1	20.7	33.1	7.1
	西部	192	41.7	19.3	32.8	6.3
	東部	137	37.2	19.7	35.0	8.0
	南部	156	37.8	21.8	35.3	5.1
	無回答	10	40.0	0.0	20.0	40.0

性別に見ると、男性の方が「知らない」が多くなっています。

44 基本チェックリストに回答した経験

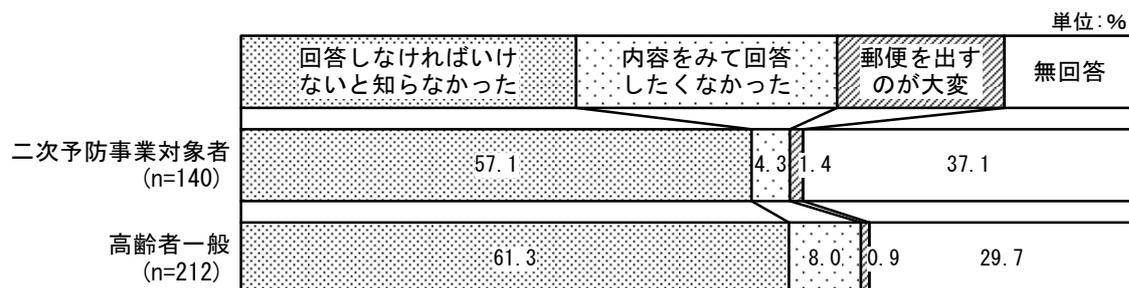
基本チェックリストに回答したことがありますか



「回答したことがない」が、二次予防事業対象者では 25.0%、高齢者一般では 31.9%となっています。

44-1 基本チェックリストに回答しなかった理由

(回答したことがない方のみ) 回答しなかった理由は何ですか



「回答しなければいけないと知らなかった」が、二次予防事業対象者では 57.1%、高齢者一般では 61.3%と 6 割前後を占めています。

45 基本チェックリスト未返送の方への家庭訪問の認知度

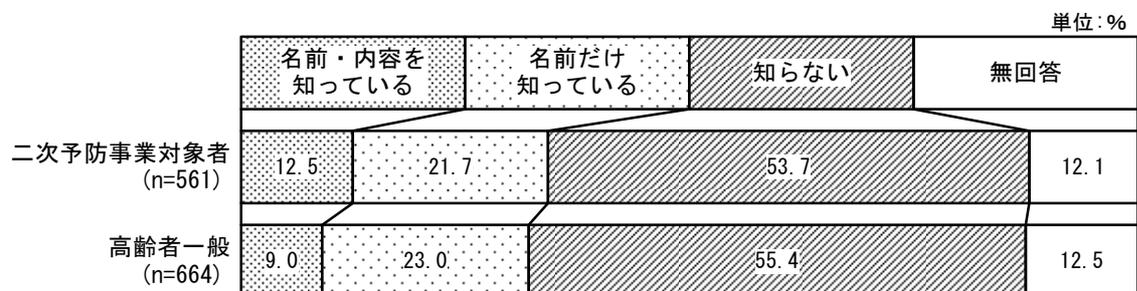
基本チェックリストの返送がない方を対象に、介護予防事業のご案内のために、各地区の在宅介護支援センターが家庭訪問を行っているのを知っていますか



「訪問について知らなかった」が、二次予防事業対象者では 50.1%、高齢者一般では 56.2%と半数以上を占めています。

46 介護予防事業の認知度

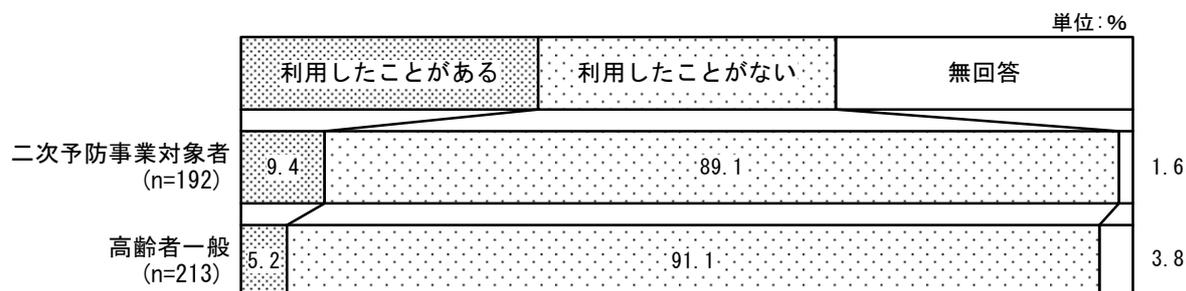
本市では、基本チェックリストの結果に基づき、介護予防事業のご案内をしています。介護予防事業は、介護予防教室（運動機能向上・総合予防プログラム）や専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）による個別訪問を総称したもので、地域で健康に安心して過ごしていただくために実施しています。介護予防事業について知っていますか



「知らない」が、二次予防事業対象者では 53.7%、高齢者一般では 55.4%と半数以上を占めています。

46-1 介護予防事業の利用状況

(知っている方のみ) 介護予防事業を利用したことがありますか



「利用したことがない」が、二次予防事業対象者では 89.1%、高齢者一般では 91.1%と9割前後を占めています。

46-2 介護予防事業を利用しなかった理由

(利用したことがない方のみ) 利用しなかった理由は何ですか

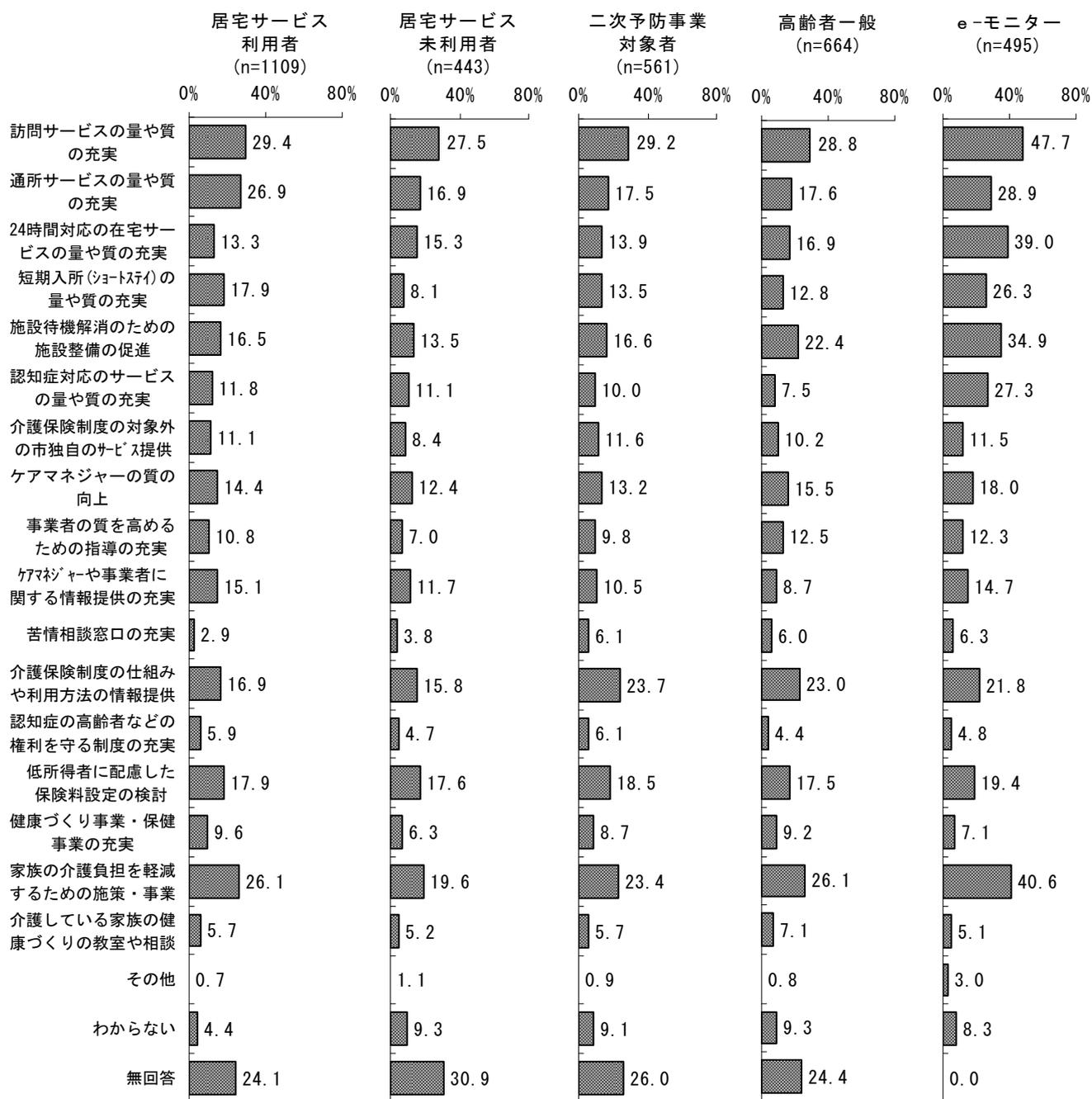
単位：%

	内容がわからない	自分で運動や趣味に取り組んでいる	希望したが対象にならなかった	自分に必要だと思わない	無回答
二次予防事業対象者 (n=171)	12.9	40.4	4.7	35.1	7.0
高齢者一般 (n=194)	8.2	34.0		52.6	5.2

二次予防事業対象者では「自分で運動や趣味に取り組んでいる」が40.4%と最も多く、高齢者一般では「自分に必要だと思わない」が52.6%と最も多くなっています。

47 介護施策で特に力を入れてほしいこと

介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか（○は5つまで）



各対象層とも「訪問サービスの量や質の充実」が最も多くなっています。また、居宅サービス利用者では「通所サービスの量や質の充実」「家族の介護負担を軽減するための施策・事業」、二次予防事業対象者では「介護保険制度の仕組みや利用方法の情報提供」「家族の介護負担を軽減するための施策・事業」、高齢者一般では「施設待機解消のための施設整備の促進」「介護保険制度の仕組みや利用方法の情報提供」「家族の介護負担を軽減するための施策・事業」で2割を超えています。

【居宅サービス利用者：性別、圏域別 介護施策で特に力を入れてほしいこと】

	n	訪問サービスの量や質の充実	通所サービスの量や質の充実	24時間対応の在宅サービスの量や質の充実	短期入所（ショートステイ）の量や質の充実	施設待機解消のための施設整備の促進	認知症対応のサービスの量や質の充実	介護保険制度の対象外の市独自のサービス提供	ケアマネジャーの質の向上	事業者の質を高めるための指導の充実	ケアマネジャーや介護サービス事業者に関する情報提供の充実			
	全体	1,109	29.4	26.9	13.3	17.9	16.5	11.8	11.1	14.4	10.8	15.1		
性別	男性	340	27.1	31.8	13.2	15.0	13.2	13.2	11.2	15.0	11.5	17.9		
	女性	736	30.8	24.6	13.5	19.7	18.3	11.4	11.1	14.4	10.9	13.7		
	無回答	33	21.2	27.3	9.1	9.1	9.1	6.1	9.1	9.1	3.0	15.2		
圏域	北部	278	27.0	28.8	11.2	19.4	14.0	17.3	9.7	12.6	8.6	13.7		
	西部	364	31.3	24.5	14.0	15.9	17.3	8.5	11.5	13.5	12.9	15.1		
	東部	238	33.6	26.9	16.0	20.2	18.5	11.3	11.3	15.5	10.5	16.0		
	南部	197	25.9	29.4	12.7	17.3	17.8	11.7	12.2	18.3	11.2	15.2		
	無回答	32	18.8	21.9	6.3	15.6	6.3	6.3	9.4	9.4	6.3	18.8		
			苦情相談窓口の充実	介護保険制度の仕組みや利用方法の情報提供	認知症の高齢者などの権利を守る制度の充実	低所得者に配慮した保険料設定の検討	健康づくり事業・保健事業の充実	軽減するための施策・事業	家族の介護負担を	健康づくりの教室や相談	介護している家族の	その他	わからない	無回答
	全体	2.9	16.9	5.9	17.9	9.6	26.1	5.7	0.7	4.4	24.1			
性別	男性	2.4	14.7	5.9	18.2	9.7	25.6	8.2	0.6	4.1	23.5			
	女性	3.3	18.1	5.8	18.2	9.8	27.2	4.6	0.8	4.8	23.0			
	無回答	0.0	12.1	6.1	9.1	6.1	6.1	3.0	0.0	0.0	54.5			
圏域	北部	1.8	17.3	5.4	18.3	8.6	28.8	4.7	0.0	6.1	24.5			
	西部	3.3	16.8	7.1	13.7	11.3	25.0	6.0	0.8	3.8	24.5			
	東部	3.4	20.6	7.1	19.3	12.2	22.7	5.9	1.7	4.6	19.3			
	南部	3.0	11.7	3.6	23.9	6.1	31.0	6.1	0.5	3.0	23.9			
	無回答	3.1	18.8	0.0	15.6	3.1	9.4	6.3	0.0	3.1	53.1			

性別に見ると、男性は「通所サービスの量や質の充実」が最も多く、女性は「訪問サービスの量や質の充実」が最も多くなっています。

圏域別に見ると、「訪問サービスの量や質の充実」は西部と東部で多く、「通所サービスの量や質の充実」は北部と南部で多くなっています。

【前回調査との比較 介護施策で特に力を入れてほしいこと】

	居宅サービス利用者			居宅サービス未利用者			二次予防事業対象者		
	今回	前回	差	今回	前回	差	今回	前回	差
(n)	1109	857	-	443	285	-	561	178	-

＜介護サービス等に関すること＞

訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護などの訪問サービスの量や質の充実	29.4	26.1	3.3	27.5	18.9	8.6	29.2	20.2	9.0
通所介護（デイサービス）や通所リハビリテーションなど通所サービスの量や質の充実	26.9	27.2	-0.3	16.9	14.0	2.9	17.5	19.1	-1.6
24時間対応の在宅サービスの量や質の充実	13.3	13.4	-0.1	15.3	13.0	2.3	13.9	15.7	-1.8
短期入所（ショートステイ）の量や質の充実	17.9	16.7	1.2	8.1	10.2	-2.1	13.5	10.1	3.4
施設待機解消のための施設整備の促進	16.5	18.8	-2.3	13.5	18.9	-5.4	16.6	21.3	-4.7
認知症対応のサービスの量や質の充実	11.8	11.9	-0.1	11.1	11.2	-0.1	10.0	11.8	-1.8
介護保険制度の対象とならない市独自のサービス提供	11.1	13.1	-2.0	8.4	10.9	-2.5	11.6	13.5	-1.9

＜介護サービス事業者等の質の向上に関すること＞

サービス利用にあたって重要な役割を担うケアマネジャーの質の向上	14.4	12.7	1.7	12.4	13.0	-0.6	13.2	15.7	-2.5
介護サービス事業者の質を高めるための指導の充実	10.8	10.6	0.2	7.0	9.8	-2.8	9.8	9.0	0.8
ケアマネジャーや介護サービス事業者に関する情報提供の充実	15.1	14.7	0.4	11.7	14.0	-2.3	10.5	11.8	-1.3
苦情相談窓口の充実	2.9	4.8	-1.9	3.8	4.2	-0.4	6.1	9.6	-3.5
介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実	16.9	17.6	-0.7	15.8	26.3	-10.5	23.7	29.2	-5.5

＜その他＞

認知症の高齢者などの権利を守るための制度の充実	5.9	7.4	-1.5	4.7	6.0	-1.3	6.1	5.1	1.0
低所得者の負担軽減に配慮した所得階層の見直しなど保険料設定の検討	17.9	20.5	-2.6	17.6	25.3	-7.7	18.5	18.0	0.5
介護予防や要介護度の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実	9.6	10.3	-0.7	6.3	5.3	1.0	8.7	25.8	-17.1
家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	26.1	33.4	-7.3	19.6	34.7	-15.1	23.4	29.2	-5.8
介護している家族の健康づくりのための教室や相談	5.7	9.2	-3.5	5.2	6.0	-0.8	5.7	9.0	-3.3
その他	0.7	3.5	-2.8	1.1	1.8	-0.7	0.9	1.1	-0.2
わからない	4.4	6.5	-2.1	9.3	9.1	0.2	9.1	11.2	-2.1
無回答	24.1	12.7	11.4	30.9	11.6	19.3	26.0	11.8	14.2

	高齢者一般			e-モニター		
	今回	前回	差	今回	前回	差
(n)	664	660	-	495	878	-

<介護サービス等に関すること>

訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護などの訪問サービスの量や質の充実	28.8	25.0	3.8	47.7	49.8	-2.1
通所介護（デイサービス）や通所リハビリテーションなど通所サービスの量や質の充実	17.6	16.8	0.8	28.9	33.5	-4.6
24時間対応の在宅サービスの量や質の充実	16.9	22.4	-5.5	39.0	41.2	-2.2
短期入所（ショートステイ）の量や質の充実	12.8	10.3	2.5	26.3	23.8	2.5
施設待機解消のための施設整備の促進	22.4	24.8	-2.4	34.9	34.2	0.7
認知症対応のサービスの量や質の充実	7.5	9.2	-1.7	27.3	22.4	4.9
介護保険制度の対象とならない市独自のサービス提供	10.2	12.6	-2.4	11.5	15.3	-3.8

<介護サービス事業者等の質の向上に関すること>

サービス利用にあたって重要な役割を担うケアマネジャーの質の向上	15.5	15.6	-0.1	18.0	17.0	1.0
介護サービス事業者の質を高めるための指導の充実	12.5	9.4	3.1	12.3	0.0	12.3
ケアマネジャーや介護サービス事業者に関する情報提供の充実	8.7	7.9	0.8	14.7	0.0	14.7
苦情相談窓口の充実	6.0	12.3	-6.3	6.3	7.3	-1.0
介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実	23.0	27.0	-4.0	21.8	20.5	1.3

<その他>

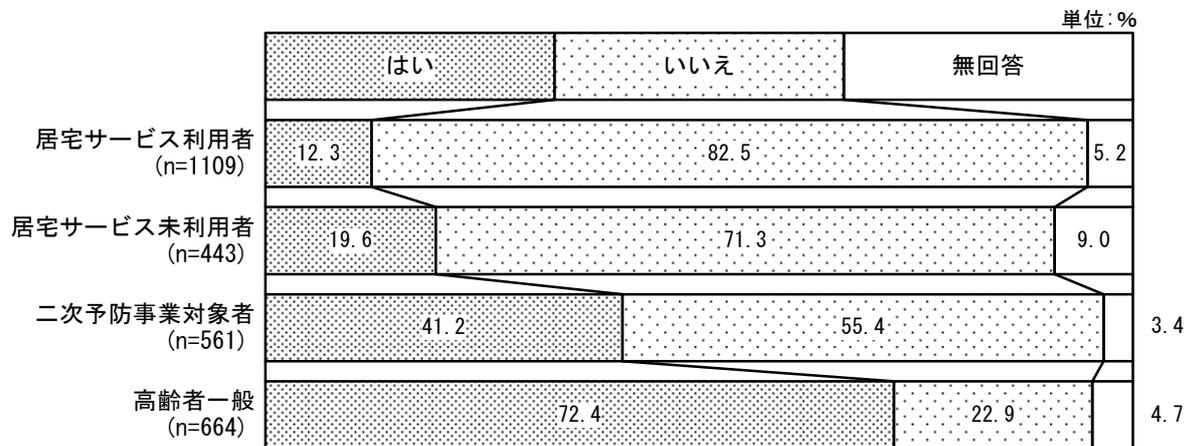
認知症の高齢者などの権利を守るための制度の充実	4.4	5.6	-1.2	4.8	5.4	-0.6
低所得者の負担軽減に配慮した所得階層の見直しなど保険料設定の検討	17.5	23.5	-6.0	19.4	18.2	1.2
介護予防や要介護度の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実	9.2	13.3	-4.1	7.1	8.5	-1.4
家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	26.1	32.3	-6.2	40.6	44.3	-3.7
介護している家族の健康づくりのための教室や相談	7.1	7.9	-0.8	5.1	6.8	-1.7
その他	0.8	1.4	-0.6	3.0	2.4	0.6
わからない	9.3	11.4	-2.1	8.3	5.8	2.5
無回答	24.4	12.3	12.1	0.0	0.0	0.0

前回調査と比較すると、居宅サービス未利用者では「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が減少しています。二次予防事業対象者では「介護予防や要介護度の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実」が減少しています。

4. 運動・閉じこもりについて

48 階段の昇降

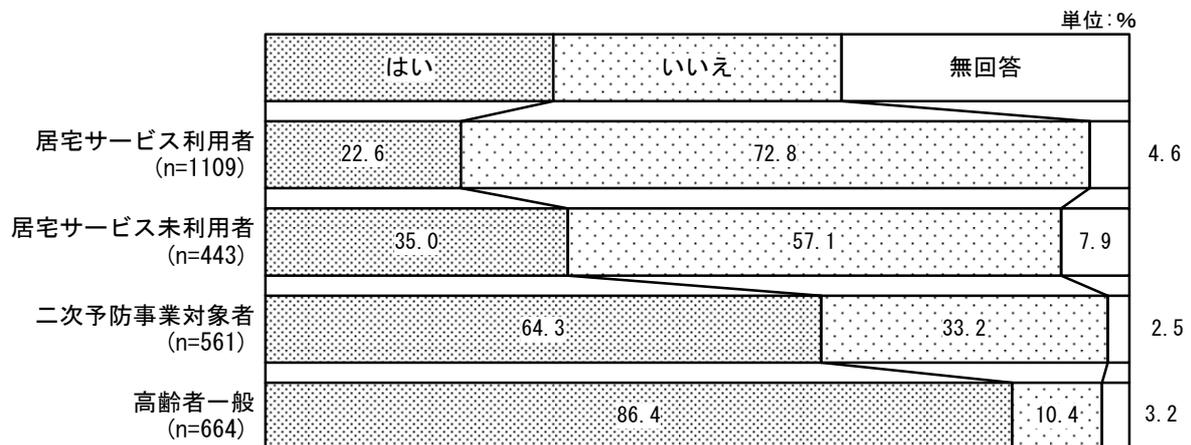
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



「はい」は、居宅サービス利用者では 12.3%、居宅サービス未利用者では 19.6%にとどまっています。

49 椅子からの立ち上がり

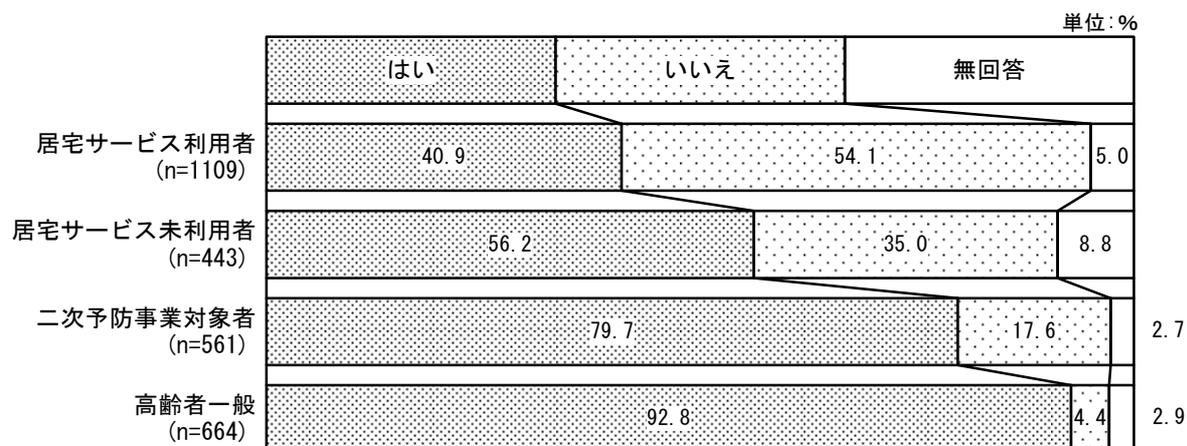
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



「はい」は、居宅サービス利用者では 22.6%にとどまっています。

50 15分の歩行

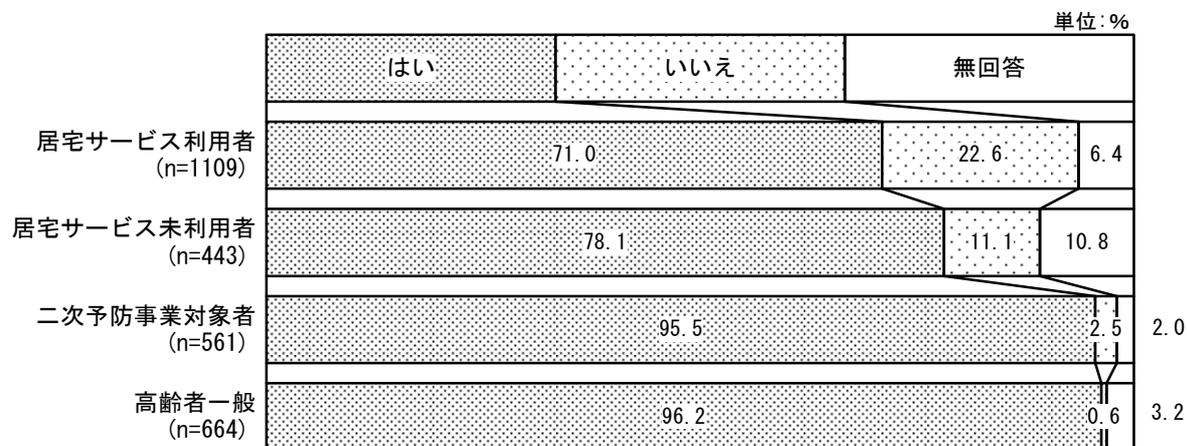
15分位続けて歩いていますか



「はい」は、居宅サービス利用者では40.9%、居宅サービス未利用者では56.2%となっています。

51 5m以上の歩行

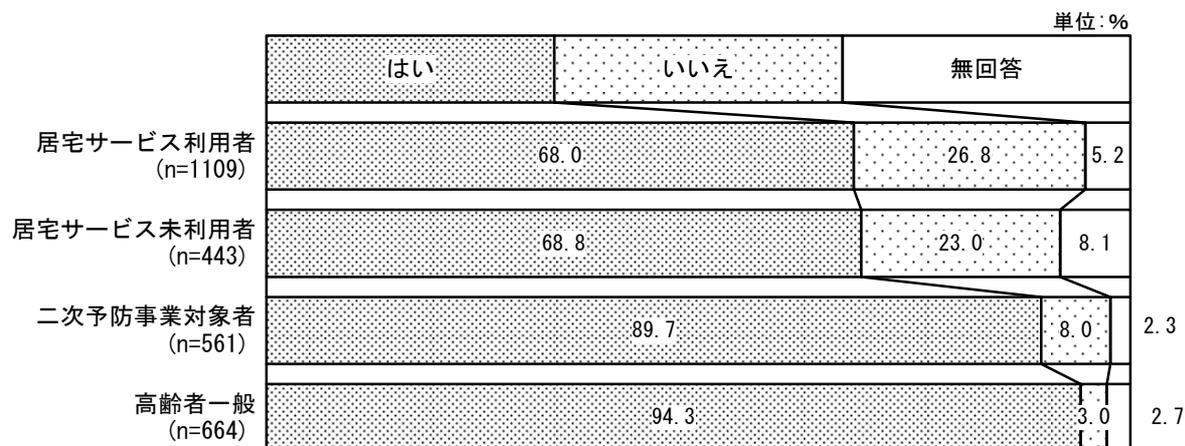
5m以上歩けますか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では7割台となっています。

52 週1回以上の外出

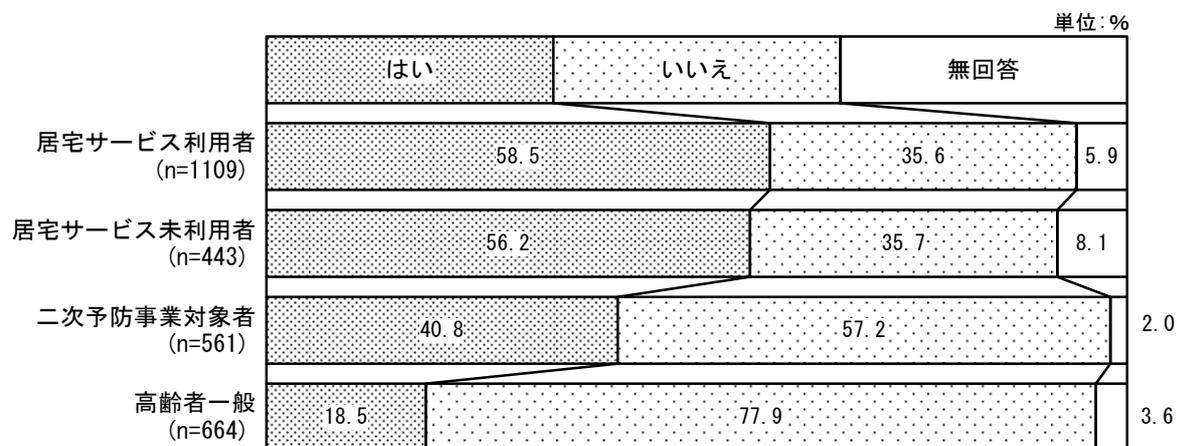
週に1回以上は外出していますか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では7割弱となっています。

53 外出回数の減少

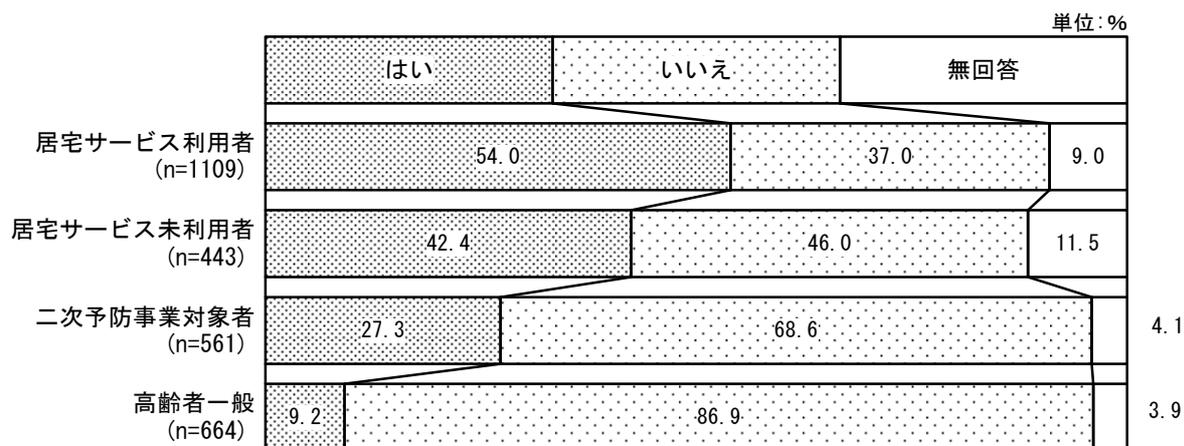
昨年と比べて外出の回数が減っていますか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では半数以上を占めています。

54 外出を控えること

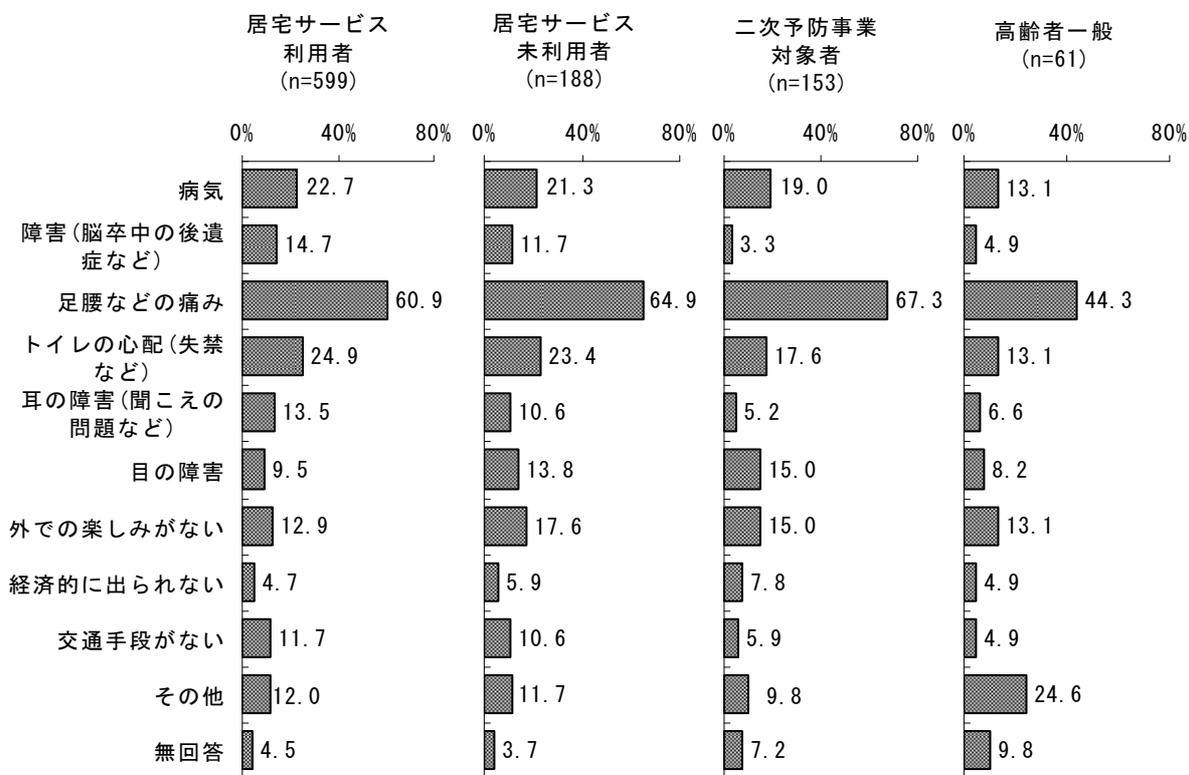
外出を控えていますか



居宅サービス利用者では「はい」が半数以上を占めています。

54-1 外出を控えている理由

(外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

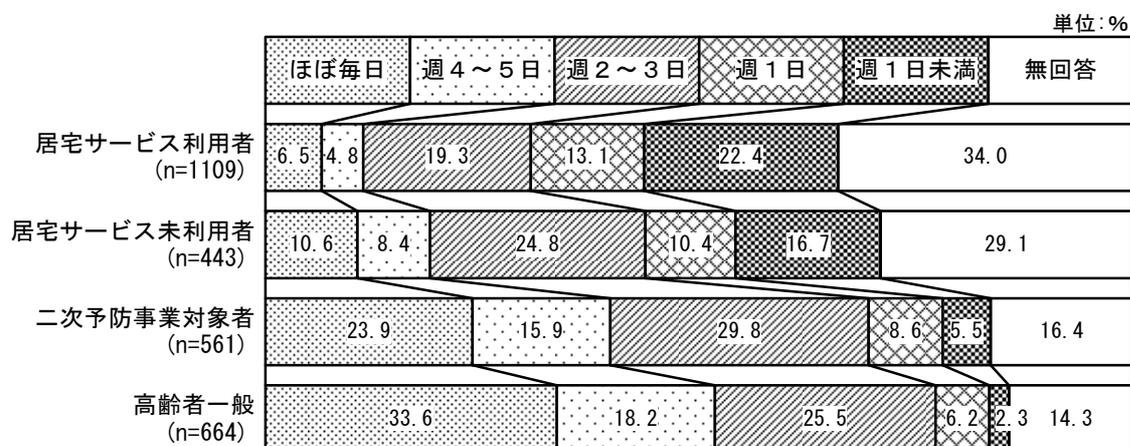


各対象層とも「足腰などの痛み」が最も多くなっています。

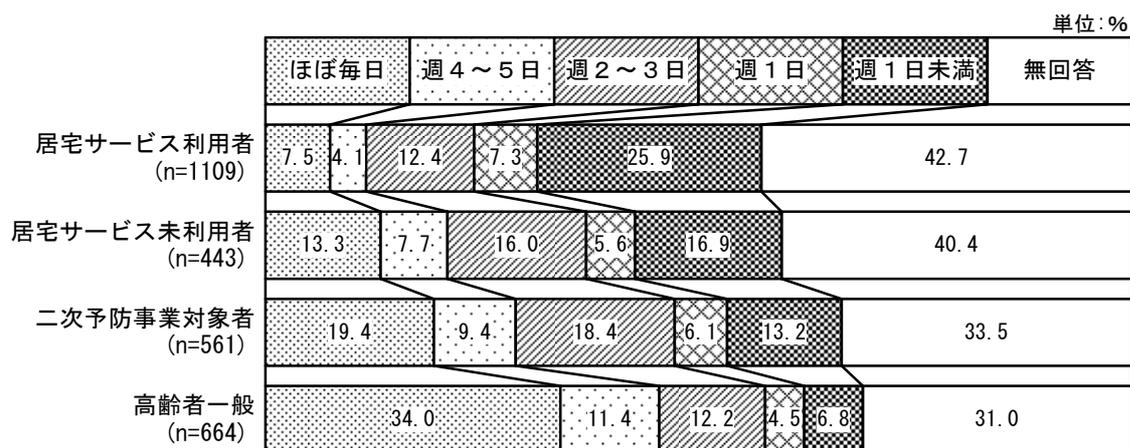
55 買物、散歩で外出する頻度

買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか（それぞれ1つ）

①買物



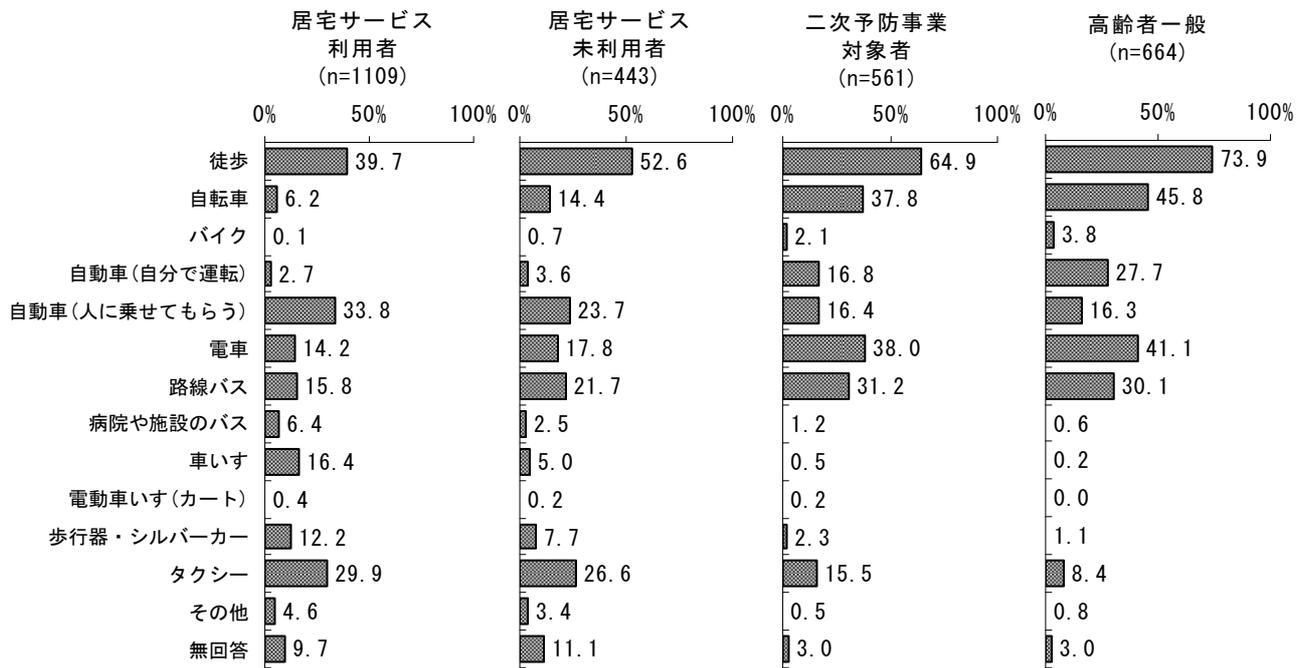
②散歩



買物、散歩とも、「週1日未満」は、居宅サービス利用者では2割台となっています。

56 外出する際の移動手段

外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

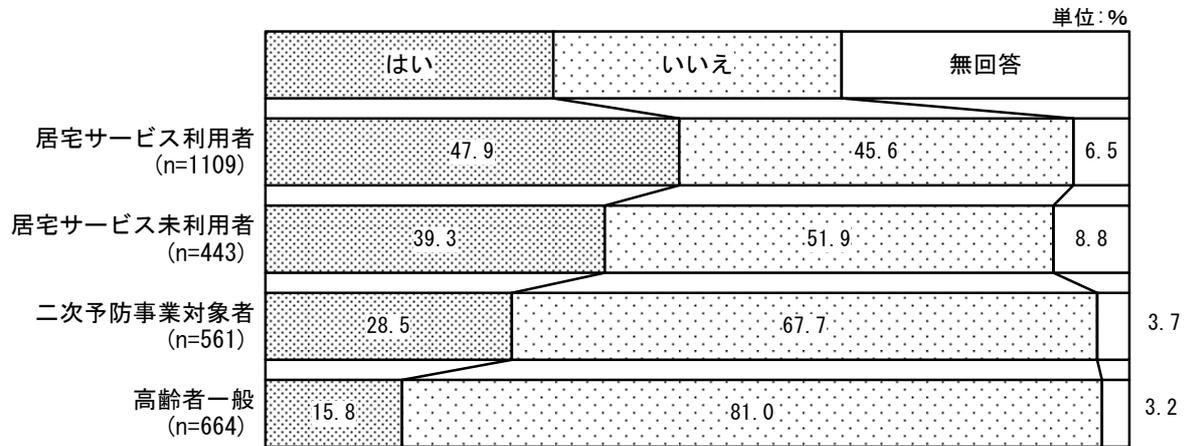


各対象層とも「徒歩」が最も多くなっています。

5. 転倒予防について

57 転倒の有無

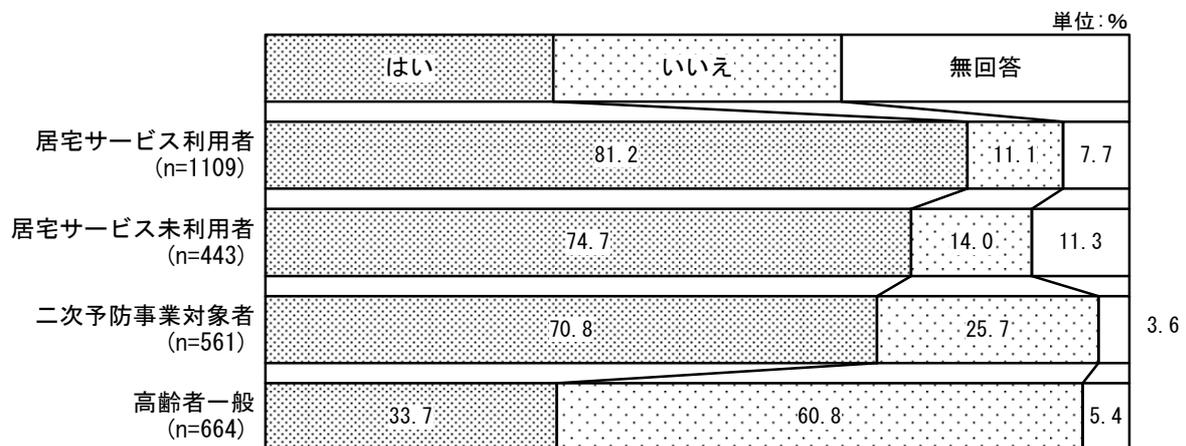
この1年間に転んだことがありますか



「はい」は、居宅サービス利用者では47.9%、居宅サービス未利用者では39.3%となっています。

58 転倒に対する不安

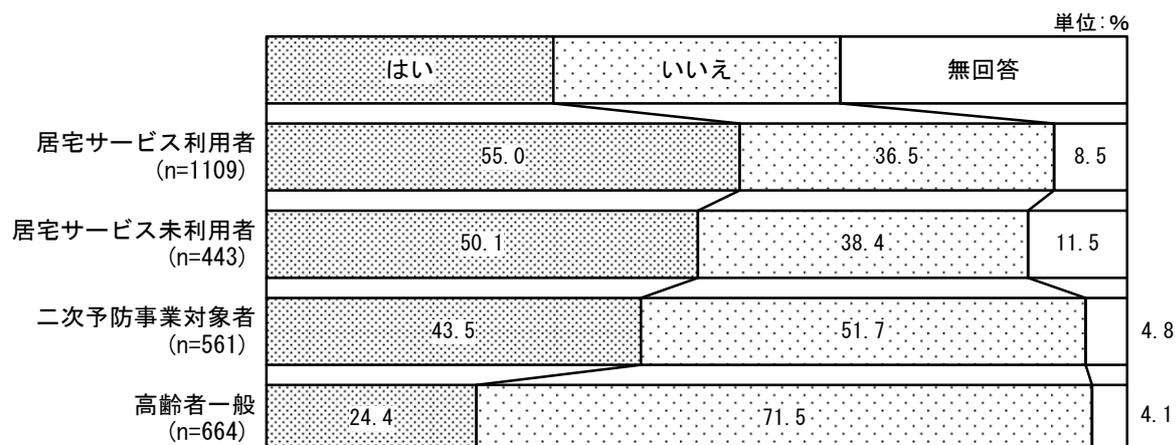
転倒に対する不安は大きいですか



「はい」は、居宅サービス利用者では81.2%、居宅サービス未利用者では74.7%、二次予防事業対象者では70.8%を占めています。

59 背中丸み

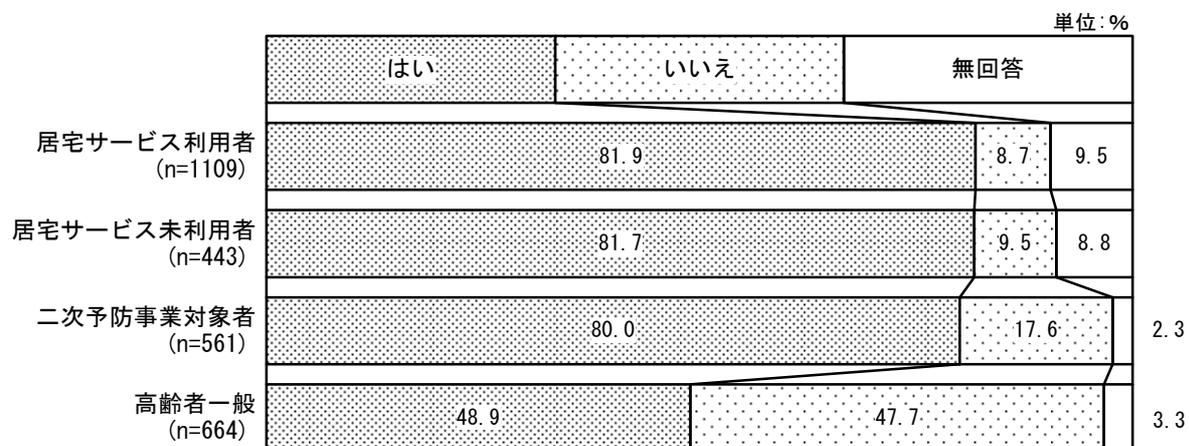
背中が丸くなってきましたか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では半数以上を占めています。

60 歩行速度の低下

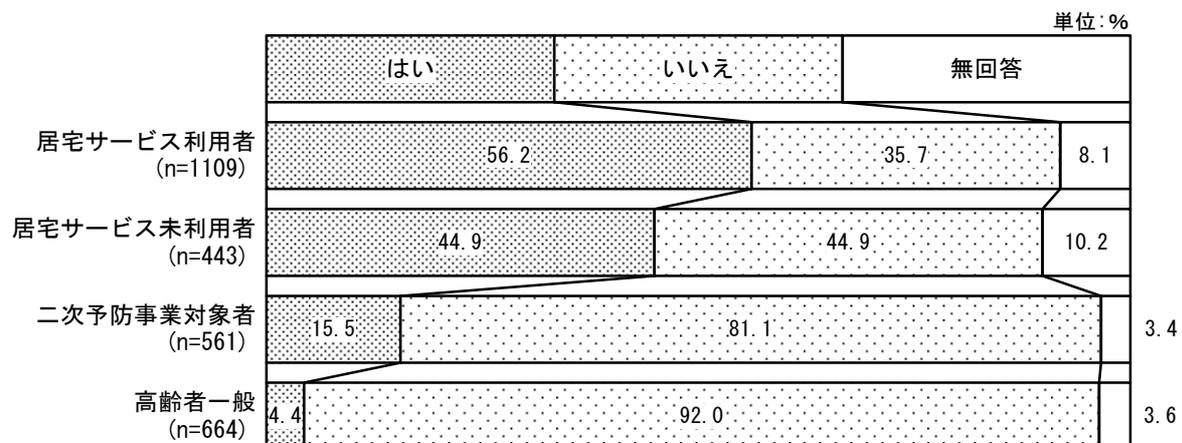
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者では8割を占めています。

61 杖の使用の有無

杖を使っていますか

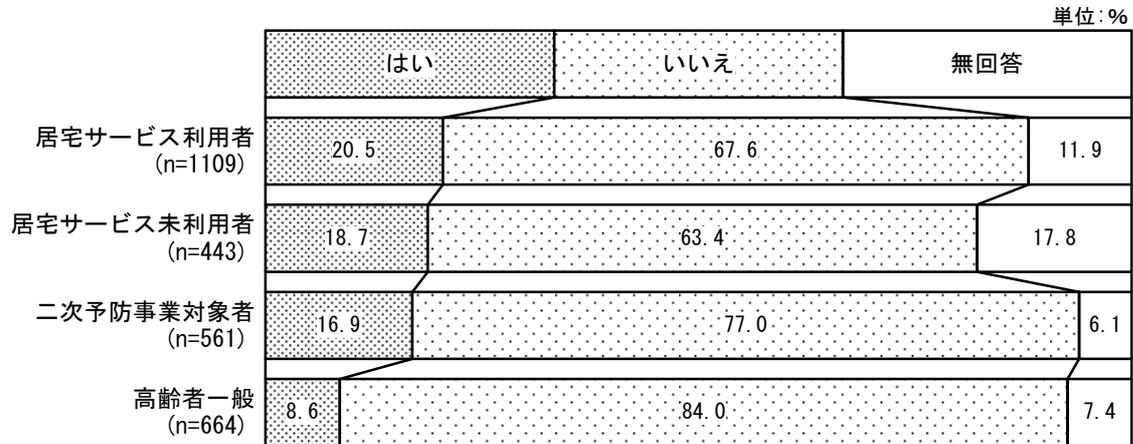


「はい」は、居宅サービス利用者では56.2%、居宅サービス未利用者では44.9%となっています。

6. 口腔・栄養について

62 体重減少の有無

6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者では2割前後となっています。

63 身長、体重

①身長

単位：%

	150cm未満	150cm台	160cm台	170cm以上	無回答	平均
居宅サービス利用者 (n=1109)	29.1	31.6	16.5	4.9	17.9	152.9 cm
居宅サービス未利用者 (n=443)	24.2	32.7	17.6	5.0	20.5	154.2 cm
二次予防事業対象者 (n=561)	21.7	35.5	26.6	8.2	8.0	156.5 cm
高齢者一般 (n=664)	20.0	34.8	30.3	8.9	6.0	157.3 cm

②体重

単位：%

	50kg未満	50kg台	60kg台	70kg以上	無回答	平均
居宅サービス利用者 (n=1109)	39.0	23.4	15.0	5.4	17.3	51.5 kg
居宅サービス未利用者 (n=443)	35.4	23.9	14.9	6.8	19.0	52.5 kg
二次予防事業対象者 (n=561)	24.4	32.4	21.6	13.5	8.0	56.9 kg
高齢者一般 (n=664)	25.3	31.5	27.4	8.7	7.1	56.1 kg

③BMI

単位：%

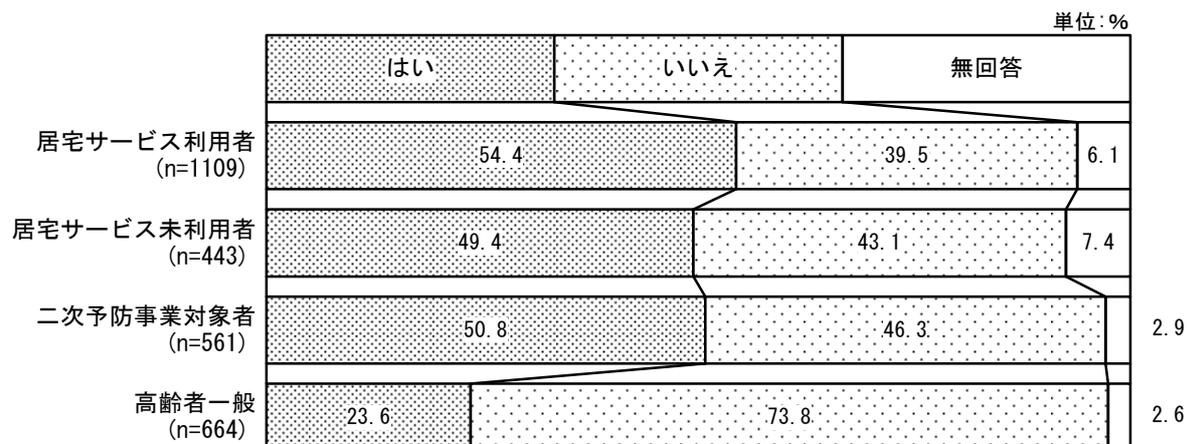
	18.5未満 (低体重)	18.5~25未満 (普通体重)	25以上 (肥満)	無回答	平均
居宅サービス利用者 (n=1109)	13.3	51.8	15.3	19.5	22.0
居宅サービス未利用者 (n=443)	12.2	51.0	15.1	21.7	22.0
二次予防事業対象者 (n=561)	10.5	53.5	27.1	8.9	23.2
高齢者一般 (n=664)	8.4	66.6	17.6	7.4	22.6

※BMIの算出方法：BMI = 体重 ÷ 身長²（身長はメートルに換算）

各対象層とも平均身長は 150 cm台、平均体重は 50 kg台となっています。平均BMIは二次予防事業対象者は 23.2、それ以外の対象層は 22 台となっています。

64 固いものの摂取

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者では5割前後となっています。

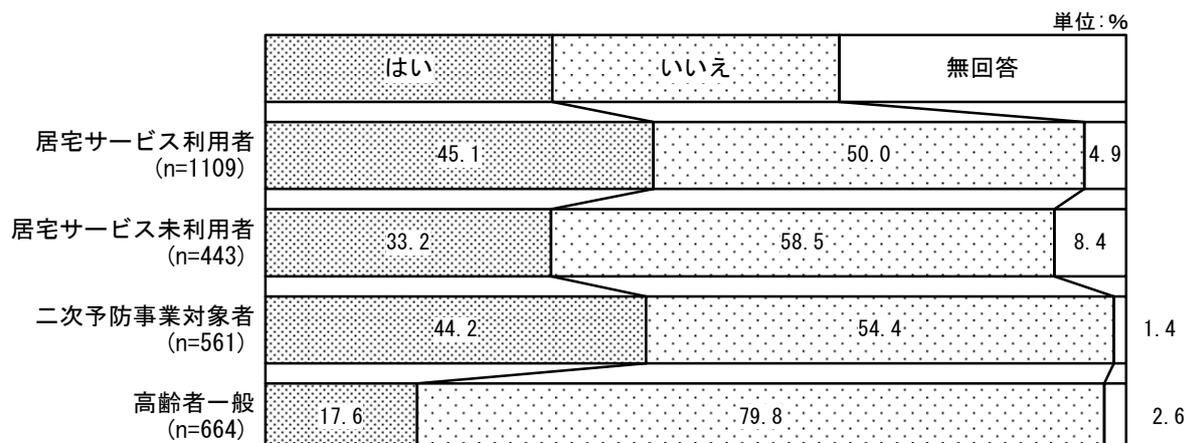
【居宅サービス利用者：要介護度別 固いものの摂取】

	n	はい	いいえ	無回答	
全体	1,109	54.4	39.5	6.1	
要介護度	要支援1	176	52.3	43.8	4.0
	要支援2	230	56.1	41.3	2.6
	要介護1	162	47.5	48.1	4.3
	要介護2	204	52.0	45.6	2.5
	要介護3	126	61.1	32.5	6.3
	要介護4	72	68.1	27.8	4.2
	要介護5	71	57.7	18.3	23.9
	無回答	68	47.1	30.9	22.1

要介護度別に見ると、要介護3・4では「はい」が6割以上を占めています。

65 お茶や汁物等でむせること

お茶や汁物等でむせることがありますか



「はい」は、居宅サービス利用者、二次予防事業対象者では4割台となっています。

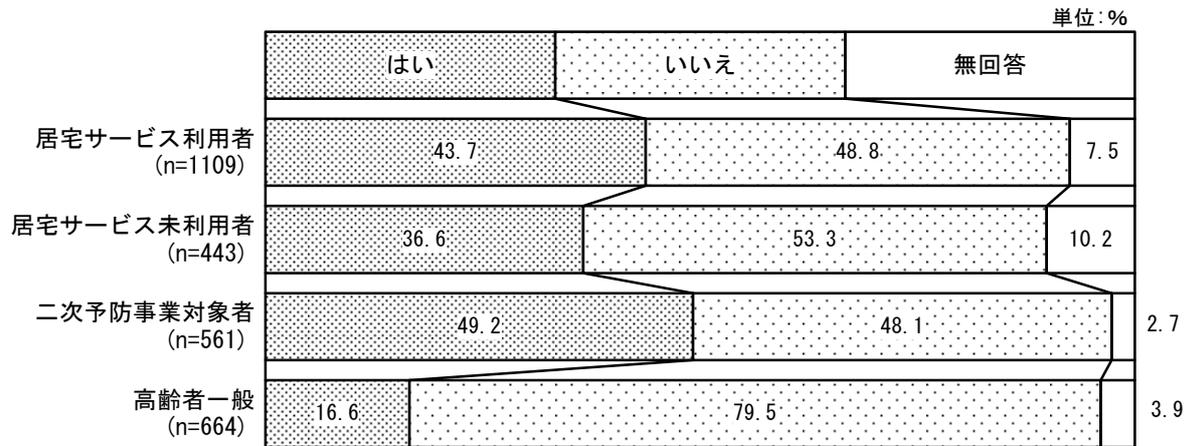
【居宅サービス利用者：要介護度別 お茶や汁物等でむせること】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	45.1	50.0	4.9
要介護度	要支援1	176	46.6	50.6	2.8
	要支援2	230	44.3	53.0	2.6
	要介護1	162	36.4	60.5	3.1
	要介護2	204	42.6	55.9	1.5
	要介護3	126	50.0	46.0	4.0
	要介護4	72	56.9	40.3	2.8
	要介護5	71	52.1	26.8	21.1
	無回答	68	42.6	38.2	19.1

要介護度別に見ると、要介護3～5では「はい」が5割台となっています。

66 口の渇き

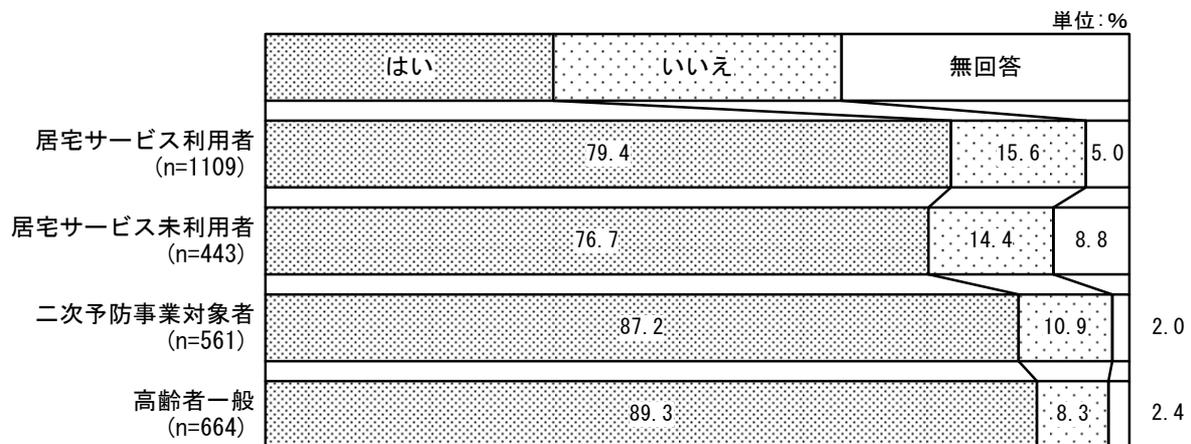
口の渇きが気になりますか



「はい」は、居宅サービス利用者、二次予防事業対象者では4割台となっています。

67 毎日の歯磨き

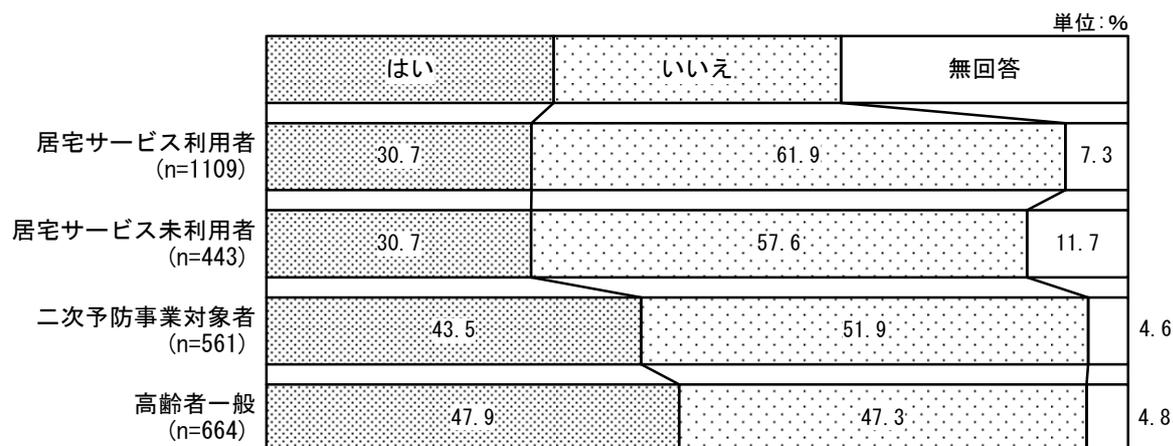
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか



「いいえ」は、居宅サービス利用者では15.6%、居宅サービス未利用者では14.4%とやや多くなっています。

68 定期的な歯科受診

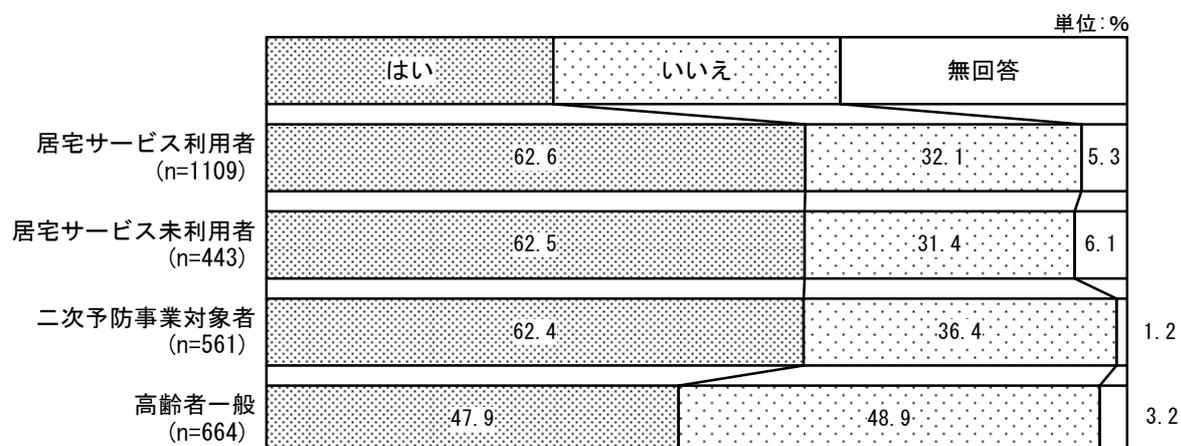
定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では3割となっています。

69 入れ歯の使用

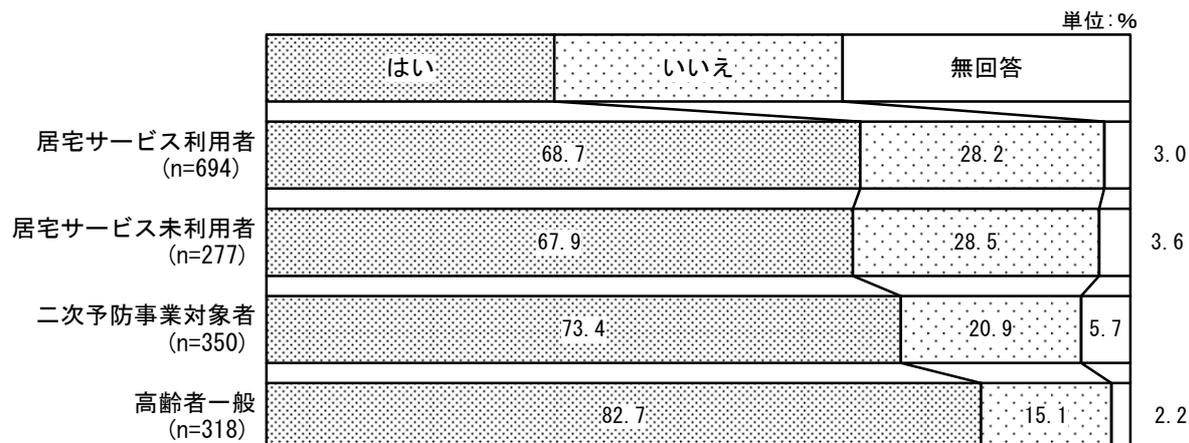
入れ歯を使用していますか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者では6割強となっています。

69-1 噛み合わせの状態

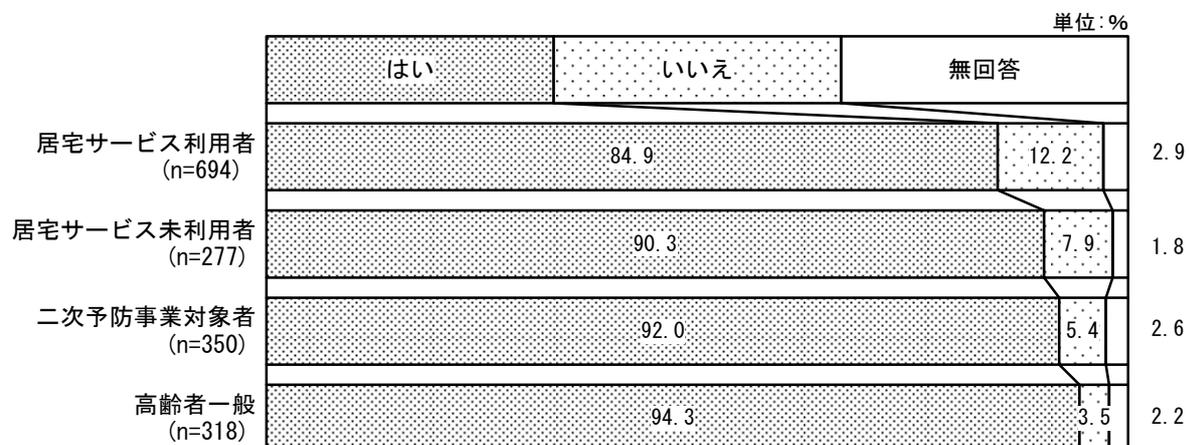
(入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者では7割前後となっています。

69-2 入れ歯の手入れ

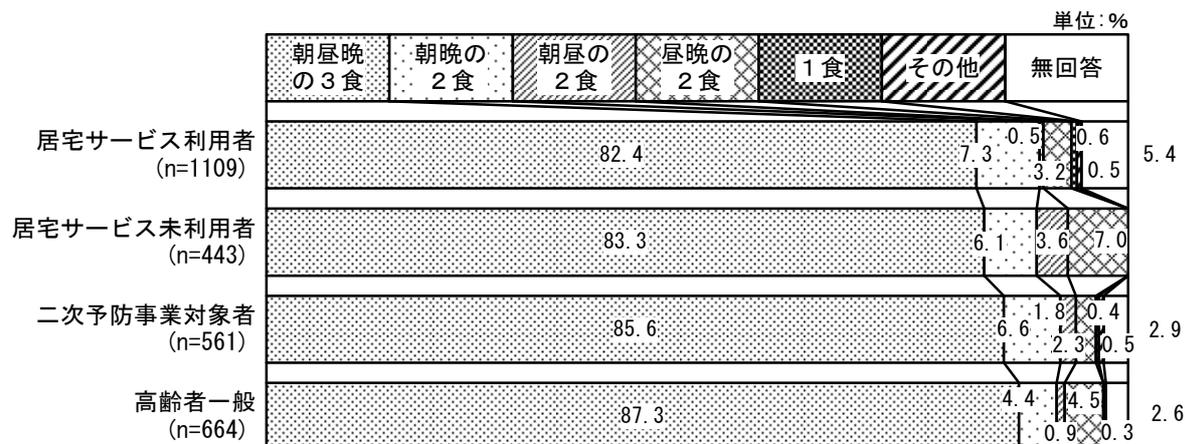
(入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか



「いいえ」は、居宅サービス利用者では1割を超えています。

70 1日の食事の回数

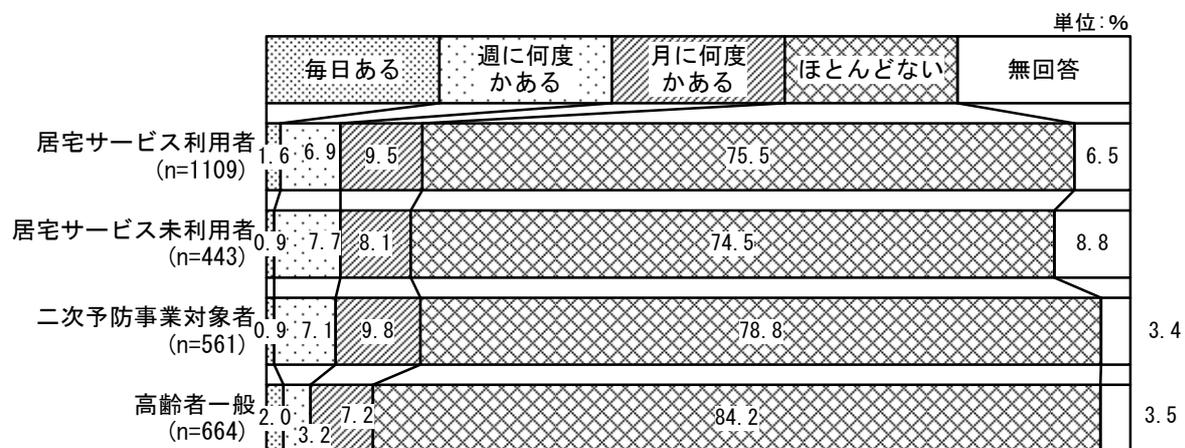
1日の食事の回数は何回ですか



各対象層とも「朝昼晩」が8割以上を占めています。

71 食事を抜くこと

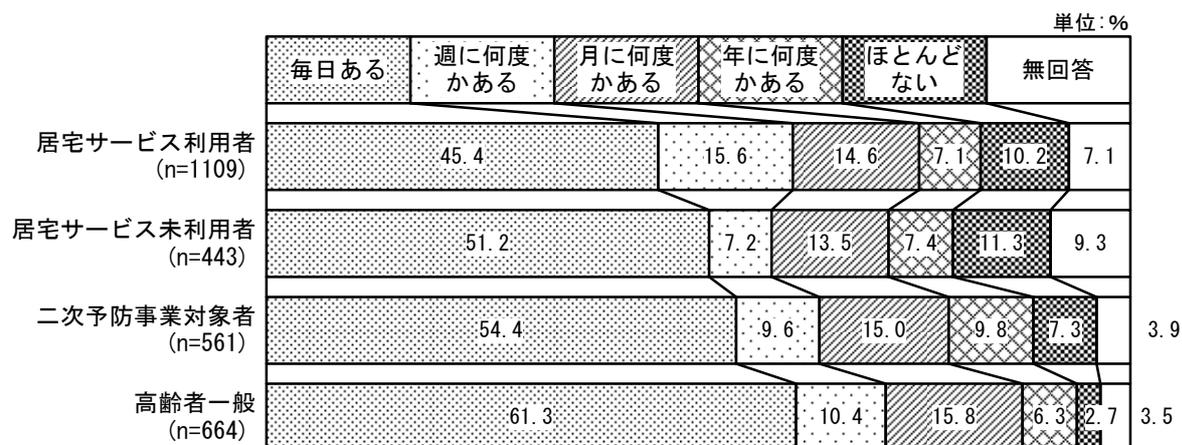
食事を抜くことがありますか



各対象層とも「ほとんどない」が7割以上を占めています。

72 誰かと食事をとにもする機会

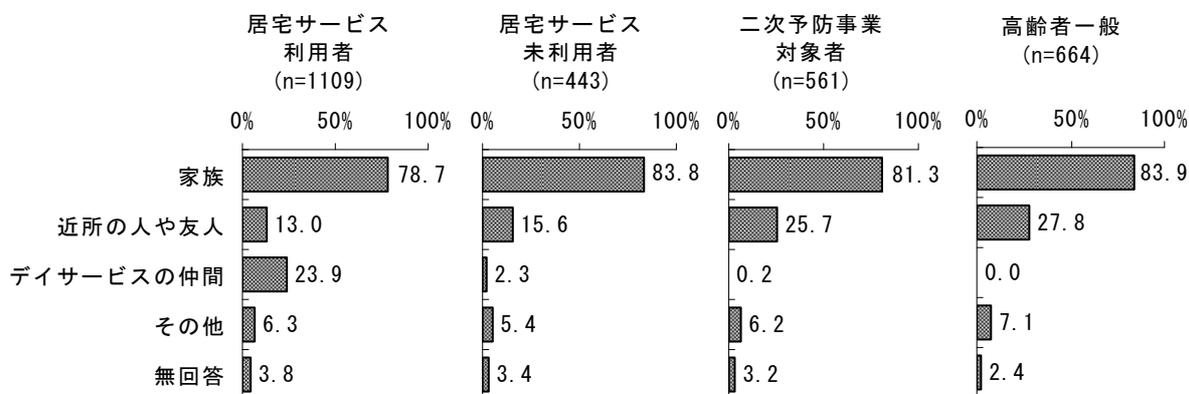
自分一人でなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか



「ほとんどない」が、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では1割を超えています。

72-1 食事をとにもする人

(どなたかと食事をとにもする機会がある方のみ) 食事をとにもする人はどなたですか(いくつでも)

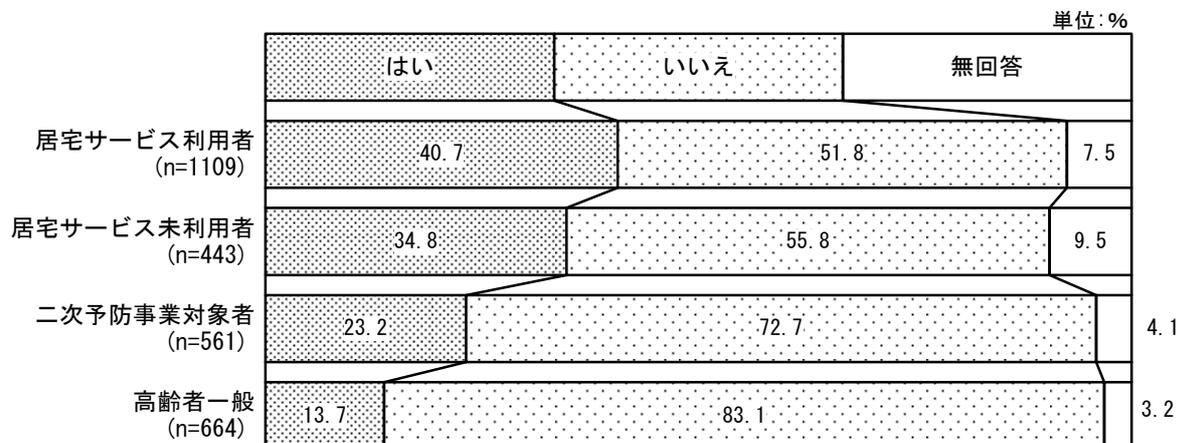


各対象層とも「家族」が8割前後と多くなっています。また、居宅サービス利用者では「デイサービスの仲間」、二次予防事業対象者、高齢者一般では「近所の人や友人」が2割台となっています。

7. 物忘れについて

73 周囲から物忘れがあるとと言われること

周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか



「はい」は、居宅サービス利用者では40.7%となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 周囲から物忘れがあるとと言われること】

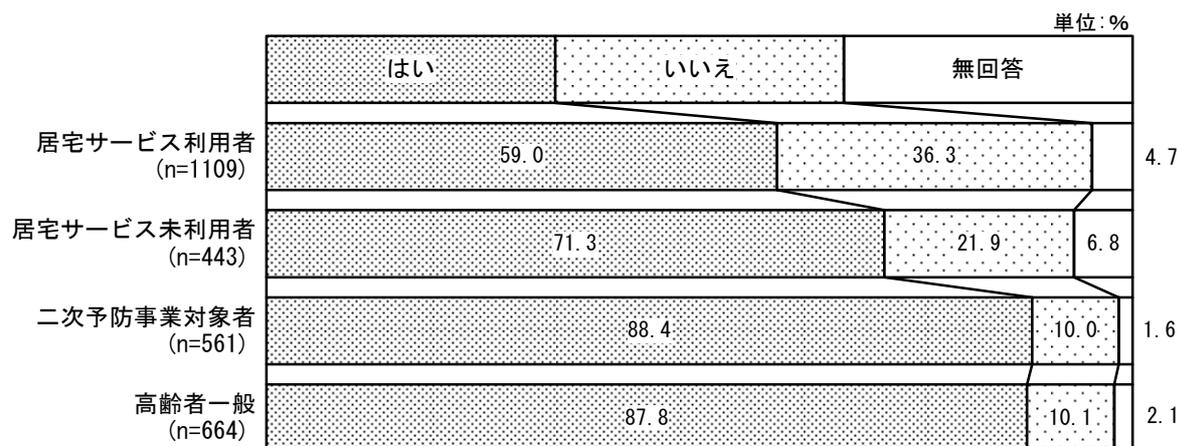
		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	40.7	51.8	7.5
年齢	65歳未満	34	23.5	70.6	5.9
	65～69歳	47	25.5	63.8	10.6
	70～74歳	118	28.0	66.1	5.9
	75～79歳	180	37.2	58.3	4.4
	80～84歳	278	40.3	53.6	6.1
	85歳以上	426	50.0	42.3	7.7
	無回答	26	23.1	34.6	42.3
要介護度	要支援1	176	27.3	66.5	6.3
	要支援2	230	30.9	63.5	5.7
	要介護1	162	46.9	48.8	4.3
	要介護2	204	44.6	52.0	3.4
	要介護3	126	65.1	26.2	8.7
	要介護4	72	47.2	47.2	5.6
	要介護5	71	47.9	29.6	22.5
	無回答	68	22.1	57.4	20.6

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて「はい」が増加しています。

要介護度別に見ると、要介護3は他の要介護度に比べて「はい」の割合が多くなっています。

74 電話番号を調べて、電話をかけること

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 36.3%、居宅サービス未利用者では 21.9%となっています。

【居宅サービス利用者：性別、年齢別、要介護度別 電話番号を調べて、電話をかけること】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	59.0	36.3	4.7
性別	男性	340	52.4	43.5	4.1
	女性	736	62.8	33.3	3.9
	無回答	33	42.4	30.3	27.3
年齢	65歳未満	34	50.0	47.1	2.9
	65～69歳	47	46.8	44.7	8.5
	70～74歳	118	62.7	33.1	4.2
	75～79歳	180	60.6	36.7	2.8
	80～84歳	278	68.3	29.9	1.8
	85歳以上	426	54.5	39.9	5.6
	無回答	26	38.5	30.8	30.8
要介護度	要支援1	176	89.2	8.5	2.3
	要支援2	230	88.7	10.0	1.3
	要介護1	162	58.0	39.5	2.5
	要介護2	204	54.4	43.1	2.5
	要介護3	126	22.2	71.4	6.3
	要介護4	72	19.4	76.4	4.2
	要介護5	71	11.3	67.6	21.1
	無回答	68	55.9	29.4	14.7

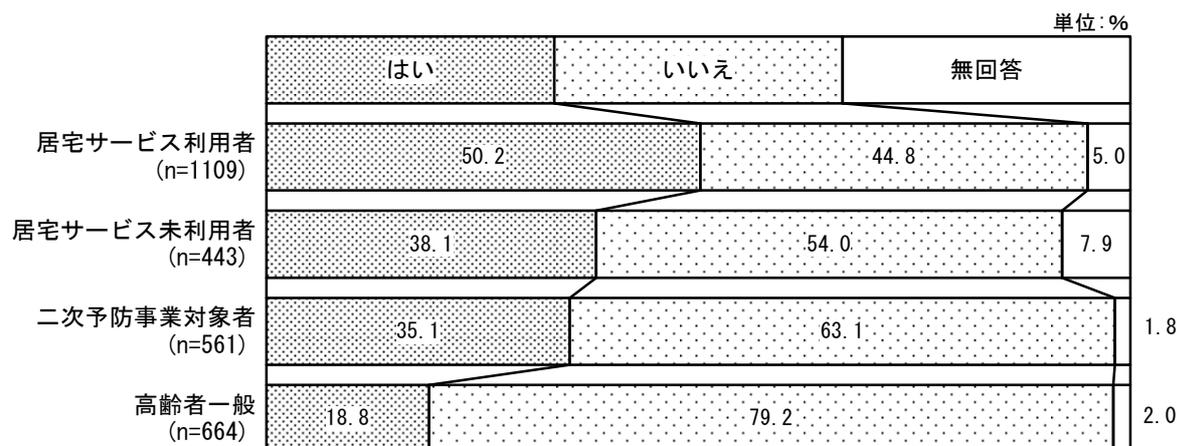
性別に見ると、女性は男性に比べて「はい」の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「はい」は70～84歳では6割台となっています。

要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて「はい」の割合が減少しており、要介護5では11.3%にとどまっています。

75 今日の日付の認識

今日が何月何日かわからない時がありますか



居宅サービス利用者では「はい」が半数を占めています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 今日の日付の認識】

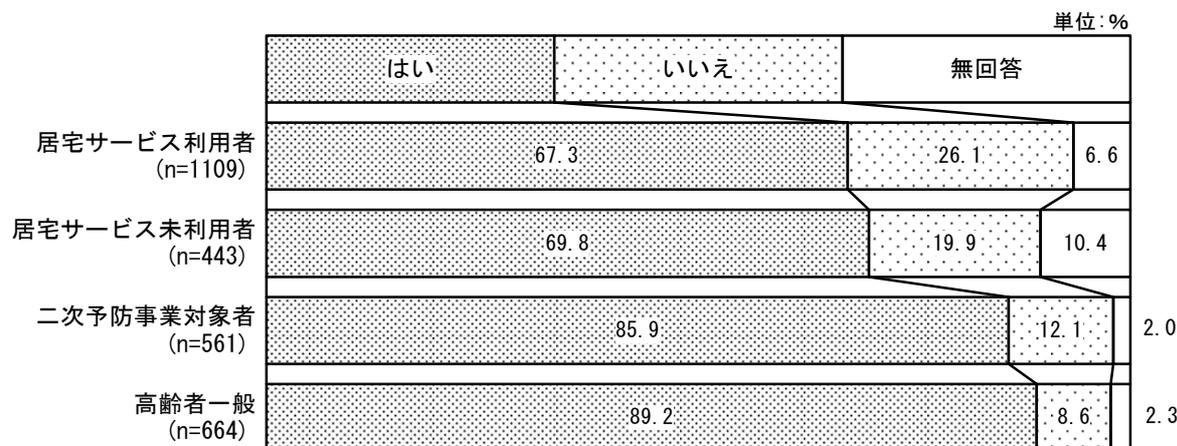
		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	50.2	44.8	5.0
年齢	65歳未満	34	44.1	52.9	2.9
	65～69歳	47	40.4	48.9	10.6
	70～74歳	118	38.1	58.5	3.4
	75～79歳	180	51.1	46.7	2.2
	80～84歳	278	48.2	49.6	2.2
	85歳以上	426	55.6	37.8	6.6
	無回答	26	57.7	15.4	26.9
要介護度	要支援1	176	40.3	56.3	3.4
	要支援2	230	35.7	61.7	2.6
	要介護1	162	57.4	39.5	3.1
	要介護2	204	54.9	42.2	2.9
	要介護3	126	69.0	26.2	4.8
	要介護4	72	62.5	34.7	2.8
	要介護5	71	54.9	25.4	19.7
	無回答	68	41.2	44.1	14.7

年齢別に見ると、75歳以上では「はい」が5割前後となっています。

要介護度別に見ると、要介護1～5では「はい」が半数以上を占めています。

76 5分前の記憶

5分前のことが思い出せますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 26.1%、居宅サービス未利用者では 19.9%となっています。

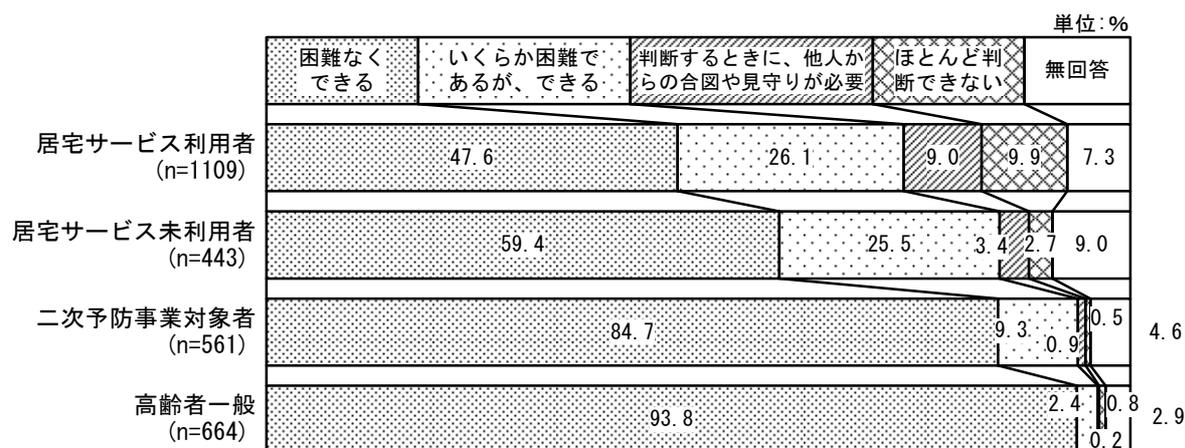
【居宅サービス利用者：要介護度別 5分前の記憶】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	67.3	26.1	6.6
要介護度	要支援1	176	84.1	11.4	4.5
	要支援2	230	82.6	14.8	2.6
	要介護1	162	64.2	30.2	5.6
	要介護2	204	71.1	24.5	4.4
	要介護3	126	43.7	48.4	7.9
	要介護4	72	54.2	38.9	6.9
	要介護5	71	32.4	45.1	22.5
	無回答	68	61.8	23.5	14.7

要介護度別に見ると、要介護3と5では「いいえ」が4割台となっています。

77 その日の活動の判断

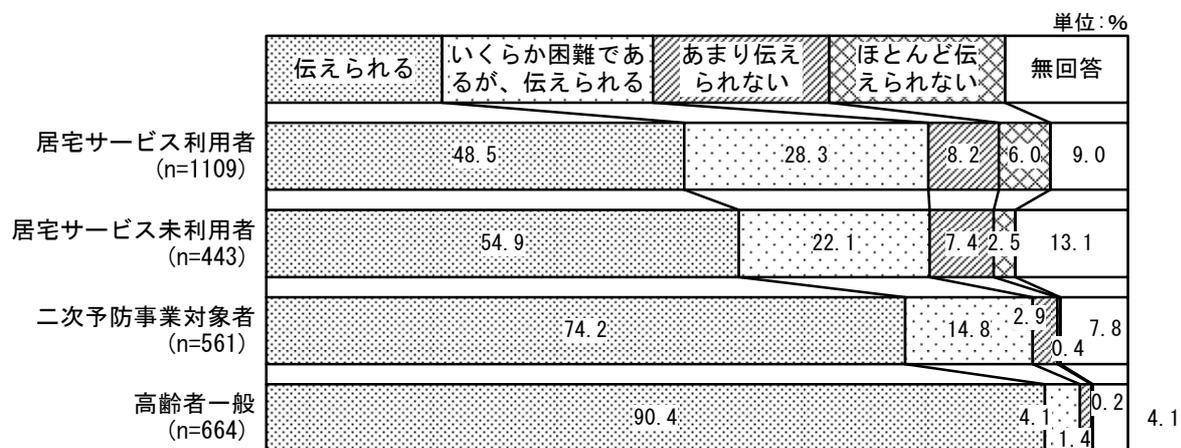
その日の活動（食事を食べる、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか



居宅サービス利用者では「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」と「ほとんど判断できない」がそれぞれ約1割となっています。

78 意思の伝達

人に自分の考えをうまく伝えられますか

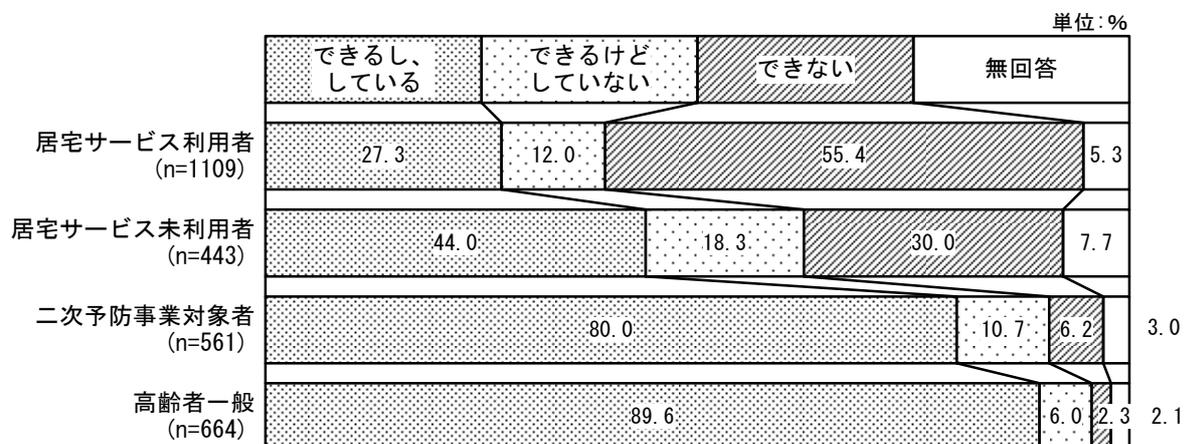


『伝えられない』（「あまり伝えられない」＋「ほとんど伝えられない」）が、居宅サービス利用者では14.2%、居宅サービス未利用者では9.9%となっています。

8. 日常生活について

79 一人での外出

バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）



「できない」が、居宅サービス利用者では 55.4%、居宅サービス未利用者では 30.0%となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 一人での外出】

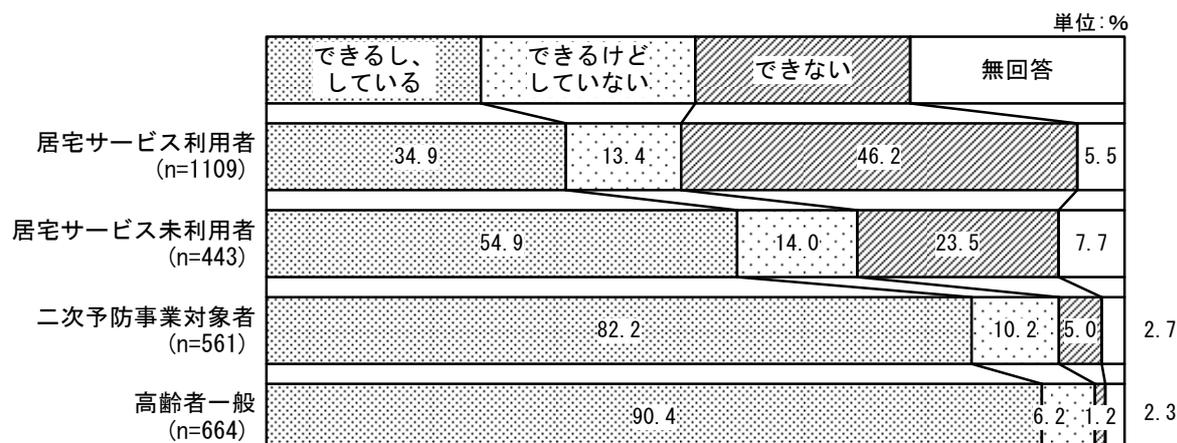
		n	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,109	27.3	12.0	55.4	5.3
年齢	65歳未満	34	26.5	8.8	61.8	2.9
	65～69歳	47	23.4	6.4	61.7	8.5
	70～74歳	118	28.8	10.2	55.9	5.1
	75～79歳	180	32.8	12.2	52.8	2.2
	80～84歳	278	35.6	12.9	46.4	5.0
	85歳以上	426	20.0	12.7	61.5	5.9
	無回答	26	23.1	11.5	46.2	19.2
要介護度	要支援1	176	65.3	15.9	14.2	4.5
	要支援2	230	43.5	19.6	32.6	4.3
	要介護1	162	22.2	17.3	56.2	4.3
	要介護2	204	12.7	8.3	76.0	2.9
	要介護3	126	1.6	3.2	91.3	4.0
	要介護4	72	1.4	4.2	88.9	5.6
	要介護5	71	1.4	0.0	88.7	9.9
	無回答	68	32.4	11.8	38.2	17.6

年齢別に見ると、84歳までは年齢が上がるにつれて「できない」が減少していますが、85歳以上では61.5%となっています。

要介護度別に見ると、「できない」は要介護3～5で9割前後を占めています。

80 日用品の買物

日用品の買物をしていますか



「できない」が、居宅サービス利用者では 46.2%、居宅サービス未利用者では 23.5%と多くなっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 日用品の買物】

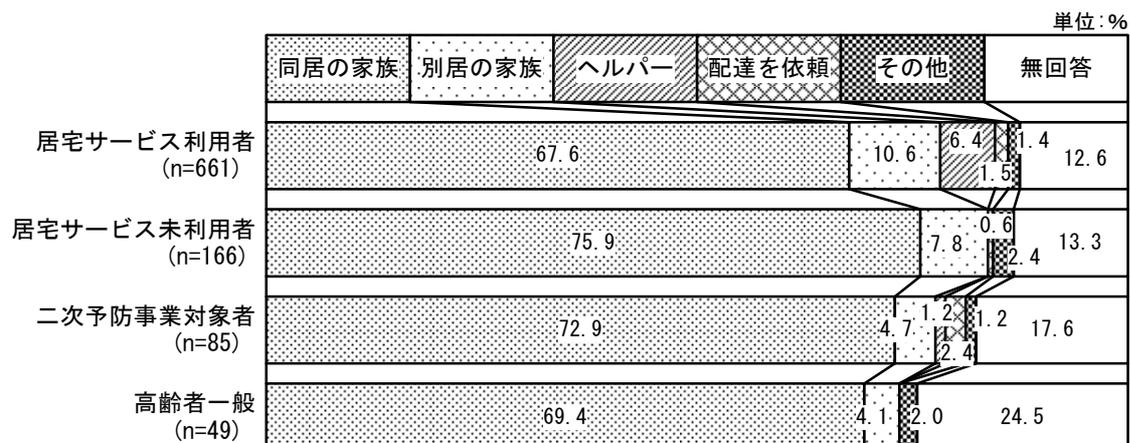
	n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全体	1,109	34.9	13.4	46.2	5.5	
年齢	65歳未満	34	32.4	14.7	47.1	5.9
	65～69歳	47	29.8	17.0	44.7	8.5
	70～74歳	118	37.3	8.5	46.6	7.6
	75～79歳	180	40.6	13.3	44.4	1.7
	80～84歳	278	42.1	15.1	39.2	3.6
	85歳以上	426	27.7	13.6	52.1	6.6
	無回答	26	38.5	7.7	34.6	19.2
要介護度	要支援1	176	74.4	11.9	9.1	4.5
	要支援2	230	57.4	14.3	24.8	3.5
	要介護1	162	30.2	22.8	42.6	4.3
	要介護2	204	15.2	20.1	61.3	3.4
	要介護3	126	4.0	7.1	84.1	4.8
	要介護4	72	5.6	1.4	86.1	6.9
	要介護5	71	2.8	1.4	84.5	11.3
	無回答	68	48.5	8.8	25.0	17.6

年齢別に見ると、84歳までは年齢が上がるにつれて「できない」が減少していますが、85歳以上では52.1%となっています。

要介護度別に見ると、「できない」は要介護3～5で8割台を占めています。

80-1 日用品の買物をする人

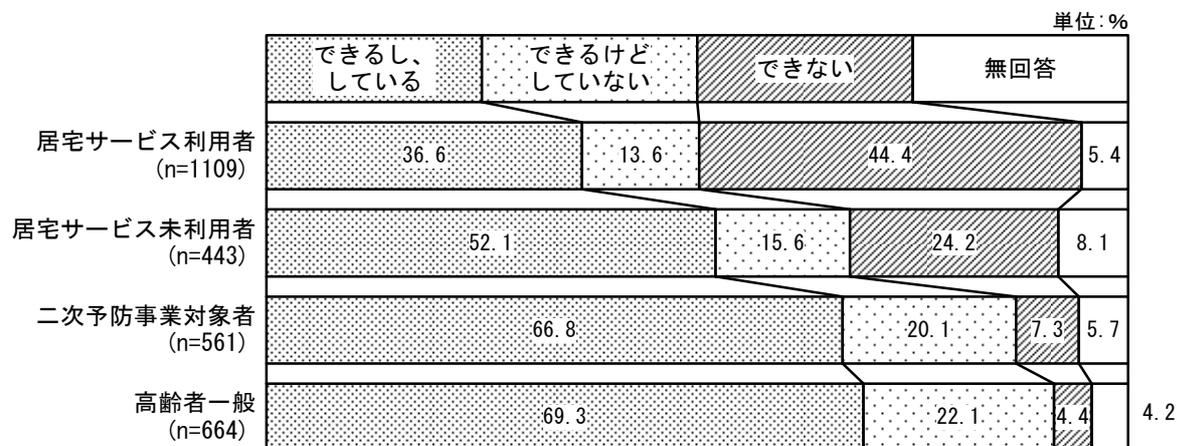
(日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか



各対象層とも『家族』(「同居の家族」 + 「別居の家族」) が7割以上を占めています。

81 食事の用意

自分で食事の用意をしていますか



「できない」が、居宅サービス利用者では 44.4%、居宅サービス未利用者では 24.2%と多くなっています。

【居宅サービス利用者：性別、年齢別、要介護度別 食事の用意】

		n	でき ている し、	でき ない けど	でき ない	無 回 答
全体		1,109	36.6	13.6	44.4	5.4
性別	男性	340	22.4	16.2	56.8	4.7
	女性	736	43.9	12.5	38.7	4.9
	無回答	33	21.2	12.1	42.4	24.2
年齢	65歳未満	34	32.4	2.9	61.8	2.9
	65～69歳	47	25.5	17.0	46.8	10.6
	70～74歳	118	38.1	6.8	50.0	5.1
	75～79歳	180	39.4	15.6	42.2	2.8
	80～84歳	278	46.8	10.8	38.1	4.3
	85歳以上	426	30.3	17.4	46.5	5.9
	無回答	26	30.8	7.7	38.5	23.1
要介護度	要支援1	176	69.9	15.9	10.2	4.0
	要支援2	230	61.7	19.1	17.4	1.7
	要介護1	162	34.6	13.6	44.4	7.4
	要介護2	204	21.6	20.1	55.9	2.5
	要介護3	126	5.6	5.6	84.1	4.8
	要介護4	72	4.2	2.8	86.1	6.9
	要介護5	71	1.4	0.0	88.7	9.9
	無回答	68	44.1	10.3	25.0	20.6

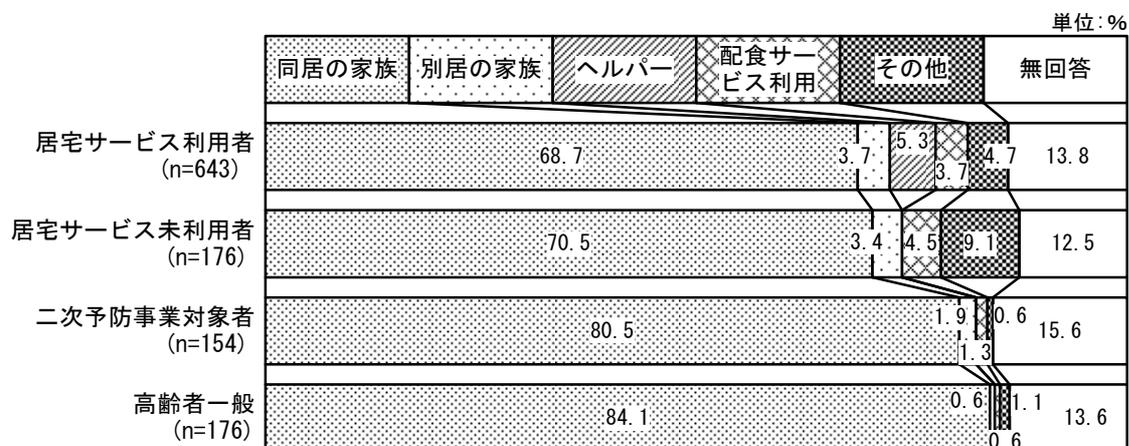
性別に見ると、「できない」が男性は半数以上を占めています。

年齢別に見ると、「できない」が65歳未満では61.8%と多くなっています。

要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて「できない」の割合が増加し、要介護3～5では8割以上となっています。

81-1 食事の用意をする人

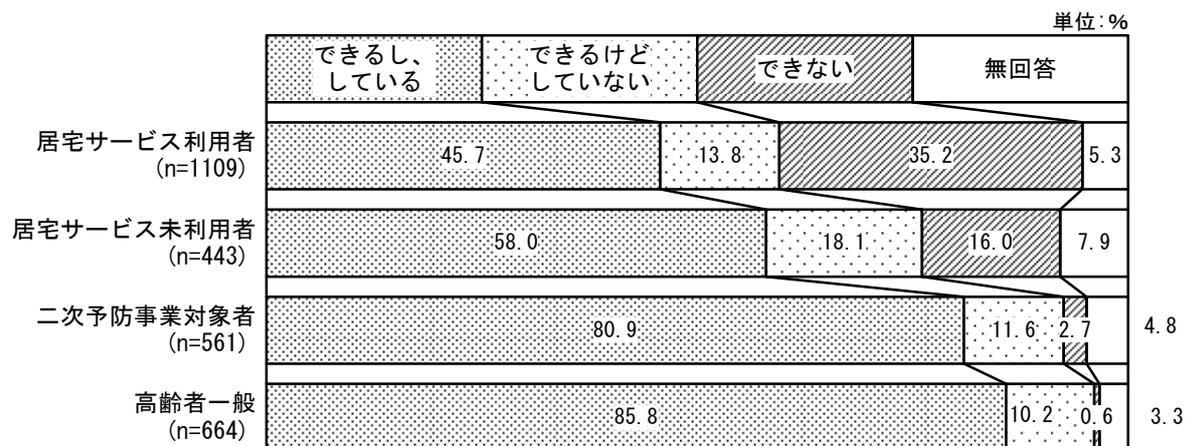
(自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか



各対象層とも『家族』（「同居の家族」＋「別居の家族」）が7割以上を占めています。

82 請求書の支払い

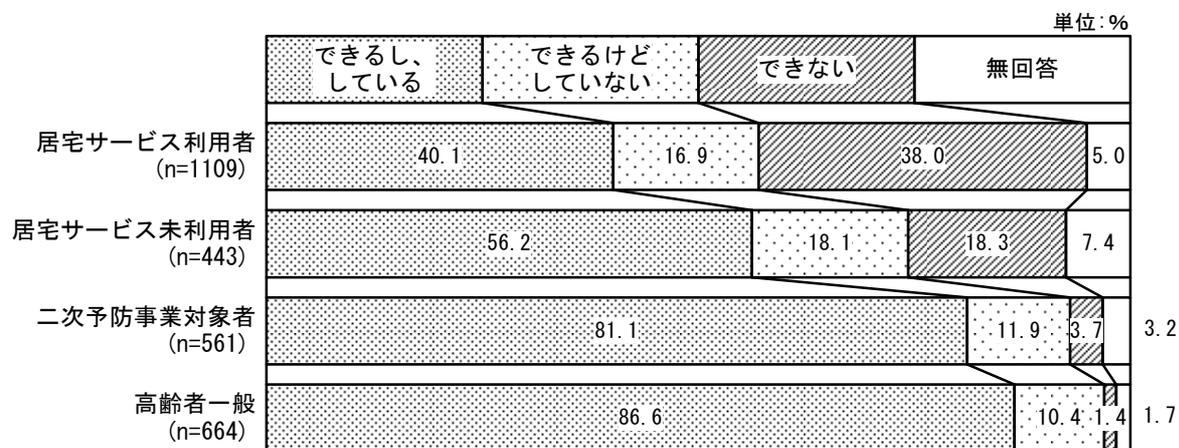
請求書の支払いをしていますか



「できない」が、居宅サービス利用者では 35.2%、居宅サービス未利用者では 16.0%となっています。

83 預貯金の出し入れ

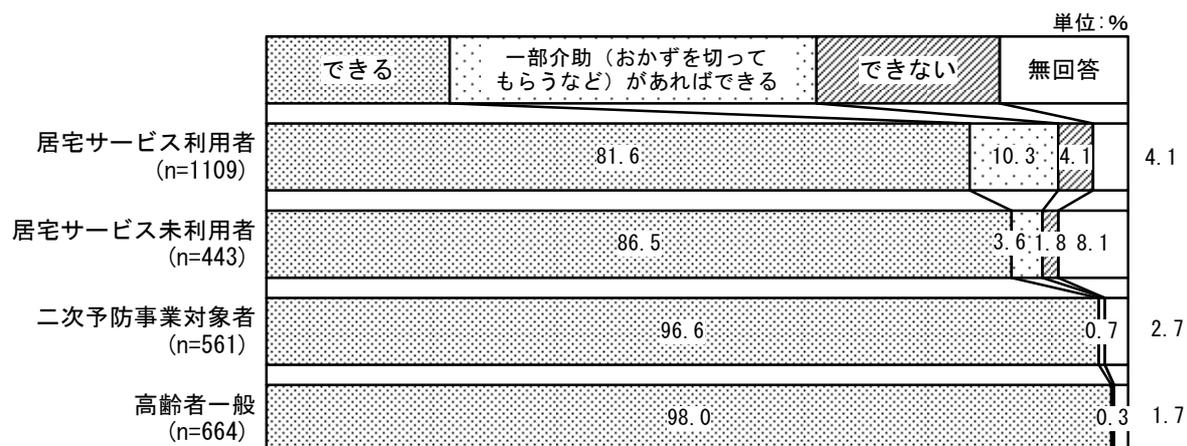
預貯金の出し入れをしていますか



「できない」が、居宅サービス利用者では 38.0%、居宅サービス未利用者では 18.3%となっています。

84 食事の介助

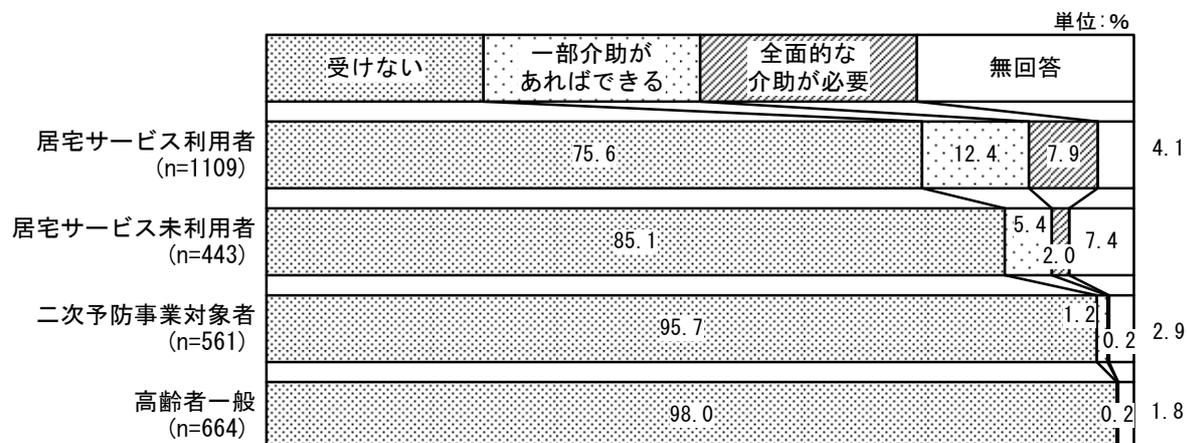
食事は自分で食べられますか



「できない」は、各対象層とも5%未満にとどまっています。

85 就寝時の介助

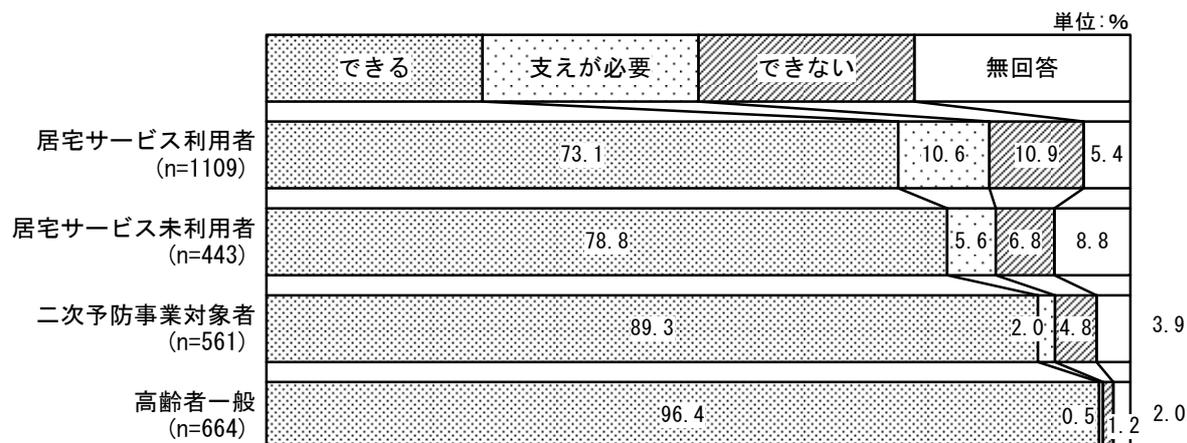
寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか



居宅サービス利用者では「一部介助があればできる」が12.4%、「全面的な介助が必要」が7.9%となっています。

86 座位の維持

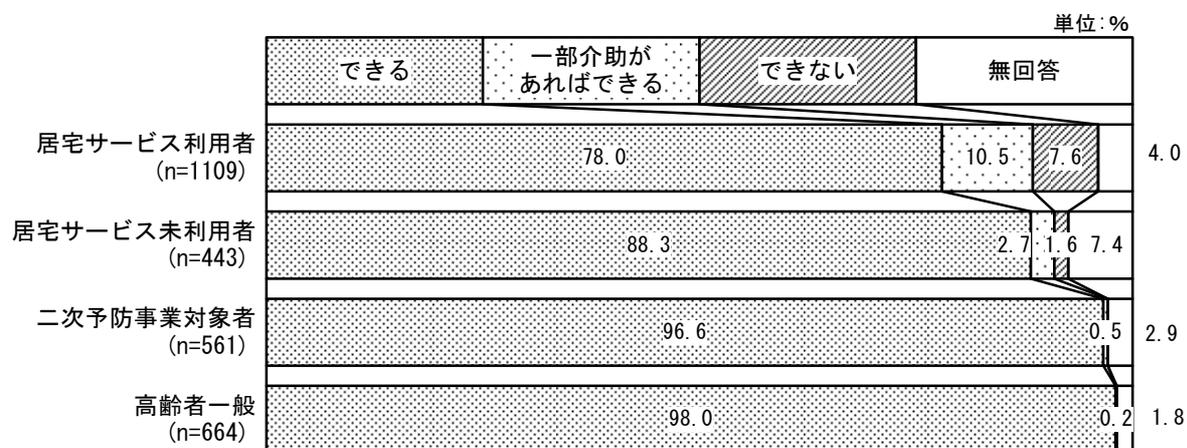
座っていることができますか



居宅サービス利用者では「支えが必要」が10.6%、「できない」が10.9%となっています。

87 洗面や歯磨きの介助

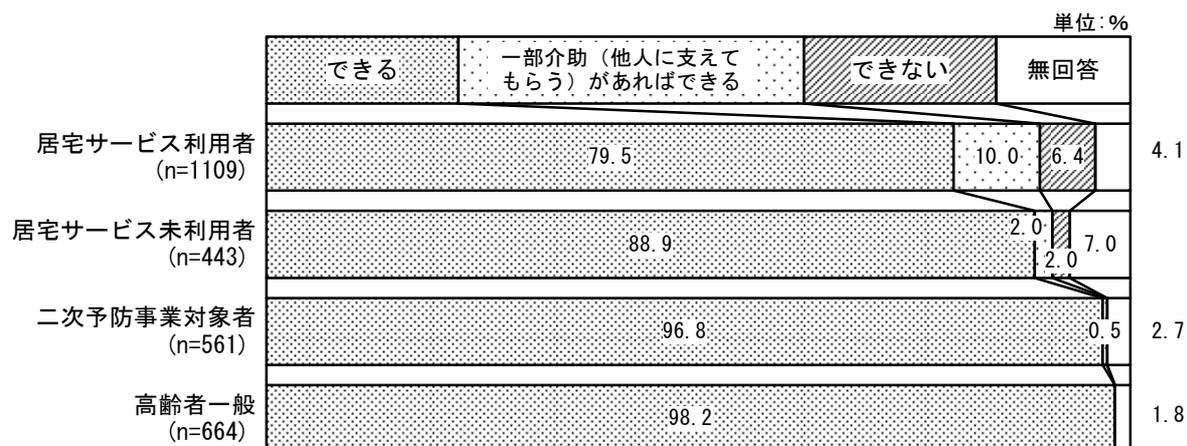
自分で洗面や歯磨きができますか



居宅サービス利用者では「一部介助があればできる」が10.5%、「できない」が7.6%となっています。

88 トイレの介助

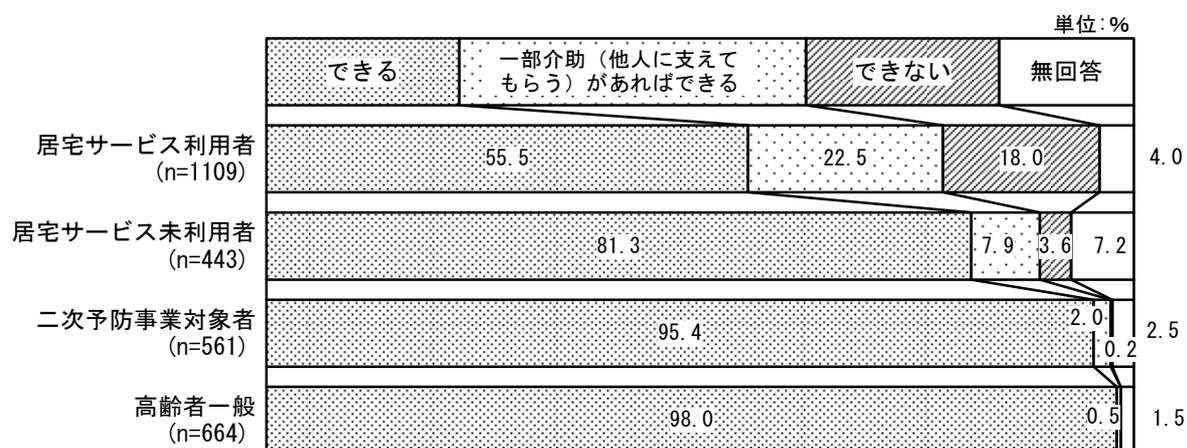
自分でトイレができますか



居宅サービス利用者では「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 10.0%、「できない」が 6.4%となっています。

89 入浴の介助

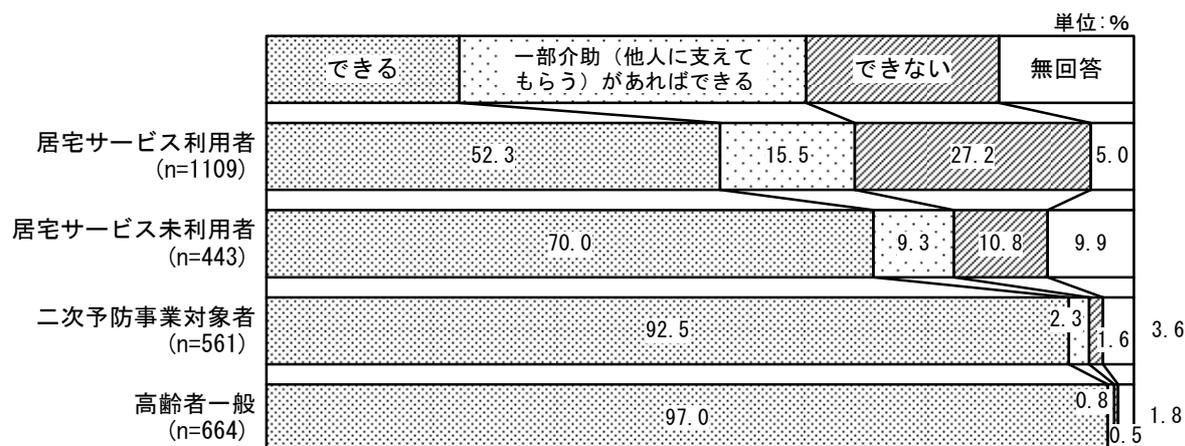
自分で入浴ができますか



居宅サービス利用者では「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 22.5%、「できない」が 18.0%となっています。

90 歩行の介助

50m以上歩けますか



「できる」は、居宅サービス利用者では 52.3%、居宅サービス未利用者では 70.0%となっています。

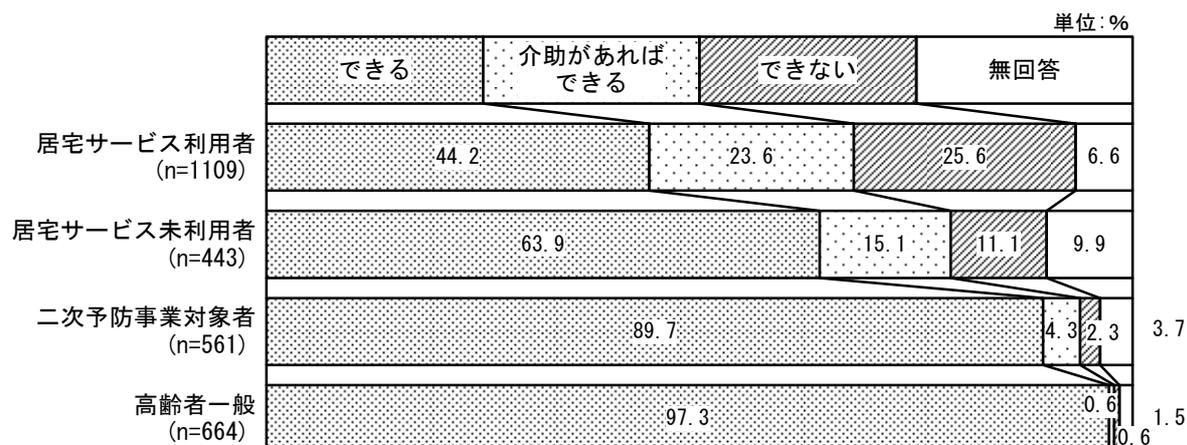
【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 歩行の介助】

	n	できる	一部介助(他人に支えてもらう)があればできる	できない	無回答	
全体	1,109	52.3	15.5	27.2	5.0	
年齢	65歳未満	34	47.1	11.8	38.2	2.9
	65～69歳	47	55.3	14.9	21.3	8.5
	70～74歳	118	58.5	11.0	26.3	4.2
	75～79歳	180	60.0	8.3	29.4	2.2
	80～84歳	278	57.9	15.5	23.4	3.2
	85歳以上	426	44.4	19.7	29.6	6.3
	無回答	26	42.3	23.1	15.4	19.2
要介護度	要支援1	176	82.4	8.0	7.4	2.3
	要支援2	230	70.0	13.5	12.2	4.3
	要介護1	162	62.3	16.0	17.3	4.3
	要介護2	204	47.1	26.0	25.0	2.0
	要介護3	126	21.4	20.6	53.2	4.8
	要介護4	72	8.3	18.1	68.1	5.6
	要介護5	71	5.6	1.4	84.5	8.5
	無回答	68	58.8	11.8	8.8	20.6

年齢別に見ると、65歳未満では「できない」が38.2%で、他の年齢に比べて多くなっています。要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて「できない」の割合が増加し、要介護5では84.5%となっています。

91 階段の昇降の介助

階段を昇り降りできますか



「介助があればできる」は、居宅サービス利用者では 23.6%、居宅サービス未利用者では 15.1% となっています。「できない」は、居宅サービス利用者では 25.6%、居宅サービス未利用者では 11.1% となっています。

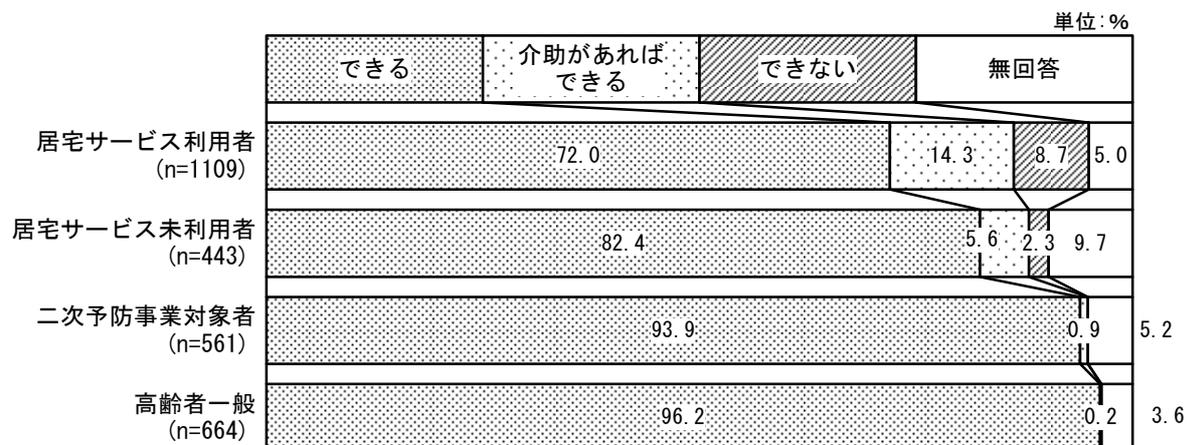
【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 階段の昇降の介助】

		n	できる	介助があればできる	できない	無回答
全体		1,109	44.2	23.6	25.6	6.6
年齢	65歳未満	34	44.1	17.6	35.3	2.9
	65～69歳	47	42.6	21.3	25.5	10.6
	70～74歳	118	44.1	26.3	23.7	5.9
	75～79歳	180	49.4	22.8	23.3	4.4
	80～84歳	278	49.3	23.7	20.9	6.1
	85歳以上	426	39.4	23.9	29.6	7.0
	無回答	26	34.6	23.1	23.1	19.2
要介護度	要支援1	176	69.3	18.8	5.1	6.8
	要支援2	230	60.9	20.0	13.9	5.2
	要介護1	162	53.1	26.5	15.4	4.9
	要介護2	204	36.3	36.8	22.5	4.4
	要介護3	126	23.8	23.8	46.8	5.6
	要介護4	72	5.6	26.4	63.9	4.2
	要介護5	71	1.4	8.5	80.3	9.9
無回答	68	48.5	14.7	14.7	22.1	

年齢別に見ると、65歳未満では「できない」が 35.3%で、他の年齢に比べて多くなっています。要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて「できない」の割合が増加し、要介護5では 80.3% となっています。

92 着替えの介助

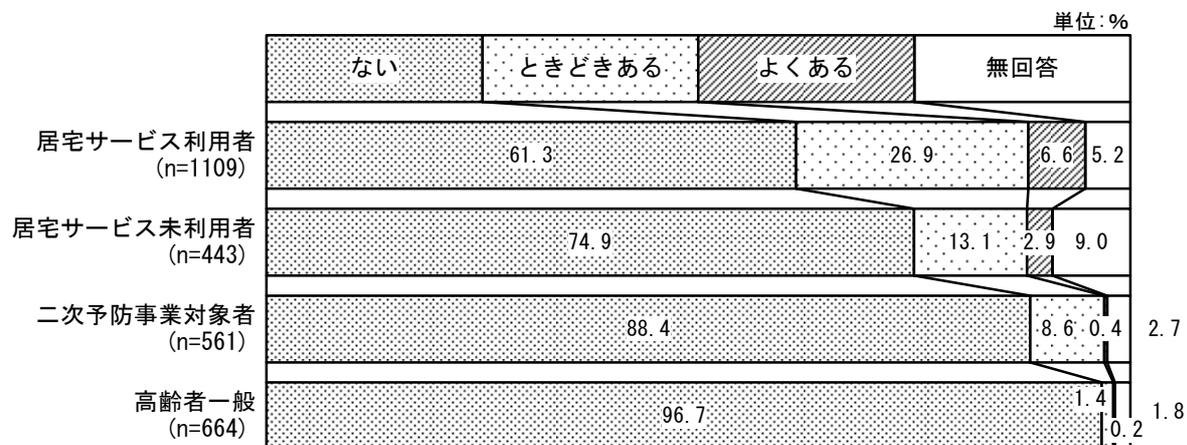
自分で着替えができますか



居宅サービス利用者では「介助があればできる」が14.3%、「できない」が8.7%となっています。

93 大便の失敗

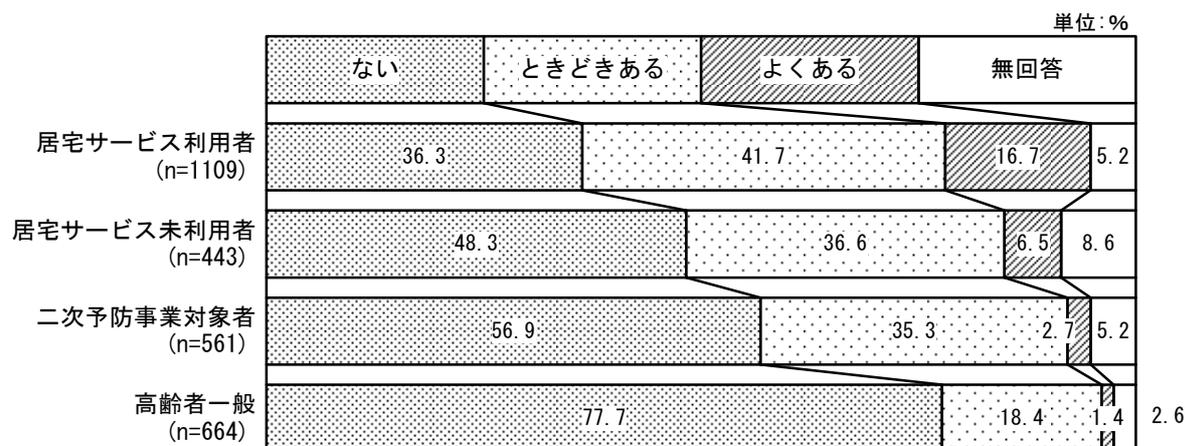
大便の失敗がありますか



『ある』（「ときどきある」＋「よくある」）は、居宅サービス利用者では33.5%、居宅サービス未利用者では16.0%となっています。

94 尿もれや尿失禁

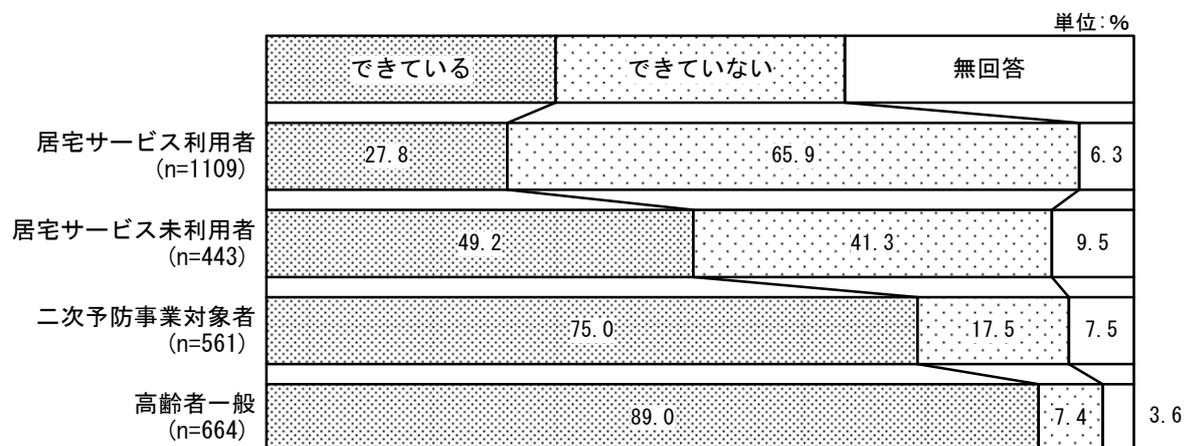
尿もれや尿失禁がありますか



『ある』（「ときどきある」＋「よくある」）は、居宅サービス利用者では 58.4%、居宅サービス未利用者では 43.1%、二次予防事業対象者では 38.0%となっています。

95 家事全般

家事全般ができていますか

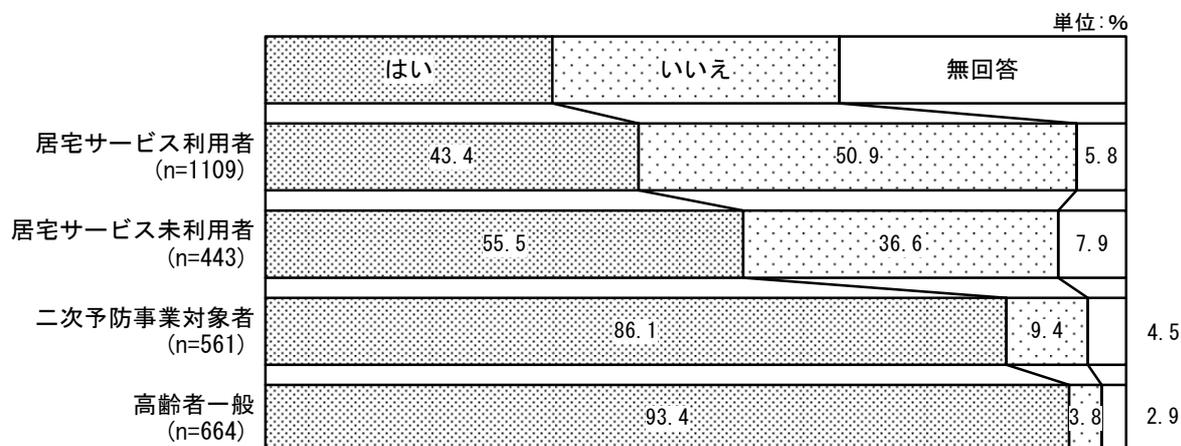


「できていない」が、居宅サービス利用者では 65.9%、居宅サービス未利用者では 41.3%となっています。

9. 社会参加について

96 書類の記入

年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 50.9%、居宅サービス未利用者では 36.6%となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 書類の記入】

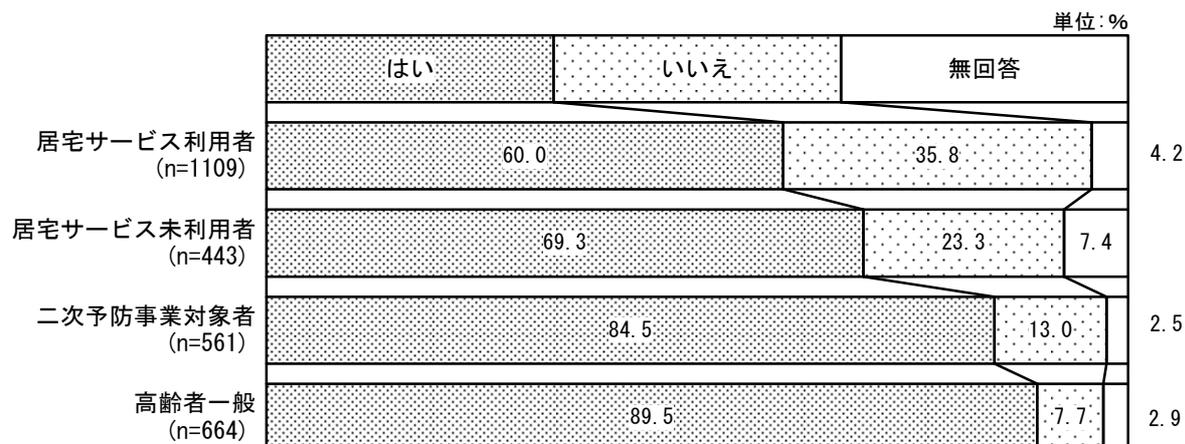
		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	43.4	50.9	5.8
年齢	65歳未満	34	47.1	50.0	2.9
	65～69歳	47	44.7	48.9	6.4
	70～74歳	118	39.8	54.2	5.9
	75～79歳	180	45.6	51.7	2.8
	80～84歳	278	52.9	42.4	4.7
	85歳以上	426	37.6	55.6	6.8
	無回答	26	30.8	46.2	23.1
要介護度	要支援1	176	76.7	15.9	7.4
	要支援2	230	68.7	27.4	3.9
	要介護1	162	31.5	63.0	5.6
	要介護2	204	39.2	58.8	2.0
	要介護3	126	13.5	81.0	5.6
	要介護4	72	8.3	88.9	2.8
	要介護5	71	2.8	88.7	8.5
	無回答	68	47.1	32.4	20.6

年齢別に見ると、「はい」は80～84歳では5割強を占めています。

要介護度別に見ると、「いいえ」が要介護1・2では6割前後、要介護3～5では8割以上を占めています。

97 新聞を読むこと

新聞を読んでいますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 35.8%、居宅サービス未利用者では 23.3%となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 新聞を読むこと】

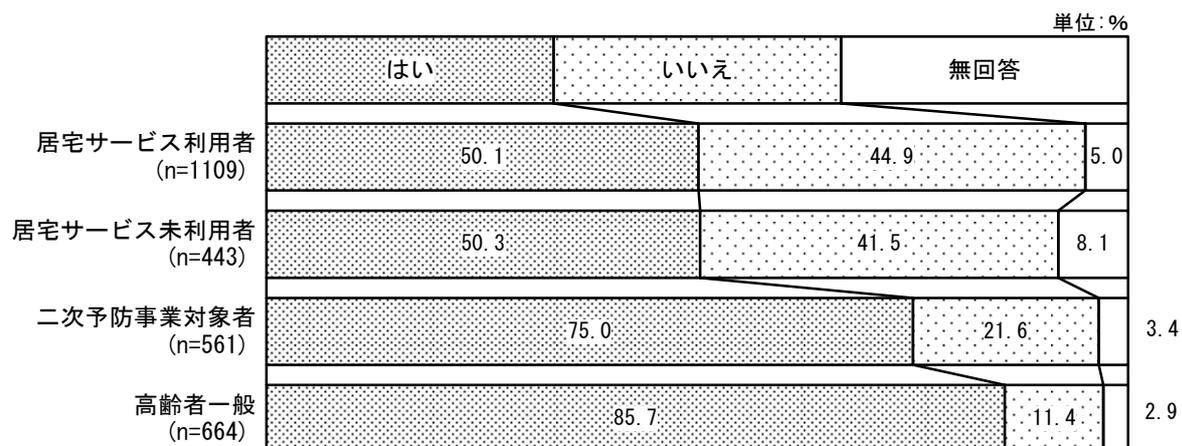
		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	60.0	35.8	4.2
年齢	65歳未満	34	32.4	64.7	2.9
	65～69歳	47	59.6	31.9	8.5
	70～74歳	118	50.8	45.8	3.4
	75～79歳	180	62.2	36.7	1.1
	80～84歳	278	68.0	29.1	2.9
	85歳以上	426	59.4	35.4	5.2
	無回答	26	46.2	30.8	23.1
要介護度	要支援1	176	75.6	20.5	4.0
	要支援2	230	73.9	23.5	2.6
	要介護1	162	64.2	32.7	3.1
	要介護2	204	66.2	32.4	1.5
	要介護3	126	42.9	53.2	4.0
	要介護4	72	25.0	70.8	4.2
	要介護5	71	18.3	73.2	8.5
	無回答	68	55.9	26.5	17.6

年齢別に見ると、「いいえ」は 65 歳未満では 6 割以上を占めています。

要介護度別に見ると、「いいえ」が要介護 3 では 5 割強、要介護 4・5 では 7 割以上を占めています。

98 本や雑誌を読むこと

本や雑誌を読んでいますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 44.9%、居宅サービス未利用者では 41.5%となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 本や雑誌を読むこと】

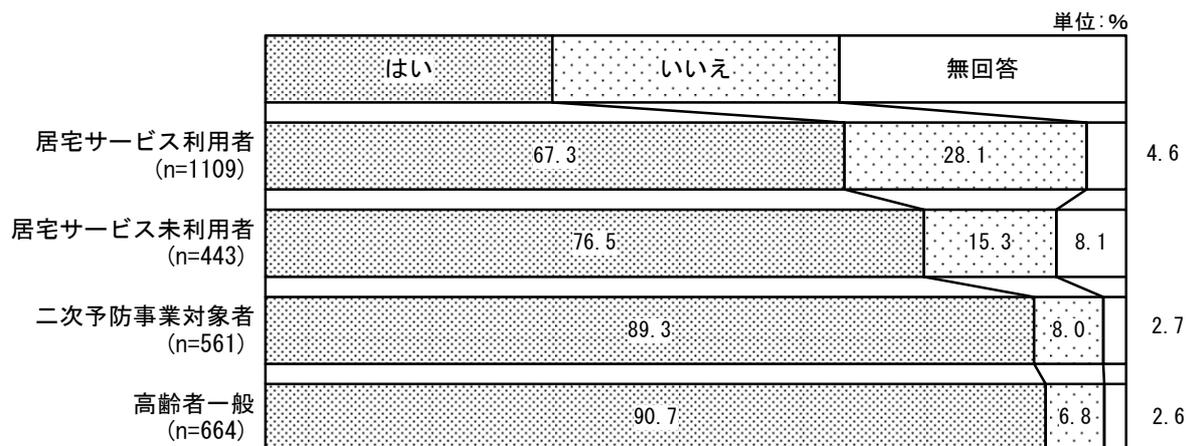
		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	50.1	44.9	5.0
年齢	65歳未満	34	55.9	38.2	5.9
	65～69歳	47	51.1	42.6	6.4
	70～74歳	118	46.6	49.2	4.2
	75～79歳	180	47.2	51.1	1.7
	80～84歳	278	60.1	36.0	4.0
	85歳以上	426	46.7	47.7	5.6
	無回答	26	26.9	46.2	26.9
要介護度	要支援1	176	73.9	22.7	3.4
	要支援2	230	64.8	32.6	2.6
	要介護1	162	44.4	51.9	3.7
	要介護2	204	53.4	44.6	2.0
	要介護3	126	34.9	59.5	5.6
	要介護4	72	19.4	75.0	5.6
	要介護5	71	12.7	76.1	11.3
	無回答	68	42.6	36.8	20.6

年齢別に見ると、「はい」は80～84歳では6割を占めています。

要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて「はい」の割合は減少し、要介護5では12.7%にとどまっています。

99 健康についての関心

健康についての記事や番組に関心がありますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 28.1%、居宅サービス未利用者では 15.3%となっています。

【居宅サービス利用者：年齢別、要介護度別 健康についての関心】

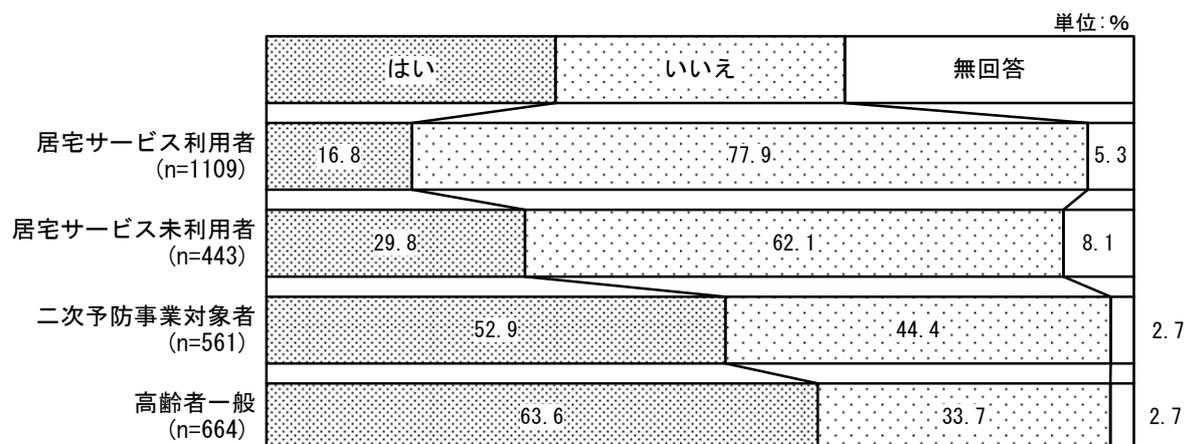
		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,109	67.3	28.1	4.6
年齢	65歳未満	34	58.8	35.3	5.9
	65～69歳	47	63.8	27.7	8.5
	70～74歳	118	71.2	24.6	4.2
	75～79歳	180	67.8	30.0	2.2
	80～84歳	278	75.9	21.2	2.9
	85歳以上	426	62.2	32.4	5.4
	無回答	26	53.8	26.9	19.2
要介護度	要支援1	176	91.5	6.8	1.7
	要支援2	230	84.8	11.7	3.5
	要介護1	162	68.5	27.2	4.3
	要介護2	204	72.1	26.5	1.5
	要介護3	126	38.9	55.6	5.6
	要介護4	72	40.3	54.2	5.6
	要介護5	71	16.9	73.2	9.9
	無回答	68	61.8	20.6	17.6

年齢別に見ると、「はい」は70～74歳、80～84歳では7割以上となっています。

要介護度別に見ると、「はい」は要支援1では91.5%となっていますが、要介護度が上がるにつれて減少し、要介護5では16.9%となっています。

100 友人宅への訪問

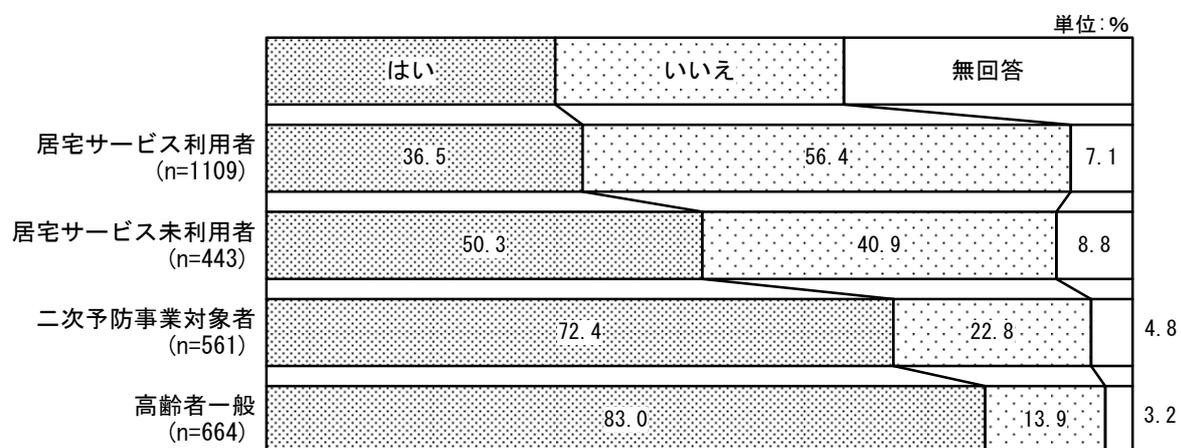
友人の家を訪ねていますか



「はい」は、居宅サービス利用者では 16.8%、居宅サービス未利用者では 29.8%にとどまっています。

101 家族や友人の相談にのること

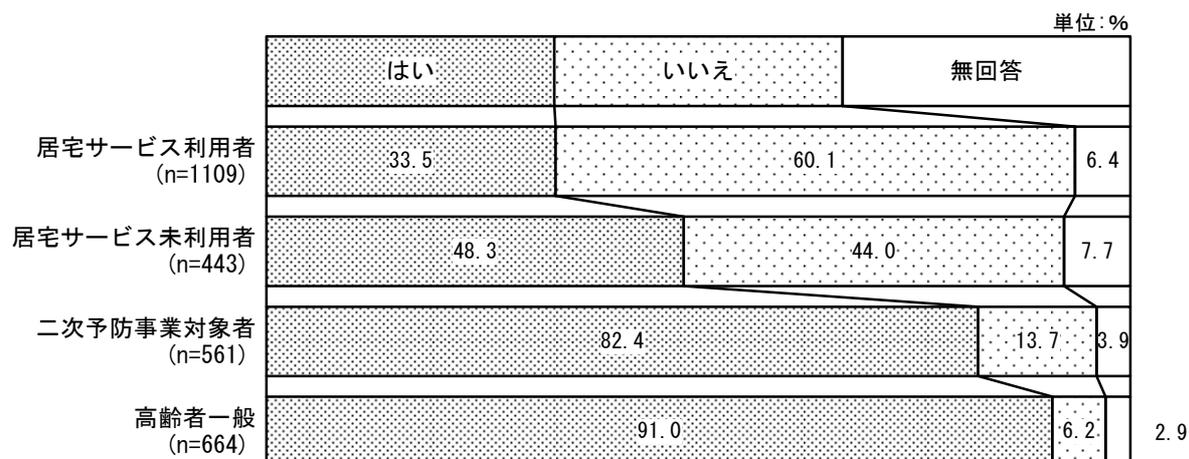
家族や友人の相談にのっていますか



「はい」は、居宅サービス利用者では 36.5%にとどまっています。

102 病人を見舞うこと

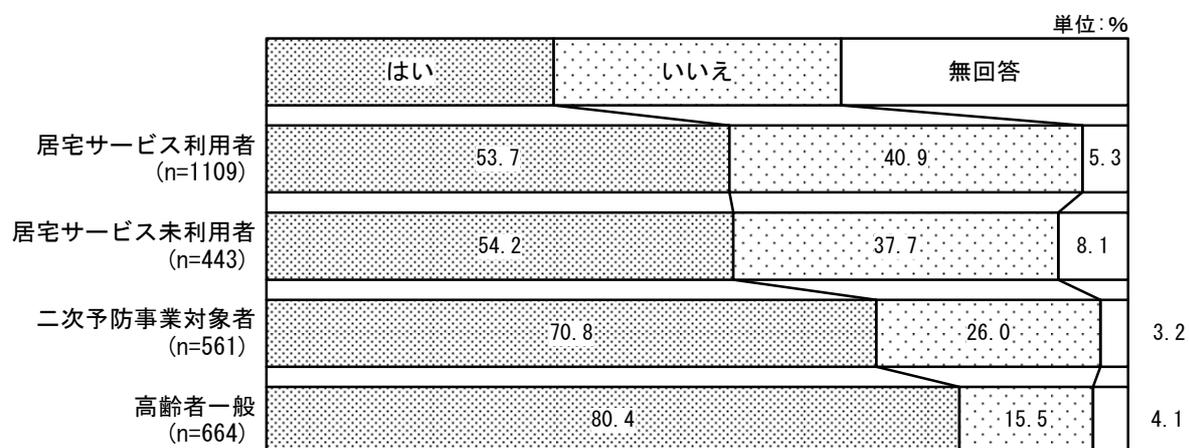
病人を見舞うことができますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 60.1%、居宅サービス未利用者では 44.0%となっています。

103 若い人に話しかけること

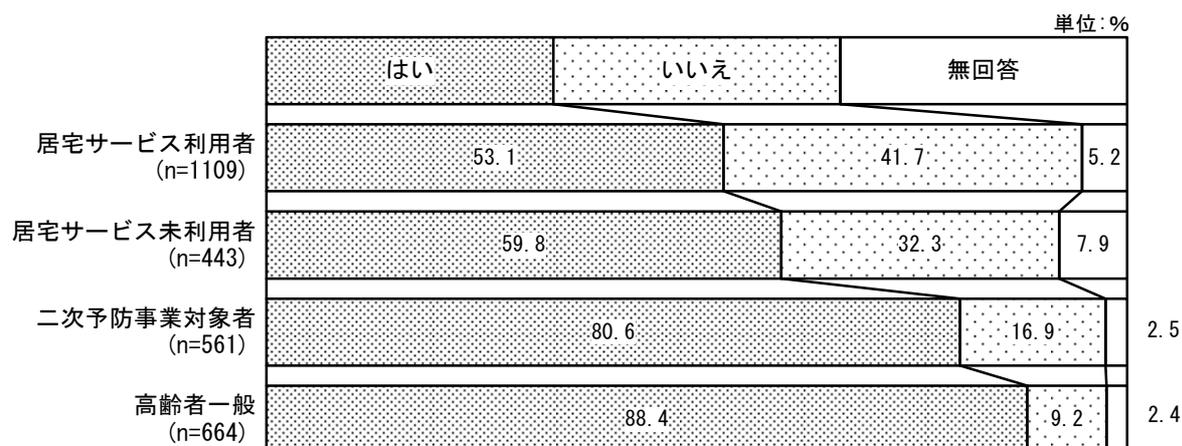
若い人に自分から話しかけることができますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 40.9%、居宅サービス未利用者では 37.7%となっています。

104 趣味の有無

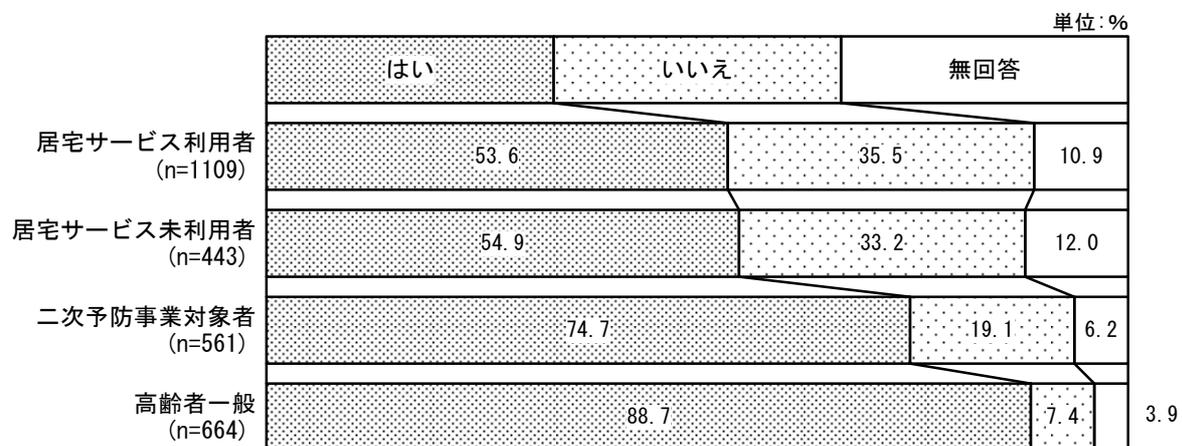
趣味はありますか



「いいえ」が、居宅サービス利用者では 41.7%、居宅サービス未利用者では 32.3%となっています。

105 生きがいの有無

生きがいはありますか

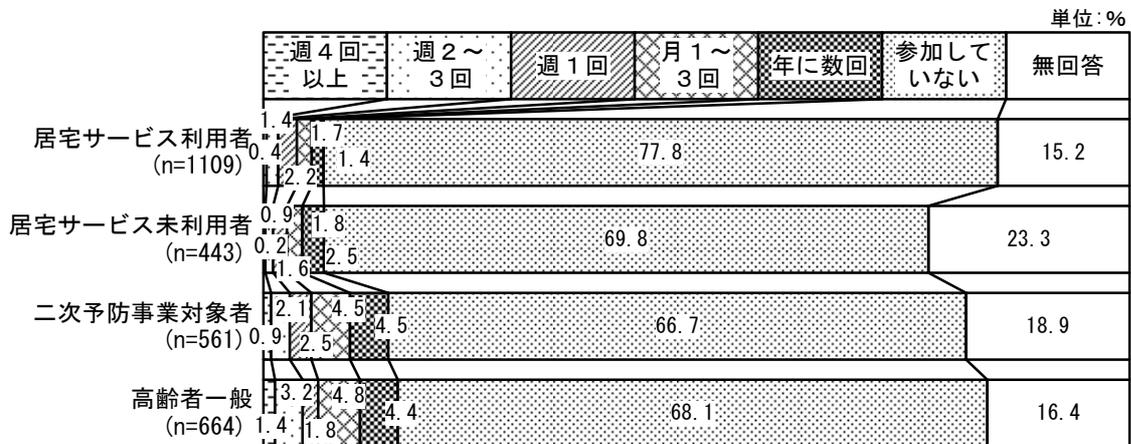


「いいえ」が、居宅サービス利用者では 35.5%、居宅サービス未利用者では 33.2%となっています。

106 会・グループ等への参加頻度

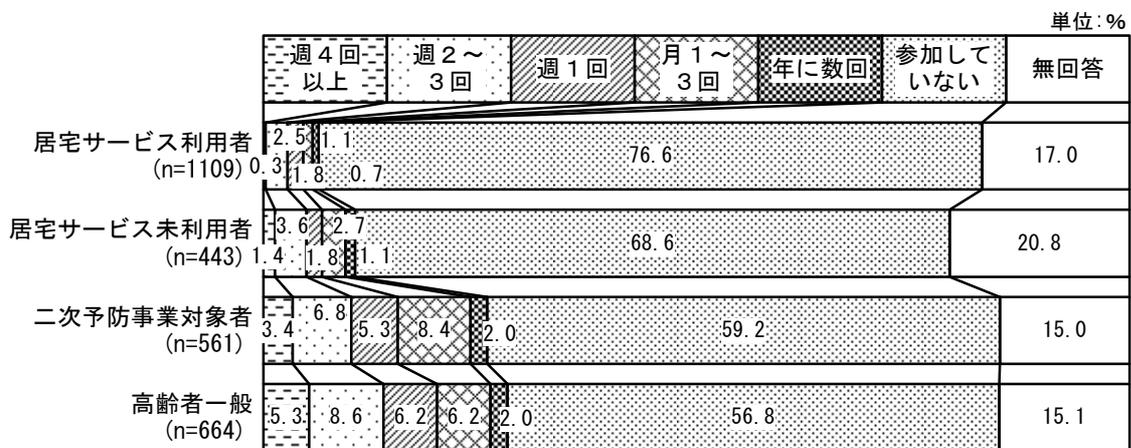
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

①ボランティアのグループ



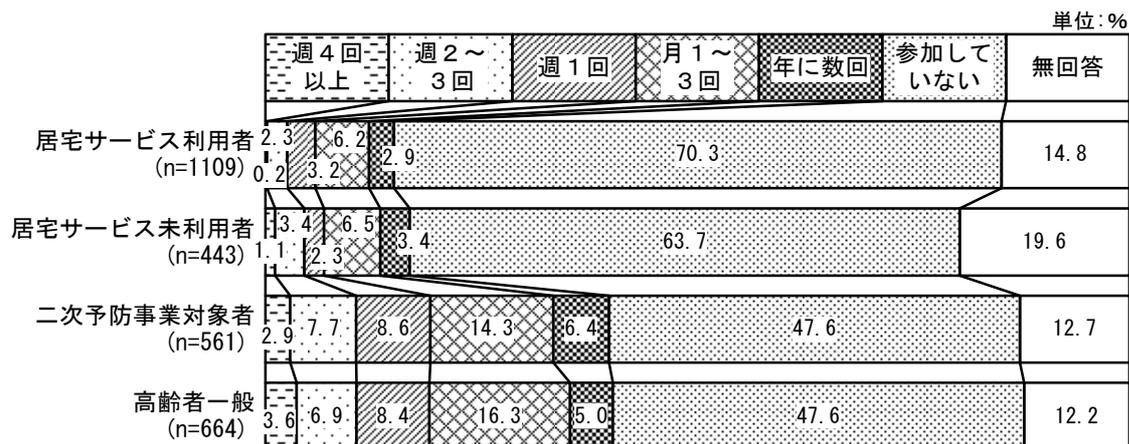
各対象層とも「参加していない」が大半を占めています。

②スポーツ関係のグループやクラブ



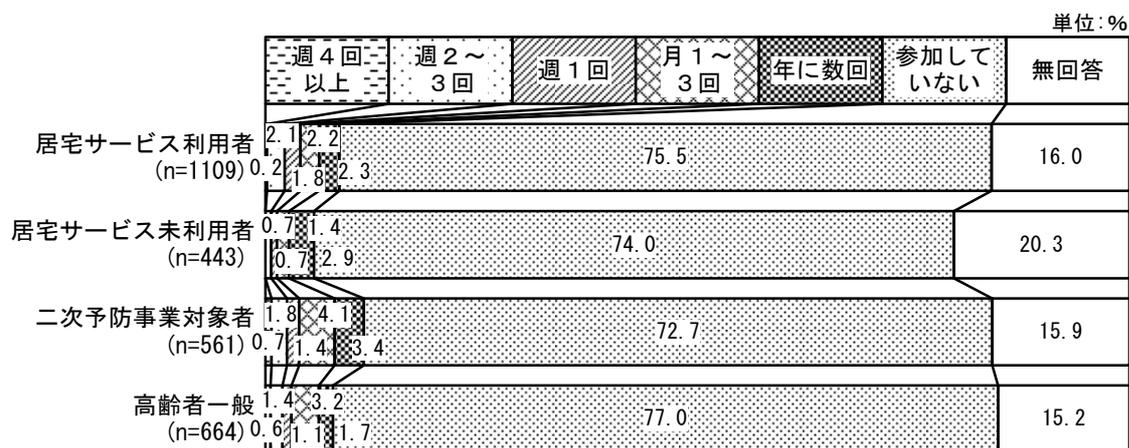
二次予防事業対象者、高齢者一般では『月1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」）が2割台となっています。

③趣味関係のグループ



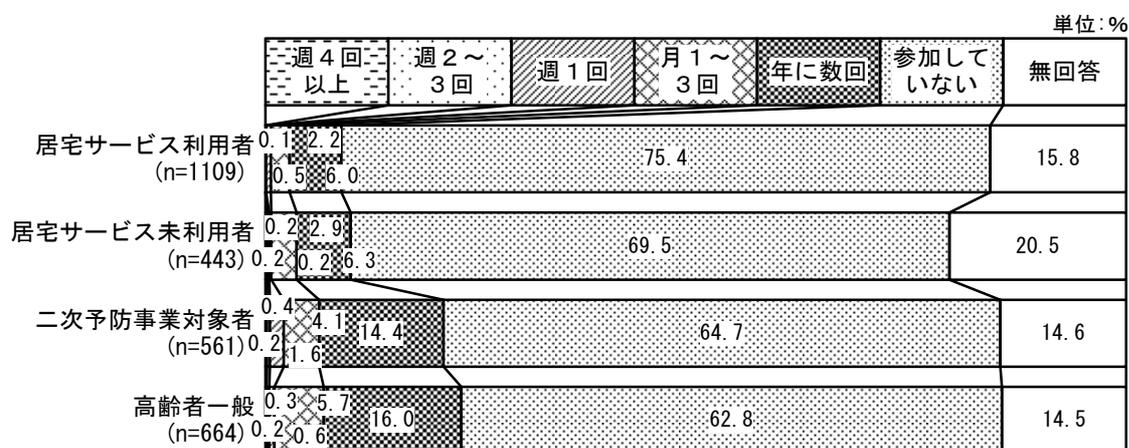
二次予防事業対象者、高齢者一般では『月1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」）が3割台となっています。

④高齢者クラブ



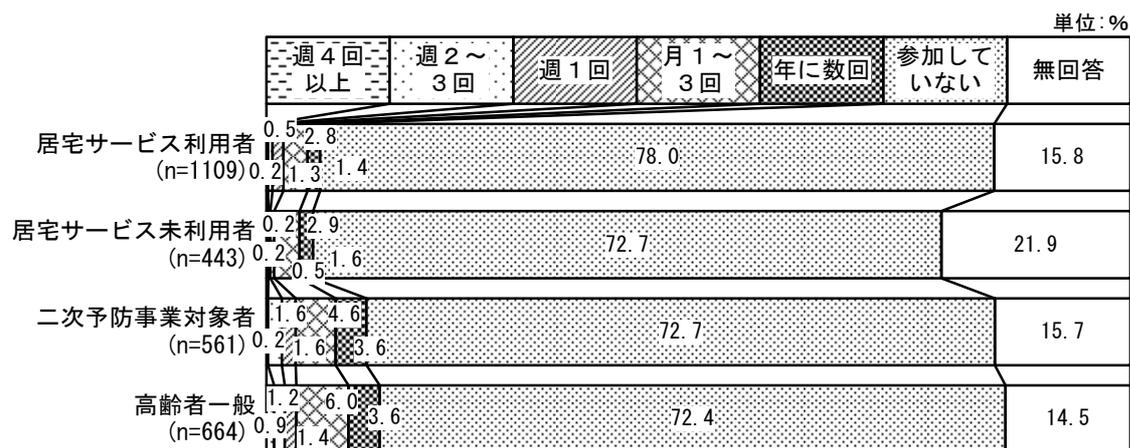
各対象層とも「参加していない」が大半を占めています。

⑤町内会・自治会



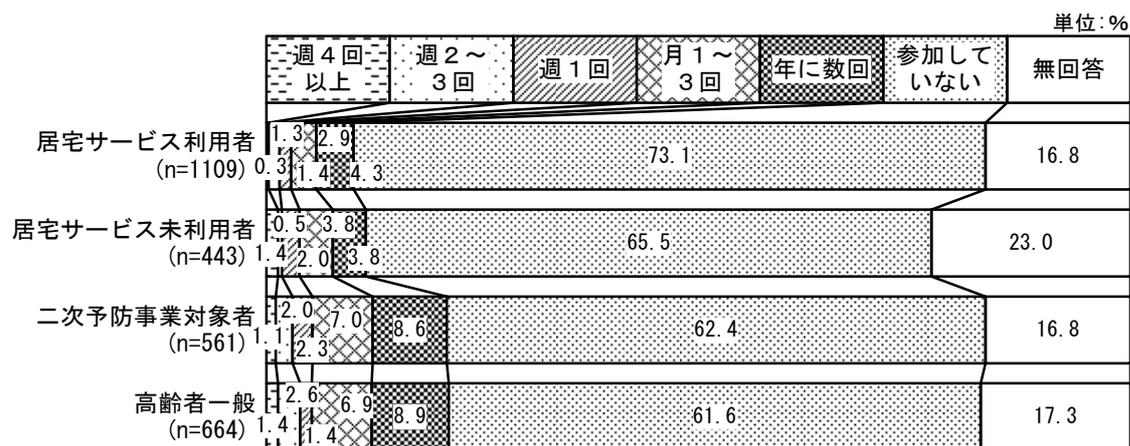
「年に数回」が二次予防事業対象者では14.4%、高齢者一般では16.0%となっています。

⑥学習・教養サークル



各対象層とも「参加していない」が大半を占めています。

⑦その他の団体や会

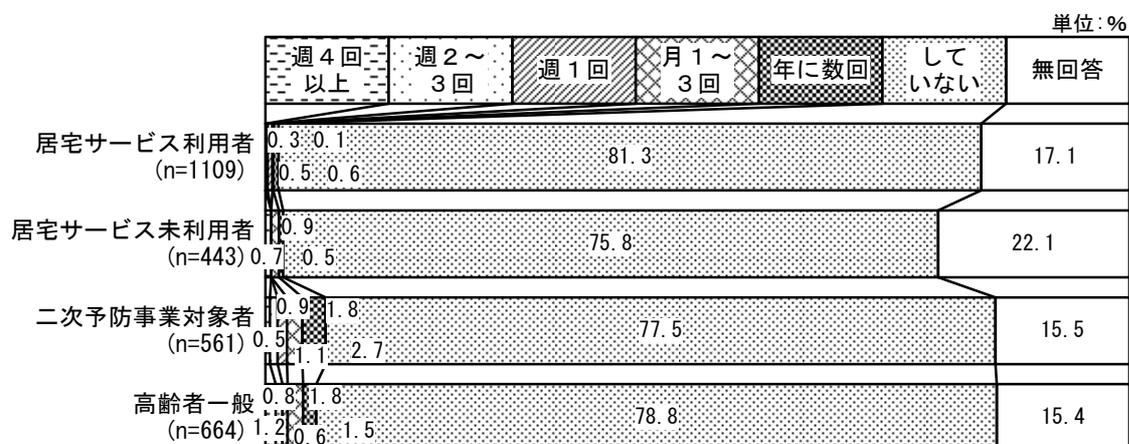


各対象層とも「参加していない」が大半を占めています。

107 社会参加活動や仕事の頻度

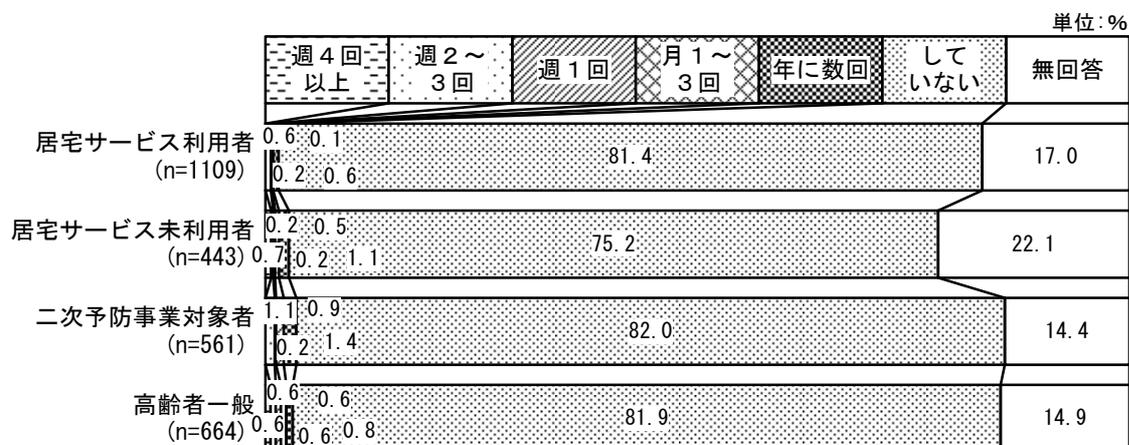
以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか

①見守りが必要な高齢者を支援する活動



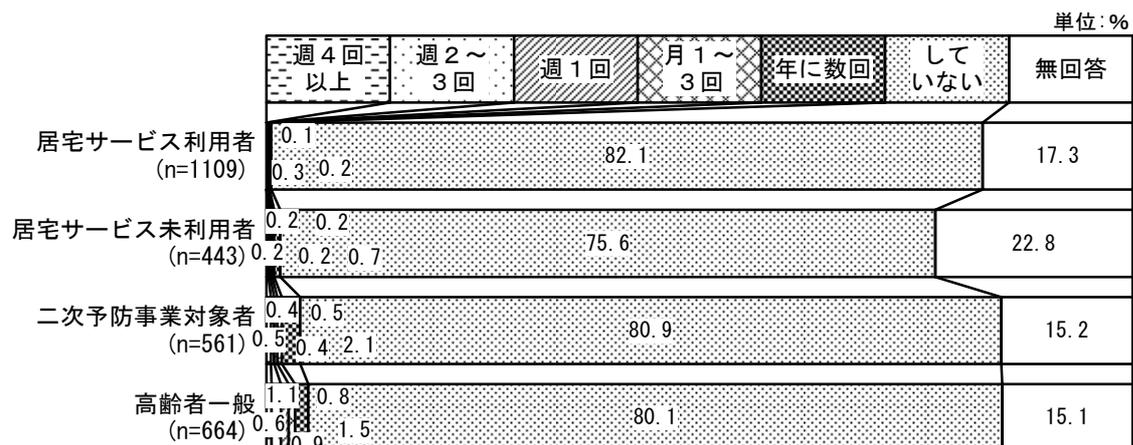
各対象層とも「していない」が大半を占めています。

②介護が必要な高齢者を支援する活動



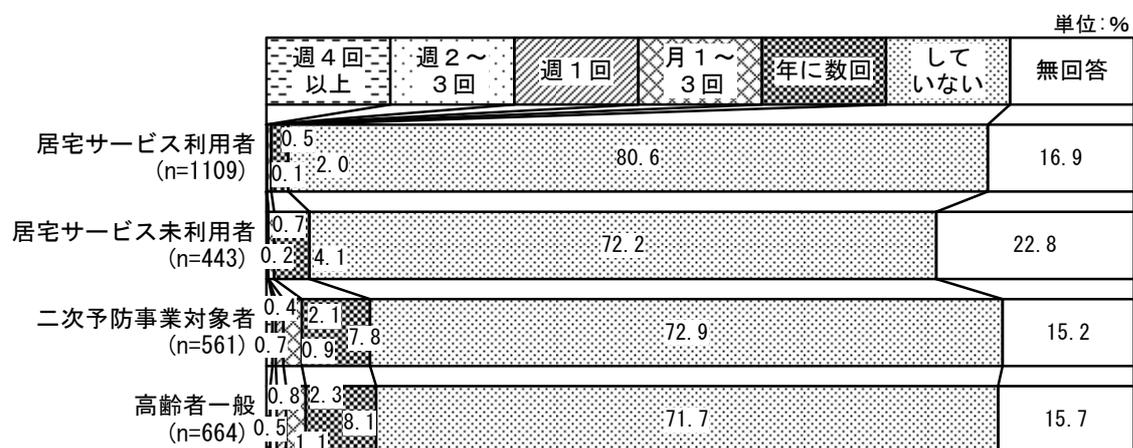
各対象層とも「していない」が大半を占めています。

③子どもを育てている親を支援する活動



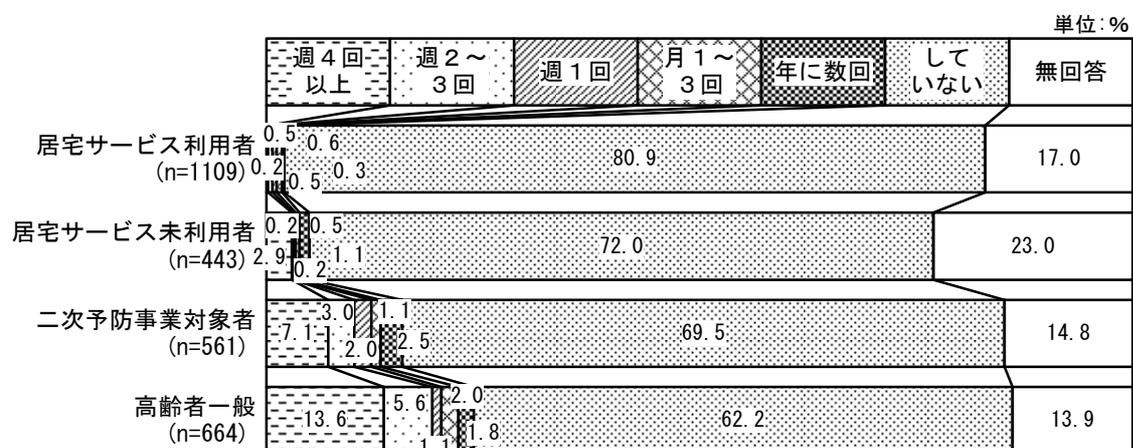
各対象層とも「していない」が大半を占めています。

④地域の生活環境の改善（美化）活動



各対象層とも「していない」が大半を占めています。

⑤収入のある仕事



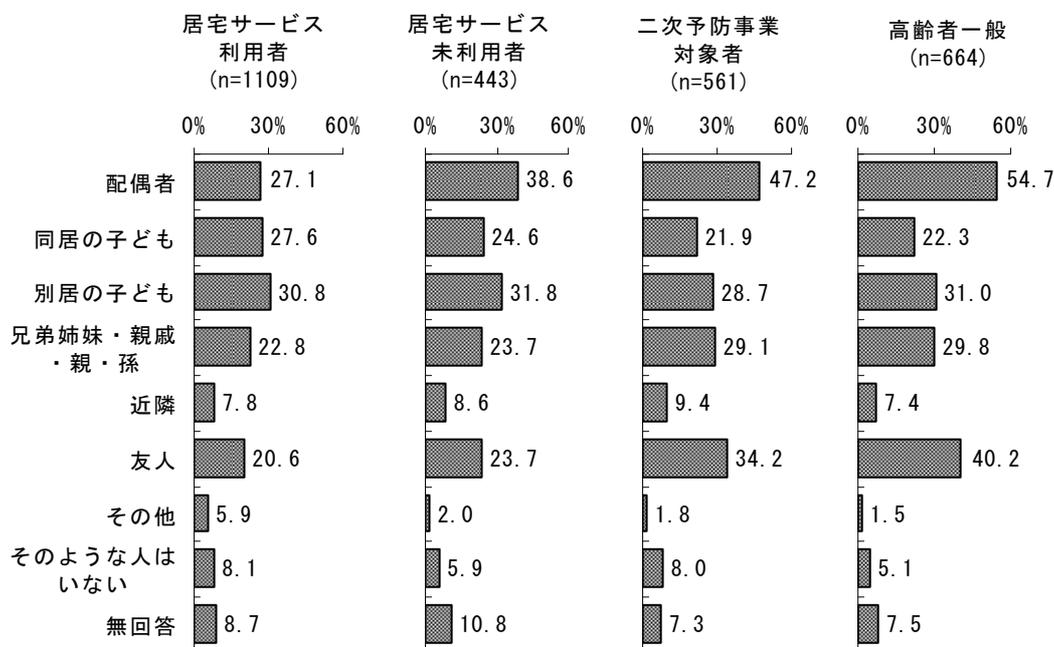
『月1回以上』（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」）が二次予防事業対象者では13.2%、高齢者一般では22.3%となっています。

108 本人とまわりの人の「たすけあい」について

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



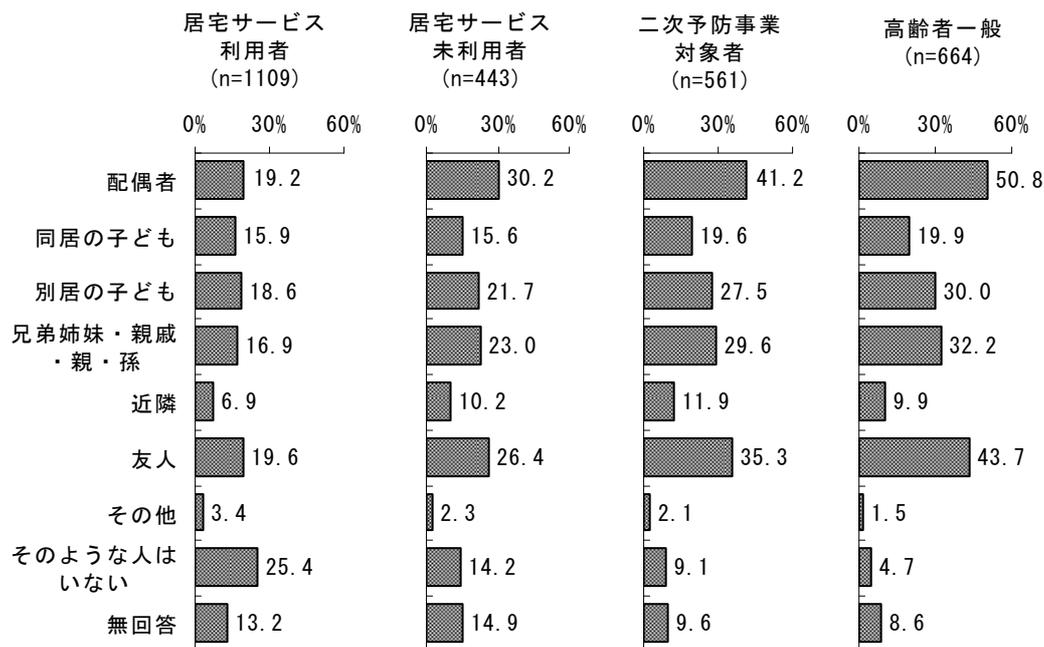
二次予防事業対象者、高齢者一般では「配偶者」「友人」が多くなっています。

【高齢者一般：性別 ①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		664	54.7	22.3	31.0	29.8	7.4	40.2	1.5	5.1	7.5
性別	男性	288	72.9	17.0	24.7	22.2	2.4	31.6	1.0	6.3	6.6
	女性	364	40.4	26.4	37.1	36.5	11.5	47.5	1.6	3.8	8.2
	無回答	12	50.0	25.0	0.0	8.3	0.0	25.0	8.3	16.7	8.3

性別に見ると、男性では「配偶者」が72.9%と最も多く、女性では「友人」が47.5%と最も多くなっています。

②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



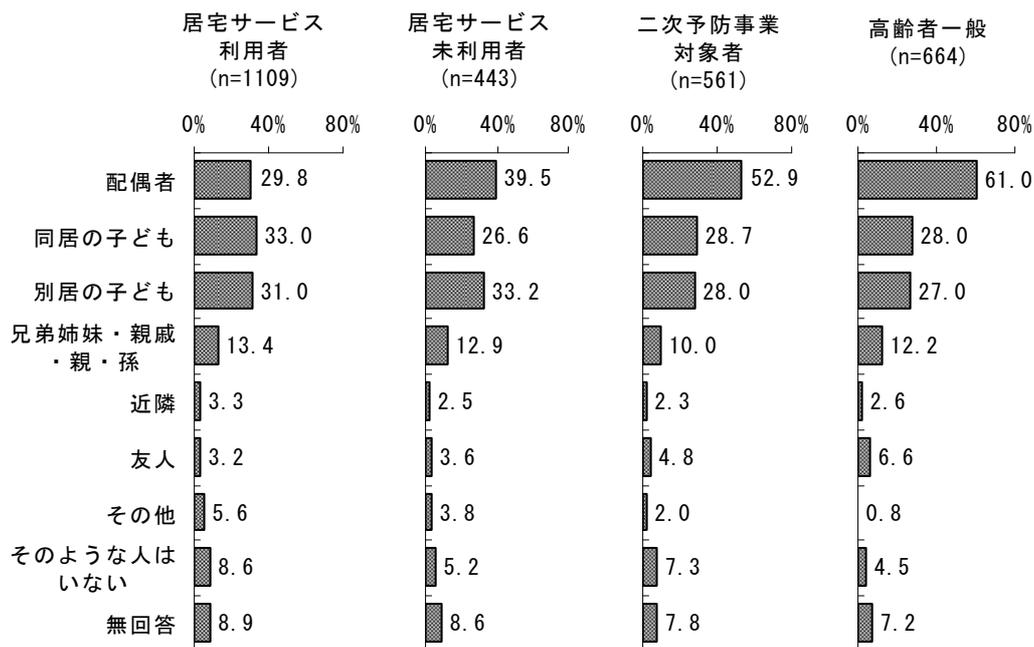
居宅サービス未利用者、二次予防事業対象者、高齢者一般では「配偶者」「友人」が多くなっています。「そのような人はいない」は、居宅サービス利用者では25.4%となっています。

【高齢者一般：性別 ②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		664	50.8	19.9	30.0	32.2	9.9	43.7	1.5	4.7	8.6
性別	男性	288	70.8	18.1	26.0	24.0	5.6	32.3	1.7	5.2	8.7
	女性	364	35.2	21.4	33.5	39.3	13.7	53.3	0.5	4.1	8.5
	無回答	12	41.7	16.7	16.7	16.7	0.0	25.0	25.0	8.3	8.3

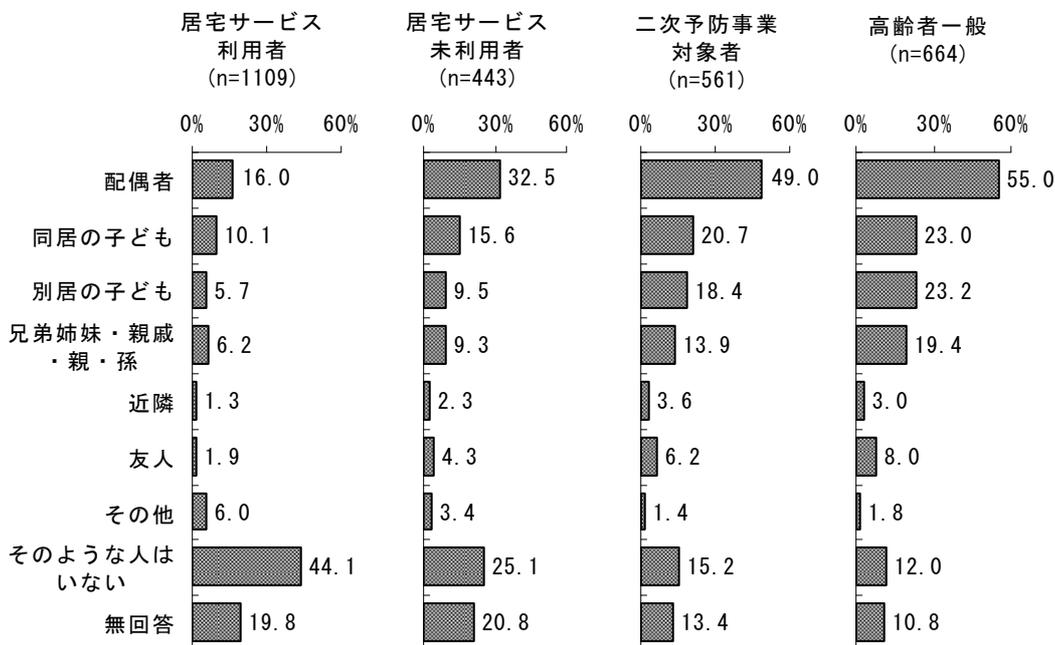
性別に見ると、男性では「配偶者」が70.8%と最も多く、女性では「友人」が53.3%と最も多くなっています。

③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



「配偶者」は、二次予防事業対象者では52.9%、高齢者一般では61.0%となっています。

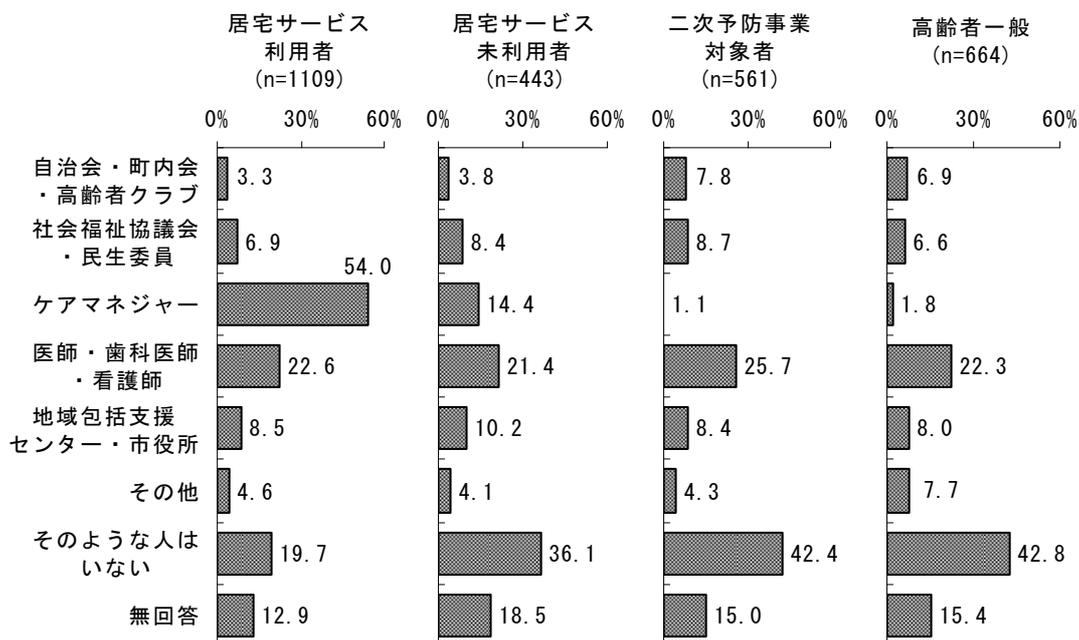
④反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）



「配偶者」は、二次予防事業対象者では49.0%、高齢者一般では55.0%となっています。一方、「そのような人はいない」は、居宅サービス利用者では44.1%となっています。

109 家族や友人・知人以外の相談先

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

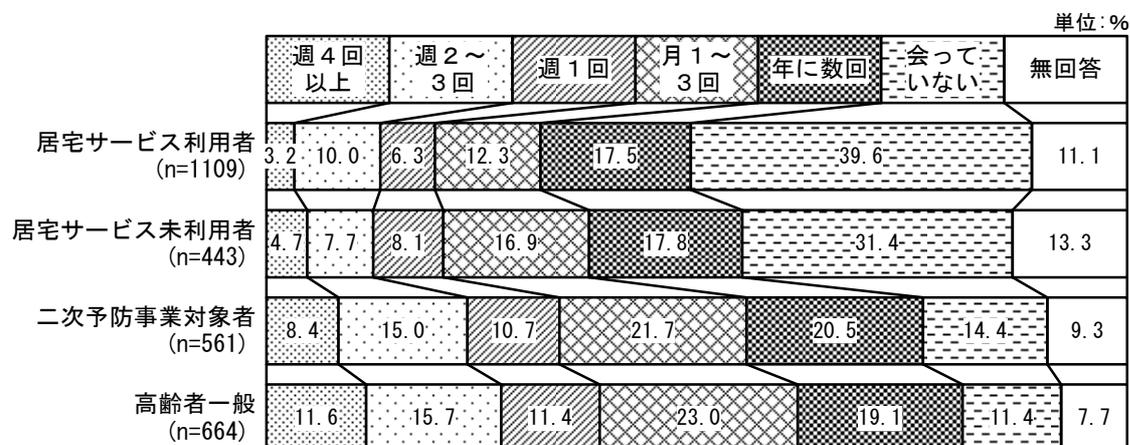


居宅サービス利用者では「ケアマネジャー」が54.0%と最も多くなっています。また、各対象層とも「医師・歯科医師・看護師」が2割台となっています。一方、「そのような人はいない」は、二次予防事業対象者、高齢者一般では4割を超えています。

110 友人関係について

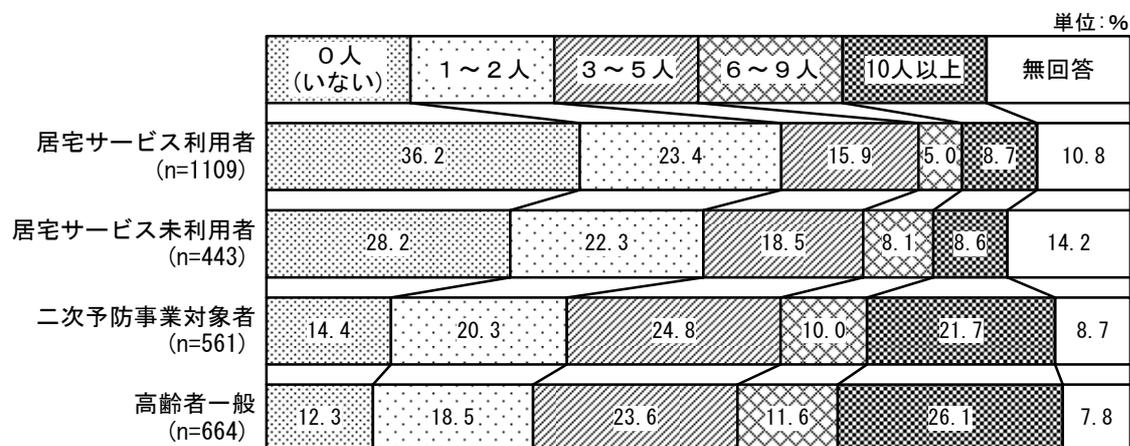
友人関係についておうかがいします

①友人・知人と会う頻度はどれくらいですか



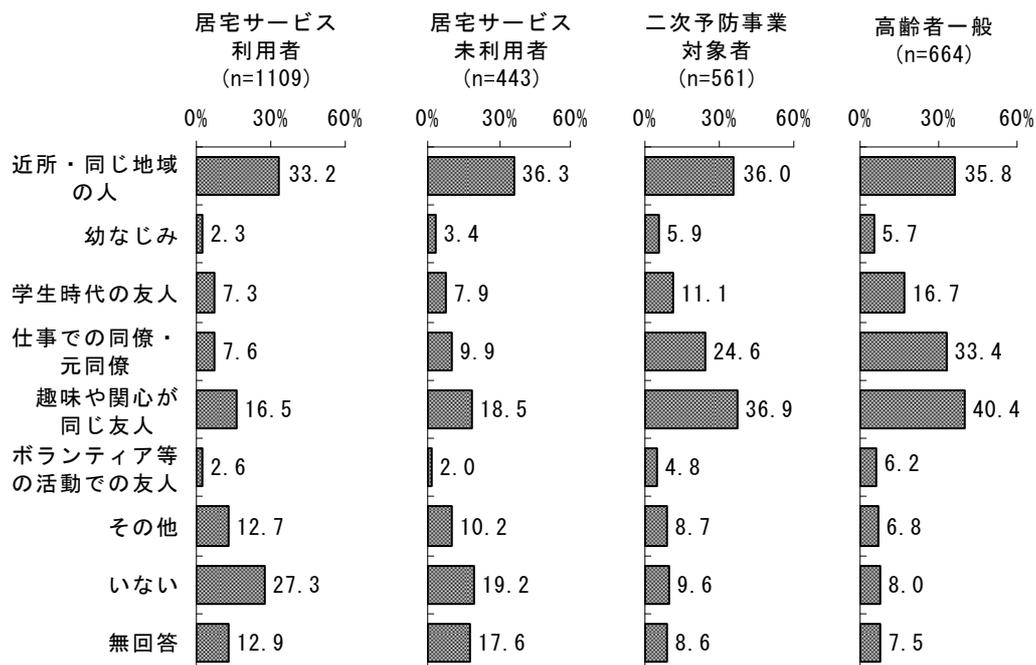
「会っていない」が居宅サービス利用者では 39.6%、居宅サービス未利用者では 31.4%となっています。

②この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか



「0人(いない)」が居宅サービス利用者では 36.2%、居宅サービス未利用者では 28.2%となっています。

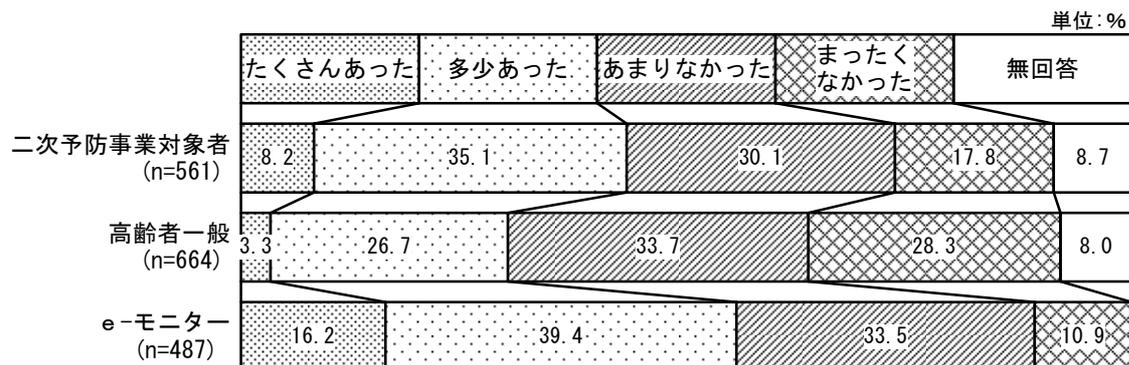
③よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）



各対象層とも「近所・同じ地域の人」が3割台と多くなっています。また、二次予防事業対象者、高齢者一般では、「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」についても多くなっています。

111 不安・悩み・ストレス・孤独感などの有無

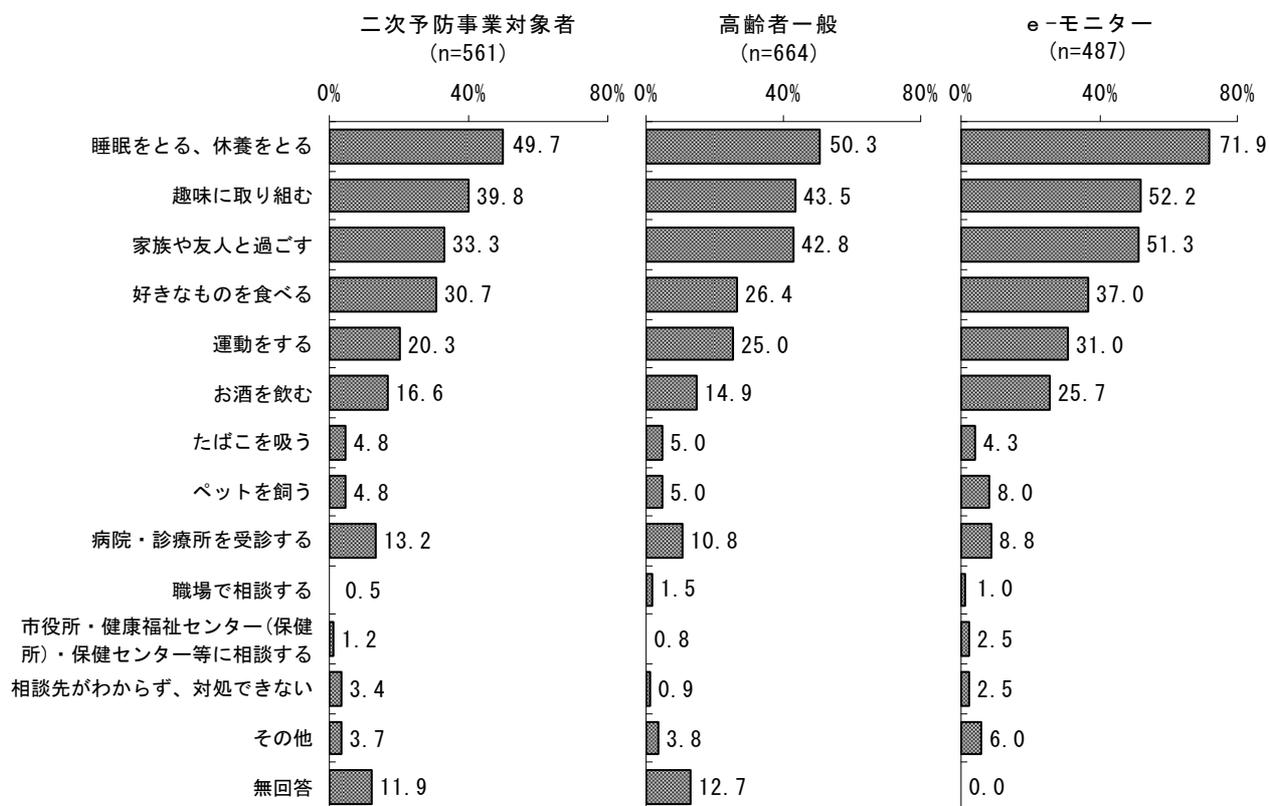
ここ最近、不安・悩み・ストレス・孤独（孤立）感などがありましたか



『あった』（「たくさんあった」＋「多少あった」）は二次予防事業対象者では43.3%、高齢者一般では30.0%となっています。

112 不安・悩み・ストレス・孤独感への対処方法

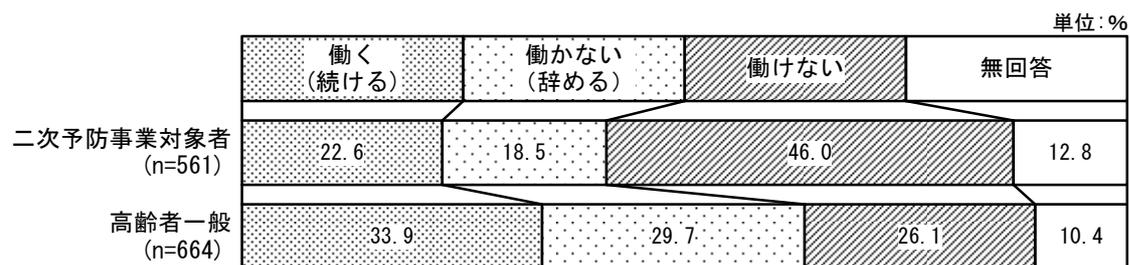
不安・悩み・ストレス・孤独（孤立）感に対してどのように対処していますか（○は5つまで）



各対象層とも「睡眠をとる、休養をとる」が最も多く、次いで「趣味に取り組む」、「家族や友人と過ごす」となっています。

113 就労継続の意向

今後、適当な仕事があれば、働きますか。現在働いている方は働き続けますか



二次予防事業対象者では「働けない」が46.0%となっています。高齢者一般では「働く（続ける）」が33.9%と最も多くなっています。

114 就労状況

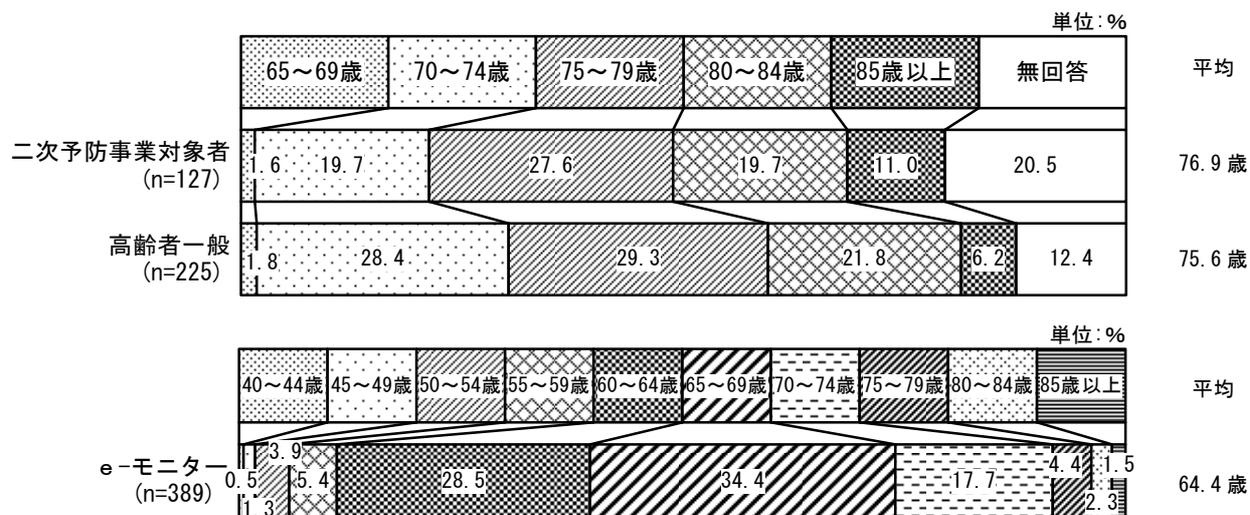
あなたは、現在、働いていますか



『働いている』（「働いている（フルタイム）」＋「働いている（パートタイム）」）が74.5%を占めています。

113・114-1 希望する退職年齢

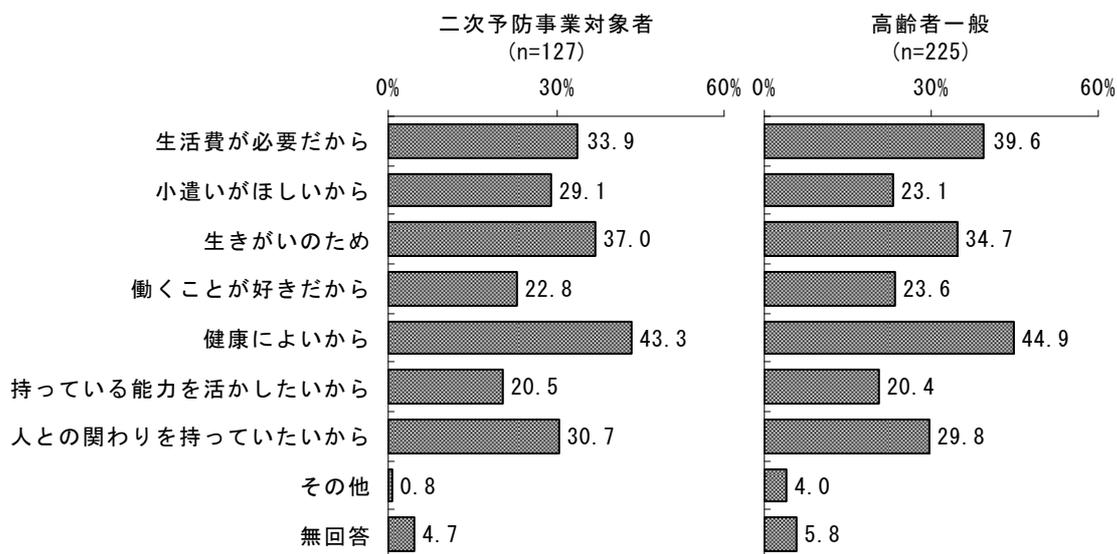
(働く(続ける)方のみ) 何歳くらいまで働きたいですか



平均年齢は、二次予防事業対象者では76.9歳、高齢者一般では75.6歳、e-モニターでは64.4歳となっています。

113-2 就労継続理由

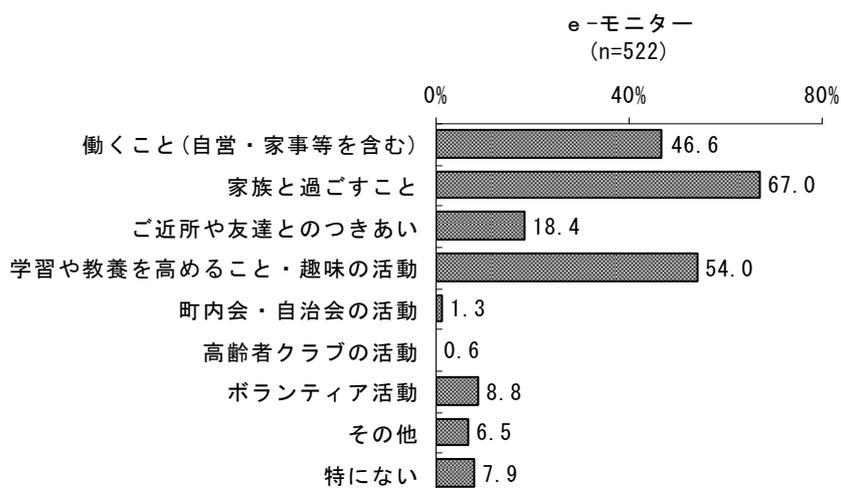
(働く(続ける)方のみ) 働く主な理由は何ですか (〇は3つまで)



二次予防事業対象者、高齢者一般とも「健康によいから」が4割を超えて最も多くなっています。

115 生きがいを感じていること

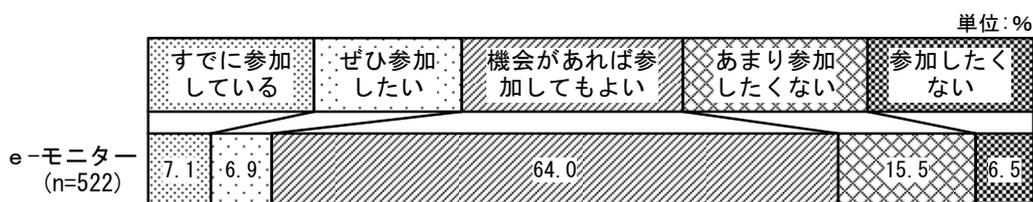
現在生きがいを感じていることは、どんなことですか（〇は3つまで）



「家族と過ごすこと」が 67.0%と最も多く、次いで「学習や教養を高めること・趣味の活動」が 54.0%、「働くこと（自営・家事等を含む）」が 46.6%となっています。

116 ボランティア活動への参加意向

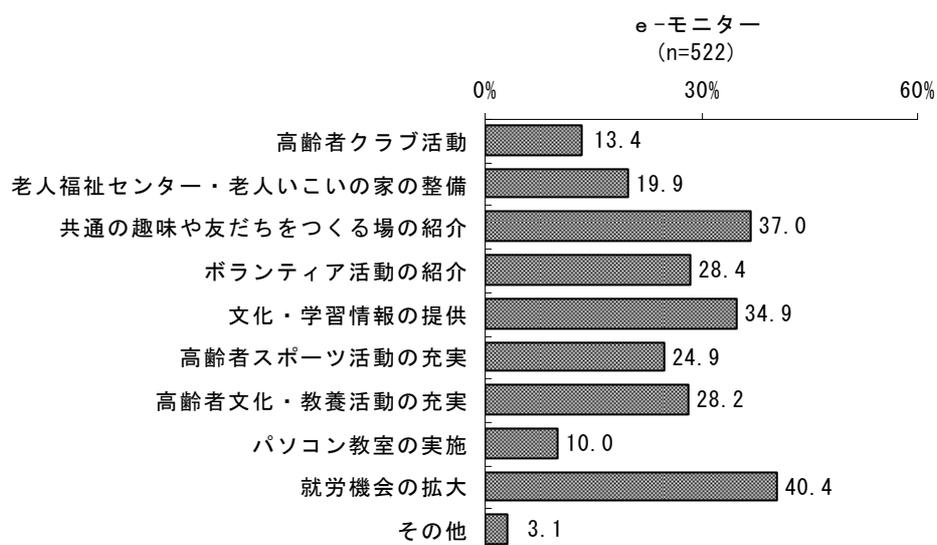
今後、ボランティア活動に参加してみたいですか



参加に肯定的な回答（「すでに参加している」＋「ぜひ参加したい」＋「機会があれば参加してもよい」）が 78.0%を占めています。

117 高齢者の生きがいがづくりで特に力を入れてほしいこと

高齢者の生きがいがづくりで、今後、市に特に力を入れてほしいものをお答えください（○は3つまで）

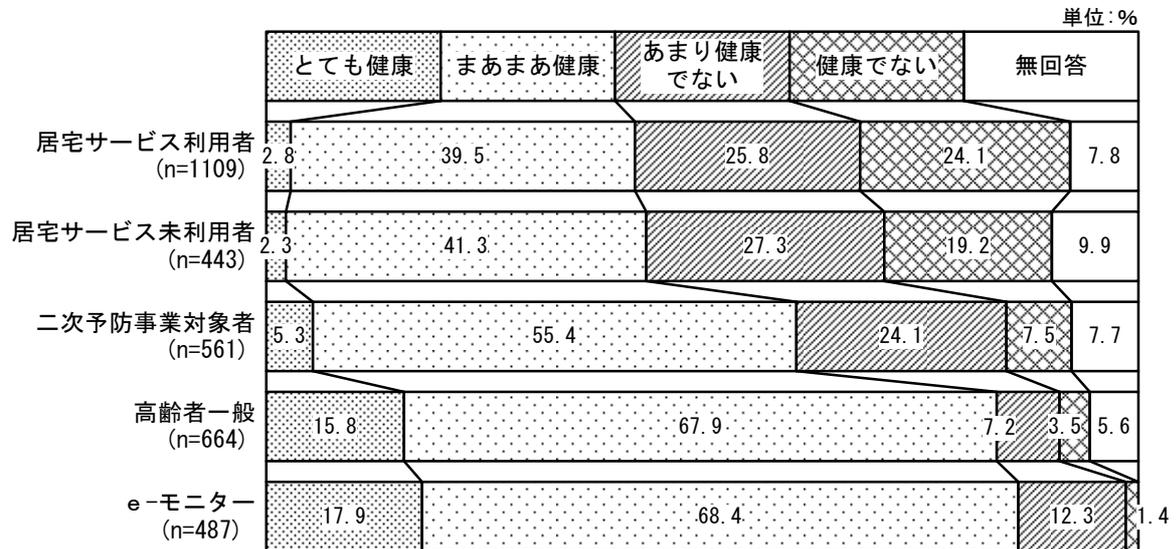


「就労機会の拡大」が40.4%と最も多く、次いで「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」が37.0%、「文化・学習情報の提供」が34.9%となっています。

10. 健康について

118 健康状態

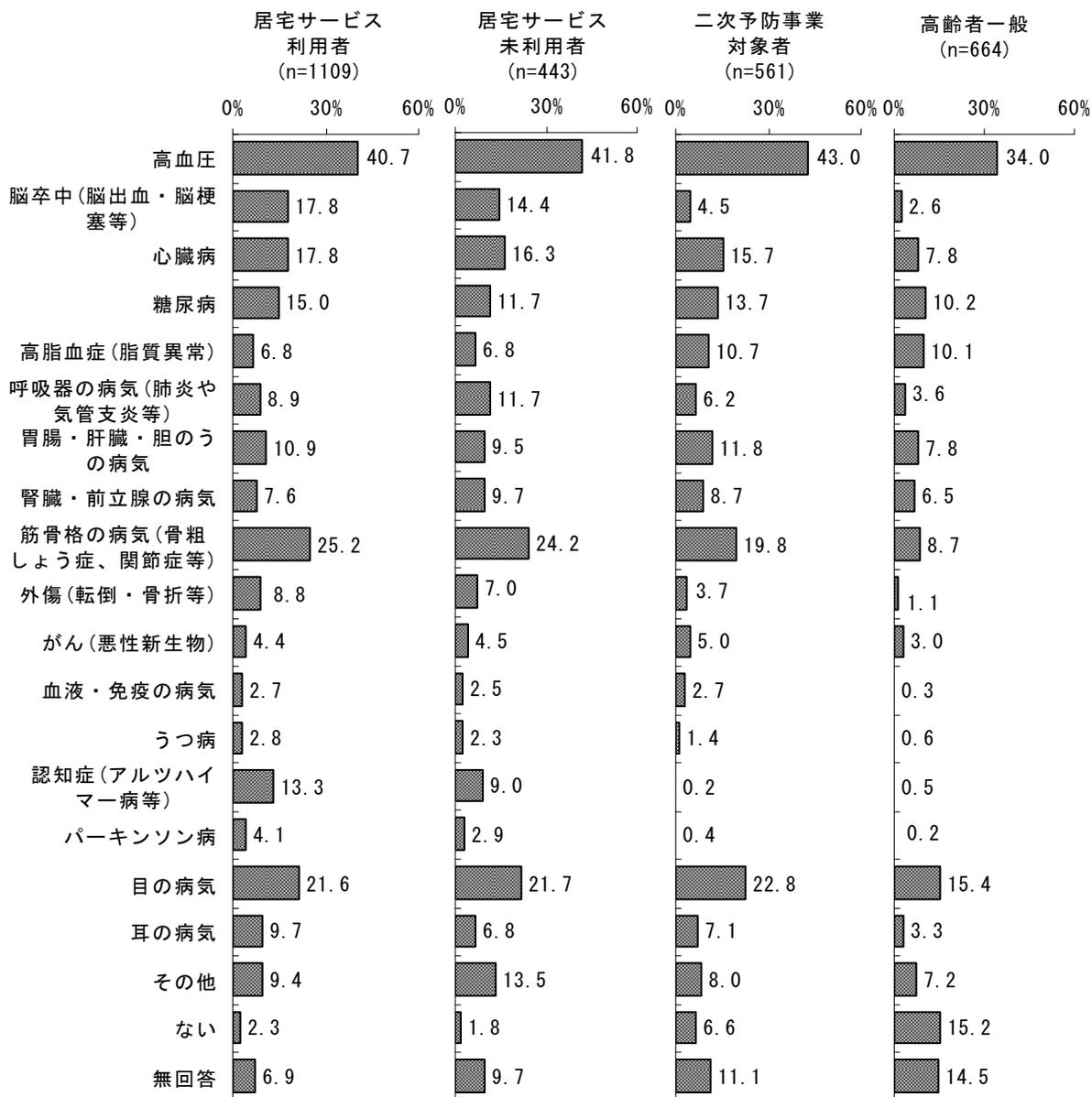
普段、ご自分で健康だと思いますか



『健康』（「とても健康」＋「まあまあ健康」）は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では4割強となっています。

119 治療中または後遺症のある病気

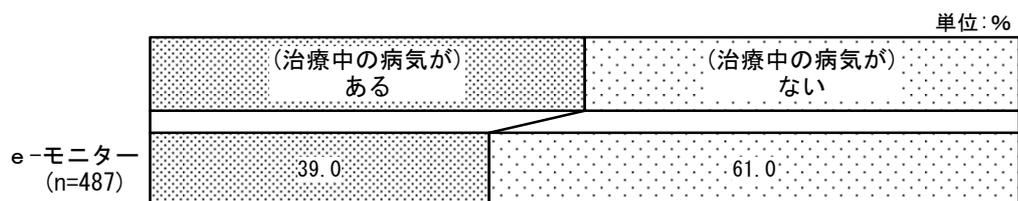
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)



各対象層とも「高血圧」が最も多くなっています。

120 治療中の病気の有無

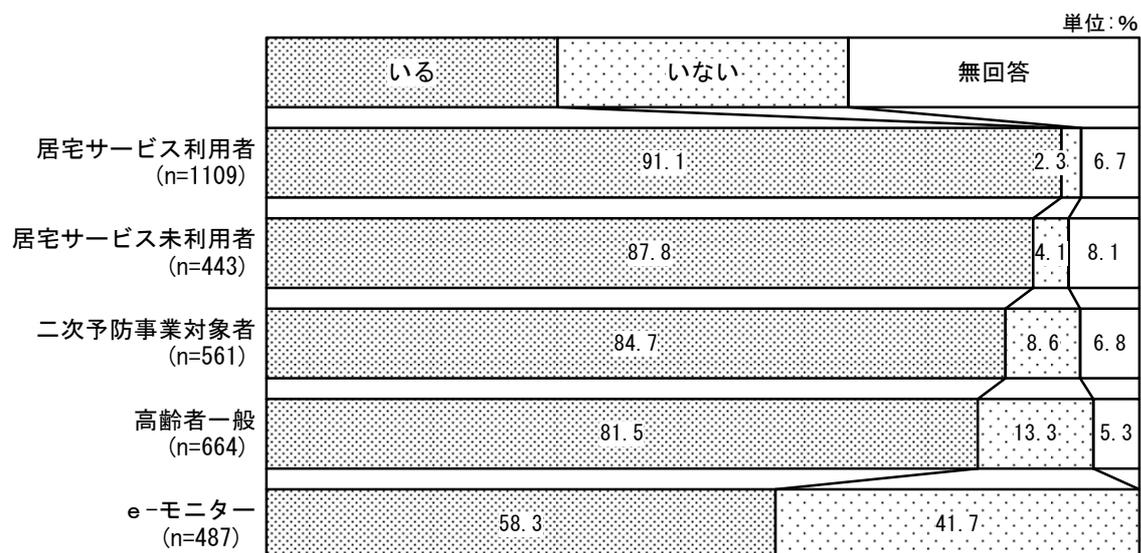
現在治療中の病気はありますか



「(治療中の病気が) ある」が39.0%、「(治療中の病気が) ない」が61.0%となっています。

121 かかりつけ医師の有無

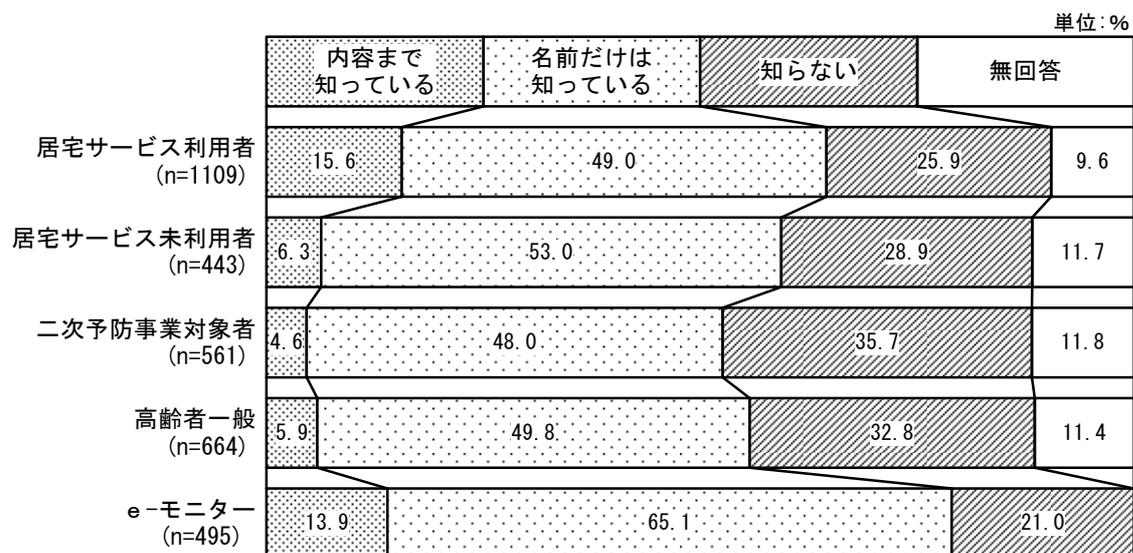
かかりつけの医師はいますか



e-モニター以外の対象層では「いる」が8割以上を占めています。

122 在宅療養の認知度

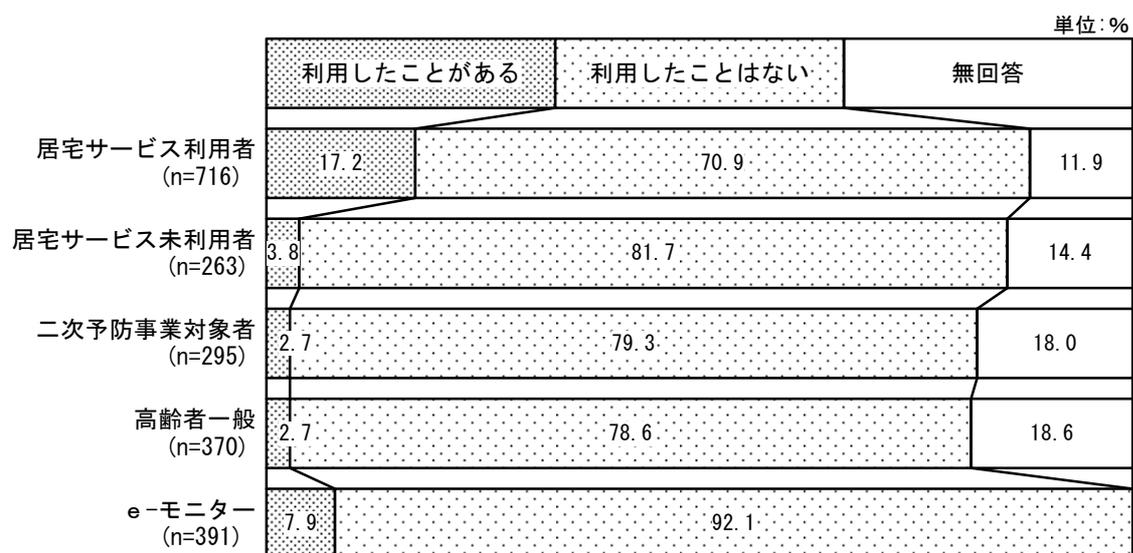
在宅療養について知っていますか



『知っている』（「内容まで知っている」＋「名前だけは知っている」）は、e-モニター以外の対象層では5～6割台となっています。

122-1 在宅療養の利用状況

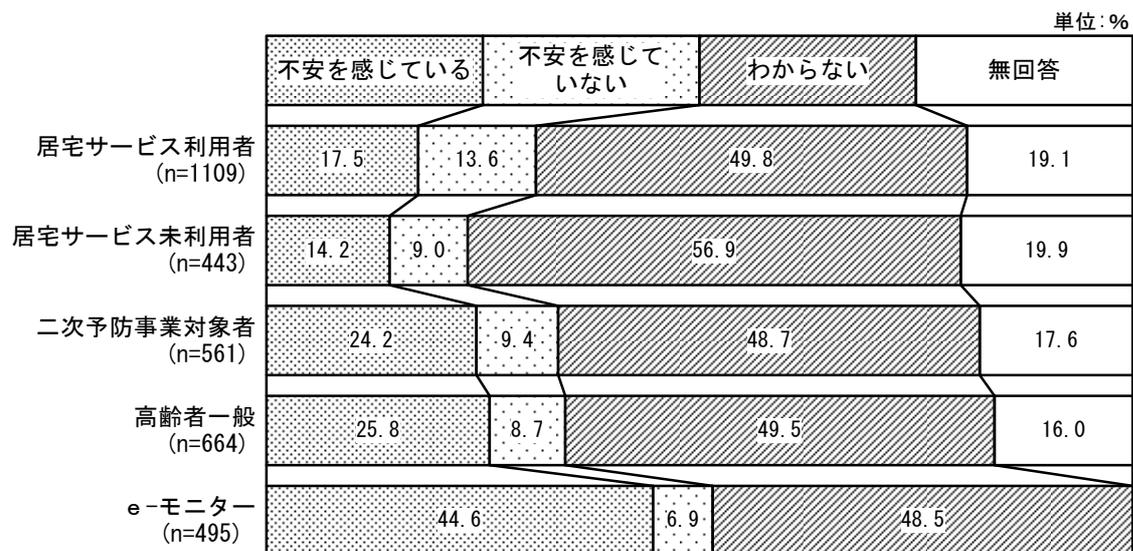
（知っている方のみ）在宅療養を利用したことがありますか



居宅サービス利用者では「利用したことがある」が17.2%となっています。

123 在宅療養に対する不安感

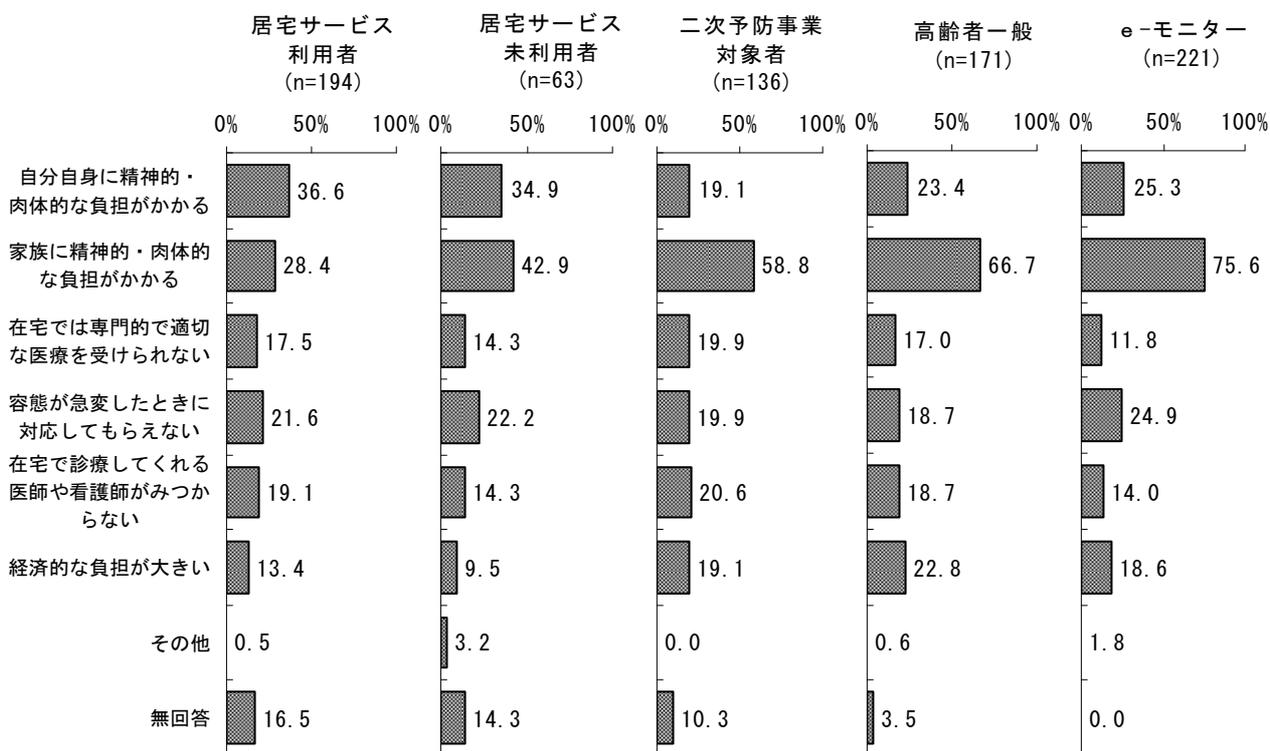
あなたは、在宅療養に不安を感じていますか



「不安を感じている」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では1割台、二次予防事業対象者、高齢者一般では2割台、e-モニターでは4割台となっています。

123-1 在宅療養に対する不安の内容

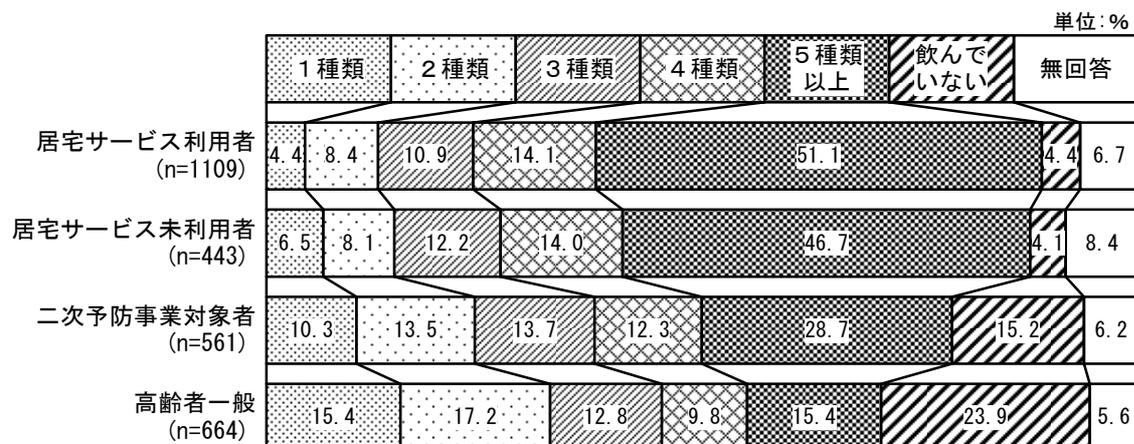
(不安を感じている方のみ) 具体的にはどのような不安を感じていますか (〇は2つまで)



「家族に精神的・肉体的な負担がかかる」は、居宅サービス利用者では28.4%にとどまっていますが、二次予防事業対象者では58.8%、高齢者一般では66.7%、e-モニターでは75.6%と多くなっています。

124 飲んでいる薬の種類

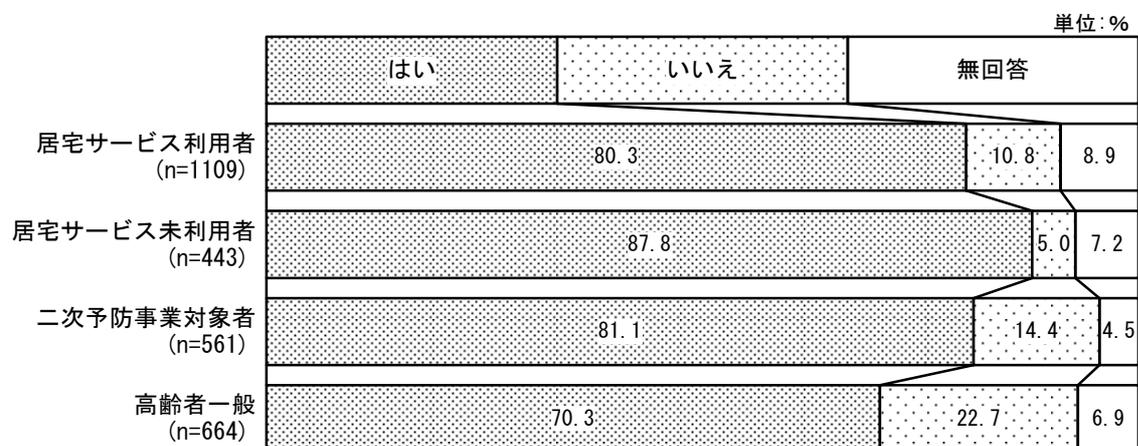
現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか



「5種類以上」は、居宅サービス利用者では 51.1%、居宅サービス未利用者では 46.7%となっています。

125 通院の有無

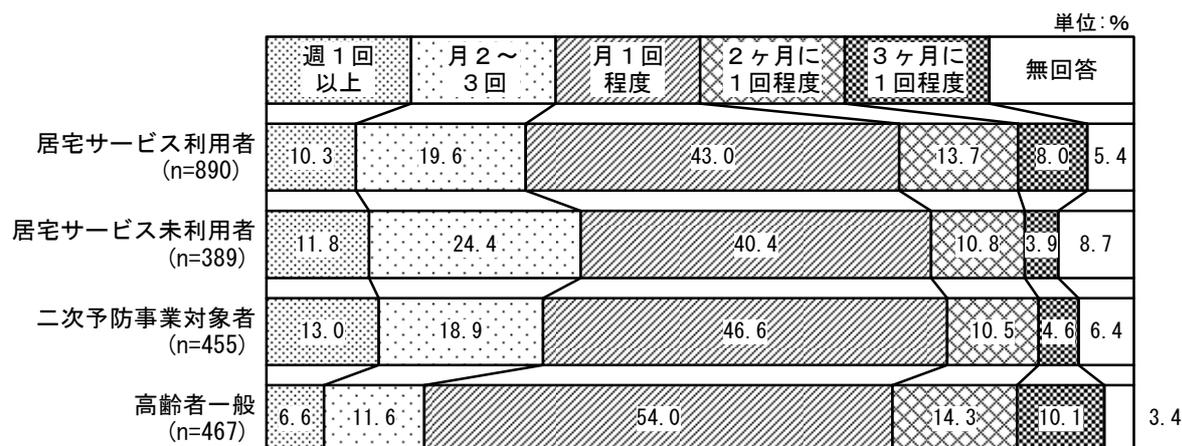
現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか



各対象層とも「はい」が7割以上を占めています。

125-1 通院の頻度

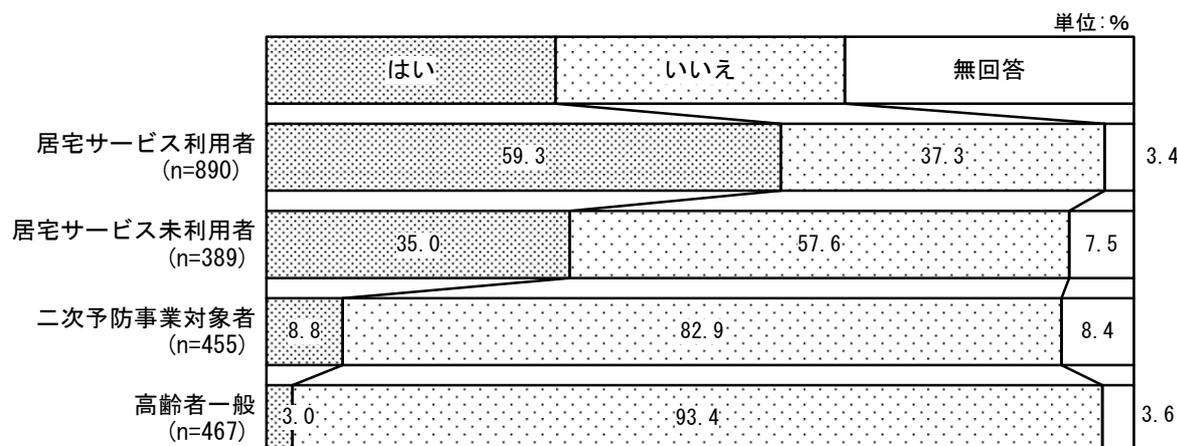
(通院している方のみ) その頻度は次のどれですか



各対象層とも「月1回程度」が最も多くなっています。

125-2 通院時の介助の必要性

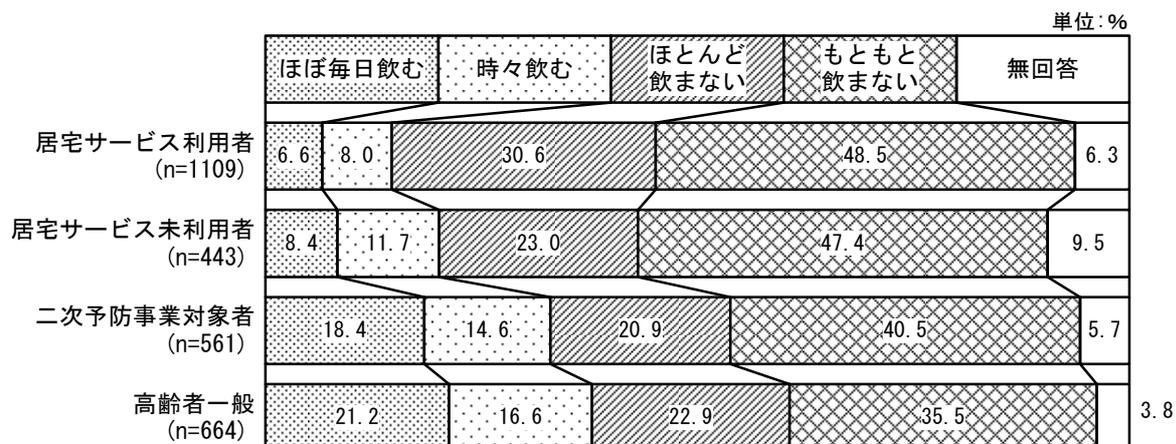
(通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか



「はい」は、居宅サービス利用者では59.3%、居宅サービス未利用者では35.0%となっています。

126 飲酒の有無

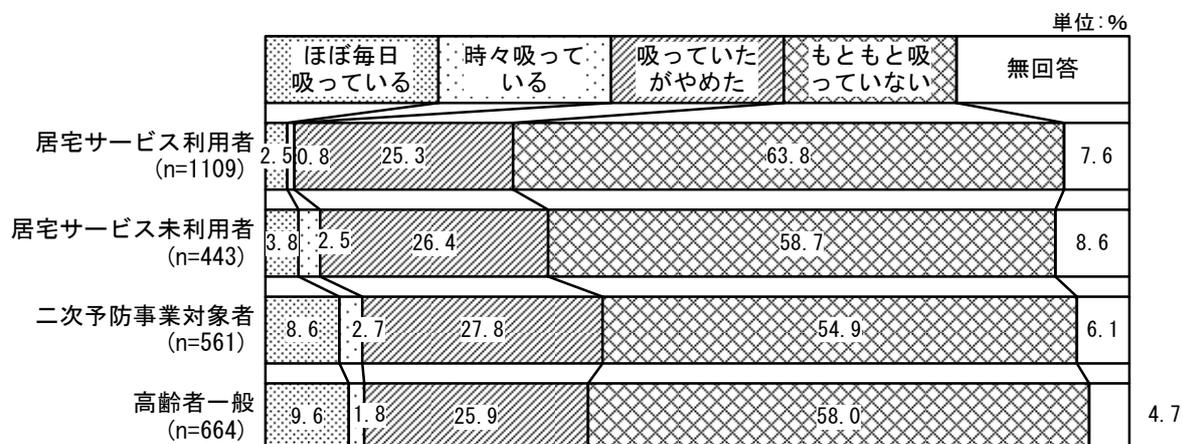
お酒は飲みますか



二次予防事業対象者、高齢者一般では『飲む』（「ほぼ毎日飲む」＋「時々飲む」）が3割を超えています。

127 喫煙の有無

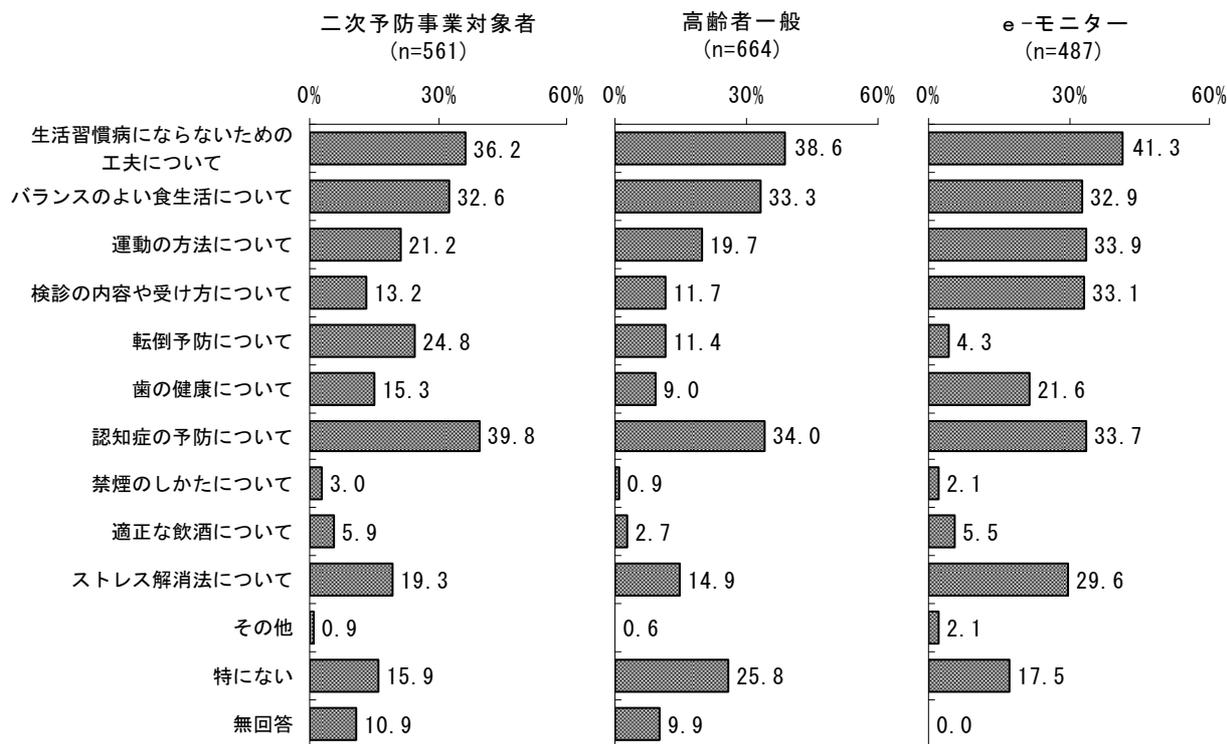
タバコは吸っていますか



各対象層とも『吸っていない』（「吸っていたがやめた」＋「もともと吸っていない」）が8割以上を占めています。

128 健康について知りたいこと

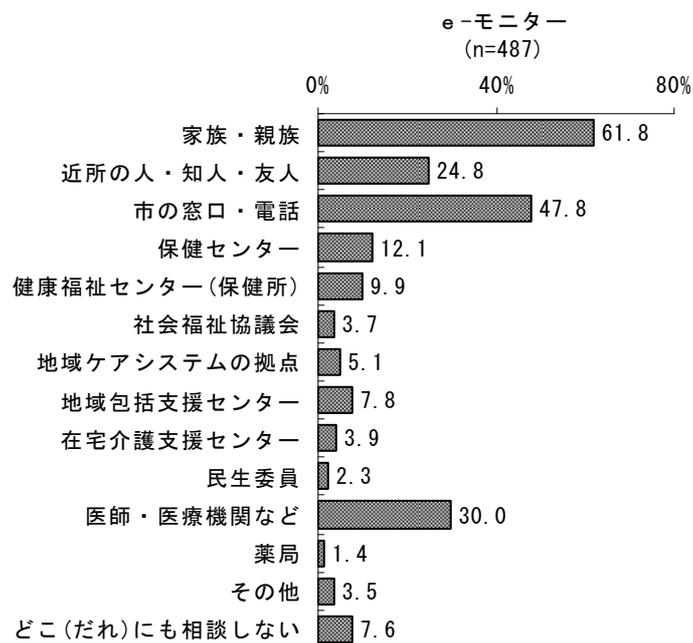
健康について、どのようなことが知りたいですか（〇は5つまで）



各対象者とも「生活習慣病にならないための工夫について」「認知症の予防について」「バランスのよい食生活について」が多くなっています。

129 介護や福祉のことで困ったときの相談先

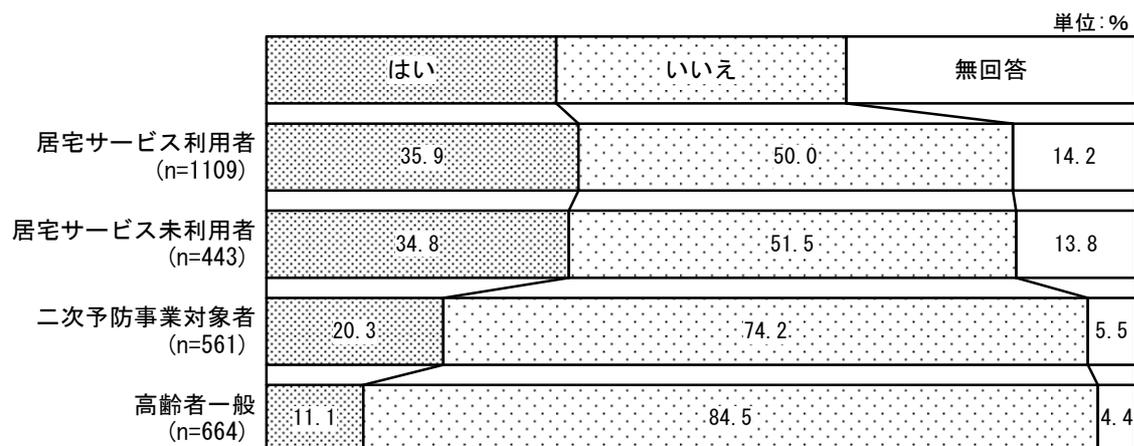
介護や福祉のことで困ったとき、どこ（だれ）に相談しますか（いくつでも）



「家族・親族」が61.8%と最も多く、次いで「市の窓口・電話」が47.8%、「医師・医療機関など」が30.0%となっています。

130 生活の充実感の欠如

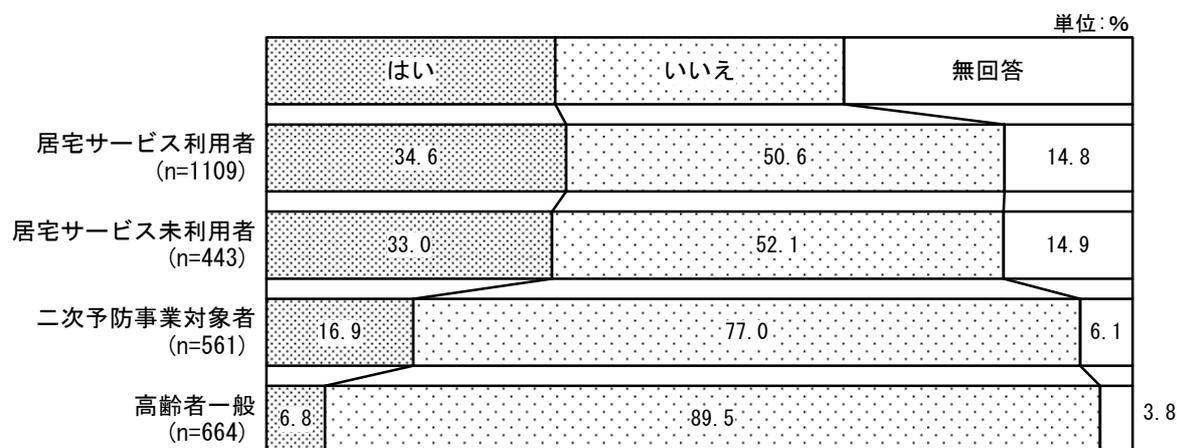
(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では3割を超えています。

131 興味・関心の低下

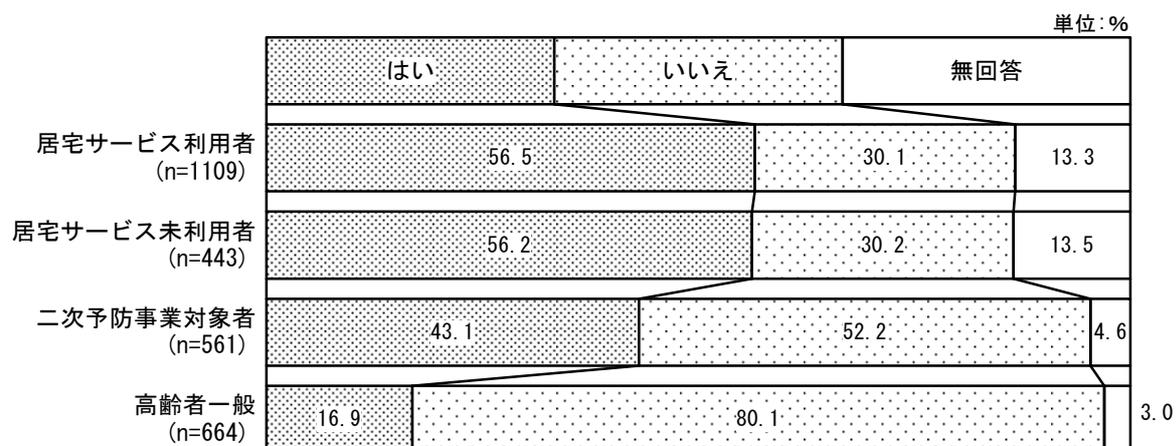
(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では3割を超えています。

132 活動意欲の低下

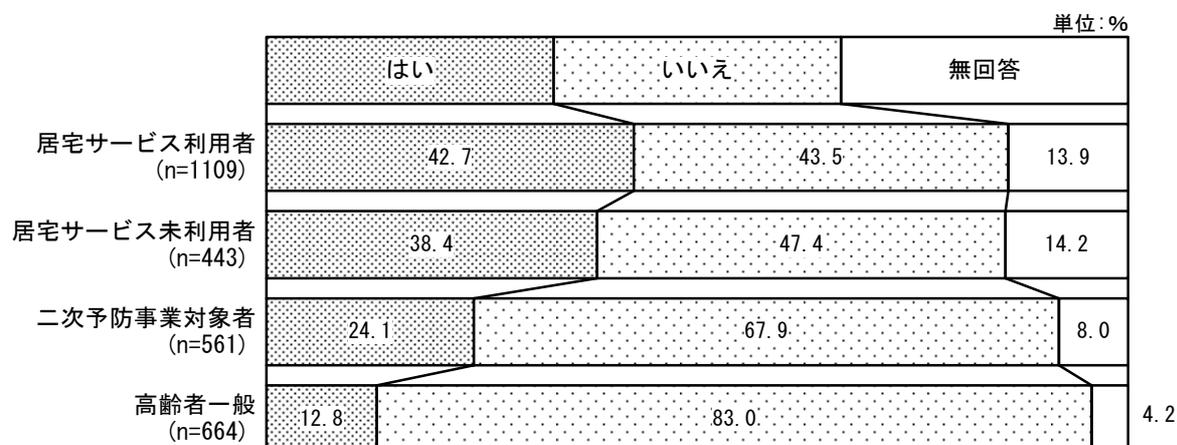
(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では半数以上を占めています。

133 自己有用感の低下

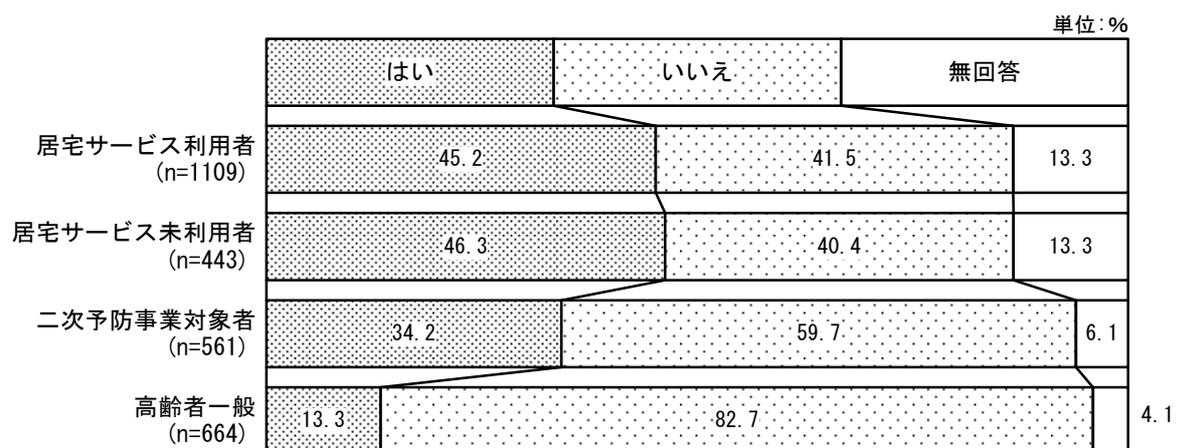
(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では4割前後となっています。

134 疲労感

(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする



「はい」は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では4割を超えています。

11. 介護をしている家族の方について

※No.135～149 は、介護をしている方におたずねしています。

135 介護の期間

ご本人（宛名の方）には、どのくらい介護を続けられていますか

単位：%

	半年未満	半年～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～8年未満	8～10年未満	10年以上	無回答
居宅サービス利用者 (n=821)	3.2	6.5	24.6	16.0	11.6	5.7	12.4	20.1
居宅サービス未利用者 (n=229)	9.2	11.4	25.3	11.8	9.2	3.5	9.6	20.1

「1～3年未満」が、居宅サービス利用者では 24.6%、居宅サービス未利用者では 25.3%と最も多くなっています。

136 一日の介護時間

あなた（介護者）の、一日の介護時間はどのくらいですか（身体介護だけでなく、家事などの見守りも含めてお答えください。）

単位：%

	必要なときに手を貸す程度	2～3時間程度	半日程度	ほとんど終日	無回答
居宅サービス利用者 (n=821)	39.1	8.0	11.3	20.5	21.1
居宅サービス未利用者 (n=229)	50.7	8.3	7.9	12.7	20.5

「必要なときに手を貸す程度」が、居宅サービス利用者では 39.1%、居宅サービス未利用者では 50.7%と最も多くなっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 一日の介護時間】

	n	必要 なとき に手 を 貸 す 程 度	2 ～ 3 時 間 程 度	半 日 程 度	ほ と ん ど 終 日	無 回 答	
全体	821	39.1	8.0	11.3	20.5	21.1	
要 介 護 度	要支援1	98	32.7	5.1	1.0	5.1	56.1
	要支援2	131	49.6	3.8	5.3	5.3	35.9
	要介護1	124	54.0	13.7	6.5	13.7	12.1
	要介護2	176	48.3	8.5	12.5	18.8	11.9
	要介護3	117	30.8	6.8	23.9	27.4	11.1
	要介護4	66	18.2	15.2	18.2	40.9	7.6
	要介護5	70	14.3	5.7	10.0	61.4	8.6
	無回答	39	35.9	5.1	20.5	10.3	28.2

要介護度別に見ると、「ほとんど終日」は要介護度が上がるにつれて多くなっており、要介護5では6割となっています。

【居宅サービス未利用者：要介護度別 一日の介護時間】

	n	必要 なとき に手 を 貸 す 程 度	2 ～ 3 時 間 程 度	半 日 程 度	ほ と ん ど 終 日	無 回 答	
全体	229	50.7	8.3	7.9	12.7	20.5	
要 介 護 度	要支援1	56	62.5	8.9	3.6	7.1	17.9
	要支援2	33	60.6	6.1	3.0	9.1	21.2
	要介護1	49	53.1	8.2	12.2	12.2	14.3
	要介護2	36	33.3	11.1	13.9	25.0	16.7
	要介護3	12	58.3	16.7	16.7	8.3	0.0
	要介護4	13	30.8	0.0	7.7	15.4	46.2
	要介護5	8	37.5	25.0	0.0	25.0	12.5
	無回答	22	40.9	0.0	4.5	9.1	45.5

要介護度別に見ると、「ほとんど終日」はいずれも3割未満となっています。

137 介護者の就労状況

あなた（介護者）は、現在、働いていますか

単位：%

	働いている (フルタイム)	働いている (パートタイム)	働いていない	無回答
居宅サービス利用者 (n=821)	19.0	14.6	49.7	16.7
居宅サービス未利用者 (n=229)	17.5	11.8	57.6	13.1

「働いていない」が、居宅サービス利用者では 49.7%、居宅サービス未利用者では 57.6%と最も多くなっています。

138 介護者の健康状態

あなた（介護者）の、現在の健康状態はいかがですか

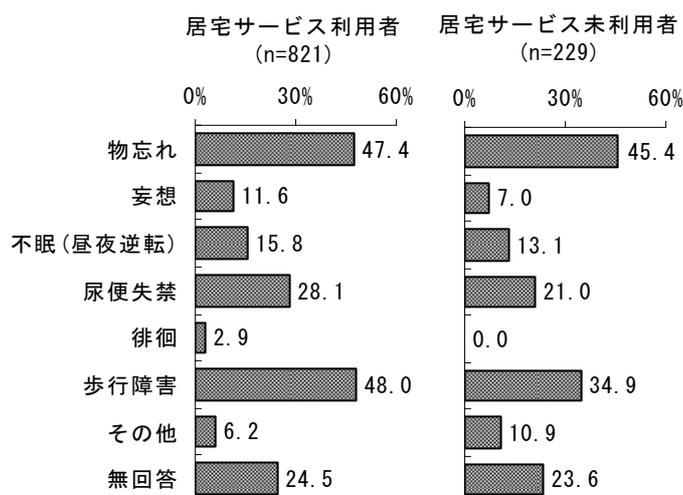
単位：%

	とても健康	まあまあ健康	あまり健康 でない	健康でない	無回答
居宅サービス利用者 (n=821)	6.7	50.3	18.8	7.3	16.9
居宅サービス未利用者 (n=229)	4.8	55.5	20.1	7.9	11.8

『健康でない』（「あまり健康でない」＋「健康でない」）が、居宅サービス利用者では 26.1%、居宅サービス未利用者では 28.0%となっています。

139 被介護者の状態

ご本人（宛名の方）には、次のような様子はみられますか（いくつでも）



居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者とも「物忘れ」「歩行障害」の割合が多くなっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 被介護者の状態】

	n	物忘れ	妄想	(昼夜不眠 逆転)	尿便失禁	徘徊	歩行障害	その他	無回答	
全体	821	47.4	11.6	15.8	28.1	2.9	48.0	6.2	24.5	
要介護度	要支援1	98	25.5	1.0	6.1	10.2	0.0	20.4	3.1	60.2
	要支援2	131	30.5	4.6	9.2	17.6	0.0	34.4	6.1	41.2
	要介護1	124	58.9	10.5	18.5	22.6	1.6	42.7	6.5	18.5
	要介護2	176	53.4	10.8	11.4	25.0	1.1	59.7	4.0	13.6
	要介護3	117	68.4	19.7	29.1	43.6	12.0	58.1	4.3	6.8
	要介護4	66	53.0	21.2	15.2	51.5	0.0	68.2	9.1	13.6
	要介護5	70	37.1	21.4	28.6	50.0	5.7	60.0	14.3	18.6
無回答	39	41.0	10.3	12.8	15.4	5.1	41.0	10.3	28.2	

要介護度別に見ると、「物忘れ」は要介護1～4で半数以上となっています。「歩行障害」は要介護2以上で過半数を占めています。

【居宅サービス未利用者：要介護度別 被介護者の状態】

	n	物忘れ	妄想	(昼夜不眠 逆転)	尿便失禁	徘徊	歩行障害	その他	無回答
全体	229	45.4	7.0	13.1	21.0	0.0	34.9	10.9	23.6
要介護度	要支援1	56	26.8	1.8	16.1	19.6	0.0	17.9	33.9
	要支援2	33	33.3	6.1	9.1	12.1	0.0	45.5	21.2
	要介護1	49	65.3	18.4	16.3	26.5	0.0	40.8	12.2
	要介護2	36	66.7	8.3	11.1	38.9	0.0	52.8	16.7
	要介護3	12	41.7	0.0	8.3	16.7	0.0	50.0	16.7
	要介護4	13	61.5	7.7	23.1	23.1	0.0	38.5	15.4
	要介護5	8	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
無回答	22	27.3	0.0	9.1	4.5	0.0	13.6	45.5	

要介護度別に見ると、「物忘れ」は要介護1、2、4で6割以上となっています。

140 被介護者が認知症と診断されたこと

ご本人（宛名の方）は、医師に認知症と診断されたことがありますか

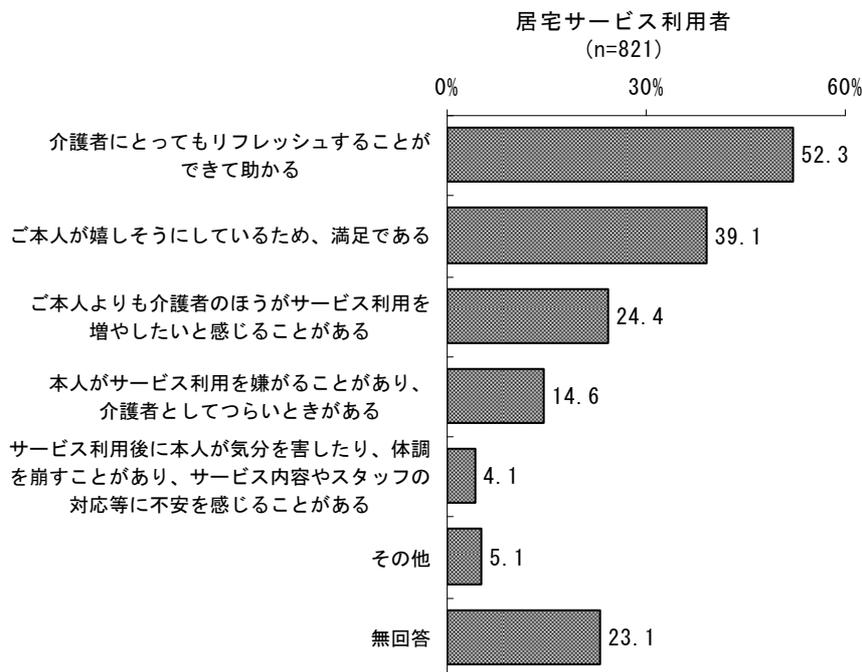
単位：%

	ある	ない	無回答
居宅サービス利用者 (n=821)	23.0	57.4	19.6
居宅サービス未利用者 (n=229)	22.7	62.4	14.8

居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者とも「ある」が2割強となっています。

141 被介護者が介護サービスを利用しているときに感じること

ご本人（宛名の方）が介護サービスを利用されているとき、あなた（介護者）はどのように感じていますか（○は3つまで）



「介護者にとってもリフレッシュすることができて助かる」が 52.3%と最も多く、次いで「ご本人が嬉しそうにしているため、満足である」が 39.1%、「ご本人よりも介護者のほうがサービス利用を増やしたいと感じることがある」が 24.4%となっています。

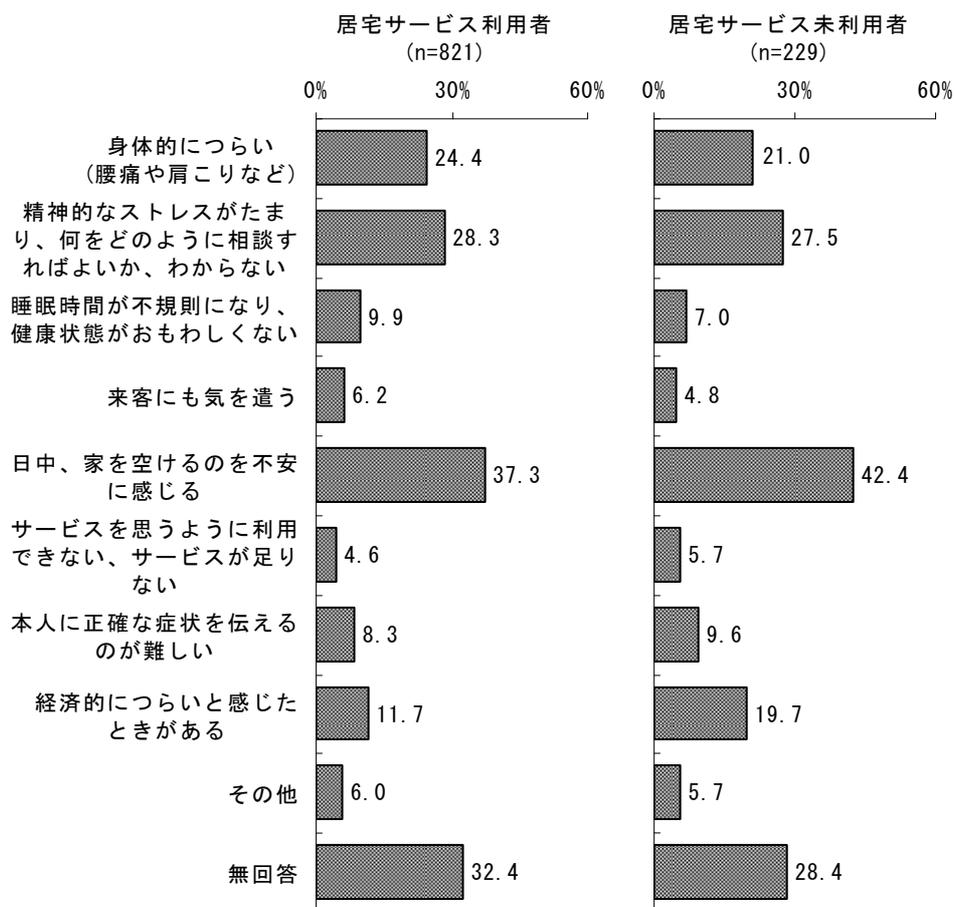
【居宅サービス利用者：要介護度別 被介護者が介護サービスを利用しているときに感じること】

	n	介護者にとってもリフレッシュすることができて助かる	ご本人が嬉しそうにしているため、満足である	ご本人よりも介護者のほうがサービス利用を増やしたいと感じることがある	介護者としてつらいときがある、本人がサービス利用を嫌がることもあり、介護者としてつらいときがある	サービス利用後に本人が気分を害したり、体調を崩すことがあり、サービス内容やスタッフの対応等に不安を感じることもある	その他	無回答	
全体	821	52.3	39.1	24.4	14.6	4.1	5.1	23.1	
要介護度	要支援 1	98	26.5	30.6	13.3	4.1	1.0	3.1	54.1
	要支援 2	131	40.5	29.8	18.3	6.9	1.5	5.3	39.7
	要介護 1	124	54.0	45.2	21.0	16.9	3.2	8.1	13.7
	要介護 2	176	59.1	52.3	23.9	12.5	4.0	4.5	14.2
	要介護 3	117	64.1	39.3	34.2	23.1	7.7	4.3	12.0
	要介護 4	66	65.2	37.9	33.3	30.3	6.1	4.5	9.1
	要介護 5	70	61.4	32.9	34.3	17.1	8.6	4.3	14.3
無回答	39	46.2	25.6	23.1	12.8	2.6	7.7	33.3	

要介護度別に見ると、「介護者にとってもリフレッシュすることができて助かる」が要介護 1～5 で半数以上を占めています。「ご本人が嬉しそうにしているため、満足である」は、要介護 2 で半数以上を占めています。

142 介護で負担に感じること

介護をしていて、負担に感じることは何ですか（〇は3つまで）



居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者とも「日中、家を空けるのを不安に感じる」が4割前後と最も多くなっています。

【居宅サービス利用者：要介護度別 介護で負担に感じること】

	n	(身体的につらい 腰痛や肩こりなど)	精神的なストレスがたまり、 何をどのように相談すれば よいか、わからない	睡眠時間が不規則になり、 健康状態がおもしろくない	来客にも気を遣う	日中、家を空けるのを 不安に感じる	サービスを思うように利用 できない、サービスが足りない	本人に正確な症状を 伝えるのが難しい	経済的につらいと 感じたときがある	その他	無回答	
全体	821	24.4	28.3	9.9	6.2	37.3	4.6	8.3	11.7	6.0	32.4	
要介護度	要支援1	98	12.2	6.1	0.0	2.0	11.2	2.0	5.1	6.1	3.1	69.4
	要支援2	131	12.2	19.8	5.3	4.6	26.0	4.6	3.1	8.4	8.4	47.3
	要介護1	124	16.9	35.5	4.8	10.5	43.5	5.6	10.5	10.5	5.6	21.8
	要介護2	176	22.7	31.8	8.0	4.5	48.3	4.5	8.0	13.1	7.4	23.3
	要介護3	117	32.5	32.5	18.8	6.8	48.7	5.1	12.8	14.5	6.0	18.8
	要介護4	66	51.5	42.4	21.2	7.6	47.0	3.0	12.1	18.2	1.5	18.2
	要介護5	70	42.9	31.4	20.0	11.4	31.4	7.1	11.4	18.6	4.3	24.3
	無回答	39	23.1	30.8	10.3	2.6	30.8	5.1	2.6	2.6	10.3	43.6

要介護度別に見ると、「身体的につらい」、「精神的なストレスがたまり、何をどのように相談すればよいか、わからない」は要介護4で最も多くなっています。「日中、家を空けるのを不安に感じる」は、要介護1～4で4割以上を占めています。

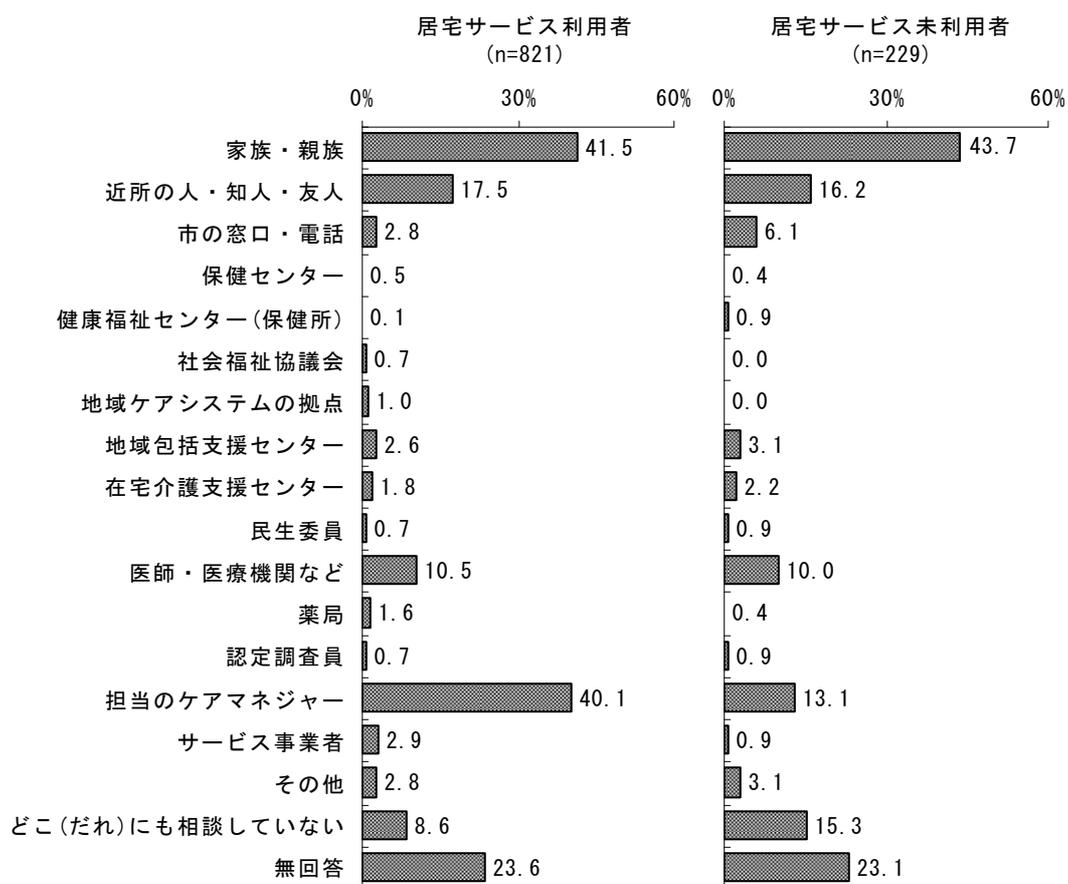
【居宅サービス未利用者：要介護度別 介護で負担に感じること】

	n	(身体的につらい 腰痛や肩こりなど)	精神的なストレスがたまり、 何をどのように相談すれば よいか、わからない	睡眠時間が不規則になり、 健康状態がおもしろくない	来客にも気を遣う	日中、家を空けるのを 不安に感じる	サービスを思うように利用 できない、サービスが足りない	本人に正確な症状を 伝えるのが難しい	経済的につらいと 感じたときがある	その他	無回答	
全体	229	21.0	27.5	7.0	4.8	42.4	5.7	9.6	19.7	5.7	28.4	
要介護度	要支援1	56	23.2	19.6	5.4	5.4	28.6	1.8	12.5	26.8	5.4	32.1
	要支援2	33	15.2	27.3	3.0	6.1	39.4	9.1	9.1	15.2	3.0	36.4
	要介護1	49	20.4	28.6	12.2	6.1	55.1	6.1	12.2	10.2	2.0	24.5
	要介護2	36	25.0	36.1	8.3	2.8	61.1	0.0	8.3	25.0	5.6	19.4
	要介護3	12	33.3	25.0	0.0	8.3	58.3	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3
	要介護4	13	15.4	53.8	0.0	0.0	38.5	15.4	0.0	46.2	15.4	7.7
	要介護5	8	50.0	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	25.0	25.0
	無回答	22	4.5	13.6	9.1	4.5	22.7	9.1	4.5	9.1	0.0	54.5

要介護度別に見ると、「日中、家を空けるのを不安に感じる」は、要介護1～3で過半数を占めています。

143 介護でつらい時の相談先

介護でつらい時、どこ（だれ）に相談しましたか（〇は5つまで）



居宅サービス利用者では「家族・親族」「担当のケアマネジャー」、居宅サービス未利用者では「家族・親族」が4割を超えています。

144 介護方法の講習や講演会への参加の有無

これまでに、介護方法の講習や講演会に参加したことがありますか

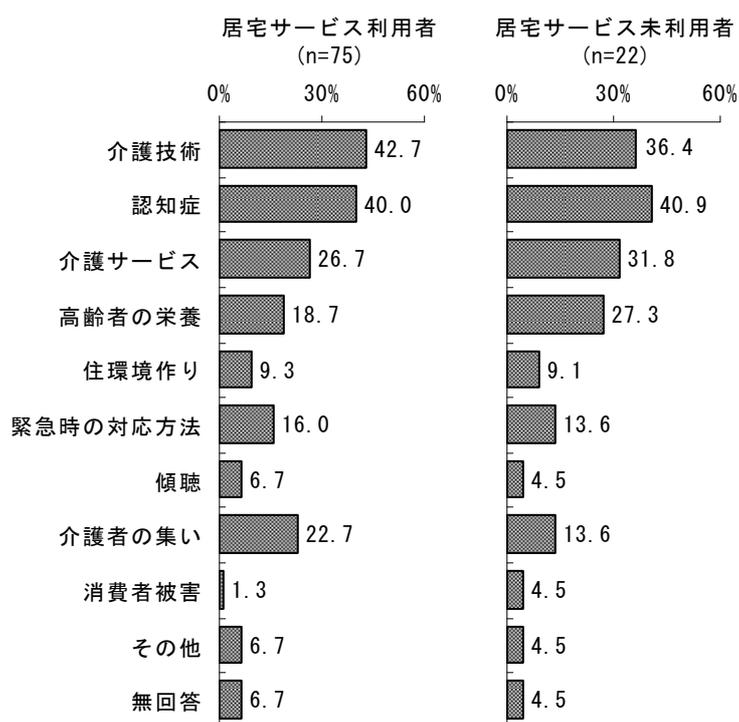
単位：%

	ある	ない	無回答
居宅サービス利用者 (n=821)	9.1	70.3	20.6
居宅サービス未利用者 (n=229)	9.6	77.3	13.1

居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者とも「ある」が1割弱となっています。

144-1 講習や講演会の内容

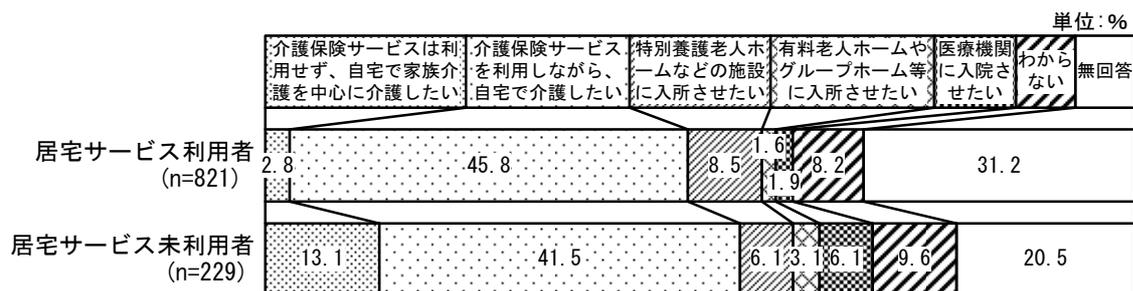
(参加したことがある方のみ) それほどどのような講習や講演会でしたか (いくつでも)



居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者とも「介護技術」「認知症」が多くなっています。

145 今後の介護についての考え

今後、どのように介護をしたいと思いますか



居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者とも「介護保険サービスを利用しながら、自宅で介護したい」が4割台と最も多くなっています。

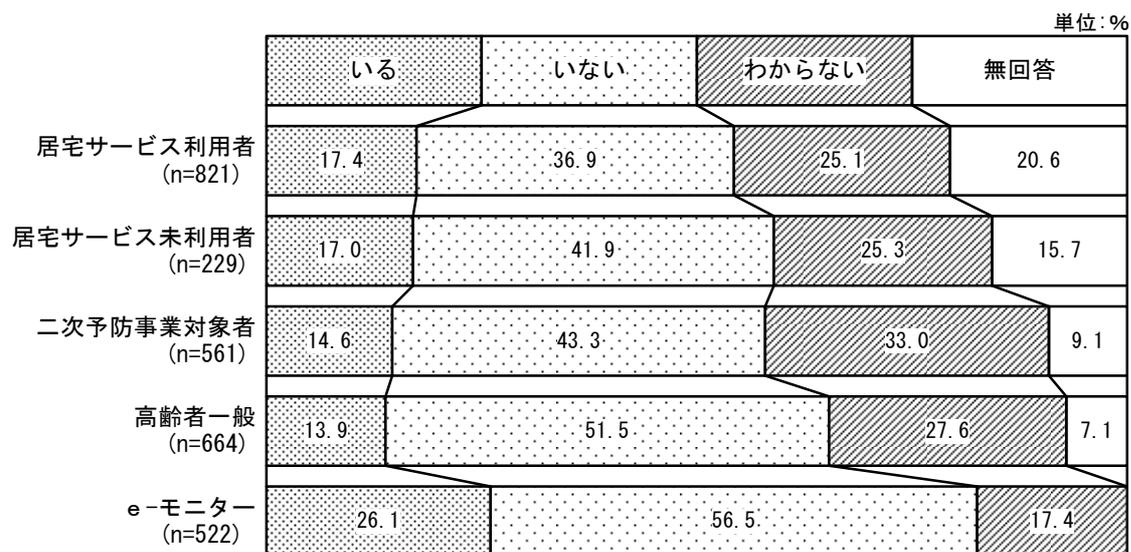
【居宅サービス利用者：要介護度別 今後の介護についての考え】

	n	介護保険サービスは利用せず、自宅で家族介護を中心に介護したい	介護保険サービスを利用しながら、自宅で介護したい	特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい	有料老人ホームやグループホーム等に入所させたい	病院などの医療機関に入院させたい	わからない	無回答	
全体	821	2.8	45.8	8.5	1.6	1.9	8.2	31.2	
要介護度	要支援1	98	2.0	15.3	4.1	1.0	3.1	8.2	66.3
	要支援2	131	1.5	38.2	3.1	2.3	0.8	9.2	45.0
	要介護1	124	3.2	48.4	6.5	2.4	5.6	12.9	21.0
	要介護2	176	4.5	53.4	9.1	1.1	0.0	9.7	22.2
	要介護3	117	1.7	55.6	16.2	1.7	0.0	4.3	20.5
	要介護4	66	1.5	62.1	7.6	1.5	1.5	4.5	21.2
	要介護5	70	5.7	54.3	12.9	1.4	4.3	4.3	17.1
	無回答	39	0.0	33.3	12.8	0.0	2.6	7.7	43.6

要介護度別に見ると、「介護保険サービスを利用しながら自宅で介護したい」は要介護2～5で過半数を占めています。

146 周囲に認知症の疑いのある人の有無

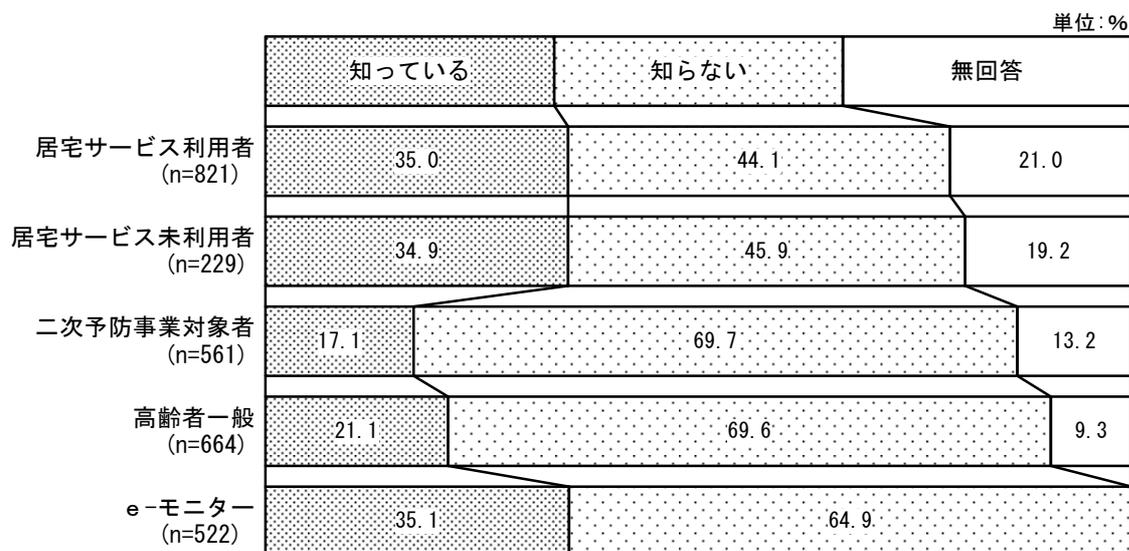
あなた（介護者）の周りの方で、認知症ではないかと思う方がいますか



「いる」は、e-モニター以外の対象層では1割台となっています。

147 認知症に関する相談先の認知度

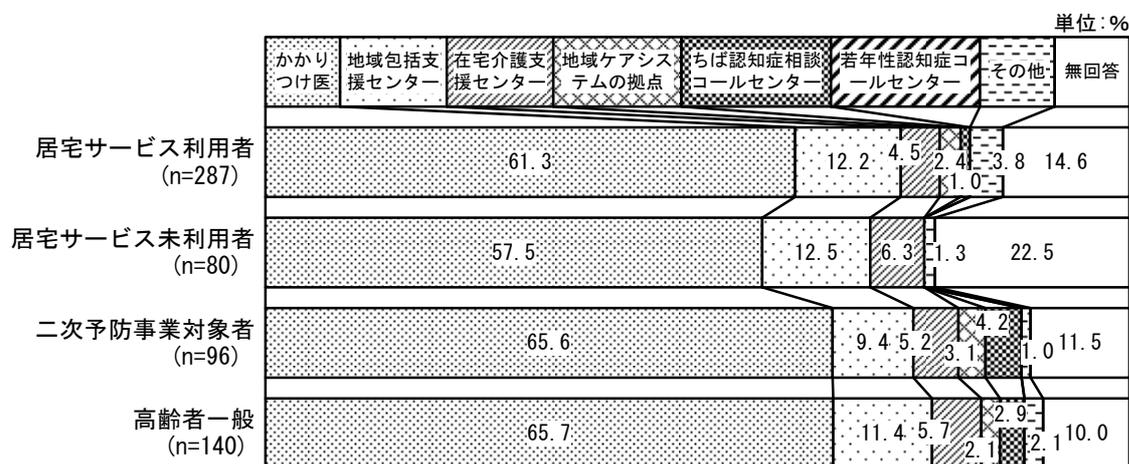
認知症が疑われる場合、どこに相談をすればよいかご存知ですか



二次予防事業対象者、高齢者一般では「知らない」が約7割を占めています。

147-1 認知症の相談先

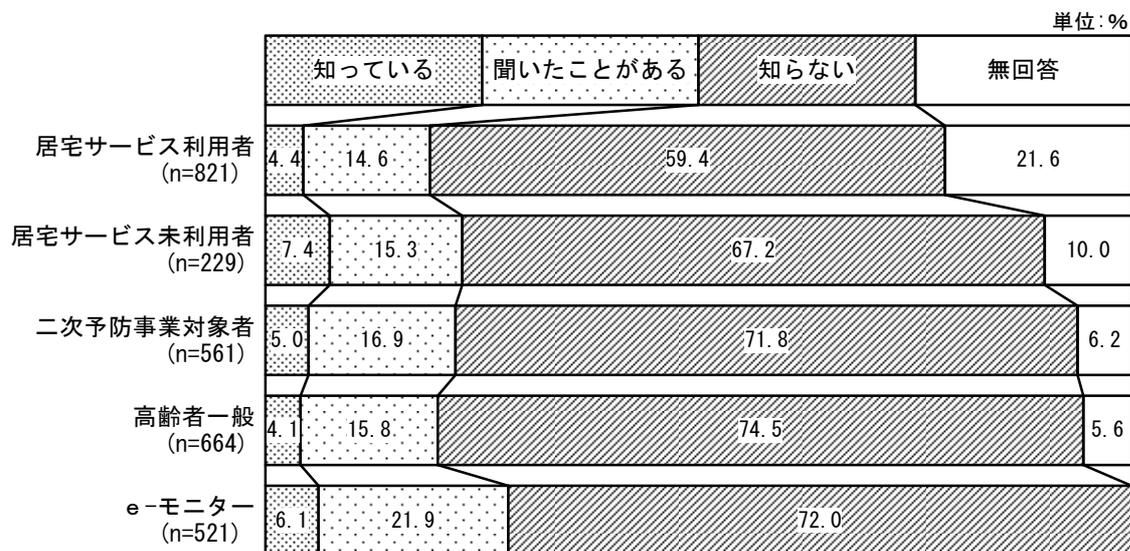
(知っている方のみ) 相談先はどこですか



各対象層とも「かかりつけ医」が半数以上を占めており、次いで「地域包括支援センター」が1割前後となっています。

148 地域ケアシステムの認知度

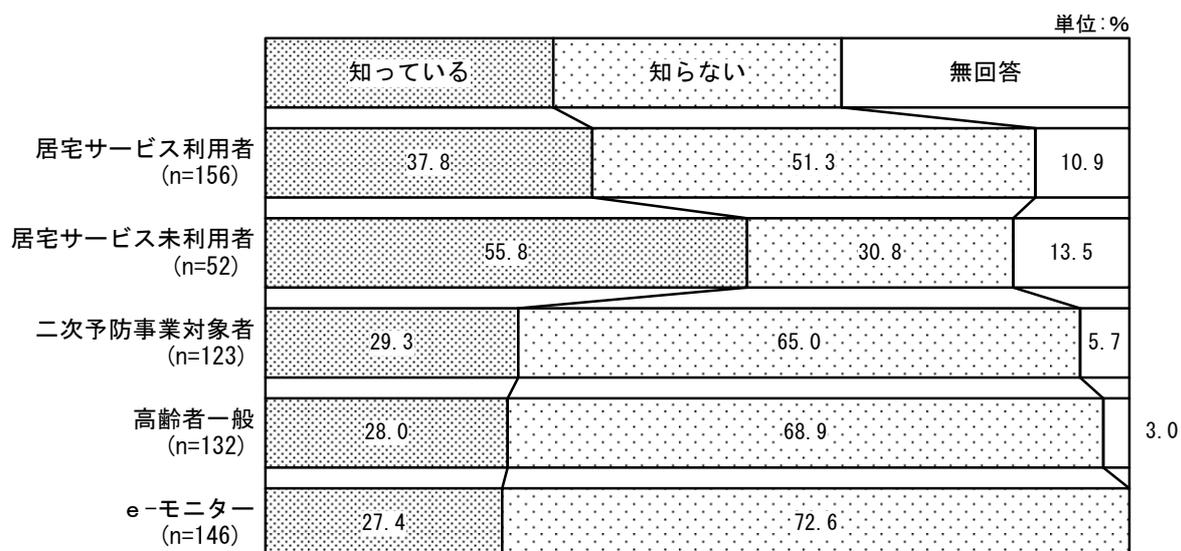
市川市では、安心して暮らし続けられる地域社会をつくるために、地域ケアシステムの構築を進めています。あなたは、そのことをご存知ですか



各対象層とも「知らない」が大半を占めています。

148-1 地域ケアシステム拠点の場所の認知度

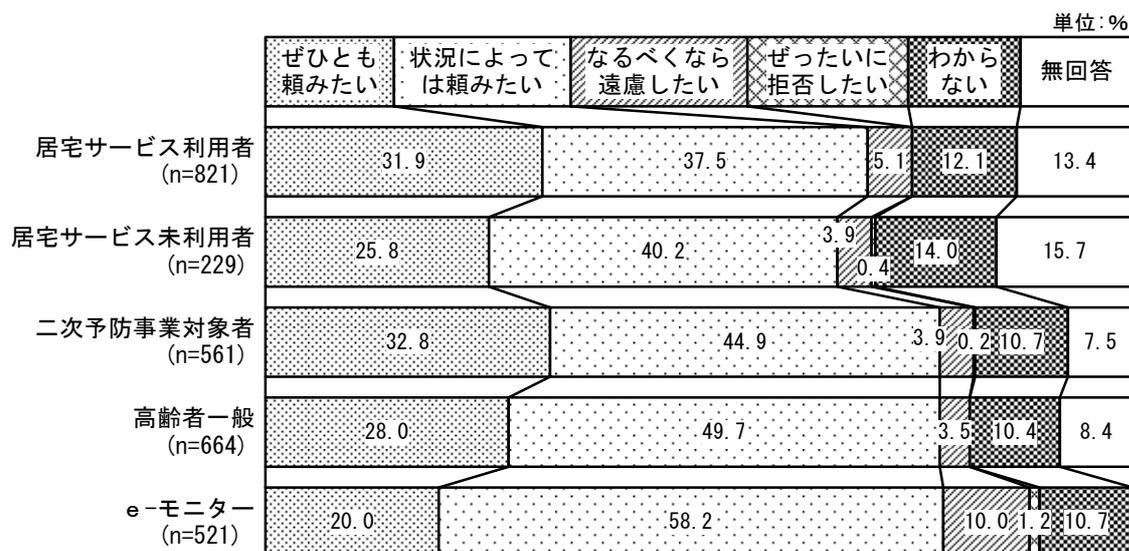
(知っている方、聞いたことがある方のみ) あなたはご自身の地区の地域ケアシステムの拠点がどこにあるかご存知ですか



「知らない」が、二次予防事業対象者、高齢者一般では6割以上、e-モニターでは7割以上を占めています。

149 災害時の自治会等の安否確認について

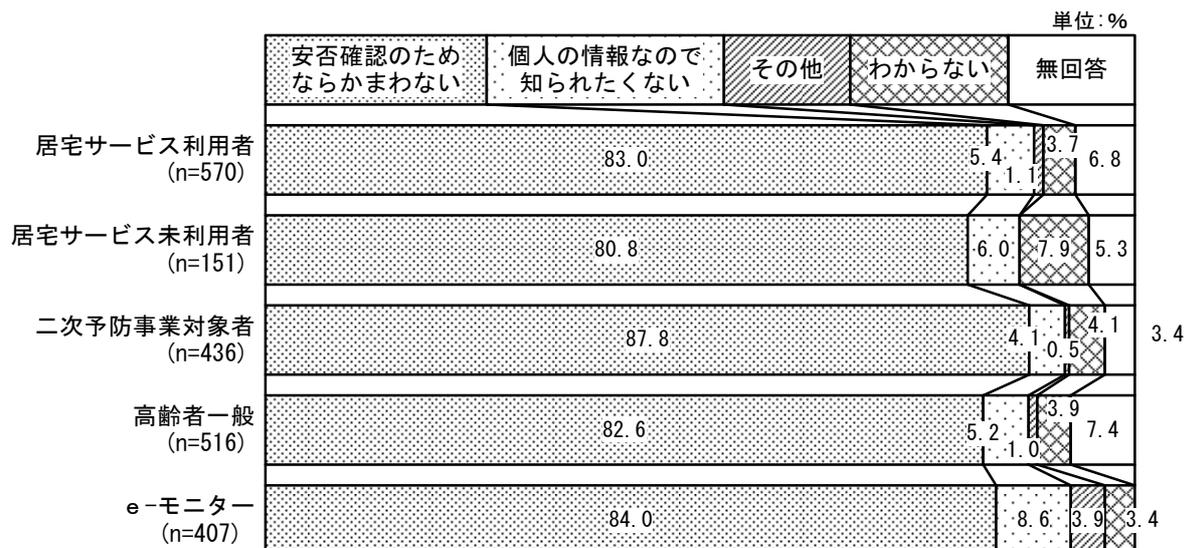
災害の時に自治会などによる安否確認をしてもらうことについてどう思いますか



『頼みたい』（「ぜひとも頼みたい」＋「状況によっては頼みたい」）は、居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者では6割以上、二次予防事業対象者、高齢者一般、e-モニターでは7割以上を占めています。

149-1 災害時援助のために個人情報を知られることについて

（頼みたい方のみ） その場合、あらかじめ、ご本人（宛名の方）の名前、年齢、連絡先等を自治会などにお知らせすることになりますが、このことについてはどのように思いますか



各対象層とも「安否確認のためならかまわない」が8割以上を占めています。

12. e-モニター健康や食生活等について

150 この1年間の健康診査の受診状況

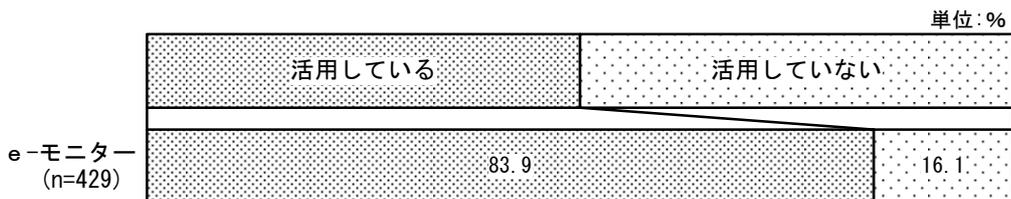
この1年間に健康診査を受けましたか



「職場で実施する健康診査を受けた」が52.2%と最も多く、次いで「市で実施する健康診査を受けた」が20.9%、「個人で受ける健康診査を受けた(人間ドックなど)」が14.2%となっています。

150-1 健診結果の活用状況

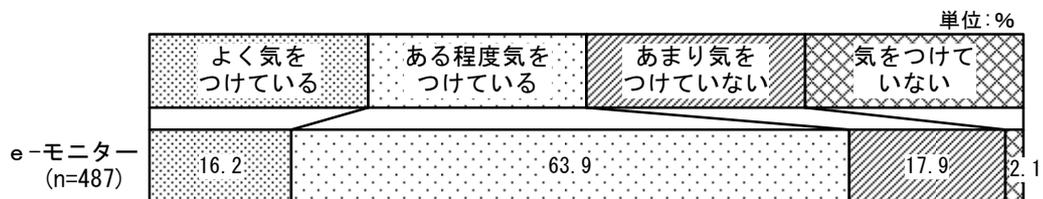
健康診査を受けている方は、健診結果を活用していますか



「活用している」が83.9%を占めています。

151 生活習慣病の予防状況

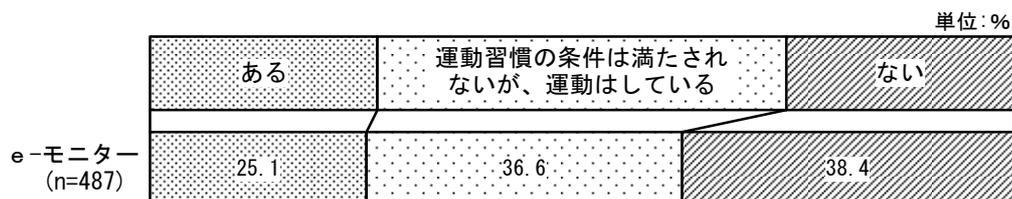
肥満・高脂血症・糖尿病・高血圧・アルコール性肝疾患等を生活習慣病といいます。ふだん、生活習慣病にならないように気をつけていますか



『気をつけている』(「よく気をつけている」+「ある程度気をつけている」)が80.1%を占めています。

152 運動習慣の有無

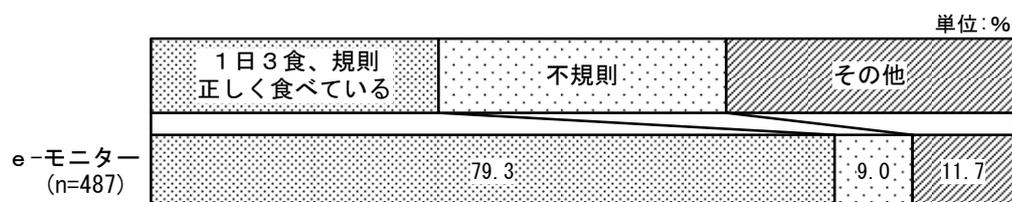
運動習慣がありますか（「運動習慣」とは、1回30分以上の運動を、おおよそ週2回以上実施し、1年以上継続している場合をいいます。）



「ある」が25.1%、「運動習慣の条件は満たされないが、運動はしている」が36.6%、「ない」が38.4%となっています。

153 食事の摂取状況

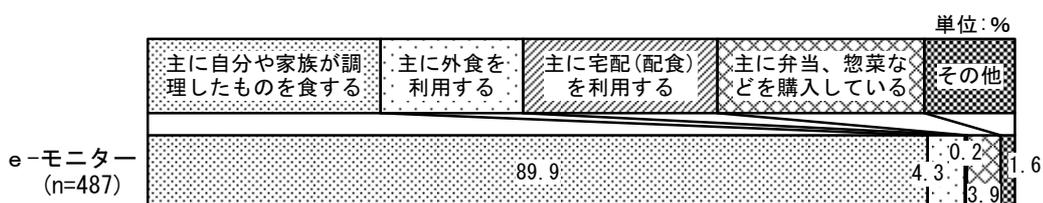
規則正しい食事をしていますか（病気等の時を除く）



「1日3食、規則正しく食べている」が79.3%を占めています。

154 朝・夕の食事の摂り方

朝・夕の食事についてどのようにしていますか

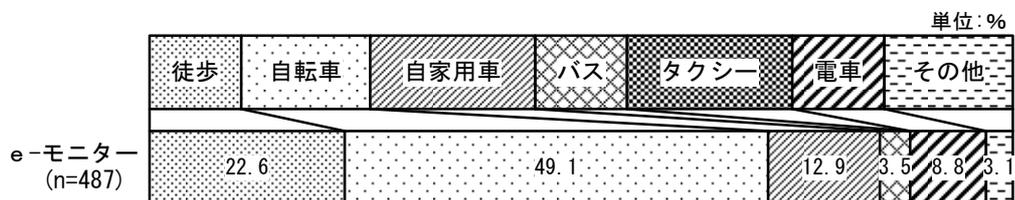


「主に自分や家族が調理したものを食する」が89.9%を占めています。

155 健康相談会場までの移動手段と移動時間

健康づくりや健康相談など市主催の会場までどの程度の時間であれば参加しますか。あてはまるもの1つに○を、カッコ内には所要時間をご記入ください

①移動手段



「自転車」が49.1%と最も多く、次いで「徒歩」が22.6%、「自家用車」が12.9%となっています。

②移動時間

	n	15分以内	30分以内	45分以内	60分以内	60分超
徒歩	110	43.6	49.1	0.0	6.4	0.9
自転車	239	38.5	59.4	0.4	1.7	0.0
自家用車	63	36.5	58.7	0.0	3.2	1.6
バス	17	11.8	70.6	11.8	5.9	0.0
タクシー	0	-	-	-	-	-
電車	43	16.3	72.1	4.7	7.0	0.0
その他	15	53.3	46.7	0.0	0.0	0.0

各移動手段とも「30分以内」が最も多くなっています。

156 事業への参加意向

健康づくりや健康相談など市主催の事業には、一人でも参加しますか。あるいはどなたかとご一緒にあれば参加しますか



「一人でも参加する」が 40.2%と最も多く、次いで「友人・知人と一緒に参加する」が 18.5%となっています。一方、「参加しない」は 33.1%となっています。

157 今後の居留意向

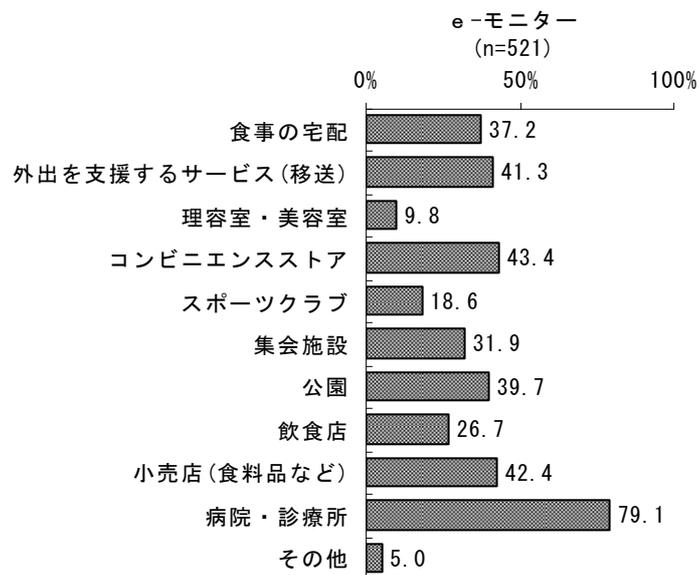
今後の住まいについて、おたずねします



「現在の住まいに住み続けるつもりである」が 59.1%を占めています。

158 身近に必要な施設

住み慣れた地域でよりよく生活するためには、身近にどんな施設があるとよいと思いますか（○は5つまで）



「病院・診療所」が79.1%と最も多く、次いで「コンビニエンスストア」が43.4%、「小売店（食料品など）」が42.4%となっています。

13. 高齢者福祉・介護事業に関する意見・要望（自由意見）

	居宅サービス利用者	居宅サービス未利用者	二次予防事業対象者	高齢者一般	e-モニター
回答者数	264人	113人	142人	146人	95人

高齢者福祉・介護事業に関する意見・要望（自由意見）の回答者数は表の通りです。なお、1人で複数の内容の記入があった場合には延べ件数で集計しているため、各項目の件数の合計は、回答者数よりも多くなっています。

以下、主なご意見を掲載します。なお、文意を損なわない範囲で文字や表現等の修正を行っています。

（1）介護についての意見

①居宅サービス利用者：27件

- ◇ 主人がこの8月に亡くなって、認知症と肝硬変（アルコールで）で亡くなるまで色々介護（在宅）や病院、介護サービス施設にも入りましたので、ひととおりに経験しました。
- ◇ 配偶者は14年前、夜間歩行中の事故により歩行困難となり車椅子による生活、介護認定も5より2と順調に回復。2年前私が発病、在宅で娘が介護をしており、働くことも困難であり、預金を取り崩し、生活環境は極めて苦しい。
- ◇ 私は現在一人暮らしですが、夫の介護をして7年、そして亡くなり、1人になってパニック状態になり、その後2ヶ月入院して落ち着いて退院しましたが、痛感したのは医療費が高額になる事、通院にかかる交通費等、年金だけではどうしても不足します。
- ◇ 妻と2人生活で、共に高齢のため（夫80歳、妻78歳）、妻の看護をしておるも将来が非常に心配であります。
- ◇ 母は、新潟で一人暮らしをしておりました。85歳までは半年ずつ新潟と千葉の生活をしておりました。それから一人暮らしが無理となり、千葉に越してきました。自分の体も、血圧が上がり調子は悪くなる状態で、ストレスで気がおかしくなりそうになる時もあります。でも、自分を産んでくれた母親ですから、面倒を見てあげなくてはと、頑張っています。だんだん自分達も年をとってききましたら介護も大変になってきてしまい、病院に通いながらの介護になってきてしまいました。

②居宅サービス未利用者：13件

- ◇ 数年前より腰椎スベリ症のため、89歳の父の在宅介護に不安があります。デイサービスを少しずつ利用したいのですが、それを嫌がるので利用できません。少しでも改善策があればよいのですが…。
- ◇ 病人の妻自身が高齢で足腰 etc つらく杖をついて歩いているので、しかも50mも歩けないので、月曜日から金曜日はタクシーを利用、土曜日と日曜日は息子が送り迎えをしてくれています。その他週2回か3回主人と同じ病院の整形外科で背中に（足腰）注射して痛みをとめながら病人を見ています。病人（主人）も私が行くと安心して、手を握っていますが、病院で「面会終わります。お帰りください」と放置されると口はきけません涙を流すので、やっぱり毎回行っています。
- ◇ 現在、母は要介護1の認定を受けています。働いている娘の私としては利用できるサービスは受けたいと思っていますが、精神病の母は、介護は全て娘にやってほしいと考えているため、利用したくても利用できない現状です。家族が同居していても受けられるサービスがもっとあってほしいと思います。同居していても配食サービス（無料）があるといいと思います。

- ◇ 現段階では毎日の薬(約10種類)を分別出来ないために作り分ける仕事と病院の送り迎え、付き添いと、尿もれのための手当、衣服は備えれば一人で着ることが出来ます。物忘れは日々進んでいますが、現在は家で見守れる状態ですが、私(配偶者)も80歳を過ぎていますので、体力的、精神的に介護が難しくなってきた時に高齢者福祉、介護保険事業のお力をかりる時が遠くないと感じております。

③二次予防事業対象者：3件

- ◇ 親の介護経験から、介護保険事業は有難いと思っています。自分の事としては、まだ健康です。現実的にこまかく考えたことはありません。
- ◇ 私は父(95歳で死亡)、母(99歳で死亡)、合わせて20年ほどの介護を経験しました。父は在宅で、母は最後の5年間を有料老人ホームで過ごしました。母は介護保険のお世話にもなり、莫大な費用を使わせていただき感謝と同時に申し訳なく思ったほどです。

④高齢者一般：5件

- ◇ 要介護5の母親を8年強在宅介護して2年前亡くなりましたが、出来る限りのサービスを利用したため、心おきなく見送る事が出来ました。しかし介護保険外の料金も多くかかりました。自分が介護される立場になった時、はたしてお金が足りるか心配です。そういう人の相談にも応じて欲しいと思います。
- ◇ 私は今まで、5~7人の老人をみとって来ましたが老人になる事は大変です。世の中自由という事で他人へは冷たく、自分には甘いです。この先が心配です。福祉も保険もどうなるのでしょうか。
- ◇ 65歳位のときは、まだ自分自身の問題より親の介護の方が大きな問題になります。介護する方の負担(体力、精神力の)問題があったときに対処する体制を整えてほしい。

⑤e-モニター：5件

- ◇ 自分は親を介護するだろうけれども、自分を介護してくれる人はいないと思う。年金も削減されそうだし、福祉政策に期待できないので、老後については悲観的に考えている。
- ◇ 要介護者本人の意志より介護人の意志がより重視されるべきだと思う。何故、こと老人になると、老人の意志を尊重という話になるのか。本来は元気なはずの介護人の時間をすり減らすことは、結局は未来の要介護者を増やすことになるのではないか？
- ◇ 高齢化社会になり、身体能力が下がり、ボケ・認知症・耳が遠くなるなどが予想されている。そういう多くの方がなる事へのサポートが必要です。今、要介護の方は把握していても、これから増えて困ることへの体制作りをお願いしたい。特にコミュニケーション対策です。

(2) 居宅サービス・生活援助についての意見

①居宅サービス利用者：66件

- ◇ 介護サービスを利用させて頂き、大変助かります。ヘルパーさんがいなければ仕事に出る事ができないので、感謝しています。本人はリハビリを希望しているのですが、デイサービスですとお風呂に入ったり(芋洗いみたいで嫌)、幼稚園のように遊ぶのが嫌で、行きません。リハビリだけでも行ってもらえる施設があると本人も歩く気になって生きがいが出てくると思う。
- ◇ 見た目は元気でも、膝が悪いので家庭の湯船に入れません。リハビリセンターで風呂に入れてもらって助かっています。ちょっと助けてもらうだけで、今要介護2が介護にならずにすんでいます。どうぞ認定を簡単に引き下げたりせず、一人一人をよく見て認定して頂きたいと心より思っています。
- ◇ 要介護1を受けており、いつもヘルパーさんに掃除機をかけて頂いております(腰が悪いので)。とても親切にして頂き助かっています。年を重ねる毎に少しずつ足腰が弱って参りますので今後ともよろしくお願い致します。

- ◇ 家族が長時間家をあけられないので、トイレ介助、話し相手、見守り、等を併用したサービスがほしい。小規模多機能型もあるが、数は少ないし、質の問題もあり、今利用しているサービスをやめて変更する事には抵抗がある。
- ◇ 1年に1回～2回の緊急外出の折、介護者に代わる人がいて下さると助かる。家の者は働いているので、土・日だと代わってくれるが、急の時はヘルパーさんその他事前の用意が必要で、13年間の間外出は葬儀に日曜日参列した（兄）こと以外出られず、淋しい思いをしています。とは言え、介護保険がなければ、我々どんなに苦勞したかと思うと、有難いと感謝しています。
- ◇ 訪問介護を利用したい時間に人手がないということで利用できなかったが、認知症で夜間の見守りが必要な場合、午前8時頃から9時迄訪問介護を利用できると仮眠時間が3時間位とれるので朝早くからでも利用できるようにしてほしい。また、要介護5になり紙オムツが紙オムツの配布サービス以外に年間10万円以上かかるようになった。介護度に応じたサービスを受けられるようにして頂きたい。福祉車両のレンタカーも介護保険で利用できるともっと外出しやすくなります。

②居宅サービス未利用者：20件

- ◇ 男性の場合いろいろなサービスがあっても利用を望まないことが多く、必要にもかかわらず「大丈夫。いい」と言われて困ることが多いです。特に認知症の状態でないか自覚するほどでない場合、認知症の方と同じサービスを受ける事が嫌なようで、外出の機会が少なくなります。送迎がないと、外出出来ない状態ですと一般の方のサークルのようなものには参加不可能ですし、あまり家族の負担にならないようにと遠慮する事が多いです。
- ◇ 今、在宅酸素療法をしておりますので、買物の荷物などは重くて一緒に出かけても買ってこれられないので、ほとんど孫に買ってきてもらいます。介護保険の方、1時間では短いです。食べものは、煮て一食分ずつ冷凍しておいてくれるのでそれをチンして食べます。介護保険の方は今年の9月からきてもらうようにしましたのでまだよくわかりません。
- ◇ 要支援2認定、介護サービスにタクシー送迎がありません。市川駅迄健康人13分位、私20分位（徒歩）。往復が大変困難です。徒歩の時3回は座ります。バスも通っておりません（国道14号？市川～本八幡へ行く千葉街道です）。タクシー利用が多いので介護サービスタクシーが（安料金で）あれば助かります。是非要望致します（整形外科（南口）25分～30分徒歩の時）。
- ◇ 在宅介護支援を充実してほしい。住みなれた自宅での旅立ちを望んでいても介護する人と共倒れになる事が多く、理想のように思う。急変したり、最後のみとりに自宅に来て頂ける医者を探すことは難しい。行徳地区では？どこへこの件について相談したらよいのか。早急に知りたいと思う。在宅医の先生は大変と思います。在宅療養をと考えておりますのでよろしく。在宅医の先生を教えてください。
- ◇ 介護サービスは、利用者にとって満足のいくものとは思えない。サービス時間を減らし、ヘルパーは単に仕事をこなしているだけというのが利用者に見透かされている。ヘルパーなのに、食事が作れない（目玉焼きなど簡単なもの）。これはできない、あれはできないと、制限が多すぎる。特に一人暮らしの利用者には、こまめに、時間を分けて、入室すべきと考える。

③二次予防事業対象者：2件

- ◇ 最近1人での入浴が困難になり、いろいろの面で体力が落ちております。出来れば介護サービスを利用させていただきたく早急に手続きをしたいと思っております。

④高齢者一般：3件

- ◇ 今のところ、少々の服薬はありますが、毎日8kmの早朝マラソンと（早足のウォーキング）週1回の有酸素運動&ストレッチの会に参加し、週3回位の買物に1回4kmを歩いています。趣味は庭仕事で草花や易しい野菜づくりを楽しんでいます。友人とのおしゃべりも大変楽し

いです。この生活が何時まで続けられるかわかりませんが、これが出来なくなった時には在宅で介助サービスを受けながら暮らしていきたいと思います。

⑤ e-モニター：12件

- ◇ 母が認知症になり、毎日おむつが必要です。かなり金額が高いので、補助制度があるとよいです。坂の上であり、交通が大変です。タクシー券などが配布されると助かります。
- ◇ 元気な高齢者は介護援助に参加できるような仕組みがあればいいと思う。無償だとボランティアになるので、小額でも有償の支払いがあると張り合いが出て、いいと思う。
- ◇ 近所の整骨院で、体操やトレーニングをしている高齢の方々は、みなイキイキされています。世代の違う私とも毎日のように話し、互いの健康や日々の暮らしに声をかけあっています。年齢に関わらず孤独、持病、ライフイベント、子ども達の成長などを分かち合う理想的な関係だと思っています。個人でなく、行政でいくつかのジムを持てば、高齢者、子育てママの居場所ができると思います。医療機関、カウンセラーもいればさらに理想的です。
- ◇ 家事サポートなどは、1時間いくらでいつでも利用できるようにして欲しい。普段は問題なくできていても、今日はちょっとしんどいかななんて場合ありがたいはず。

(3) 介護施設についての意見

① 居宅サービス利用者：30件

- ◇ 年金、遺族年金で入れる施設をつくってほしい。
- ◇ 特別養護老人ホーム施設の増設を希望する。
- ◇ できる限りは自宅で介護していこうと思っていますが、認知症が進んだ場合、それも困難になる事もあると思っています。その場合、施設に入所の選択をするつもりですが、特養は5年待ちと言われていています。ショートステイも、少しずつ慣れてもらおうと、2ヶ月に1回位から始めていますが、取るのが大変とケアマネジャーから言われています。本当に介護が毎日必要になった時、受たい介護が受けられるのでしょうか？
- ◇ 父は現在認知症のため有料老人ホームに入居、母は身体の自由がきかなくなってきた、寝たきりになったら家での介護は難しいが、同居しているため特養への入所は難しいと言われています。もっと施設があれば本人達も家族も幸せに暮らせる社会になると思います。施設の充実を願っています。
- ◇ 母はもちろん自分自身の時も安く受け入れてくれる公的老人ホーム他、介護施設をたくさんつくってほしい。安い年金でちゃんと利用できる施設にしてほしい。

② 居宅サービス未利用者：13件

- ◇ 市川市の場合、介護保険料も高い、その割に老人介護施設が非常に少ない。早急に充実していただきたい。施設関係はもう少し便利な場所が好ましい。
- ◇ 主人がH25年4月に特養に入れて下さり、ケアマネジャーさんに大変お世話になりありがたく感謝致しております。私もいずれはお世話になると存じます。その節はどうぞよろしくお願ひ致します。それまでは気をつけて、頑張っ生活していきます。
- ◇ 今から4年前、特養老人ホームに主人が大変お世話になりました。本当に良くお世話頂き感謝しております。特養老人ホームは500人待ちとか云っておりました。家で見るのは体験して見てわかりました。特に認知症の方は本人がわからないので、見る方としてもイライラしてきます（主人は来年3月で、亡くなって2年になります）。
- ◇ 父（92歳）、私（67歳）の二人暮らしの中、父の転倒により入院。骨折は治療していただきましたが、その間、認知症が発生、糖尿病の悪化で寝たきりになってしまい、今は木更津の介護型病院に入院しております。本当に市川市にこのような病院があったらと思います。市川市のなかで、入院できる所がなかったのです。探しても紹介もなく、知識もなく、本当に困りました。

③二次予防事業対象者：11件

- ◇ 私は行徳の高齢者ですが、行徳には特別養護老人ホームが1つしかありません。それも定員50名の小さなものです。行徳の高齢者人口に比べて少なすぎます。また、市川市の特養ホームの設置場所は市の北部に偏り、福祉行政の無策を感じます。行徳の海岸寄りに市有地があるので、それを活用して特養ホームの増設をすべきでしょう。年を取って体が動かなくなったときは、誰しも今まで生活してきた場所の近くに住みたいと思うでしょう。年金のみの収入では私設の老人ホームには入居困難です。
- ◇ これからは、年寄りがだんだん増えて、介護施設にお世話にならなければならないと思いますが、もっともっと公共の施設を増やして欲しい。料金や介護方法等も、適当に一般の人達も出来る限り入所したい人は心配なく入れるように、市や県、国でこれからも考慮して欲しいです。有料のホームは入居金や月々の支払いが高くて、一般の人には入れません。お金持ちの人達には心配がないでしょうが、多くの年寄りに行く末が心配です。

④高齢者一般：18件

- ◇ 特別養護老人ホームに入所したいが無理のようで、だが有料老人ホームは費用が高いとの事。現在気力、体力に不自由は感じませんが、80歳を前にして、これからはどのようにするのか、多少の不安は持ちますが、心配しても始まりませんので毎日を大切に生活していきます。より福祉の充実に期待しています。
- ◇ 市立の介護施設を増設及び充実。市川市民のための施設拡充。市川市民で良かったと思い、他の市から“うらやましい”と思われる内容にしてほしいです。
- ◇ 特別養護老人ホームに入居するのが、待っている人が多くてすぐ入れない状況を耳にしておりますので、そのような施設を待たずに入れるようお願いいたします。
- ◇ 健康で長生きしたいと思っていますが、歩けなくなった時、有料老人ホームへ入りたくても経済的にだめだと思うので、特別養護老人ホームが入りやすくなるようにお願いします。
- ◇ 生活費、貯金が少ないので、認知症などで入所出来る施設が少ない事に、大きく不安を感じています。

⑤e-モニター：8件

- ◇ 特養老人ホームの順番待ちがあまりに多すぎて驚いています。更に透析などの治療を受けている人の入所は困難と聞いて驚いています。本当に支援やホーム入所が必要な人は、そういった病を患っている方が多いのでは？
- ◇ 収入にかかわらず高齢者を受け入れてくれる施設をもっと増やしてほしい。
- ◇ 特養ホームなどの施設はお金がかかるため建設できないのであれば、グループホームなど代わりに利用できる施設などについて広く市民に知らせてほしい。

(4) 人材についての意見

①居宅サービス利用者：11件

- ◇ 介護ヘルパーさん方々の心づかいにいつも感謝しています。今後とも宜しくお願い致します。
- ◇ ケアマネジャーには大変お世話になっております。介護者（母）も安心して相談でき、頼りにしております。家族も大変助かっております。
- ◇ 市川市は千葉県の中でも都市部だと思いますが、他の自治体から比べると福祉の施設等少ないと思います。また、デイケアで働いている職員の方は、重労働な割には給与が高くないようなので、雇用が安定されるように計らえる事を願います。我が家も老老介護になっていくと思いますが、今後の事を考えると不安で一杯です。

②居宅サービス未利用者：7件

- ◇ 介護施設（特養、老人保健、ヘルパー）の現場で働く職員の負担を減らすことも大切と思います。

- ◇ いつか利用すると思っけていても、その時になるまでよく知らない。調べればいろいろと沢山の情報があるが、調べ方がわからない人が多いと思う。ケアマネジャーに出会う前の病院のソーシャルワーカー等の存在や役割が重要だと感じた。
- ◇ 8年前、夫（81歳）が他界する前、介護保険で入浴を頼みましたが（週2回）、決まった時間に来て帰る。私が風呂を沸かし、本人の入浴準備・後の手助け等して、ヘルパーは入浴中入口の外に立っているだけ。出た後床の掃除、タオルのゆすぎだけする。本人も嫌がるし、私も非常に疲れるので（当時76歳）何回か来てもらい、止めました。同年齢の友達で3人週1回掃除に来てもらっている人もいろいろな不満を言っていました（床の見えるところだけ掃除機をかける、拭き掃除はしない等）。ヘルパーさんにもよると思いますが、事業所の問題もあると思います。
- ◇ 高齢者福祉、介護保険事業は社会保障と位置付けて欲しい。内容を充実させた上で、地域での助け合いも広げてほしい。ボランティアに関しては、いずれ行く道であるところから、私も参加したいと思う。お金のある・無しでサービス内容が変わるのは、ただの商売。また市は正規の職員を増やして欲しい。

③二次予防事業対象者：5件

- ◇ 市の窓口対応のサービスの向上。いろいろわからない点があるために相談に行くので、事務的な対応では困る。ましてや、高齢者なのだから。サービスと質の向上を望む。

④高齢者一般：4件

- ◇ 介護保険事業に従事する人への賃金について、医師、看護師並の賃金額とは言いませんが、せめて、10年未満で退職する人が多いと聞いており、悲しい気持ち。
- ◇ 87歳の母と同居して1年になります（軽度の認知症）。デイサービスを利用させて頂いておりますが、介護所によっては従業員の甘さが感じられます。経営より真心で、と思う事あり。でも感謝致しております。
- ◇ 福祉や介護に携わる方達は、カウンセリング的な専門力を必要とすると思うので、そういう面の講義や教育を初めにしっかり受けられるように手配してもらいたい。制度を生かすのはぬくもりのある対応だと思います。

⑤e-モニター：5件

- ◇ ヘルパーが不足しています。ヘルパーの資格を取るための補助金や施設を充実してほしい。
- ◇ 利用者の状況によって「正しく」運用を臨機応変にできるケアマネジャーを増やしてほしい。

(5) 介護保険制度や行政についての意見

①居宅サービス利用者：71件

- ◇ 7～8年の検査（病院）ではうつ病となっていたが、認知症との境目がわからないまま本日もになってしまった。大変難しいと思うが、医療機関との連携（個人情報…なるのかな）、病院などの医療機関とつながり、病院でもほとんど車イスで診断や健康保険検査を受けるところがない。まいったな。市川市は老人にやさしい町ではないと思う。
- ◇ 家庭で介護する者にとって介護保険はとても助かる事業です。ますます充実していただける事を希望します。なお、利用料金については、収入に応じて段階をつけるのも良いかと考えます。
- ◇ 病気のため、介護が必要なことが多いが、認知が無いために介護度が低く出てしまうことが不満。本人、とても無理をしながらなら出来てしまうこともあるので、「出来る」と判断されてしまうのが困っている。
- ◇ 現状の自己負担額が、1割→2割になると、10万円ぐらいの負担となり、どうすればいいのでしょうか。介護を減らすしかありませんが、障害者の場合、そうも出来ません!! 個別の対応が必要だと思います。

- ◇ 各事業について、市川市の各施設等の対策がしっかりと成されていると感じています。私共にとって高齢になるにつれて、必要に応じ体験することになると思うと、日々勉強していきたいと思っております。
- ◇ 一番不安な事は、災害の時、手助けがなければ避難出来ない事。避難所で生活するのも無理という状況。ぜひ災害の時、声掛けて下さい。一時入所出来る所を充分用意して欲しいと思います。
- ◇ 行徳地区と浦安市とは、24時間の医療見守り体制など、連携している様子が窺えますが、大野地区と松戸市との間でも健康診断、予防接種などの連携をとってほしい。

②居宅サービス未利用者：24件

- ◇ 介護保険料が高額であり更にUPを予定されている。高齢者が増加する中、仕方ない事かも知れないが、国の無用の無駄使いが多い。総合的見地からもっとやさしい配慮をお願いしたい。高齢者が安心して終焉できる施設の設立を増加して欲しい。市町村の支援センターの方はよく面倒を見て頂いています。
- ◇ 誰でもが90歳まで生きられるような時代になってきたという。しかし不健康で自立出来ないのでは、本人も家族も不幸です。少しでも認知症を進めないような環境が出来れば本当によいと思っています。まず予防に力を入れて欲しいです。
- ◇ 旧制度の時に左下肢深部静脈血栓症で退院後、歩行困難がありましたがすぐに手続きでき、介助者が来られとても助かりましたが、制度が変わって昨年の秋に介護サービスを受けようと思い、医師の書類を提出したが書類審査が1ヶ月後ということで急性期で症状があるのに病状が解消した時に連絡がありました。頸椎症のような時は全く間に合いませんでした。
- ◇ 要介護者でない私のような者でも、介護保険を(9200円)支払っています故、時々係の専門の方に、訪問頂き、体の具合心のこと等、相談にのって下されば幸甚です。2ヶ月に1回、または、1ヶ月に1回位お出で下されば、なお幸せです。

③二次予防事業対象者：30件

- ◇ 市川市はいきいき健康教室のように他市にあまりみられないよいことをしているが、全体的に考えると福祉・介護保険事業を東京都区部に比べて見劣りがしていると思う。介護施設は特養の待ち人数が多いのに、それにかわり施設を適所につくる努力が足りないと思う。市民税非課税世帯には、いろいろなサービス(風呂とかマッサージとか)があるが、課税といっても収入が比較的少ない世帯には、他市に比べると極めてひどい仕打ちをしている(何もしていないということ。介護保険料が高い。マッサージのサービスも廃止されてしまった。バスの回数券の配布もない。お買物券の配布もない)。
- ◇ 介護保険費は私のように年金の安い者にはとても辛いです。介護にならないように、自己管理している人もたくさんいます。自分自身で努力するようにしています。例としては半年間とか1年間介護保険を使用しない人には少しでも安くなると、努力している人の励みにもなると思います。
- ◇ それぞれの健康度により、早々に介護保険が使える事が良いかと思いますが、体の痛みなど沢山あっても、なるべく自立した毎日を送るよう心がけています。トイレの改造、和→洋などの支援などあったら幸いと思っています。
- ◇ ぎりぎりの年金生活なので、今後保険料等が上昇するとケアハウスに住めなくなり、その後の生活が不安です。医療、介護料を自己負担が安いと思い、安易に考えている高齢者が多いので、全額の費用はこれだけかかるという事を、高齢者には知らせて欲しい。安易に医療、介護を考えて欲しくないです。
- ◇ 介護保険制度を利用する時、高齢者一人でも手続きできるようにして下さい。介護予防の“いきいき健康教室”年間開催日数を多くして頂きたい。月3回か4回ぐらいにしたい。

④高齢者一般：28件

- ◇ 自営業の人は国民年金です。これでは生活出来ません。手持ちの金を使って生活しています。

それなのにそのわずかばかりの年金から介護保険料を天引きされてしまいます。自分が使用しない保険料を引かれて、生活に困っても助けてはもらえず、その上、ガス、水道、電気まで止められて「ガシ」するケースが出ています。こんな悪法が誰も知らぬ間にあつという間に決まった事に驚いています。

- ◇ 今2人（主人、本人）介護保険料を払っていますが、年金（国民）が少しなのに保険料を差し引き後の金額を見ると今後の生活が不安100%です。

⑤ e-モニター：20件

- ◇ 踏み込める・立ち入れる内容にも限度があると思うので、難しいことと思います。行政は、システムをきっちり作ることが最優先だと思います。
- ◇ 子どものいない夫婦なので、将来ぼけた時が不安。ぼける前でも入居できる施設（民間）がほしい。また、成年後見人制度の充実や、信託銀行との連携などの制度が整うと、とても安心して歳がとれる。子どもがいても、老後の事は自分で決めたいという方も多いと思うので、ボケる日が来ることを前提として準備しておくことや締結しておくべき契約などのアドバイスがほしい。市がそういう人向けの講習会を開き、老齢予備軍（60歳）になったら、講習会への参加票が送られてきたりしたら、すごく頼りになる、と感じる。
- ◇ コンパクトシティの実現に向けた地域活動の促進を積極的に進めて欲しい。
- ◇ 情報の収集・活用、いろいろな手続き・・・など、しっかりしている人（または身近にそういった事をしてくれる人がいるなど）は、福祉の制度も利用できるが、そういうことが出来ない人がたくさんいると思う。本来制度を利用すべき人がきちんと利用できるようにするにはどうすればよいのか？ 考える必要があると思う。

（6）情報・相談についての意見

① 居宅サービス利用者：13件

- ◇ ケアマネジャーがいろいろ相談に乗ってくれますが、介護者の介護負担を軽減する専門の窓口を設けていただけるとありがたいです。
- ◇ 今現在、要介護2です。これから介護度が上がると思いますので、ケアマネジャーに頼み相談する事も多くなるかと考えますが、体験談等聞ける機会があれば出席したいと思います。
- ◇ ネット環境が整っていないので、介護施設等の詳しい情報がわかりません。市に置かれているパンフレットでは、個々の施設の特徴等得られません。目で情報を集める事も、目の離せない老人を一人置いての外出は無理です。ご一考頂けると幸いです。
- ◇ はじめて介護する状況になった時、認知症との付き合い方、接し方など全てわからず、困惑し、介護者の精神的負担・不安が大きい。認知症介護者のためのセミナーをやって欲しい。やっている場合は、ケアマネなどを通じて広く周知して頂きたい（仕事もあるので、夜間や日曜日にやって頂けると有難いです）。

② 居宅サービス未利用者：15件

- ◇ 情報が余り聞かれないのでお手数ですが、その度に送付して下さい。広報はよく読んでいますが、老人への特別の情報が聞かれず残念です。高齢者クラブ、趣味のクラブ活動が公民館であります。遠方ですし申し込んでも抽選で落ちてしまいます。近くの公民館で同じテーマで開いて下さい。高齢者福祉、地域包括支援、介護保険の事がありましたら御手数ですがご送付下さい。
- ◇ 高齢者福祉、介護保険事業等、ほとんどわからない。事業所がたくさんあること、それをどうやって自分自身で選ぶのか？ それらはどこで、どうやって調べるのか？ 私自身、高齢のせい、心が弱いのか、心身のゆれ動きを非常に感ずる。
- ◇ 1. 通院が困難で微妙な症状のとき、介護者が判断に困るときがあるので、電話での医療相談、医師、診療所の紹介などがあれば、便利。 2. 高齢で不用になったものを整理したいが、思い出のあるものをゴミとして捨てるのは辛い。リサイクルの情報がほしい（パソコン、

インターネットが出来ないので)。

- ◇ 要介護認定を受けた人向けに、介護サービス事業者のわかりやすいパンフレットや冊子があるとよい。希望に合う事業者を探す参考になるものがほしい。また、そうしたものがあるのなら、入手方法を広報などで知らせてほしい。

③二次予防事業対象者：32件

- ◇ ボヤを出すまで自己管理でやっていたので火傷をしてから入院、訪問看護など人に教えて貰ったりしましたが、申請の仕方や内容がわからず、82歳近くになったのでこれからを考え、福祉介護などの内容をよく知らねばならないと痛感しています。
- ◇ 簡単に相談出来るシステムがあれば教えて下さい。
- ◇ 今、一度、良く理解していないので、詳しいパンフレット等ありましたら、拝見したいと思います。今のところ、動いているのが嬉しいです。これまで以上に広報のお知らせを見ようと思います。
- ◇ 本当に介護が必要になった時に簡単にサービスが受けられるのか、また、手続きがすぐに来るのかどうか不安です。とりあえず、必要になった時、一番最初にどこへ行くのか、もっとわかりやすく絵を入れた解説書があれば良いと思います。～事業とあってもさっぱりわかりません。
- ◇ 高齢者世帯が2人とも健康な時は良いが、1人が倒れた場合、先ずどうしたら良いか具体的に教えて欲しい。 1. 先ずどこへ相談したら良いか。 2. 生活上の必要な支援をどのようにしたら受けられるか。 3. 経済的な問題等、健康で物事をきちんと考えられる時に学習出来れば良いと考えている。高齢者福祉介護保険事業等、わかっているようで、わからない部分がいっぱい。高齢者向けの学習会を行って欲しいと思う。お願い致します。
- ◇ 自分が介護が必要と感じた時、最初にどこへ連絡すればいいかわからない。病院で教えてくれるか、あるいは自分で調べるのか？ 要介護の初期の連絡先等を書いたシール等があれば、常に見えるところに貼っておけるので助かると思う。
- ◇ 老人の状態は人により様々で、どのような状態であればどのような福祉や介護が受けられるのか、イメージがわからない。ケーススタディー的に典型的な老人の障害を示し、その場合に具体的に何が行われ、または可能なのかを市の広報誌等で示してほしい。
- ◇ 週に1度あるいは月に1度でも良いから、こういう内容で高齢者住宅の様子を見てまわって欲しい。玄関先でも良い。そして要請があれば助けて欲しい。一人暮らしで知恵も力も必要な時がある。電化製品が故障したかどうかの確認もして欲しい。例えば植木の始末も一人では無理な事がある。そういう時に業者に頼むとしてもどこにTELするかわからない。だまされる場合もある。過去に散々だまされました。
- ◇ 高齢者が安心して生き続けられるよう、手続きや申請方法が簡易で利用しやすい総合窓口を設置してください。財政難だと最初に事業が切り捨てられるのが福祉・介護事業だと聞きます。みなさんから寄せられたアンケートの中の切実な声を取りあげ、具体化してください。よろしく願います。

④高齢者一般：35件

- ◇ 私共は夫婦とも80歳を越しておりますが、今のところ何とか普通に暮らしておりますので老後の介護保険等に全く不勉強しております。わかりやすい資料があれば教えて頂きたいです。
- ◇ 事業についての把握が出来ない事が多々あり、広報的な事項説明の保存ブックに類似したガイドの持参、その有無で多少の安堵感が持てるので是非願います。
- ◇ 現在介護保険料を毎年払っていますが、市川市の福祉関係の情報及び高齢となって体の動きが止まった時、どのような手続をすれば、どのような介護を受けられるのかをわかりやすく解説した冊子を作成して配布頂きたい。
- ◇ 配偶者が8歳年上で大手術をした事があるので、現在も多くの薬を飲んでおりますし、毎日の世話が大変なので、自分が倒れるわけにはいかないので頑張っておりますが、この先、私

が世話を出来なくなった時に子どももおりませんので福祉、介護保険をどのように利用出来るのかが詳しくわかるような資料等が欲しいと思いますし、何処へ聴きに行けばよいのかわかりません。市役所等でも相談に乗っていただけるのでしょうか？ 現在は自分でも動けませんが、この先の事を考えると、とって不安になります。

- ◇ 介護、福祉事業の種類と内容について説明会等開いて下さい。
- ◇ いろいろなシステム、制度等があるようですが、目的と活動など明確にした一枚のチラシをつくり、高齢者に配布しては如何？ または、防災マップのような〇〇マップなどはどうでしょうか。
- ◇ 高齢者の集会を自治会などで日時を決めて、説明会など開いて下さったら良いと思います。食事に気をつけて、病気にならないよう、説明などつけ加えていただければ、介護者にならず明るい健康な人生が増々歩けると日頃私は思っております。

⑤ e-モニター：19 件

- ◇ 幸いにして、まだ両親が元気なので、強く意識はしていませんが、もし、必要になった際にどこに相談に行ったらよいのか不安はあります。日頃からの広報活動を充実させていただければと思います。
- ◇ 介護する家族のために、気楽に話し合ったり相談出来たりする場所がもっと増えて欲しいと思います。また、その場所が誰でも簡単にわかるようにして欲しいです。
- ◇ 住んでいるマンションの自治会でも高齢者を助け合うシステム作りが進んでいるが、問題もあるようです。市内の地域ケアシステム作りをしているところが情報を交換できるような場が欲しいです。認知症の学習会を住んでいるところの近く（公民館）でも行ってほしい。
- ◇ 親が高齢となり、呼び寄せることも考えているが、地域でどのような支援が受けられるのか調べてもどうもよくわからない。広報やホームページなどで様々な例を挙げてわかりやすく紹介してほしい。平日に市の窓口で相談に行くのはなかなか難しい人が多いのではないかと。子育てハンドブックのようなものが高齢者用にあるとよい。
- ◇ 高齢の母のことで気軽に相談できる場所があると助かりますけど、どこに行けばよいのでしょうか？
- ◇ 現在のところ高齢者福祉・介護事業について切羽詰まった状況はありませんが、このアンケートによっていざというときに相談できるところがあると知り少し安心しました。

(7) 暮らしや生活環境等についての意見

① 居宅サービス利用者：47 件

- ◇ 両ヒザ人工関節ですので椅子の生活のため足がむくみ歩行困難です。いろいろと外へ出かけても心配なことが沢山あります（バス停にベンチが無いこと。バスのワンステップばかりではないので困ることがあります）。
- ◇ 地震等の際、手すりが無いから降りられない。身体が頭のゆれがあって歩きにくい。
- ◇ 車イス（電動）利用などでスーパーなどで自由に買い物したい。車から降ろすのが大変とか、わかっているけど、要支援2でも利用したい。買い物を楽しく、また、出かけた時など主人に迷惑かけず、一人で進んで先に行動してみたい。
- ◇ 私は92歳の老婆で一人暮らしです。足が悪く歩く事が困難です。災害があった時にはどうする事も出来ないで地震などあると布団を被ってじっとしているだけで今は死んでもよいと思っていますが、やはり命があれば有難いと思いますが、他人（ひと）様に迷惑をおかけする事は申し訳なく思います。しかしあまりにもさみしい世の中には悲しく思います。やはり人情として助けて貰いたいと思いますね。
- ◇ パーキンソン病、パーキンソン症候群のため、すくみ足で歩けません。歩けないだけで他は悪くありません。在宅でリハビリ、医師による投薬を受けていますが効果が出ません。医療の方々も家族も良くしてくれるので感謝しています。80歳ですからこのままでも仕方が無いかとも思いますが、歩ければ歩きたいです。

- ◇ 車いすで外出すると道の段差がとても困ります。なるべく、困難なく車いすがはしらせると良いと思います。道の段差があまりないといいと思います。

②居宅サービス未利用者：7件

- ◇ 介護保険料が高額であるが、どの医療まで使えるのかわからないので、これから消費税が上がるので、それにつれて諸物価の高騰につながるので、これからの生活が不安である。現在二人とも高齢ながら健康で居られるだけ幸せと思っている。
- ◇ 圧迫骨折等で整形外科しか治療法が無いので、ほとんど毎日通っている。治療は勿論必要ですが、歩くことも大切なリハビリですので。来年は91歳ですから週2回鍼治療もしています。他にケアの方法が無いのですから鍼治療にもう少し支援して頂けると助かります。金銭的負担が大きいのです。保険がききませんから。ベッド、歩行器、出入口の改善などの補助も受ける方法が良くわかりません。歩道の整備もお願いします。歩行者が困ります。

③二次予防事業対象者：28件

- ◇ 高齢者で楽しめるものは何でしょうか？ たまにはゲームセンター等に入って見たいと思うけど、何となく入りにくい。家族、50歳になるダウン症の娘と二人暮らし。股関節が減ってしまい歩行困難。近所の歯科、5分位の所に行くのに2人でシルバーカーを押して、片道約40分。その他の眼科や耳鼻科もその位かかります。タクシーで行くことも出来ず、どのようにしたら良いか、相談にも行かれず、福祉の利用の仕方がわからない。
- ◇ 病院に行くための発駅まで、着駅からの歩行困難なため、タクシーを使用するか、A病院まで片道3,200円、B病院まで片道1,800円、それが月3回だとこたえるため、その補填を考えて貰えればありがたい。
- ◇ 物が重く持てないのですが、自転車の高齢者用置き場がないため困ります。若い者の世の中になって、口のきき方がひどい様です。そんなにえらいのでしょうか。もう少し老人の味方になって、やさしくなってほしいです。
- ◇ 同じ敷地内に長男夫婦、孫2人と住んでいますが、嫁もパートで働いていますので、もし体に変調をきたした時、また公の事業でお力を借りたいと思った時、家族がそばにいる時は不可能、と聞いた事がありますが、その事に対し、たまに不安を感じることはあります。嫁も仕事をやめてしまう事は出来ないでしょうから。
- ◇ 独居のため大きな台風等が来た時に避難場所がわからない。起きた時に前の道路が川のようになっていて、出る事も出来ないし大変パニックになった。このような時には誰に相談して良いのか困っている。
- ◇ お願い。じゃまにならない程度にイス・ベンチを少しおいて頂けたらと思います。

④高齢者一般：17件

- ◇ 自営業ですので業績不振などストレスの多い生活です。跡を継いだ子どもや孫の生活も不安です。主人84歳は元気ですので現在は介護について余り実感がありませんが、必要な時が来たらいろいろな知識が必要になると思います。脚腰痛みながら街を歩きますが所々にベンチがあったら有難いと思います。高齢者用のバスの利用券などあったらよいと思います。
- ◇ 福祉以前の問題として、安心して歩ける、活動できる、町づくりが全く進んでいない。歩道においては、メチャクチャに走り回る自転車のために、高齢者や子どもが常に危険にさらされている。その上、市内の歩道は狭い上に、商店の物品、段差、傾斜等で車イスや目の不自由な人がまともに歩けない。自転車を悪者にするのではなく、車道を安心して走れるよう、整備することだ。
- ◇ 最近人口密度が多くなったため、高齢者等が多くなったために、私は東大和田ですが、年寄りのコミュニケーション等のために公園がぜひ欲しい。それも小さいものではなく木の多い噴水等のある、ベンチ等が設置された所。近くに工場があるが、その場所と人口少ない公園の一部と入れ替えて誰でも散歩出来るようにしてほしい。

⑤ e-モニター：14 件

- ◇ 夫の母が足を弱り歩行が困難で遠方の病院の送り迎えを車でするため、毎月通っています。病院の送迎サービスがあればと切に思います。
- ◇ 一部の方で支えるのは大変なので市民全体で支える仕組みを作って仲間意識を増やすと市川市に住んでいてお互い充実した生活ができるのではないのでしょうか？ たとえば、子ども会も地域の方に夏祭り・クリスマス会などのイベントに参加してもらったりして、まずは顔見知りから町で出会った時の挨拶などきっかけを増やしていると思います。お互い意識するし楽しみが増えて健康に繋がる…そのような小さなきっかけから始めることも考えて欲しいと思います。
- ◇ お年寄りの方が、気軽に立ち寄っておしゃべりしたり、お茶を飲んだりできる場所が必要だと思います。
- ◇ 現在要支援を受けています。身近な事で足が悪いとバスに乗れない事が一番不便を感じます。車いすや歩行器でも不安なく公共の交通機関が使えると良いと思います。介護される側のケアは多くても、介護する側の心のケアが少なく感じます。私は介護される立場で介護する側に居ます。

(8) その他の意見

① 居宅サービス利用者：75 件

- ◇ 足・腰の使えるうちは、他人の世話になりたくない。いやむしろ、他人の世話をしたい位だ。
- ◇ 高齢者が増えて大変だと思いますが、それぞれ懸命に努力して社会を支えて来たと思う。同居していないが子どもたちもそれぞれ働いている、私とは同居出来ない事情がある。
- ◇ 現在まだ介護までになっていないがこれから先介護する人も高齢になり大変になって来る事と思います。お互いが幸福な日々を過ごせたら良いと思います。いつまでも元気でいられますように…。
- ◇ 親のことも心配であるが、自分の老後はどうなるのかも心配である（単身のため）。
- ◇ 私も来年で 70 歳になります。自分自身がどうなるかわかりませんが、出来る限り家族でがんばっていきたいと思っていますが、今はアンケートにはこのように書きましたがいつ本人（いま書いている人）大丈夫かな？ その時になったら考えが変わると思います。
- ◇ お蔭様で 82 歳まで仕事を出来ました。いろいろな友人とも仕事の関係でもとてもよい関係を保て、よい人生を過ごせたと感謝しております。出来る限り自分の力で生きていきたいと思いますが、介護が必要になった際は、ぜひお世話になりたいと思います。介護のお仕事は、気配り、体力の充実等大変と思いますが、介護の仕事をしている事が誇れるよう、また、社会がもっと理解して、よいお仕事をさせて頂きたいと思います。関係者へ感謝いたします。
- ◇ 介護保険事業について、いままであまり関心がありませんでしたが、自分が支援を受ける立場になってはじめて、介護や福祉に関する事を勉強したいと思いました。

②居宅サービス未利用者：44件

- ◇ 1年半前にクモ膜下出血で倒れ、数ヶ月後に社会復帰いたしまして、現在、生活に支障を感じていないので、今ひとつ現時点では、リアルに受けとめかねています。
- ◇ 夫（75歳、私73歳）との二人暮らしです。が、夫はどこも悪くないのですが、一日中布団に入って寝ています。たまに（夜など）テレビを寝ながら見えています。性格的に利己主義で、話し相手になりません。近所の向かい側の奥さん方と一時おしゃべりするのが楽しいです。毎週水曜午後2～4時に参加する「いきいき体操」がとても楽しみです。
- ◇ 現在92歳になる母と同居していますが特に悪い所もなく腰が少し曲り、歩行器を使って散歩に毎日出かけていますが一人で出すのには若干の不安があります。病院、美容院等々車で連れて行こうとしますが、それをきらって一人で出てしまうところがあり、心配しています。耳が遠いので補聴器を作ったのですが、いやがって使用しない。
- ◇ 認知症の症状が感じられるが、本人に病院に行く気が全く無く困っています。何か良い方法はないでしょうか？ 通っている病院も“整形外科”なので相談がしづらい状況にあります。
- ◇ 80歳迄生きられると思っていなかったのが（両親兄弟は短命だったので）、80歳迄元気に生きてきましたので感謝したい。自分の事はなるべく頑張って自分で出来るように協力したいと思い、毎日歩く事になまけないで夕方3キロ位歩く事にしています。洗濯掃除は毎日しますが台所の事は買物も持つ事が出来ませんので、立ってする事はちょっと無理で、今は夜は娘婿と娘が作ってくれています。感謝しています。
- ◇ 市川は今も昔も日本の桃源郷と思っています。縄文時代貝塚が日本一（温暖で食料事情も良く住みやすかった）、現在、地球温暖化で転変地変が年々増加中、市川は地震、大風、台風、大雨等、皆無に等しい状況。福祉、介護に関しても是非、日本一住み良い町にしてください。

③二次予防事業対象者：49件

- ◇ 今は1人で何でもやっていますが、動けなくなったらどうするのか不安です。介護が受けるようになった場合、十分な手当が受けられるかどうか心配です。
- ◇ この質問には該当しない、もっと多種・多様な現状があります。毎年届く「基本チェックリスト」こそ、本状のように「きめこまい」内容で個人の現状をしっかりと把握してほしいとつくづく思いました。
- ◇ 実際に介護をしたり、受けたりしていないので実感がわからないのが事実です。そのような時はまず、市の相談窓口に行けば良いのかと思っています。先の事を思い悩んでいても仕方なく、先行きどのような状態になるか不安ばかりの毎日になる事の方が精神に悪くイライラしてしまいます。そのような時は市の窓口の人の対応が一番心の支えになるのではないのでしょうか。
- ◇ 難しい事はわかりませんが、高齢者という言葉にダメージを受けます。65歳で敬老の日おめでとうと、自治会から祝いを受けましたが、母の事、父の事だとばかり思っていたのに、私がもう敬老の仲間入りかと…。確かに年です。テレビでも一日数回となく、高齢者と耳にしますが、生きているのが悪い様だと友人とも話します。以前はこれ程でしたか？
- ◇ 私は二男（48歳・交通事故による高次機能障害）と二人暮らしですので、間に対して納得のいく回答がしにくい点がありました。今後どのような生き方をしたら良いか、とても心配です。どうぞ私共のような者にも、ご配慮頂きたいと思います。

④高齢者一般：58件

- ◇ 70歳代になってもお陰さまで元気ですが、それは今迄の食生活等がよかったからだと思っています。仕事を通じて食の大切さを知っているからこそですが、年齢がいても、家庭料理を食べられる幸せを、多くの人に知ってもらいたいと願っています。今は生活にゆとりがないので無理ですが、将来少しずつでも貢献したいと思っています。傾聴の仕事も関心がありますし、食育に関する仕事もかかわりたいと思っています。

- ◇ 今のところ元気で一人で大抵の事は出来ます。近くに娘が居て毎日食事したり電話したり連絡は出来ます。もしこの状況が続かなかつたら娘に負担が掛からないように願うのみです。その時に相談に乗っていただければ幸いです。
- ◇ まだ健康で週4日ぐらい仕事をし、月2～3回位スポーツのボランティア（市のスポーツ推進委員）をしているので、自分が受ける福祉・介護に関し真剣に考えておりませんでした。もう1～2年したら仕事もやめて、自宅でのんびりしたいと思っております。とりあえず1～2年は、仕事とボランティア、自治会活動で頑張りたいと思っております。

⑤ e-モニター：32件

- ◇ 今、自分が年を取ったら「ぴんぴんころり」でありたい。もし不幸にしてそれが叶わなかったら、現行法上は不可能ではあろうが、安楽死を取る方策を考えたい。
- ◇ 在宅介護支援センターの説明で「ランチ」なるカタカナ語が使われているが、なぜカタカナ語を使わずに日本語で「窓口」としないのか不思議。高齢者のための事業なのに、格好をつけてどうするの？
- ◇ 今年に入り親が癌にかかり、今まで何とも思っていなかったのですが、高齢者福祉について勉強しようと思っているところです。親は京都に住んでいるので地域によってだいぶ違いがあると思いました。
- ◇ まだ自分が介護をする及び受ける経験がないので、何も知らないことばかりだし、気にもかけていなかったです。